

HT-4558-120A

HT-4558-150A

ユーザーズ ガイド

マニュアルはよく読み、保管してください。

- 操作を行う前に、安全上の指示をよく読み、十分理解してください。
- このマニュアルはいつでも参照できるよう、手近な所に保管してください。

来歴表

マニュアル Rev.	マシン Rev.	追加、変更内容	変更年月
00	—	初版—全ページ	2006年12月
01	—	全ページ	2007年10月
02	—	目次 iii (02), 目次 iv (02), 目次 v (02), 安全-6 (02), 安全-7 (02), 安全-9 (02), 1-15 (02), 2-3 (02), 2-6 (02) ~ 2-9 (02), 2-12 (02), 2-13 (02), 2-14 (02), 2-16 (02) ~ 2-19 (02), 2-26 (02), 2-28 (02), 2-30 (02) ~ 2-32 (02), 2-36 (02), 2-38 (02) ~ 2-40 (02), 2-42 (02) ~ 2-44 (02), 3-3 (02), 3-4 (02), 3-7 (02) ~ 3-9 (02), 3-10 (02), 3-15 (02), 3-16 (02), 4-2 (02), 4-5 (02), 5-6 (02), 5-7 (02), 5-10 (02) ~ 5-14 (02), 5-16 (02), 5-17 (02), 5-19 (02), 5-22 (02), 5-24 (02), 5-27 (02), 6 章 (02), 7-5 (02), 7-7 (02), 7-10 (02), 7-12 (02) ~ 7-21 (02), 7-23 (02), 7-24 (02), A-1 (02), A-2 (02), C-1 (02), H-1 (00), H-2 (00)	2007年11月
03	—	商標 (02), 安全-5 (02), 1-4 (02), 1-9 (02), 1-15 (03), 1-16 (02), 2-7 (03), 2-8 (03), 2-12 (03), 2-16 (03), 2-17 (03), 2-28 (03), 2-31 (03), 2-32 (03), 2-35 (02), 2-38 (03), 2-40 (03), 2-42 (03) ~ 2-44 (03), 4-4 (02), 4-5 (03), 5-3 (02), 5-6 (03), 5-7 (03), 5-13 (03), 5-23 (02), 6-1 (03), 6-13 (03), 7-8 (02), 7-13 (03), 7-15 (03), 7-17 (03) ~ 7-20 (03), F-1 (02)	2008年5月
04	—	目次 i (02), 目次 iii (03), 安全-7 (03), 1-15 (04), 2-2 (02), 2-21 (02) ~ 2-25 (02), 2-26 (03), 2-27 (03), 2-28 (04), 2-29 (02), 2-30 (03), 2-31 (04), 2-32 (04), 2-33 (02), 2-34 (02), 2-35 (03), 2-36 (03), 2-37 (02), 2-38 (04), 2-39 (03), 2-40 (04), 2-41 (02), 2-42 (04) ~ 2-44 (04), 2-45 (00), 2-46 (00), 5-7 (04), 5-8 (02), 5-16 (03), 5-20 (02), 5-21 (02), 5-22 (03) ~ 5-24 (03), 5-25 (02), 5-26 (02), 5-27 (03), 5-28 (02), 5-29 (00), 5-30 (00), C-1 (03), C-5 (02), F-2 (02)	2009年2月
05	—	国際エネルギースタープログラムについて(02)削除	2009年6月
06	—	7-12 (03), 7-24 (03), 7-25 (00), 7-26 (00)	2010年2月
07	T	6-6 (03), 付録 A-4 (02)	2010年9月

マニュアル Rev.	マシン Rev.	追加、変更内容	変更年月
08	—	安全-8(02), 安全-9(03), 安全-10(02), 1-15(05), 1-16(03), 2-2(03), 2-3(03), 2-4(02), 2-5(02), 2-6(03), 2-8(04), 2-9(03), 2-12(04), 2-14(03), 2-19(03), 2-26(04), 2-35(04), 2-37(03), 3-5(02), 3-10(03), 3-12(02), 4-11(02), 4-12(02), 5-2(02), 5-5(02), 5-8(03), 5-12(03), 5-14(03), 5-15(02), 5-20(03), 6-2(03), 6-5(03)~6-7(03), 6-12(03), 6-21(03), 6-27(03), 7-4(02), 7-5(03), 7-12(04), B-15(02)	2010年 9月
09	—	目次-ii(02), 4-5(04), 4-6(02), 4-7(02)	2011年 7月
10	—	1-3(02), 1-16(04), 6-1(04), 6-6(04), 6-7(04), 6-20(03), A-1(03), A-2(03), A-4(03), A-5(01), B-18(02) I-1(00), I-2(00)	2012年 5月
11	—	表紙、著作権(03)、目次-iv(03)、目次-v(03)、 目次-vi(02)、安全-5(03)、2-7(04)、3-5(03)、6-4(04)、 7-11(02)、7-13(04)、7-23(03)、7-24(04)、A-1(04)、A-2(04)、 A-3(02)、A-4(04)、A-5(02)、A-6(01)、J-1(00)、J-2(00)	2013年 2月
12	—	表紙、著作権・商標(04)、1-3(03)、1-9(03)、2-44(05)、 2-45(01)、2-46(01)、2-47(00)、2-48(00)、4-5(05)、 4-6(03)、5-20(04)、5-21(03)、5-22(03)、7-5(04)、7-8(03)、 7-19(04)、7-25(01)	2013年 11月
13	—	表紙、著作権・商標(05)	2014年 4月
14	—	表紙、著作権(06)、6-10(03)、6-11(03)	2015年 7月
15	—	B-2(02)、B-3(02)、B-7(02)、B-8(02)、B-9(02)、B-10(02)、 B-13(02)、B-16(02)、B-17(02)、B-18(03)	2015年 10月
16	—	1-7-1(00)、1-7-2(00)、1-7-3(00)、1-7-4(00)	2016年 11月

電波障害自主規制について

この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会 (VCCI) の基準に基づくクラス A 情報技術装置です。この装置を家庭環境で使用すると電波妨害を引き起こすことがあります。この場合には使用者が適切な対策を講ずるよう要求されることがあります。

高調波電流自主規制について

JIS C 61000-3-2 適合品

本装置は、高調波電流規格 JIS C 61000-3-2 に適合しています。

情報処理装置およびシステムのイミュニティ試験 (IT-3001) 自主規制について

この装置は IT-3001 適合品です。

0G	B	02	
----	---	----	--

ご注意（本書について）

1. 本書の内容の一部または全部を無断掲載することは禁止されています。
2. 本書の内容に関しては予告なしに変更することがあります。
3. 本書は内容について万全を期して作成いたしましたが、万一ご不明な点や誤り、記載もれ等お気づきのことがありましたら、ご連絡ください。
4. 本マニュアルに記載した製品に関し、性能、品質、商品価値、または特定の使用目的に対する整合性に関しても、その保証はいたしかねますのでご了承ください。本製品の性能品質に関する全責任は購入者が負うものといたします。
5. 本製品指定以外のものを使用してトラブルが発生した場合には、責任を負いかねますのでご了承ください。
6. 本製品、本マニュアルまたはソフトウェアの欠陥による直接または間接的に生じた損害については一切責任を負いかねますのでご了承ください。

著作権

Copyright (C) 2007, 2015 Ricoh Company, Ltd. All rights reserved.

本書の全内容は、著作権によって保護されています。このマニュアルの一部または全部を、電気、機械、磁気、光学、化学、文書その他のいかなる形式または方法により、無断で使用、複製、転写、検索システムへの保存またはコンピュータ言語を含めいかなる言語にも翻訳することはできません。

商標

Adobe, PostScript は、Adobe Systems Incorporated（アドビシステムズ社）の商標です。

AppleTalk は、米国 Apple Inc. の登録商標です。

Microsoft, Windows, Windows XP, Windows Server 2003, Windows Vista は、米国 Microsoft Corporation の米国及びその他の国における登録商標です。

UNIX オペレーティングシステムは、X/Open Company Limited 社が開発しライセンスしています。

Ethernet は、米国 Xerox Corp. の商品名称です。

Solaris は、米国 Sun Microsystems, Inc. の商品名称です。

HP-UX は、米国 Hewlett-Packard Company のオペレーティングシステムの名称です。

PCL, PCL5e は、Hewlett-Packard Company の登録商標です。

PowerPC, AIX, AIX 5L は、米国 IBM 社の登録商標です。

その他社名・製品名は、それぞれの登録商標もしくは商標です。

本製品に含まれる Monotype Imaging 社の TrueType フォントの複製は禁止されています。

0G	B	06	
----	---	----	--

この製品で使用しているソフトウェアは、IndependentJPEG Groupに基づいています。

この製品のソフトウェアは、カーネギーメロン大学が開発したソフトウェアを使用しています。
Copyright 1998, 1999 by Carnegie Mellon University. All rights reserved.

上記ソフトウェアと関連する書類のコピー・修正・配布は、上記の著作権表示と使用許諾文を使用する全てのソフトウェアおよび関連書類のコピーに明示することにより、いかなる使用目的であっても無償で許可されています。また、カーネギーメロン大学の名前は、カーネギーメロン大学に予め書面で許可を得ない限り、本ソフトウェアの配布に関するあらゆる広告あるいは宣伝に使用することを禁じます。

この製品はSam LefflerおよびSilicon Graphics社が開発したソフトウェアを使用しています。
Copyright (c) 1988-1997 Sam Leffler
Copyright (c) 1991-1997 Silicon Graphics Inc.

上記ソフトウェアと関連する書類のコピー・修正・配布・販売は、下記条件の範囲内でいかなる使用目的であっても無償で許可されます。

- (i) 上記の著作権表示と使用許諾文を使用する全てのソフトウェアおよび関連書類のコピーに明示すること。
- (ii) Sam Leffler and Silicon Graphics の名前は、Sam Leffler and Silicon Graphics に予め書面で許可を得ない限り、本ソフトウェアに関連するあらゆる広告あるいは宣伝に使用する事を禁じます。

OG	B	01	
----	---	----	--

はじめに

このユーザーズガイドは、HT-4558-120A/HT-4558-150A レーザービームプリンタの操作方法とご使用上で注意していただきたいことを記載してあります。

プリンタをお使いいただく前に、このユーザーズガイドをよくお読みいただき、書かれている指示や注意を十分理解して、正しくお使いください。

このユーザーズガイドが必要になったとき、すぐに参照できるよう、使いやすい場所に大切に保管してください。

このマニュアルの内容は、予告なく変更されることがあります。

0G	B	01	
----	---	----	--

目次

▲ 安全にお取り扱いいただくために	安全-1
--------------------------------	-------------

第 1 章 プリンタの概要

1.1 この章の内容.....	1- 1
1.2 プリンタの特徴.....	1- 2
1.3 インターフェース.....	1- 3
1.4 オペレータ・コントロール・パネル.....	1- 3
1.5 プリンタの外観.....	1- 4
1.6 プリンタの内部.....	1- 6
1.7 プリンタの電源を入れる.....	1- 7
1.8 プリンタの電源を切る.....	1- 8
1.9 設置に必要なスペース.....	1-14
1.10 機器添付品.....	1-15

第 2 章 オペレータ・コントロール・パネル

2.1 この章の内容.....	2- 1
2.2 OCP の概要.....	2- 2
2.3 メインメニューの使い方.....	2- 3
2.3.1 アイコン・ボタンのヘルプ画面を参照する方法.....	2- 4
2.3.2 プリンタに関する各種情報を得る方法.....	2- 6
2.4 プリンタ設定メニューの使い方.....	2- 8
2.4.1 「用紙設定」サブメニューの使い方.....	2- 9
2.4.2 「オプション」サブメニューの使い方.....	2-12
2.4.2.1 NPRO 選択.....	2-14
2.4.3 「テスト印刷」サブメニューの使い方.....	2-15
2.4.4 「PCL」サブメニューの使い方.....	2-15
2.4.5 「ポストスクリプト」サブメニューの使い方.....	2-16
2.5 環境設定メニューの使い方.....	2-19
2.5.1 「操作パネル」サブメニューの使い方.....	2-20
2.5.2 「システム」サブメニューの使い方.....	2-21
2.5.3 「消耗品」サブメニューの使い方.....	2-30
2.5.4 「パネル表示言語」サブメニューの使い方.....	2-34
2.6 レポート印刷メニューの使い方.....	2-35
2.7 印刷ジョブ一覧メニューの使い方.....	2-37
2.8 パスワード管理.....	2-39
2.9 メニュー構成.....	2-40
2.10 用紙サイズ・印刷位置のプリセット.....	2-44

OG	B	02	
----	---	----	--

第 3 章 用紙

3.1 この章の内容.....	3- 1
3.2 推奨される用紙.....	3- 2
3.3 用紙重量と用紙サイズ.....	3- 2
3.4 利用できない用紙.....	3- 2
3.5 使用時に注意すべき点.....	3- 3
3.6 用紙の保管方法.....	3- 3
3.7 用紙の取り付け.....	3- 4
3.7.1 操作の前に.....	3- 4
3.7.2 用紙の取り付け.....	3- 6
3.7.3 用紙の張りの確認と調整.....	3-11
3.7.4 用紙の取り出し.....	3-12
3.7.5 用紙の停止位置の確認.....	3-14
3.7.6 印刷位置の確認.....	3-15

第 4 章 ネットワーク設定

4.1 この章の内容.....	4- 1
4.2 ネットワークへの接続.....	4- 2
4.3 ネットワーク・インターフェースの設定.....	4- 3
4.3.1 IP アドレスその他のネットワーク・パラメータの設定.....	4- 3
4.3.2 TCP/IP プロトコルを使用した LPR/LPD 印刷.....	4- 5
4.3.3 AppleTalk プロトコルを使用した印刷.....	4- 6
4.4 MAC アドレスの確認.....	4- 6
4.5 プリンタドライバのインストール.....	4- 7
4.6 UNIX オペレーティングシステムへの登録.....	4- 7
4.6.1 Solaris 2.6, 7, 8, 9.....	4- 7
4.6.2 HP-UX 11i.....	4- 9
4.6.3 AIX 5L.....	4-11
4.7 JP1/NPS システムへの接続.....	4-13
4.7.1 プリンタ設定の変更.....	4-13
4.7.2 プリンタの LPD スプールの設定を無効でご使用になる場合.....	4-13

OG	B	02	
----	---	----	--

第 5 章 Web インターフェース機能

5.1 この章の内容.....	5- 1
5.2 Web ブラウザによるプリンタへのアクセス	5- 2
5.3 Web ページのコンポーネント概略	5- 3
5.4 Web ページの使い方	5- 4
5.4.1 「状況」 ページの使い方.....	5- 5
5.4.1.1 「状況ー一般」 ページ.....	5- 5
5.4.1.2 「状況ープリンタ」 ページ.....	5- 6
5.4.1.3 「状況ー消耗品」 ページ.....	5- 6
5.4.1.4 「状況ーエラーカウント」 ページ.....	5- 6
5.4.1.5 「状況ー使用状況」 ページ.....	5- 7
5.4.1.6 「状況ーネットワーク I/F」 ページ	5- 7
5.4.1.7 「状況ーレポート印刷」 ページ.....	5- 7
5.4.1.8 「状況ーレビジョン」 ページ.....	5- 8
5.4.1.9 「状況ーエンジン設定」 ページ.....	5- 8
5.4.2 「システム」 ページの使い方.....	5- 9
5.4.2.1 「システムー一般」 ページ.....	5- 9
5.4.2.2 「システムー論理プリンタ」 ページ.....	5-11
5.4.2.3 「システムー印刷履歴」 ページ.....	5-16
5.4.2.4 「システムー印刷ジョブ」 ページ.....	5-18
5.4.2.5 「システムーシリアル番号」 ページ.....	5-19
5.4.2.6 「システムープリセット」 ページ.....	5-20
5.4.3 「構成」 ページの使い方.....	5-23
5.4.3.1 「構成ー一般」 ページ.....	5-23
5.4.3.2 「構成ーイベント」 ページ.....	5-24
5.4.3.3 「構成ー構成」 ページ.....	5-26
5.4.3.4 「構成ー通信」 ページ.....	5-28

第 6 章 お手入れとメンテナンス

6.1 この章の内容.....	6- 1
6.2 消耗品の補給と交換作業.....	6- 2
6.2.1 トナーの補給.....	6- 2
6.2.2 廃トナーボトルの交換.....	6- 6
6.2.3 現像剤の交換.....	6- 8
6.2.4 HR ユニットの交換	6-13
6.2.5 HR クリーナの交換	6-15
6.3 用紙ジャムの修復.....	6-17
6.3.1 スタッカ部での用紙ジャムの修復	6-17
6.3.2 スタッカ部以外での用紙ジャムの修復	6-18
6.4 点検	6-20
6.4.1 印刷品質のチェック	6-20

OG	B	03	
----	---	----	--

6.5 プリンタの清掃.....	6-21
6.5.1 用紙給紙部の清掃.....	6-22
6.5.2 スタッカの清掃.....	6-23
6.5.3 転写器の清掃.....	6-24
6.5.4 トナーホoppa周辺の清掃.....	6-24
6.5.5 廃トナーボトル周辺の清掃.....	6-25
6.5.6 プレクリンクミの清掃.....	6-25
6.6 消耗品の取り扱いと保管.....	6-26
6.6.1 印刷用紙.....	6-26
6.6.2 トナーと現像剤.....	6-27

第 7 章 トラブルシューティング

7.1 この章の内容.....	7- 1
7.2 ガイドライン・フローチャート.....	7- 2
7.3 基本的な問題解決のヒント.....	7- 3
7.4 一般的な印刷時の問題.....	7- 4
7.5 印刷品質の問題.....	7- 4
7.6 使用上の留意事項.....	7- 5
7.7 ネットワークの問題.....	7- 6
7.7.1 AppleTalk プロトコルで発生する問題.....	7- 6
7.7.2 TCP/IP プロトコルで発生する問題.....	7- 7
7.7.3 ネットワークとの接続における共通問題.....	7- 8
7.8 エラーリカバリ印刷.....	7- 9
7.9 OCP に表示されるメッセージ.....	7-10

付録 A 各種仕様

A.1 プリンタ本体.....	A- 1
A.2 I/O インターフェース.....	A- 3
A.3 消耗品.....	A- 5

付録 B 用紙の仕様

B.1 用紙について.....	B- 1
B.1.1 用紙についての一般的な推奨条件.....	B- 1
B.1.2 用紙の仕様.....	B- 2
B.1.3 用紙の重量.....	B- 3
B.1.4 用紙のサイズ.....	B- 3
B.1.5 用紙のミシン仕様.....	B- 5
B.1.6 送り穴.....	B- 7
B.1.7 送り穴以外の穴.....	B- 8
B.1.8 用紙の色.....	B-10
B.1.9 印刷の色.....	B-10

OG	B	03	
----	---	----	--

B. 1. 10	印刷可能範囲.....	B-11
B. 1. 11	印刷禁止領域.....	B-12
B. 1. 12	プレプリント紙.....	B-13
B. 1. 13	帳票	B-15
B. 1. 14	保管条件.....	B-16
B. 1. 15	梱包	B-16
B. 1. 16	用紙に関する留意事項.....	B-16

付録 C レポート印刷

C. 1	ステータス一覧印刷.....	C- 1
C. 2	PCL ディスク・ディレクトリ一覧印刷	C- 2
C. 3	PostScript ディスク・ディレクトリ一覧印刷	C- 2
C. 4	PCL フォント一覧印刷	C- 3
C. 5	PostScript フォント一覧印刷	C- 4
C. 6	プリセット一覧印刷.....	C- 5

付録 D テスト印刷

付録 E ベストフィット機能について

付録 F 増設フォントのダウンロード

F. 1	フォントダウンロードの準備.....	F- 1
F. 2	フォントのダウンロード.....	F- 1

付録 G オートロード制御について

G. 1	オートロード制御の概要.....	G- 1
G. 2	「ヨウシサクゲン」設定時の制約事項.....	G- 1
G. 2. 1	「ヨウシサクゲン」設定時の操作手順.....	G- 2

付録 H カード紙制御について

H. 1	カード紙制御の概要.....	H- 1
H. 2	カード紙制御で印刷する際のお願い事項.....	H- 1

付録 I 重送防止ユニットについて

I. 1	重送防止ユニットの取り付け手順.....	I- 1
I. 2	重送防止ユニットの操作手順.....	I- 2

OG	B	03	
----	---	----	--

付録 J バーコード印刷

J.1 文字太り位置について.....	J- 1
J.2 GS1-128 バーコードの印刷について.....	J- 2

0G	B	02	
----	---	----	--

▲安全にお取り扱いいただくために

1. ▲安全に関する留意事項

以下に述べられている安全上の説明をよく読み、十分理解してください。

- 操作は、このマニュアル内の指示、手順に従って行ってください。
- 装置やマニュアルに表示されている留意事項は必ず守ってください。
これを怠ると、人身上の障害や装置の破損をひき起こす恐れがあります。
- 安全に関する留意事項は、下に示す見出しによって表示されます。これは「危険」、「警告」および「注意」という見出し語と注意シンボルを組み合わせたものです。



危険：これは、死亡または重大な傷害を引き起こす可能性が高い、差し迫った危険の存在を示すのに用いられます。



警告：これは、死亡または重大な傷害をひき起こすかもしれない潜在的な危険の存在を示すのに用いられます。



注意：これは、比較的軽度の傷害、あるいは装置の重大な損傷をひき起こす恐れのある潜在的な危険の存在を示すのに用いられます。



この注意シンボルは見出し語等と共に用いられ、そこに記述されている事柄が安全に関するものであることを示し、注目させるために用いられます。

なお、「留意事項」という見出し語は、人身の安全と直接関係しない注意書きを示すのに用いられます。

- マニュアルに記載されている以外の操作や動作は行わないでください。
装置について何か問題がある場合は、保守員をお呼びください。
- 装置やマニュアルに表示されている留意事項は、十分に検討されたものですが、それでも、予測を超えた事態が起こることが考えられます。
操作にあたっては、指示に従うだけでなく、常に自分自身でも注意するようになしてください。

▲ 安全にお取り扱いいただくために(続き)

- ・電源プラグは、必ず定格電源のコンセントに差し込んでください。そうでない場合には、火事や感電を引き起こす場合があります。
- ・1つの電源供給口に、複数の取り出し口をもつ電源タップをつないで、複数の電源プラグを差し込むのはお止めください。必ず1口のコンセントにつないでプリンタを稼働させてください。2口以上のコンセントを使うと、過熱状態になり出火の原因となる恐れがあります。
- ・プラグ接続の部分には、ホコリがたまらないように気をつけてください。湿気の多い環境では、プラグ接続の部分が汚れていると、無視できないほどの電流が流れ、熱を帯び、長い間そのままにしておくと、出火に至ることがあります。
- ・必ずプリンタに添付されている電源コードをご使用ください。延長コードが必要なときは、必ず正しい定格のコードをご使用ください。
- ・電源コードに損傷を与えないでください。また、電源コードを加工したり、引っ張ったり、曲げたり、擦り付けたりしないでください。コードの上に重いものを置かないようにしてください。
- ・濡れた手で電源コードを触らないでください。
- ・プリンタから煙、過剰な熱、異常な音や匂いがしたら、またプリンタ内に液体をこぼしてしまったら、すぐに電源を切り、プリンタの電源プラグをコンセントから抜いてください。
- ・電源コードが破損したり、絶縁されている導線が表面に出てきたら、必ずコードを別のものに交換してください(破損したコードは使用しないでください)。
- ・プリンタの電源が入っている時には、プリンタの電源コードをコンセントから抜かないでください。
- ・プリンタの電源コードをコンセントから抜く時には、コードではなくプラグを持って抜いてください。
- ・プリンタ内部の清掃やメンテナンスを行う際には、必ずプリンタの電源を切り、電源コードをコンセントから抜いてください。
- ・長期間プリンタを使用しない場合は、スイッチを切り、電源コードをコンセントから抜いてください。

▲ 安全にお取り扱いいただくために(続き)

- ・月に1回は、プリンタの電源コードを抜いて、以下のことを点検してください。
 - ① 電源コードがコンセントの受け口にしっかり接続されるかどうか。
 - ② 電源コードにひび割れや擦り切れた箇所がないかどうか。
 - ③ 電源プラグが過剰な熱を帯びたり、錆がついていたり、曲っていたりしないかどうか。
 - ④ 電源プラグや受け口の部分にホコリがたまっていないか。
- ・インターフェース・ケーブルやオプション装置を接続する際には、プリンタの電源は切っておいてください。
- ・プリンタは、ヒーターの近く、あるいは揮発性、引火性及び可燃性のあるものの近くには設置しないでください。
- ・プリンタの重みを支えることができる水平で安定した床の上にプリンタを設置してください。傾いていると、プリンタが倒れ、人に怪我を負わせる恐れがあります。
- ・プリンタは、暑い場所、湿度の高い場所、ほこりの多い場所及び換気の悪い場所には設置しないでください。
- ・プリンタを移動する時には、必ず電源コードをコンセントから抜いてから動かしてください。電源コードをつないだままプリンタを移動すると、コードに損傷を与える可能性があります。
- ・プリンタを動かす場合、10度以上は傾けないでください。傾けすぎると、プリンタが倒れ、人に怪我を負わせる恐れがあります。
- ・長い距離を移動する必要がある場合には、お買い上げの販売店にお問い合わせください。
- ・本プリンタは、以下の環境条件の下で、動作します。
 - 温度の範囲：16° ～ 32° C
 - 湿度の範囲：20～80%RH（結露のないこと）
- ・気温が急激に変化すると、印刷品質に影響を及ぼすことがあります。寒い部屋で急速に暖房を行うと、プリンタ内部に結露を招き、印刷に直接障害をもたらす場合があります。
- ・プリンタに直射日光が当たらないようにしてください。プリンタの性能が低下することがあります。

▲ 安全にお取り扱いいただくために(続き)

- ・プリンタの周辺は、常に整理し、照明も十分とって、お使いください。整理整頓は安全の第一歩です。
- ・安全に留意した服装で操作をしてください。ネクタイがネクタイピンで留められていなかったり、袖口を開いたまま操作しますと、回転体に巻き込まれて怪我をする恐れがあります。
- ・プリンタのカバーは安全性と騒音を小さくするための配慮をした設計がなされています。カバーを開けたままにしておくと、安全性、防音効果が減少しますので、印刷中は必ずカバーを閉じてください。
- ・プリンタのカバーの上には、何も置かないでください。カバーを開く時に、誤って物を装置内部に落としたりあるいは床に落としたりして危険です。
- ・印刷動作中に可動部や通電部に触れると大変危険ですので、印刷動作中には不用意に内部カバーを外したり、内部の装置に触れないでください。
- ・プリンタを操作する時には、必ず装置に表示されている操作銘板や注意銘板を読み、それに従ってください。これらの銘板はオペレータの安全確保と、装置を正しく動作させるために設けられています。
- ・停止状態から急に動作を開始する場合がありますので、不用意に装置内部へ手足や頭等を入れないでください。
- ・一人が装置に触れている時に、他の人が電源を投入したり、操作スイッチを押したりしないように注意してください。また別の人が装置に触れていないことを確認してください。
- ・プリンタの清掃、簡単な点検や保守は、本マニュアルに記載されている電源切断の方法により、電源を切断してから行ってください。
- ・故障修理は、本マニュアルに記載されている範囲の作業を行ってください。記載範囲以外の作業は保守員に連絡してください。
- ・プリンタ内の高電圧部位には警告ラベルが貼ってあります。プリンタの電源が投入されているときは、この部位には絶対に手等を触れないでください。誤って触れると、怪我を負う恐れがあります。
- ・プリンタ用紙には、消耗品の仕様に準拠したものをご使用ください。仕様に準拠しない用紙に印刷を行うと、用紙ジャムを起こしたり、印刷品質を低下させることがあります。

OG	B	01	
----	---	----	--

▲ 安全にお取り扱いいただくために(続き)

- ・用紙の歪みや用紙ジャムを起こさないようにするために、給紙部には正しく用紙をセットしてください。
- ・HRユニット部分を扱っている時には、特に注意してください。HRユニット内部には、絶対に手等を触れないでください。HRユニットは非常に高温(約190℃)になりますので、誤って触れると、やけどを負う恐れがあります。
- ・トナーと現像剤は、粉末状の粒子でできています。トナーや現像剤が誤ってこぼれたり、循環している時に、トナーや現像剤を吸い込まないように注意してください。床にこぼれた時には、すぐに水を含んだ布できれいに拭き取ってください。これらの物質は、滑りやすい球状の金属ですので、その上で足をすべらして事故を招く可能性があります。
- ・この装置は、オゾンを発生させます。適切な換気を行うようにしてください。本プリンタは、狭い部屋(27m³以下の部屋)に設置する場合には、頻繁に換気を行うようにしてください。
- ・用紙、トナー等の消耗品は、直射日光が当たらず暖房器具から離れた場所に保管してください。湿度の少ない、涼しい、清潔な環境で保管してください。
- ・用紙を包装紙から取り出したがプリンタ給紙部にセットしなかった場合は、密閉したビニールの袋に入れて冷暗所に保管してください。
- ・手がトナーで汚れた時には、すぐに石鹸を使って洗い流してください。
- ・プリンタに最適な性能を発揮させ、安全な稼働を確保するためには、このマニュアルに記載されている手順や指示に従ってください。
- ・カーボン繊維の除電ブラシを使用した機器(例:用紙裁断機、他)が近くにあると、折損した短いカーボン繊維が空中に浮遊し、プリンタ内部に浸入して故障要因となる場合がありますので、プリンタからできるだけ離れた位置(10m以上)に設置するようお願いします。また、プリンタの近くの作業台等でカーボン繊維(除電ブラシ)が付着した裁断後の用紙を仕分けするときも同様の事が発生しますので、離れた位置(10m以上)で作業を行いますようお願いします。

安全にお取り扱いいただくために(続き)

2. 本マニュアル内の警告表示

このマニュアルの中に書かれている警告とその記載個所を以下にまとめて示します。ただし、「危険」を用いた記載はありません。

2.1 「警告」と表示されているもの

緊急時には、AC パワースイッチを切ることで電源を切ってください。

(1.7 節 1-7 ページ)

トナーボトルは火中に投げ込まないでください。火中に投げ込むと急激に燃えることがあります、火災や怪我の原因になります。

(6.2.1 節 6-5 ページ)

トナーボトルは不燃物として廃棄してください。

(6.2.1 節 6-5 ページ)

使用済みの廃トナーボトルは火中に投げ込まないで下さい。火中に投げ込むと急激に燃えることがあります、火災や怪我の原因になります。

(6.2.2 節 6-7 ページ)

使用済みの現像剤ボトルは火中に投げ込まないでください。火中に投げ込むと急激に燃えることがあります、火災や怪我の原因になります。

(6.2.3 節 6-12 ページ)

作業上電源を投入する必要のない場合には、作業前に必ず電源を切断してください。回転部、通電部等へ手等が触れた場合や、工具等を装置へ落とした場合の安全を確保するためです。

(6.5 節 6-21 ページ)

2.2 「注意」と表示されているもの

プリンタの電源を再投入するときは、5 秒以上待ってから電源を入れてください。プリンタの電源が入らないときは、パワースイッチと AC パワースイッチを順に切断し、30 秒以上待ってから、プリンタの電源を入れてください。

(1.7 節 1-7 ページ)

自動バックアップ中に電源を切ると再投入時に正常に起動しなくなる場合があります。

(1.8 節 1-13 ページ)

OG	B	02	
----	---	----	--

▲ 安全にお取り扱いいただくために(続き)

変更後のシステムパスワードを紛失した場合はシステムパスワードを再設定する必要がありますが、再設定操作には保守用パスワードが必要です。そのような時には保守員に連絡してください。

(2.8 節 2-39 ページ)

(5.4.3.3 節 5-26 ページ)

搬送ユニットを閉める時、ハンドルとラッチレバーの間に指を入れないでください。指を挟む場合があります。

(3.7.2 節 3-8 ページ)

(3.7.5 節 3-14 ページ)

スタッカテーブル上に用紙を残したまま自動装填を行うと、用紙の先端が初期の位置にうまく案内されないため、印刷開始直後にジャムが発生することがあります。スタッカテーブル上に残った用紙は必ず取り除いてください。

(3.7.2 節 3-9 ページ)

用紙をプリンタに取り付けるときや取り出すとき等で用紙を持ち上げる場合は、腰や背中に無理な力がかからないようにしてください。用紙を両手でしっかり持ち、背中を地面に垂直になるようにして、足の筋肉を使って持ち上げるようにしてください。

(3.7.4 節 3-13 ページ)

スタッカテーブルの動作中は、スタッカテーブルの上および下には絶対に手や足等を入れないでください。テーブルとフレームの間にはさまれる恐れがあります。

(3.7.4 節 3-13 ページ)

用紙の取り出しおよび手直しはスタッカテーブルが停止していることを確認してから行ってください。

(3.7.4 節 3-13 ページ)

IP アドレスを設定する場合、ネットワーク管理者から与えられた IP アドレスであることを確認して下さい。誤った IP アドレスを設定すると、ネットワークの破壊等、ネットワーク環境に深刻な被害を与える可能性があります。

(4.3.1 節 4-3 ページ)

トナーは人体に有害ではありませんが、トナーを吸い込んだり飲み込んだりしないよう注意して下さい。気分が悪くなる場合があります。

(6.2.1 節 6-5 ページ)

(6.2.2 節 6-7 ページ)

OG	B	03	
----	---	----	--

▲ 安全にお取り扱いいただくために(続き)

取り扱い中にトナーを吸い込んだ場合は、多量の水でうがいをし、空気の新鮮な場所に移動して下さい。何か症状が出たら、医師の診察を受けて下さい。

(6.2.1 節 6-5 ページ)

(6.2.2 節 6-7 ページ)

取り扱い中にトナーを飲み込んだ場合は、大量の水を飲み胃の内容物を水で希釈して下さい。何か症状が出たら、医師の診察を受けて下さい。

(6.2.1 節 6-5 ページ)

(6.2.2 節 6-7 ページ)

取り扱い中にトナーが目に入った場合は、ただちに流水で 15 分以上洗眼して下さい。何か症状が出たら、医師の診察を受けてください。

(6.2.1 節 6-5 ページ)

(6.2.2 節 6-7 ページ)

トナーが皮膚や衣類に付着した時は、石鹼水で完全に洗い流して下さい。何か症状が出たら、医師の診察を受けてください。

(6.2.1 節 6-5 ページ)

(6.2.2 節 6-7 ページ)

床にこぼれた現像剤を踏むと滑りやすく、転倒して怪我の原因になります。トナー専用掃除機でよく清掃して下さい。

(6.2.3 節 6-12 ページ)

取り扱い中に現像剤を吸い込んだ場合は、多量の水でうがいをし、空気の新鮮な場所に移動して下さい。何か症状が出たら、医師の診察を受けて下さい。

(6.2.3 節 6-12 ページ)

取り扱い中に現像剤を飲み込んだ場合は、大量の水を飲み胃の内容物を水で希釈して下さい。何か症状が出たら、医師の診察を受けて下さい。

(6.2.3 節 6-12 ページ)

取り扱い中に現像剤が目に入った場合は、ただちに流水で 15 分以上洗眼して下さい。何か症状が出たら、医師の診察を受けてください。

(6.2.3 節 6-12 ページ)

現像剤が皮膚や衣類に付着した時は、石鹼水で完全に洗い流して下さい。何か症状が出たら、医師の診察を受けてください。

(6.2.3 節 6-12 ページ)

安全にお取り扱いいただくために(続き)

HR ユニットは高温になっています。ユニットハンドル部や断熱シート部以外には手を触れないよう注意してください。また、熱に弱い机や紙の上に置かないように注意してください。

(6.2.4 節 6-13 ページ)

(6.3.2 節 6-18 ページ)

HR クリーナは高温になっている場合があります。断熱シート部以外には手を触れないよう注意してください。また、HR クリーナ周辺、特にヒートロールは、非常に高温になっています。手を触れないよう注意してください。

(6.2.5 節 6-15 ページ)

トナーと現像剤の清掃には、トナー専用掃除機を使用してください。

(6.5 節 6-21 ページ)

転写器は止まるまで押しこんで下さい。途中で止めると搬送ユニットの開閉ができなかったり、印刷不良等の障害が発生する場合があります。

(6.5.3 節 6-24 ページ)

プレクリンクミは止まるまで押し込んでください。途中で止めると、印刷不良等の障害が発生する場合があります。

(6.5.6 節 6-25 ページ)

⚠️ 安全にお取り扱いいただくために(続き)

3. ⚠️ 製品上の警告、危険及び注意表示

この装置に貼り付けられている警告、危険及び注意ラベルを下図に示します。

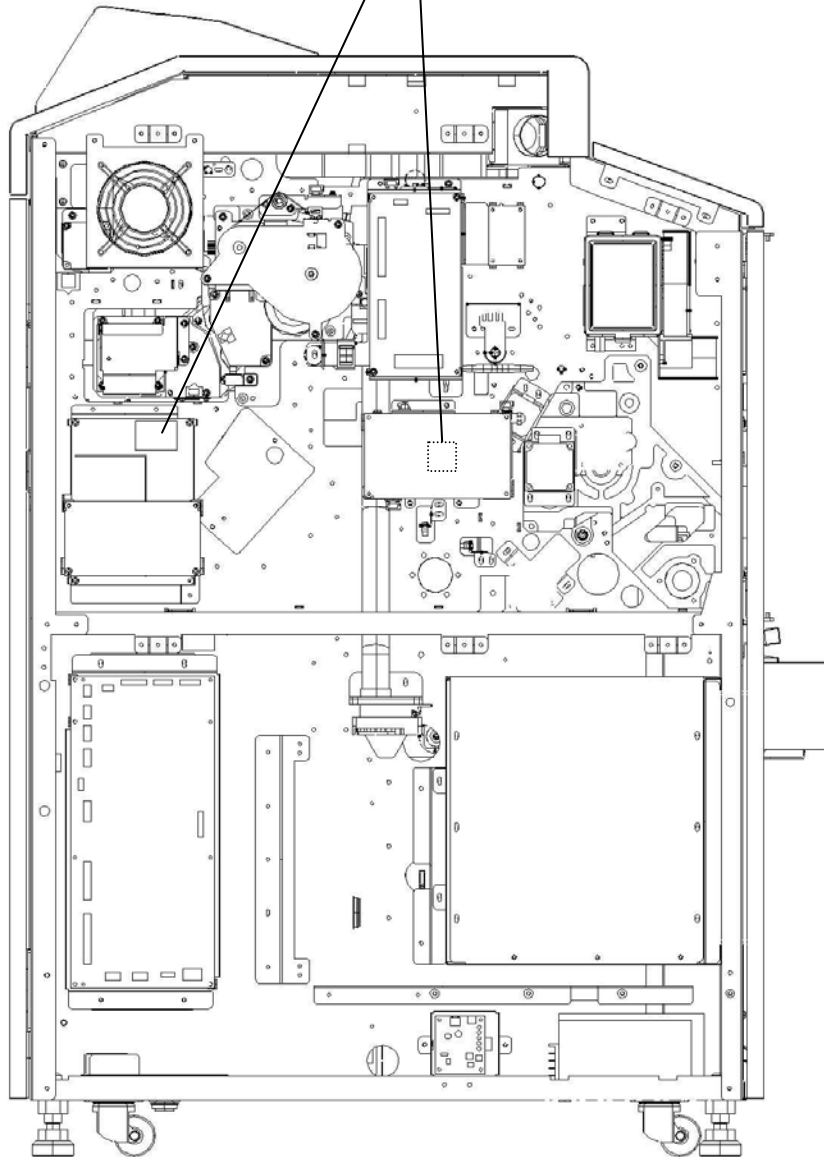


OG	B	02	
----	---	----	--

⚠ 安全にお取り扱いいただくために(続き)

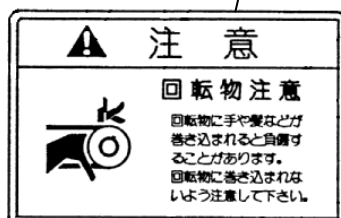
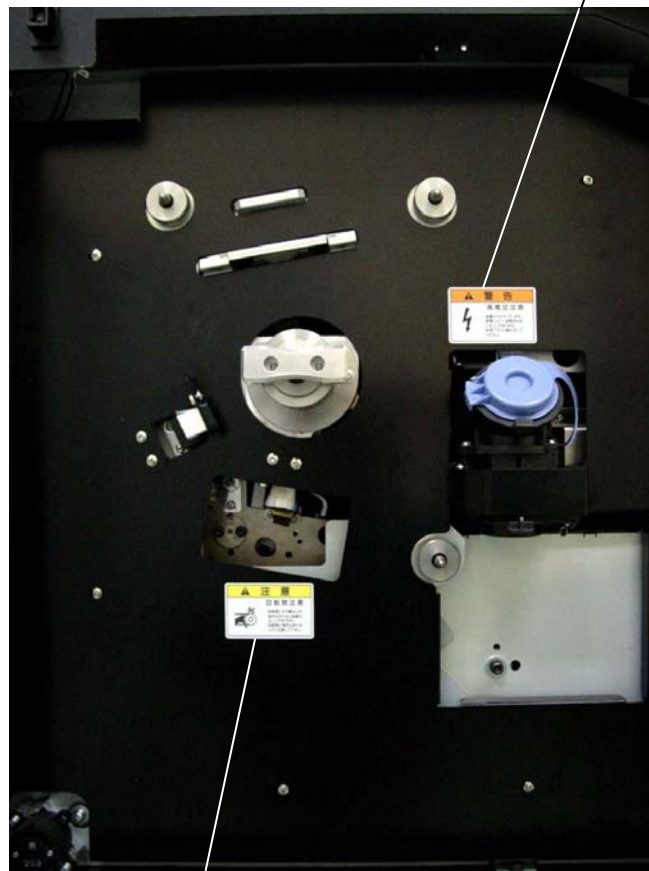
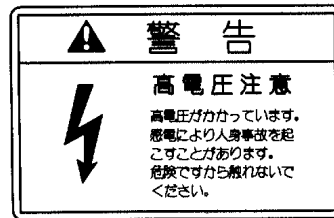
⚠ 警告

⚡ 高電圧注意
高電圧がかかっています。
感電により人身事故を起
こすことがあります。
危険ですから触れないで
ください。



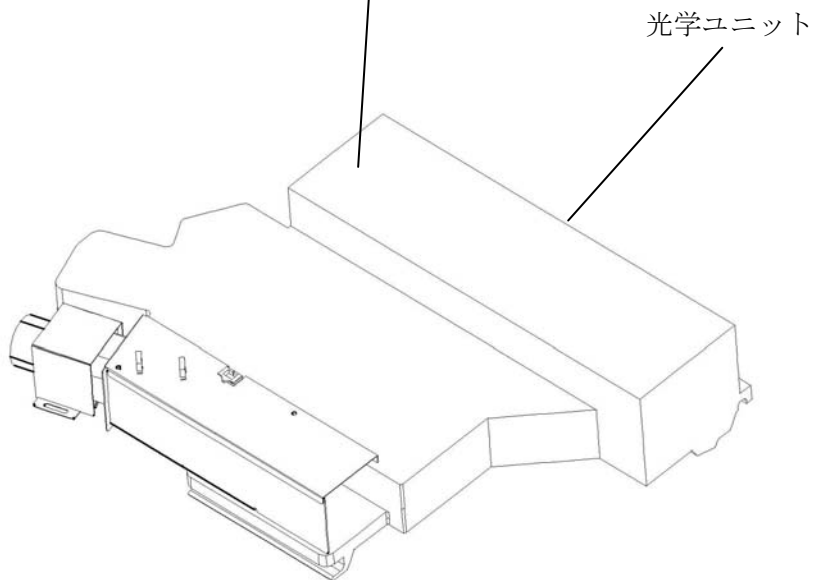
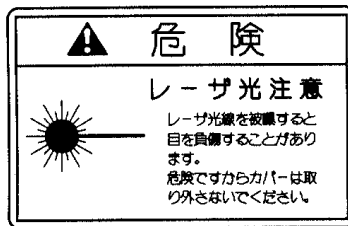
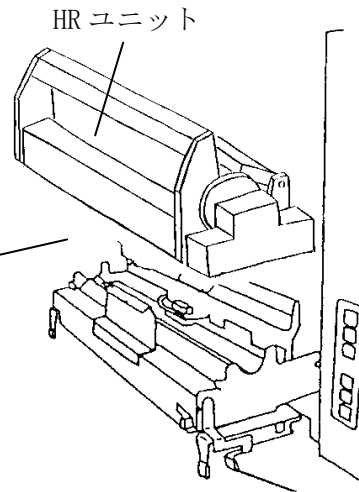
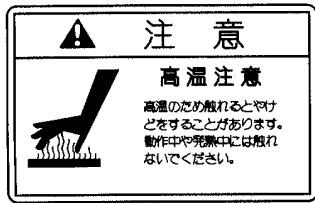
OG	B	01	
----	---	----	--

⚠️ 安全にお取り扱いいただくために(続き)



OG	B	01	
----	---	----	--

▲ 安全にお取り扱いいただくために(続き)



OG	B	01	
----	---	----	--

BLANK

0G	B	01	
----	---	----	--

第1章 プリンタの概要

1.1 この章の内容

この章では、以下の事項に関する概要を記述します。

- プリンタの特徴
- インターフェース
- オペレータ・コントロール・パネル
- プリンタの外観
- プリンタの内部
- プリンタの電源を入れる
- プリンタの電源を切る
- 設置に必要なスペース
- 機器添付品

1.2 プリンタの特徴

本プリンタは、データ処理業務用の大量印刷、および報告書、請求書、伝票、声明書等の文書印刷に適した製品です。高速ノンインパクト方式の印刷により、以下のようなさまざまな機能を搭載しています。

- 高速の印刷機能：（[]内は HT-4558-120A の値を示す）
 - 8 行／インチ(1pi)印刷で 6,800[5,100]行／分(1pm)。
 - A4／レター換算で 100[75]ページ／分(ppm)。
 - 1 枚当り 2 ページ印刷(2-UP)で 154[115]ページ／分(ppm)。
- 高品質の印刷機能：
印刷出力は 600 dpi(ドット／インチ)の解像度で、非常に小さなポイント数であっても繊細なグラフィックスやテキストの出力が可能です。
- 自由度の高い給紙と排紙：
 - 用紙種類： 送り穴つき連続紙。
 - 用紙幅：
 - 165.1～457.2 mm (6.5～18 インチ)。
 - 用紙長：
177.8～355.6 mm (7～14 インチ)。
増減単位は 8.5、12.7、17 mm (1/3、1/2、2/3 インチ) です。
 - 用紙質量： 64～157 g/m²(55～135 kg)。
 - 給紙スタック高： 64 g/m² 用紙で 3,000 枚。
 - 排紙スタック高： 64 g/m² 用紙で 2,000 枚。
- マルチプル・オリジナル・プリンティング(MOP)：
複数部数を一度のファイル転送で印刷することができます。PCL や PostScript のジョブを一度だけ処理し、画像をディスクに保存して 2 部目以降はディスクから印刷します。
- バーチャル・プリンタ・テクノロジー(VPT)：
1 台のプリンタで、複数の印刷サービスを処理できます。それぞれのバーチャル・プリンタ(論理プリンタ)の動作環境を、ネットワーク管理者が設定することができます。

OG	B	01	
----	---	----	--

- Web インターフェース機能：

インターネットや社内イントラネット経由で、プリンタに遠隔アクセスすることができます。

Web インターフェースの詳細は第 5 章「Web インターフェース機能」を参照してください。
- 人間工学的な操作：

読みやすい表示画面に、プリンタの動作状態がはっきりと表示されます。
- 1 枚当りレター2 ページ印刷(2-UP)
- オーバーレイ印刷：添付ドライバでサポート
- プリンタ言語のサポート：
 - 標準：PCL5e プリンタ言語。
 - オプション：PostScript 3(アドビシステムズ社)プリンタ言語。
- ネットワーク・プロトコル：

TCP/IP, LPR/LPD, AppleTalk をサポートします。
- アテンションライト(オプション)：

用紙ジャム・用紙切れ等の障害発生時に点滅します。
- 重送防止ユニット (オプション)：

重送防止機構。特殊用紙 (圧着紙等) を使用する際に、用紙の重送が発生した場合などに適用します。

①取付手順、②操作手順、については現品に添付されておりますが、参考に内容を付録 I に記載します。

1.3 インターフェース

- 双方向1284Cパラレル・インターフェースの互換モード、ニブル・モード、バイト・モードをサポート。
- 10BASE-T/100BASE-TX/1000BASE-T Ethernet

1.4 オペレータ・コントロール・パネル

オペレータ・コントロール・パネル(OCP)は、本プリンタの特性や機能を利用するための物理的なインターフェースとなります。OCP から、プリンタの動作状態を確認したり、プリンタの個々の機能を設定することができます。OCP の詳細は、第 2 章「オペレータ・コントロール・パネル」を参照してください。

0G	B	03	
----	---	----	--

1.5 プリンタの外観



名称	機能
フロントカバ(L)クミ	用紙装填、用紙ジャムの修復、またはプリンタ内部の清掃をする時に、このカバーを開けます。
トナーサプライドアクミ (N)	トナーを補給する時に、このカバーを開けます。
サイドカバ (LU)Nクミ	現像剤の交換、またはプリンタ内部の清掃をする時に、このカバーを開けます。
リアカバ(N)クミ	HRユニットの着脱、HRクリーナの交換、または用紙ジャムの修復をする時に、このカバーを開けます。
ボトルカバー (N)	廃トナーボトルの交換を行う時に、このカバーを開けます。
PF パネル	用紙ミシン目の設定 (方向、用紙自動装填、用紙送り) に使います。
ST パネル	スタッカテーブルの設定 (昇降、用紙自動装填) に使います。
FORMS LENGTH パネル	印刷位置確認用の照明をつける時または、用紙長の設定の確認に使います。

下表に、PF パネルと ST パネルの機能を説明します。

PF パネル

スイッチ名	スイッチの操作		表示ランプ	
	型式	機能	型式	表示内容
AUTO LOAD	ボタンスイッチ (ノンロック)	このスイッチを押すと、用紙の自動装填を始めます。	—	—
FORMS SET	ボタンスイッチ (ノンロック トグル)	用紙のミシン目折り方向に従って、スタッカ部のおりたたみ用スイングフィンの初期位置を設定するためのスイッチです。 <div style="display: flex; align-items: center;"> } ミシン目折り方向が「山」 </div> <div style="display: flex; align-items: center;"> { ミシン目折り方向が「谷」 </div> このスイッチは一度押す毎に「山」「谷」を交互に認識します。	発光ダイオード (LED) 緑	左側のLEDが点灯した場合は用紙のミシン目が「山」、右側のLEDが点灯した場合は用紙のミシン目が「谷」であることを示します。
FORMS SELECT A B	ボタンスイッチ (ノンロック トグル)	用紙連量に従って HR ユニットの設定温度を変更するスイッチです。A は 55kg~71kg 用紙の設定温度、B は 72~135kg 用紙の設定温度を示します。このスイッチは一度押す毎に A と B を交互に認識します。プリンタの電源を投入した直後の設定は、前回電源を切断したときの設定になっています。	発光ダイオード (LED) 緑	左側のLEDが点灯した場合は設定温度が A、右側のLEDが点灯した場合は設定温度が Bであることを示します。
FORWARD	ボタンスイッチ (ノンロック)	このスイッチを押すと、4.2mm (1/6 インチ) 毎に用紙送りを行います。ただし、スイッチを押している間連続して用紙送りを行い、手を離すと 4.2mm (1/6 インチ) の整数倍の位置で止まります。	—	—
REVERSE	ボタンスイッチ (ノンロック)	このスイッチを押すと、4.2mm (1/6 インチ) 毎に通常送行時とは逆の方向に用紙送りを行います。	—	—

ST パネル

スイッチ名	スイッチの操作	
	型式	機能
READY	ボタンスイッチ (ノンロック)	このスイッチを押すと、印刷を開始します。
STOP (上)	ボタンスイッチ (ノンロック)	このスイッチを押すと、印刷を停止します。
AUTO LOAD	ボタンスイッチ (ノンロック)	このスイッチを押すと、用紙の自動装填を始めます。
UP	ボタンスイッチ (ノンロック)	このスイッチを押すと、スタッカテーブルを上昇させます。
STOP (下)	ボタンスイッチ (ノンロック)	このスイッチを押すと、スタッカテーブルの昇降を停止します。
DOWN	ボタンスイッチ (ノンロック)	このスイッチを押すと、スタッカテーブルを下降させます。

FORMS LENGTH パネル

スイッチ名	スイッチの操作	
	型式	機能
PRINT POSITION LIGHT	ボタンスイッチ (ノンロック)	このスイッチを押すと、照明 LED が点灯します。

OG	B	01	
----	---	----	--

1.6 プリンタの内部

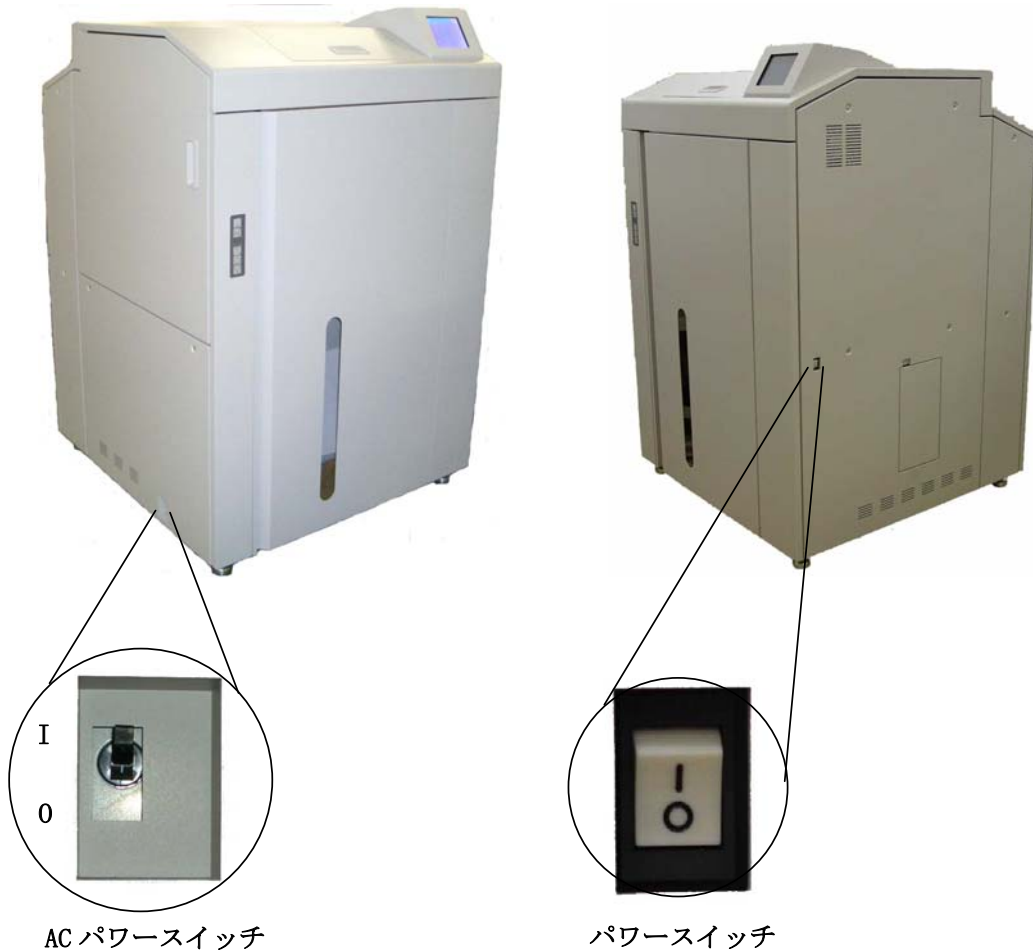
次の図は、フロントカバー(L)クミ、トナーサプライドアクミ(N)、サイドカバー(LU)Nクミ、リアカバー(N)クミが開いているときのプリンタを示します。用紙装填、用紙ジャムの修復、消耗品の交換、またはプリンタの清掃をする時に、これらのカバーを開閉または着脱する必要があります。



名称	機能
搬送ユニット	用紙を一定の速度で送り、ドラム上のトナーを用紙に転写します。トラクタ、リトラクタ、転写器から構成されます。
トナーホッパ	新しいトナーを蓄えます。
廃トナーボトル	回収トナーを蓄えます。
HRユニット	用紙上のトナーを加熱・加圧して定着させます。ヒートロール、バックアップロール、ヒータランプから構成されます。
HRクリーナ	ヒートロール上のトナーを清掃し、ヒートロールにシリコンオイルを塗布します。
スタッカテーブル	印刷後の用紙を蓄えます。

1.7 プリンタの電源を入れる

プリンタの電源投入／切断スイッチは、下図に示す位置にあります。スイッチには、切断（Out）を表す「0」と投入（In）を表す「I」のマークが示されています。電源を入れる時は、AC パワースイッチを入れた後、パワースイッチを入れてください。



プリンタの電源を入れると、プリンタが起動します。このときプリンタでは一連の内部テストが実行されるため、起動が完了するまでに約8分かかります。



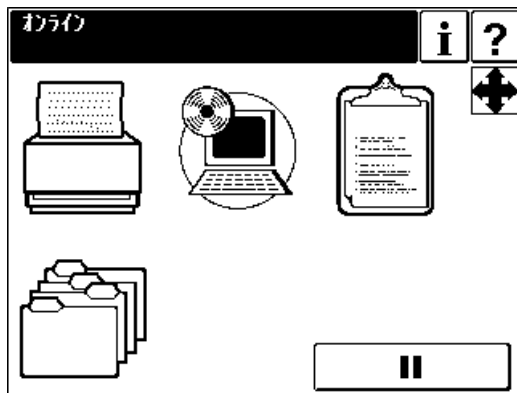
緊急時には、AC パワースイッチを切ることで電源を切ってください。



プリンタの電源を再投入するときは、5 秒以上待ってから電源を入れてください。プリンタの電源が入らないときは、パワースイッチと AC パワースイッチを順に切断し、30 秒以上待ってから、プリンタの電源を入れてください。

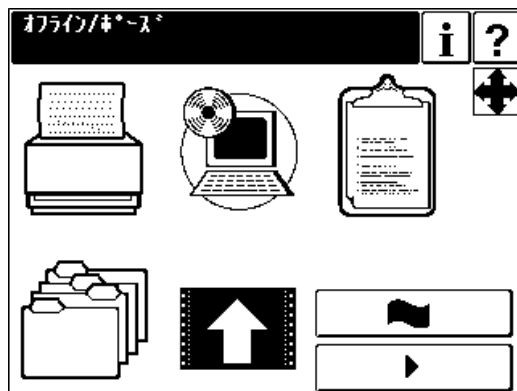
OG	B	01	
----	---	----	--

プリンタの電源を入れた後、最初のジョブ送信は OCP に「オンライン」が表示されてから行なってください。OCP に「オンライン」が表示される以前に受信したデータは正しく印刷できません。



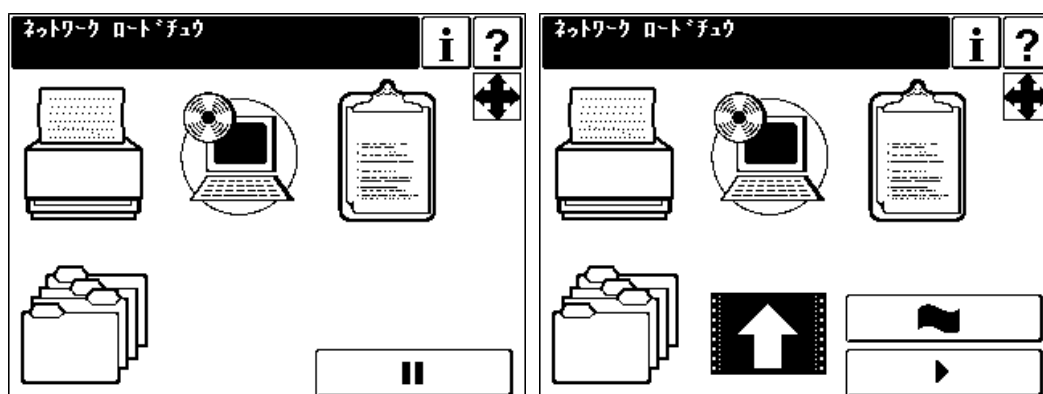
電源を入れて8分程度経過した後の OCP の表示が「オンライン」ではない場合は所定の処置を実施して「オンライン」の表示にしてください。以下に場合と処置の方法を示します。

状態 1： OCP に「オフライン/ポーズ」と表示されている。



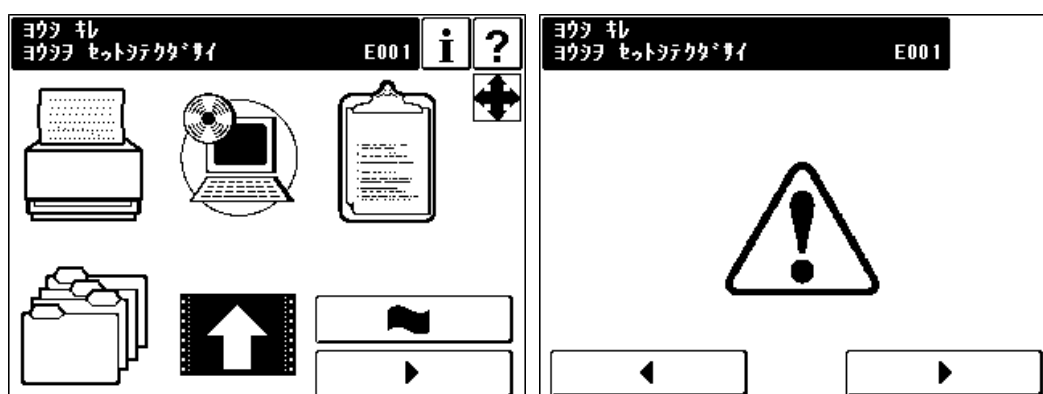
この場合は、OCP の「▶」ボタンを押してチェックリセットを実行し、「オンライン」の表示にしてください。

状態2： OCPに「ネットワーク ロードチェウ」と表示されている。



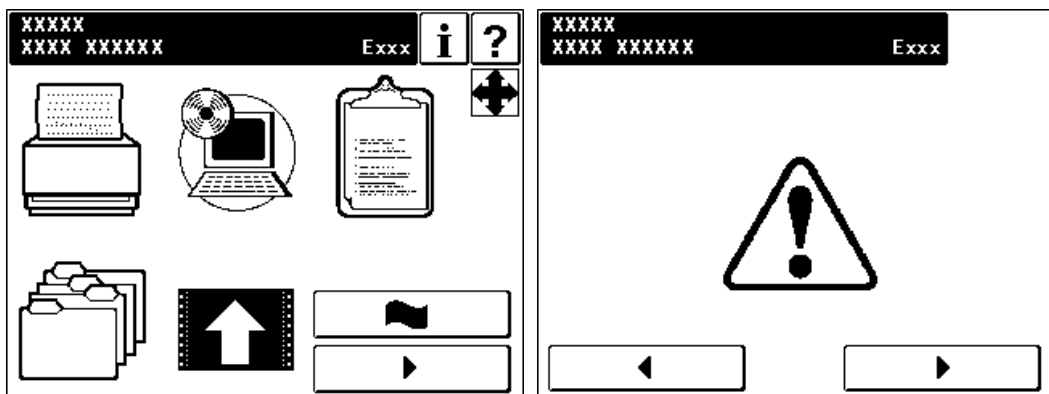
この場合は、「ネットワーク ロードチェウ」の表示が消えて「オンライン」又は「オフライン/ポーズ」と表示されるまで待ってください。OCPの表示が「オフライン/ポーズ」になった場合は、OCPの「▶」キーを押してチェックリセットを実行し、「オンライン」の表示にしてください。

状態3： OCPに「ヨウシ キレ」と表示されている。



この場合は、使用する用紙をセットし OCPの表示が「オフライン/ポーズ」になるまで待ってください。表示が「オフライン/ポーズ」になったら、OCPの「▶」キーを押してチェックリセットを実行し、「オンライン」の表示にしてください。

状態 4： OCP にエラーメッセージが表示されている。



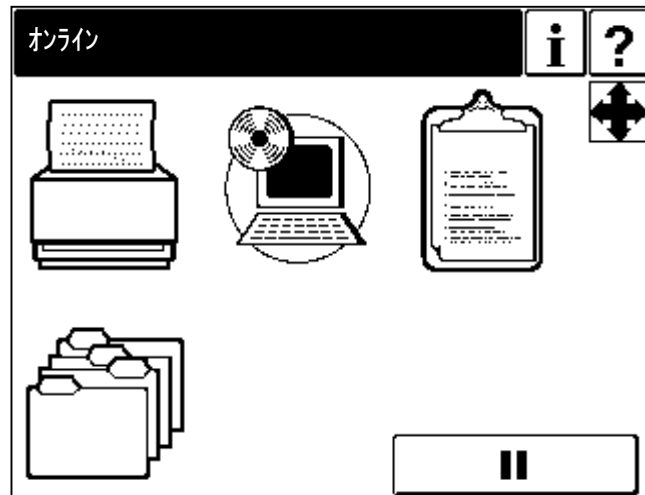
この場合は、OCPのエラーメッセージに応じた処置を実施しエラー状態を解消してください。表示が「オフライン/ポーズ」になったら、OCPの「▶」キーを押してチェックリセットを実行し、「オンライン」の表示にしてください。

BLANK

0G	B	00	
----	---	----	--

1.8 プリンタの電源を切る

電源を切る時には注意が必要です。オペレータ・コントロール・パネル(OCP)が下図のように「オンライン」を継続して表示している状態であれば、プリンタの電源を安全に切ることができます。パワースイッチを切った後、AC パワースイッチを切ってください。各メッセージについては7.9節「OCPに表示されるメッセージ」を参照してください。

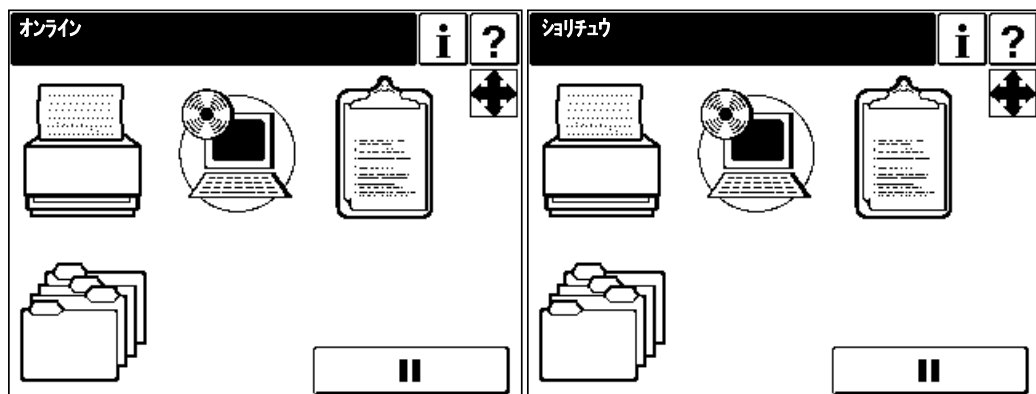


上記以外の場合は、電源を切る前に所定の処置を実施する必要があります。所定の処置を実施する前に電源を切ってはけません。以下に状態と処置の方法を示します。

留意事項:

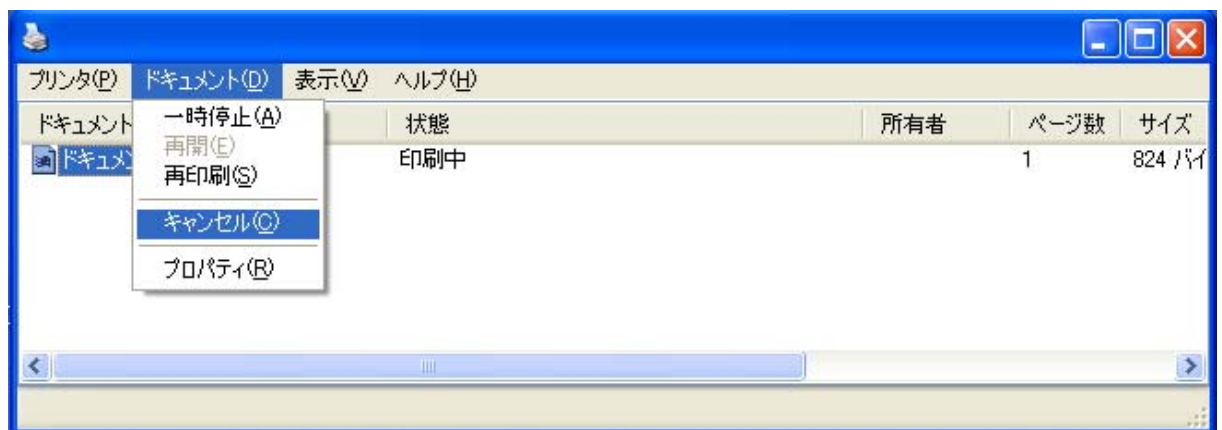
EOF 直後もしくは NPR0 実施後に電源を切る場合には、HR ユニットが駆動している場合がありますので約5分経過後に電源を切ってください。

状態 1： OCP が「オンライン」と「ジョリチュウ」を交互に表示している。



この場合は、以下の処置を実施してから電源を切ってください。

1. しばらく待って、OCP が「オンライン」を継続して表示するようになるかどうか、ようすを見ます。
2. しばらく待っても現象が変わらないときは、印刷ジョブが滞留している可能性があります。以下 WindowsXP を例に印刷ジョブを中止する手順を説明します。
 - i. スタートメニューの中にある「プリンタと FAX」を選択します。
 - ii. 該当するプリンタのアイコンをダブルクリックして、プリンタウィンドウを開きます。
 - iii. 全てのジョブを選択して、「ドキュメント」－「キャンセル」を実行します。



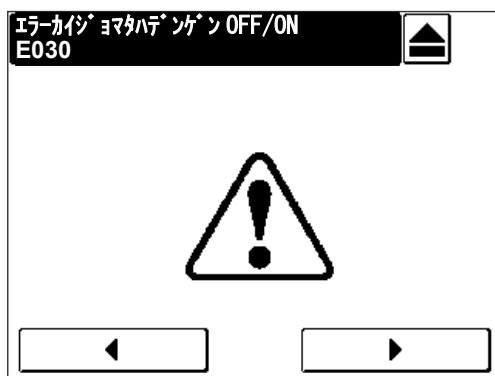
状態 2： OCP が「エラーカイジョマタハデンゲン OFF/ON」以外の E0xx エラーを表示している。



この場合は、以下の処置を実施してから電源を切ってください。

1. メッセージの内容に従い、エラーの原因を取り除きます。
2. OCP の「▶」ボタンを押して、チェックリセットを実行します。
3. 印刷が終了して OCP が「オンライン」を継続して表示するようになるまで、待ちます。

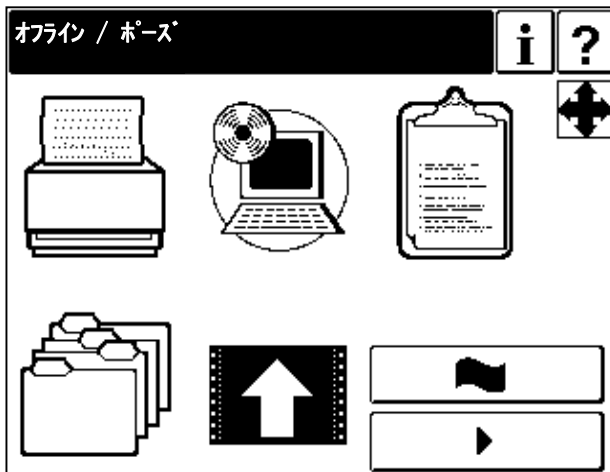
状態 3： OCP が「エラーカイジョマタハデンゲン OFF/ON」 E0xx エラーを表示している。



この場合は、以下の処置を実施してから電源を切ってください。

1. OCP の「▶」ボタンを押して、チェックリセットを実行します。
2. 印刷が終了して OCP が「オンライン」を継続して表示するようになるまで、待ちます。
3. 上記を実行してもエラーメッセージが解消しない時には、印刷ジョブが滞留している可能性があります。状態 1 の手順に従って印刷ジョブを中止してください。

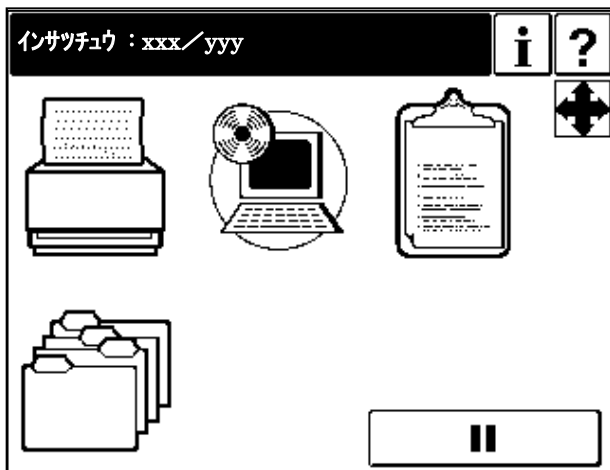
状態 4： OCP が「オフライン / ポーズ」を表示している。



この場合は、以下の処置を実施してから電源を切ってください。

OCPの「▶」ボタンを押してチェックリセットを実行し、OCPが「オンライン」を継続して表示するようになることを確認します。

状態 5： OCP が「インサッチュウ： xxx / yyy」を表示している。



この場合は、以下の処置を実施してから電源を切ってください。

印刷が終了してOCPが「オンライン」を継続して表示するようになるまで待ちます。

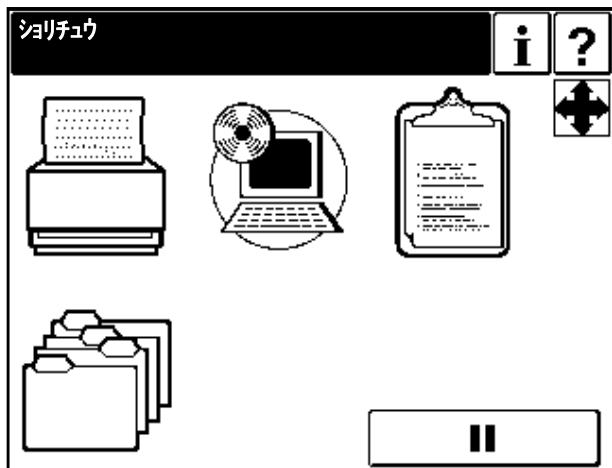
状態 6： OCP が「インサッチュウ」を表示している。



この場合は、以下の処置を実施してから電源を切ってください。

印刷が終了してOCPが「オンライン」を継続して表示するようになるまで待ちます。

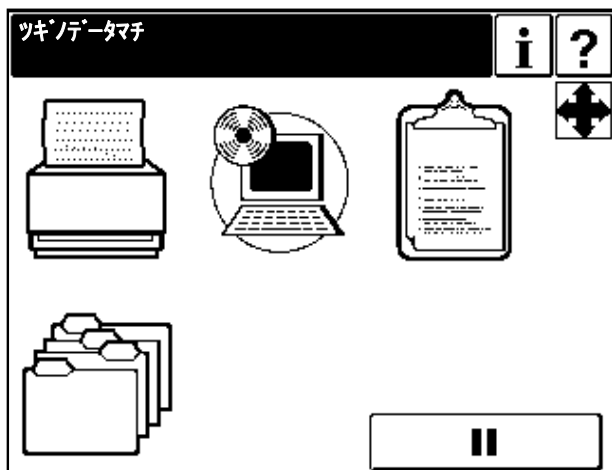
状態7： OCP が「ジョリチュウ」を表示している。



この場合は、以下の処置を実施してから電源を切ってください。

印刷が終了してOCPが「オンライン」を継続して表示するようになるまで待ちます。

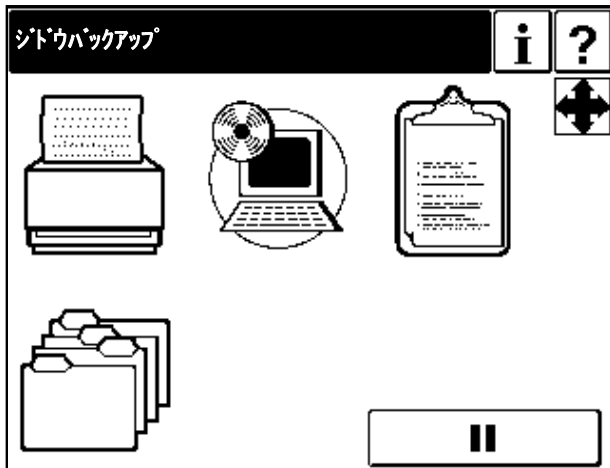
状態8： OCP が「ツギノデータマチ」を表示している。



この場合は、以下の処置を実施してから電源を切ってください。

印刷が終了してOCPが「オンライン」を継続して表示するようになるまで待ちます。

状態 9： OCP が「ジドウバックアップ」を表示している。



この場合は、以下の処置を実施してから電源を切ってください。

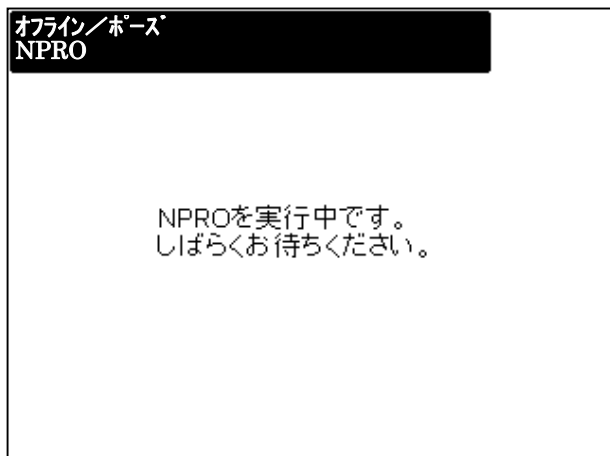
ジドウバックアップの表示が消えるまで待ってください。

自動バックアップは電源投入直後および自動バックアップの設定時刻に実施します。ただし、印刷中の場合は印刷終了後に実施します。尚、エラー発生時にはジドウバックアップは表示されません。



自動バックアップ中に電源を切ると再投入時に正常に起動しなくなる場合があります。

状態 10： OCP が「NPRO」を表示している。

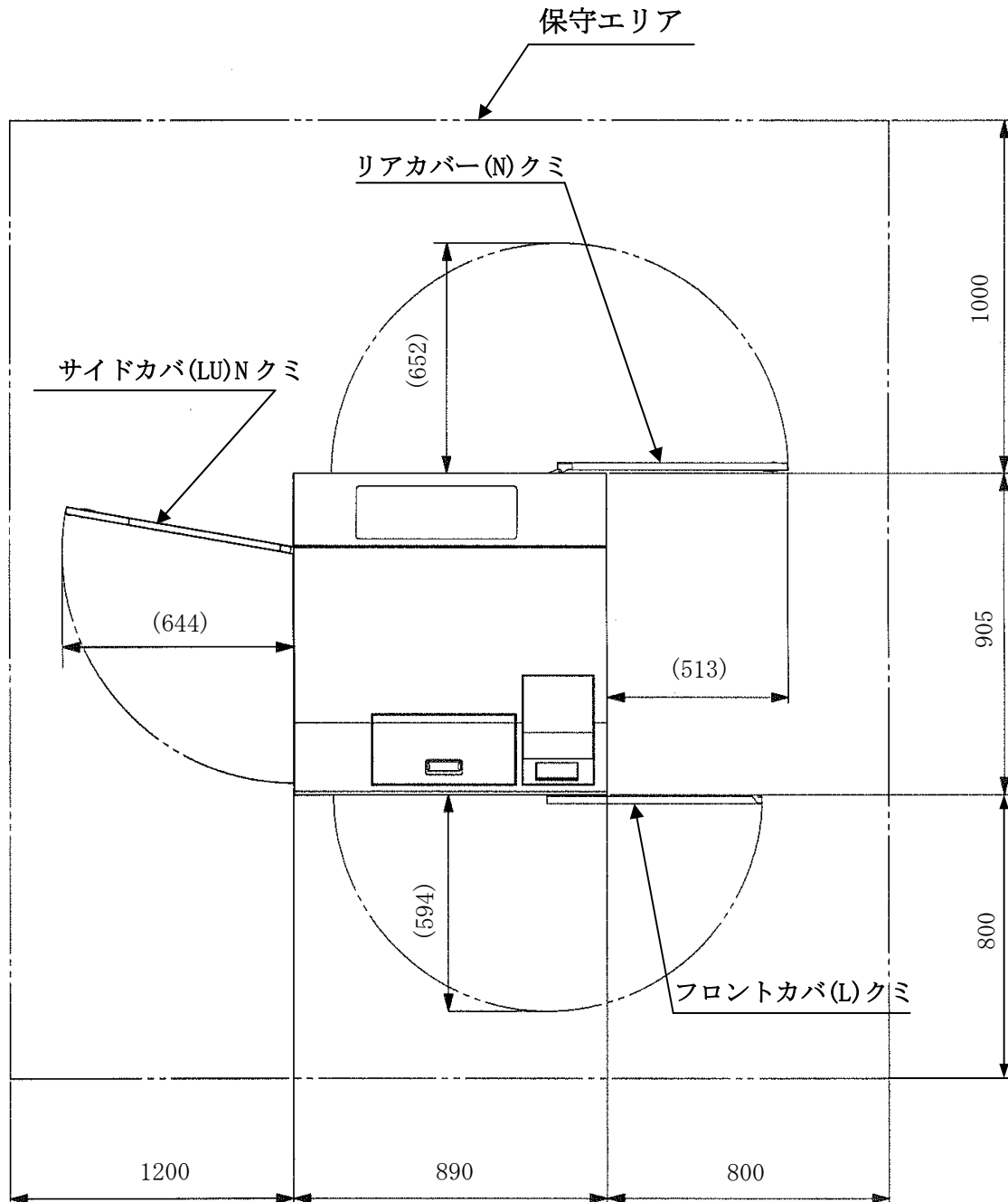


この場合は、以下の処置を実施してから電源を切ってください。

NPROが終了してOCPが「オンライン」を継続して表示するようになるまで待ちます。

1.9 設置に必要なスペース

プリンタを換気の良い場所に設置してください。安全に、かつ効果的にご使用いただくため、下図に従ってプリンタの周辺のスペースを確保してください。



OG	B	01	
----	---	----	--

1.10 機器添付品

プリンタに添付されていますアクセサリ箱の内容は、以下のようになっています。保守員が使用するものも含まれていますので、大切に保管してください。

品名	個数	備考
メンテナンスマニュアル	1	
電源ケーブル	1	
ドラム置き台	2	
現像剤ボトル	1	
ユーザーズガイド	1	本書
CD-ROM (プリンタドライバ)	1	CD-ROMに「ソフトウェア&ユーティリティ」と記載 (プリンタドライバおよびプリンタドライバマニ ュアルが含まれています)
CD-ROM (PrintEasy)	1	オプションの PrintEasy (HT-4558-S001) を購入さ れた場合に付属
CD-ROM (システム S/W アップデートyou CD)	1	CD-ROMに「Axxx upgrade」と記載 (xxx は数字) (保守員用)
ゾウセツフォント(1)CD-ROM	1	オプションフォント (HT-F4558-F101) を購入され た場合に付属
ゾウセツフォント(2)CD-ROM	1	オプションフォント (HT-F4558-F102) を購入され た場合に付属
ゾウセツフォント(3)CD-ROM	1	オプションフォント (HT-F4558-F103) を購入され た場合に付属
JIS2004 セット J (明朝) CD-ROM	1	オプションフォント (HT-F4558-F201) を購入され た場合に付属
JIS2004 セット J (ゴシック) CD-ROM	1	オプションフォント (HT-F4558-F202) を購入され た場合に付属
JIS2004 セット W (明朝) CD-ROM	1	オプションフォント (HT-F4558-F203) を購入され た場合に付属
JIS2004 セット W (ゴシック) CD-ROM	1	オプションフォント (HT-F4558-F204) を購入され た場合に付属
日立書体 (明朝) CD-ROM	1	オプションフォント (HT-F4558-F205) を購入され た場合に付属
日立書体 (ゴシック) CD-ROM	1	オプションフォント (HT-F4558-F206) を購入され た場合に付属
日立書体セット 2 (明朝) CD-ROM	1	オプションフォント (HT-F4558-F207) を購入され た場合に付属
日立書体セット 2 (ゴシック) CD-ROM	1	オプションフォント (HT-F4558-F208) を購入され た場合に付属

品名	個数	備考
印刷用紙(15×11/55kg 紙)	1	プリンタ据付時の動作確認用
アテンションライトクミ	1	オプション(アテンションライト： HT-F4558-120A/150A)付加時に付属
ワンタッチブッシュ	2	オプション(アテンションライト： HT-F4558-120A/150A)付加時に付属
M10 ロックナット	2	オプション(アテンションライト： HT-F4558-120A/150A)付加時に付属
フェライトコア	1	ネットワークケーブルに接続
重送防止ユニット	1	オプション：重送防止ユニット (HT-F4558-120AJ/150AJ) 付加時に付属

OG	B	04	
----	---	----	--

第2章 オペレータ・コントロール・パネル

2.1 この章の内容

この章では、オペレータ・コントロール・パネル(OCP)に関する以下の事項を説明します。

- OCP の概要
- メインメニューの使い方
- プリンタ設定メニューの使い方
- 環境設定メニューの使い方
- レポート印刷メニューの使い方
- 印刷ジョブ一覧メニューの使い方
- パスワード管理
- メニュー構成
- 用紙サイズ・印刷位置のプリセット

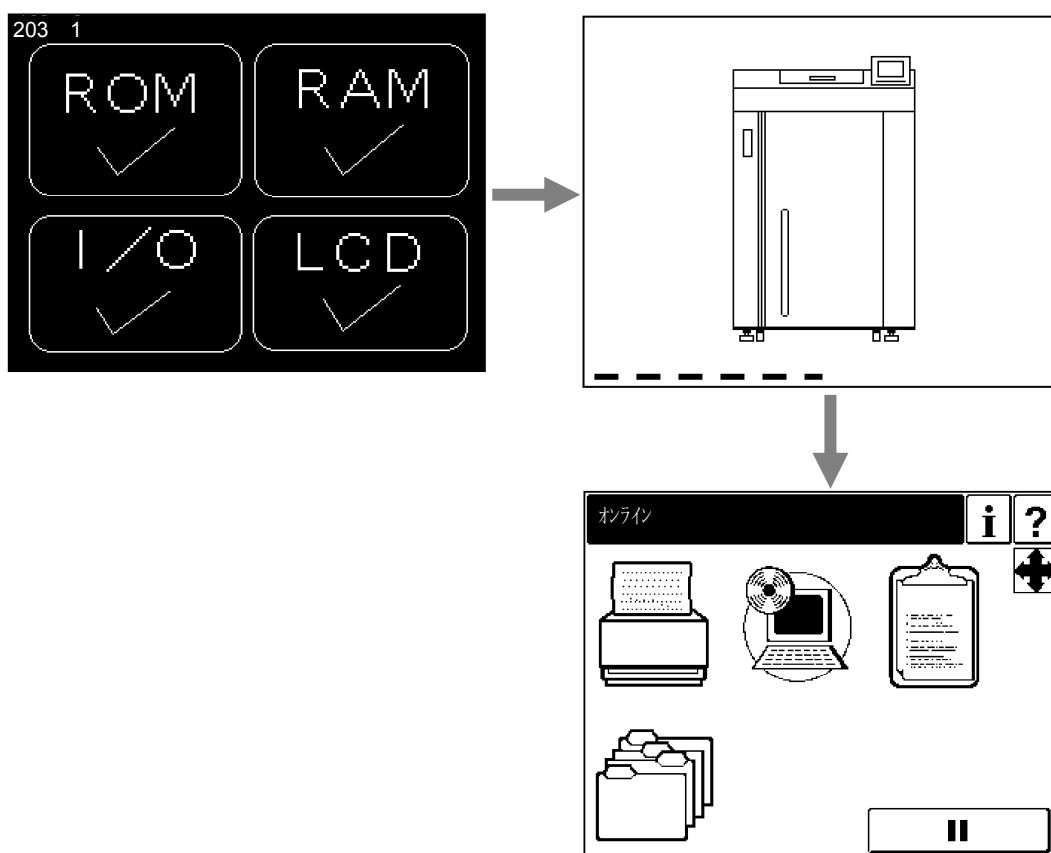


OG	B	01	
----	---	----	--

2.2 OCP の概要

OCP は、本プリンタの特性や機能を利用するための物理的なインターフェースとなる、タッチパネル・ディスプレイです。ユーザは OCP を用いてプリンタの印刷オプションを設定したり、印刷ジョブの状態をチェックしたり、プリンタの状態を確認することができます。さらに、ネットワーク管理者がプリンタの動作環境を設定したり、保守員がプリンタのメンテナンスを行う時にも、OCP を使用します。

プリンタに電源を入れて起動処理が実行される間、OCP は以下に示す一連の画面を自動的に表示し、最後に「メインメニュー」という名の共通メニュー画面に「オンライン」または「現在のエラー状態など」のメッセージを表示します。



典型的なメニュー画面は、ステータス・バーといくつかのアイコン・ボタンによって構成されます。ステータス・バーは表示のみの構成要素で、プリンタの状態や個別メニュー画面の機能を表します。各アイコン・ボタンは、触れることによって所定の機能や別の画面への表示切替を実行します。

2.3 メインメニューの使い方

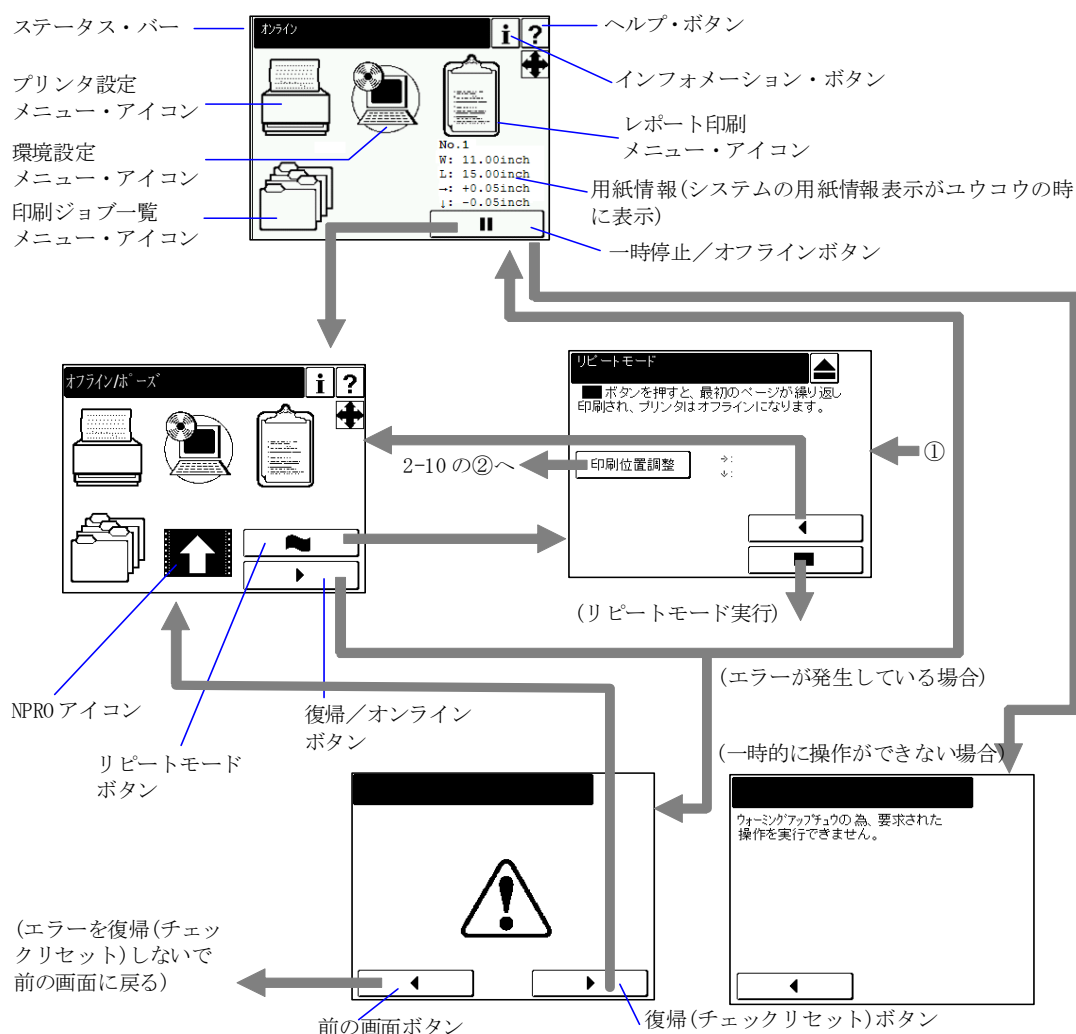
メインメニューは各種操作の基点となるメニュー画面で、プリンタの起動完了時に表示されます(このとき、ステータス・バーには「オンライン」と表示されます)。以下の動作を実行できます。

- 所望のメニュー・アイコンを押すことにより、プリンタ設定メニュー、環境設定メニュー、レポート印刷メニュー、または印刷ジョブ一覧メニューを選択する。

留意事項:

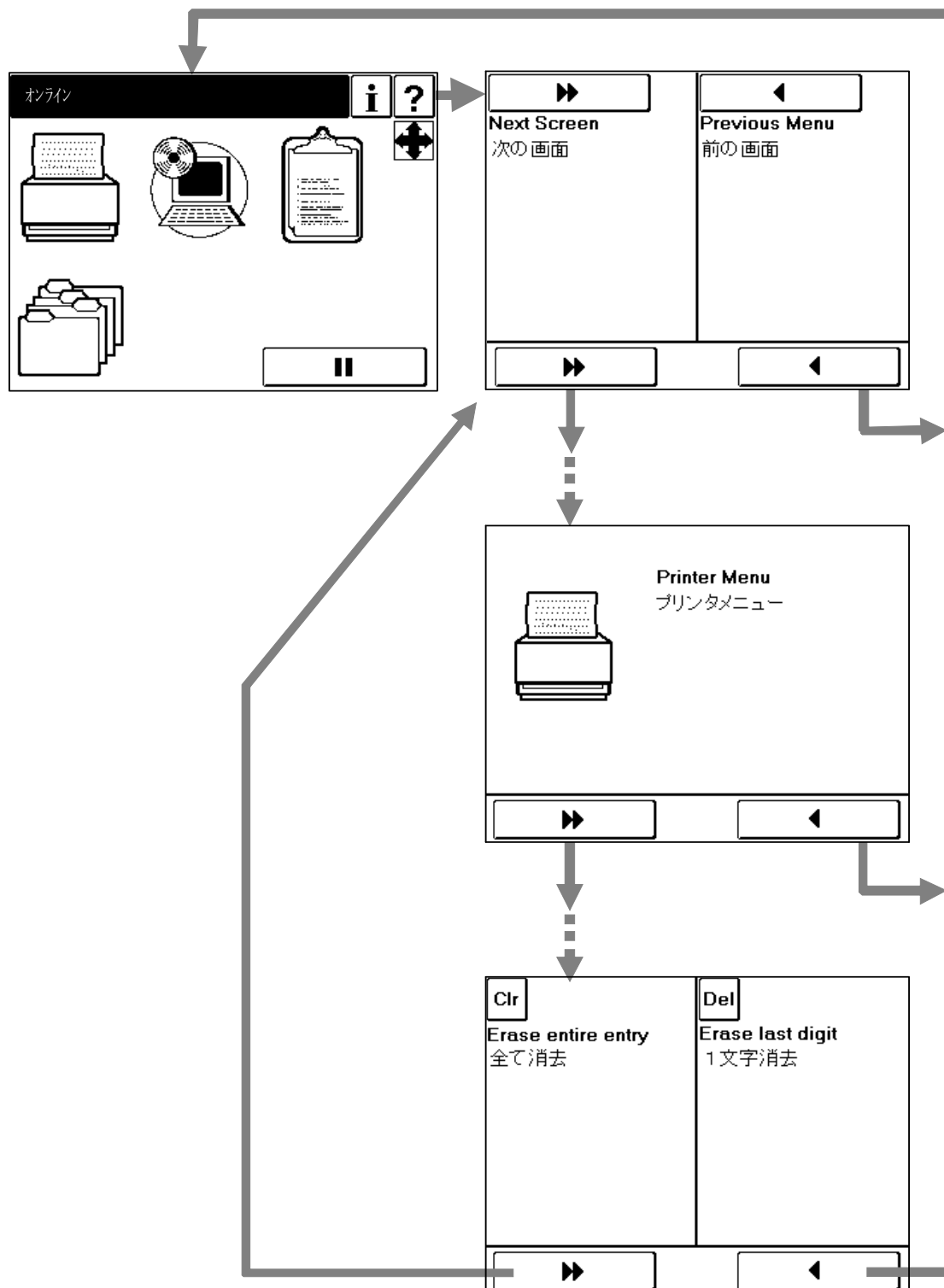
印刷処理実行中にこれらのメニューを選択すると、印刷処理が一時停止します。

- NPRO アイコンを押すことにより、未定着ページの定着及びスタック処理を実行する。
- 「**?**」ボタンを押すことにより、アイコン・ボタンのヘルプ画面を参照する。
- 「**i**」ボタンを押すことにより、プリンタに関する各種情報を得る。





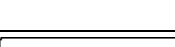


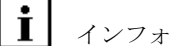
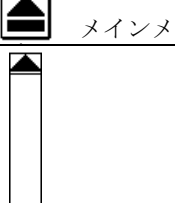
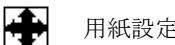
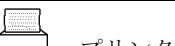



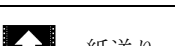
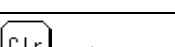
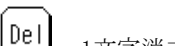
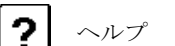



2.3.1 アイコン・ボタンのヘルプ画面を参照する方法

「**?**」ボタンを押すことにより、メインメニューやその他のメニューないしサブメニュー画面で用いられるアイコン・ボタンのヘルプ画面を呼び出すことができます。

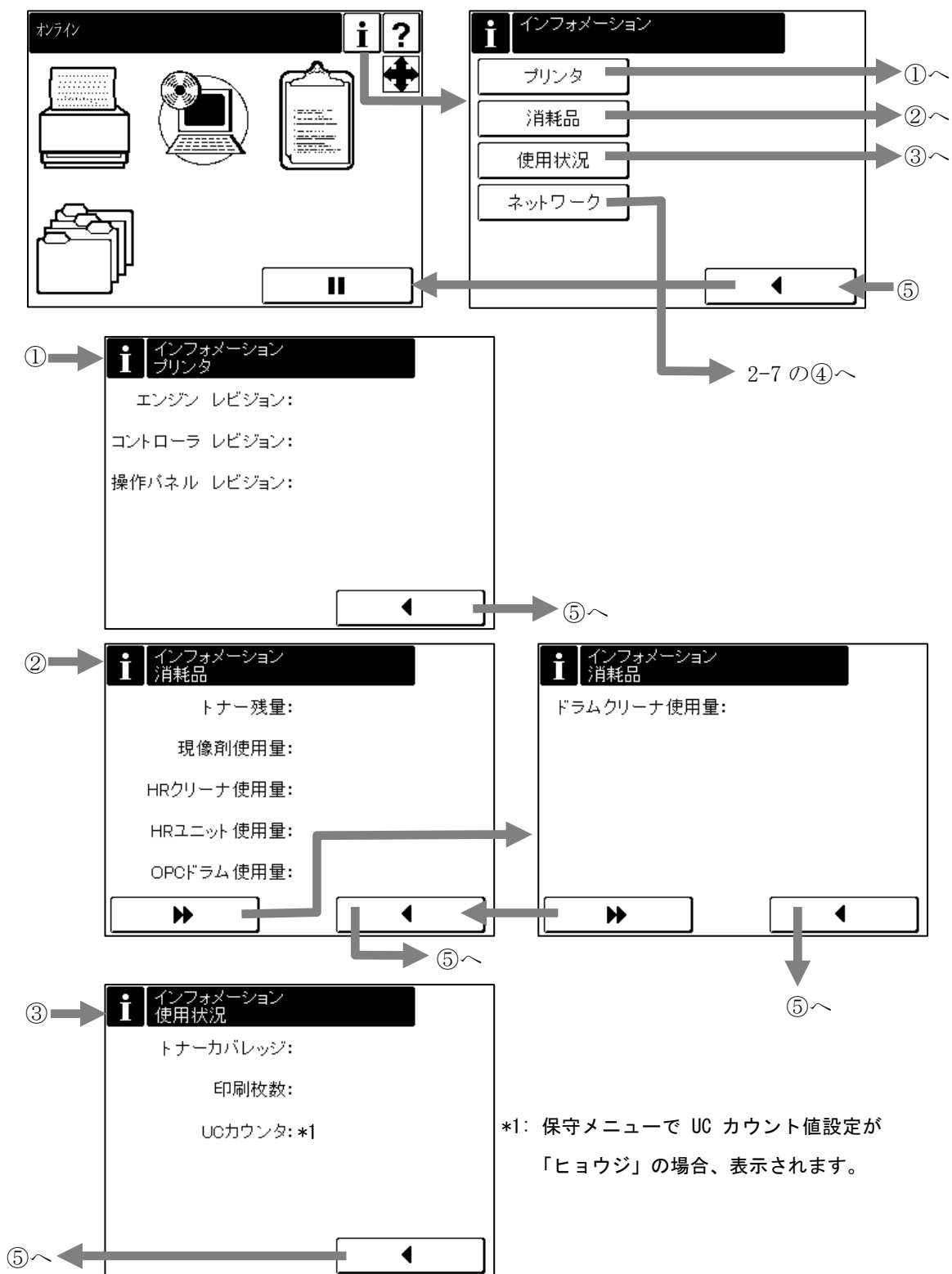


下表にヘルプの内容を備考と共に示します。

ヘルプの内容	備考
 次の画面	同じ画面に表示できなかった情報やメニューボタンが表示されます。
 前の画面	ひとつ前の画面が表示されます。
 一時停止/オフライン	プリンタが印刷中の時は印刷を一時停止します。プリンタがオンライン状態の時はプリンタをオフライン状態にします。
 復帰/オンライン	プリンタに一時停止中の印刷ジョブがある時は印刷を再開します。プリンタがオフライン状態の時はプリンタをオンライン状態にします。
 確定	選択した項目や入力した数値が有効になります。
 リピートモード	最初のページを繰り返し印刷した後、プリンタをオフライン状態にします。2.4.1節における印刷位置調整も行うことができます。
 インフォメーション	プリンタや消耗品についての情報が表示されます。
 メインメニュー	メインメニュー画面が表示されます。
 スクロールバー	印刷ジョブ一覧メニューにおいて、印刷ジョブリストをスクロールさせます。
 用紙設定	用紙設定メニューが表示されます。
 プリンタメニュー	所望のメニュー画面を選択すると共に、プリンタをオフライン状態にし、印刷中のジョブがあれば一時停止します。
 印刷ジョブメニュー	
 レポートメニュー	
 環境設定メニュー	
 紙送り	このアイコンボタンは、プリンタがオフライン状態の場合のみ選択でき、かつ有効です。
 全て消去	入力中の数値が全て消去されます。
 1文字消去	入力した数値が1文字消去されます。
 ヘルプ	このボタンを押すと、その画面についての簡単なヘルプ画面が表示されます。
 テキストボックス	このアイコンを押すと、そのテキストボックスに設定する数値を入力するためのテンキー入力画面が表示されます。

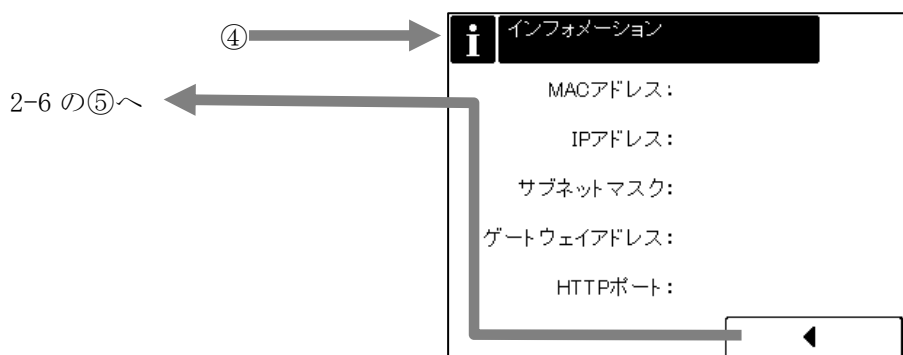
2.3.2 プリンタに関する各種情報を得る方法

「**i**」ボタンを押すことにより、消耗品やネットワーク設定等、プリンタに関する各種情報を得ることができます。



(次のページに続く)

(前のページから続く)



下表に、得られる情報の内容を備考と共に示します。

情報の内容	備考
プリンタ エンジンレビジョン: コントローラレビジョン: 操作パネルレビジョン:	「プリンタ」サブメニューは、エンジンファームウェアとコントローラソフトウェア及び操作パネル(OCF)ファームウェアの各レビジョンを示します。
消耗品 トナー残量: 現像剤使用量: HRクリーナ使用量: HRユニット使用量: OPCドラム使用量: ドラムクリーナ使用量:	「トナー残量」は、アリ/スクナイ/ナシの3段階で状態が表示されま す。ナシ状態の時は、トナーを補給し、廃トナーボトルを交換してくだ さい。 その他の消耗品は “xxx/yyy k” の形式で表示され、“xxx” は現在ま での使用値、“yyy” は最大使用可能値、“k” は単位を表します。現 在までの使用値が最大使用可能値に到達した時は、当該消耗品を交換し てください。
使用状況 トナーカバレッジ: 印刷枚数: UCカウンタ:	「トナーカバレッジ」は、当月に印刷した全ページの平均印刷密度を示 します(工場出荷時は毎月1日に初期化されます)。印刷密度とは、用紙 の全面積に占めるトナー使用面積の比率を意味します。「印刷枚数」は 印刷した枚数を11インチ長の用紙に換算して表示します。 「UCカウンタ」は保守メニューでUCカウント値設定が「ヒョウジ」の場 合表示されます。UCカウンタとは100フィート印刷するごとに1増加する カウンタを意味します。
ネットワーク MACアドレス: IPアドレス: サブネットマスク: ゲートウェイアドレス: HTTPポート:	「ネットワーク」サブメニューは、ネットワーク・インターフェースの 設定を表示します。

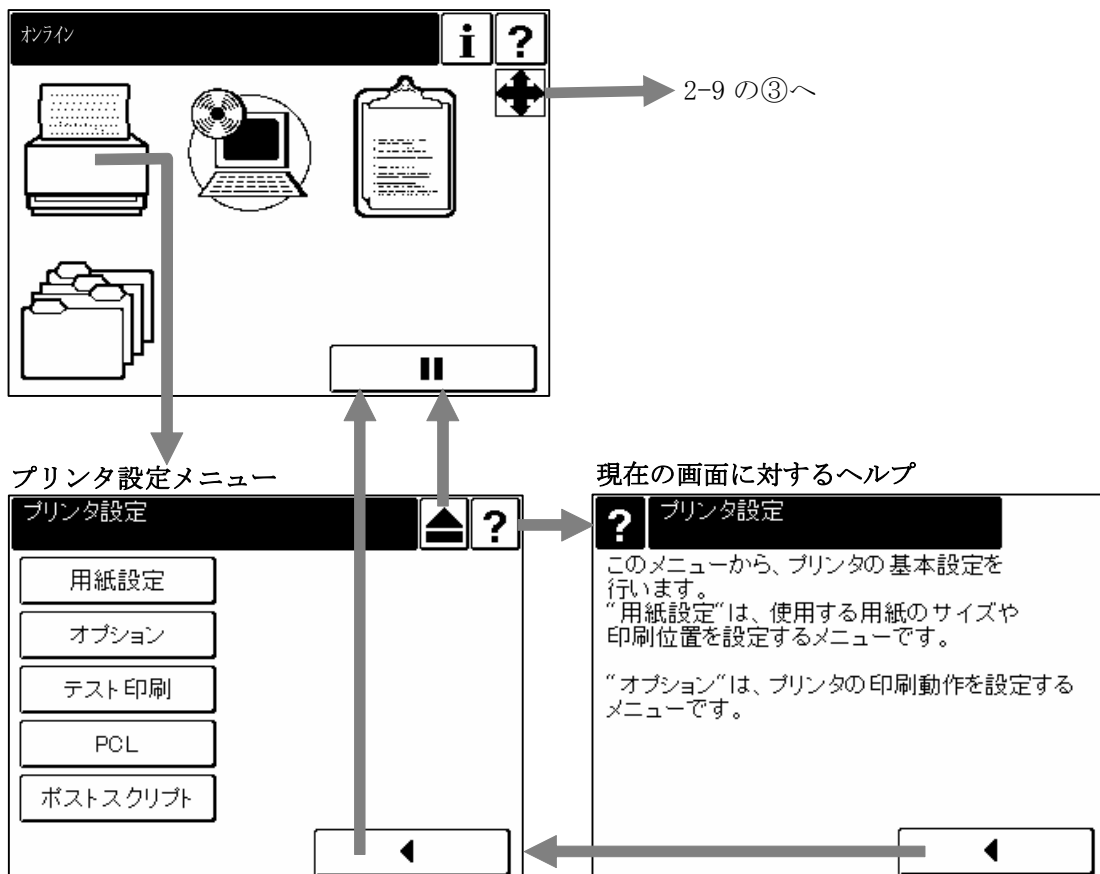
2.4 プリンタ設定メニューの使い方

プリンタ設定メニューにより、プリンタの構成に関するサブメニューにアクセスできます。

- 用紙設定: 用紙サイズ、印刷位置調整、プリセット値指定、プリセット値登録。
- オプション: ジャムリカバリ、ウェイトタイムアウト、LPD キューイング、NPRO 選択等。
- テスト印刷: テストパターンの印刷。(一種類)
- PCL: PCL 印刷の設定。フィックスオリエンテーション、2-UP、第2 ページオフセット。
- ポストスクリプト: PostScript 印刷の設定。エラー印刷、ベストフィット、ジョブタイムアウト、正方形イメージ方向、ハーフトーン濃度、PS ウェイトタイムアウト、180 度回転。本メニューは PostScript がインストールされているモデルのみ有効です。

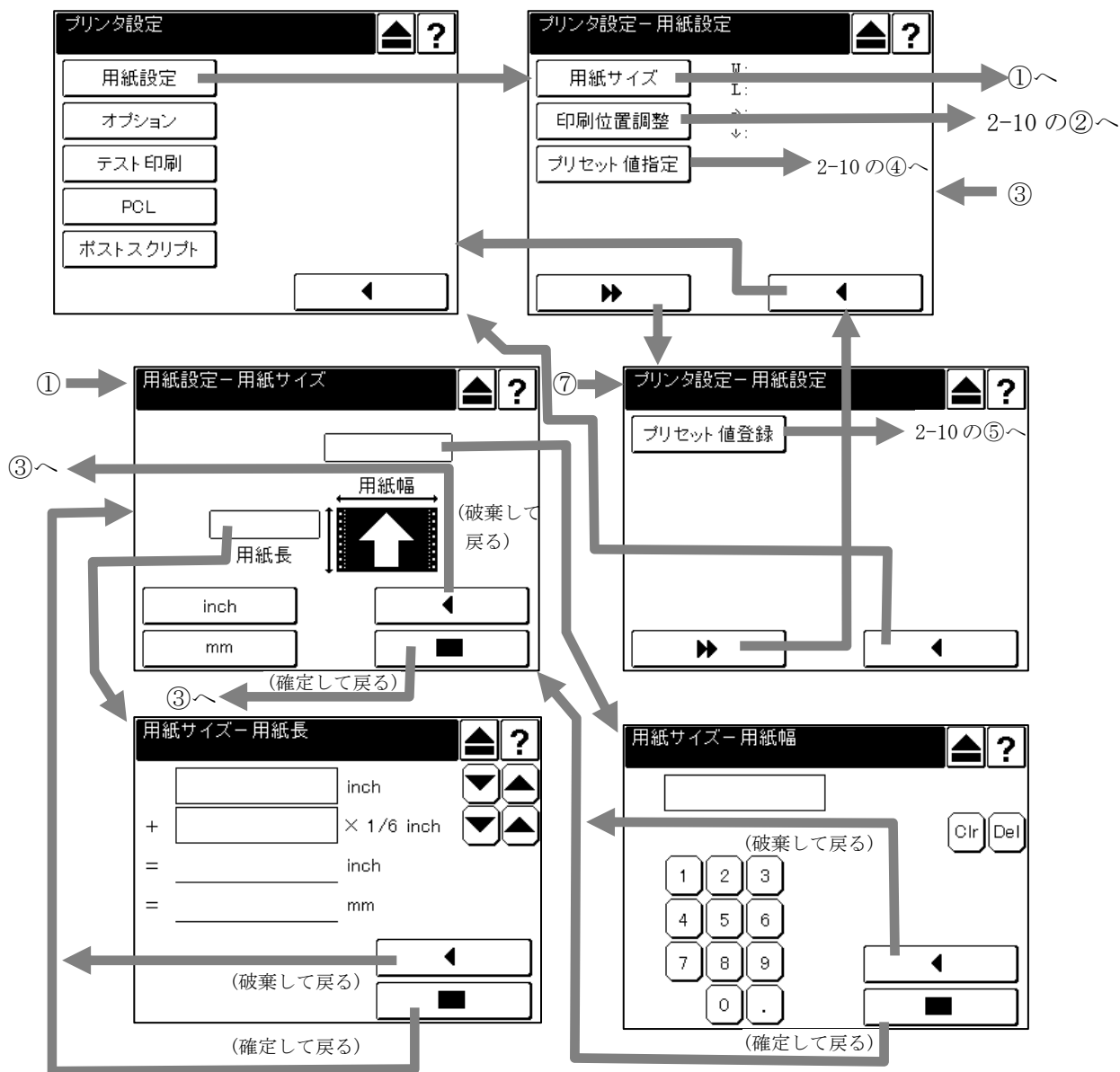
メインメニューとは異なり、「**?**」ボタンを押すと、現在の画面に対するヘルプが呼び出されます。

メインメニュー



2.4.1 「用紙設定」サブメニューの使い方

「用紙設定」ボタンを押すことにより、用紙サイズと印刷位置調整を設定する一連の画面の先頭画面が表示されます。以降、ヘルプを参照しながら各項目を設定できます。

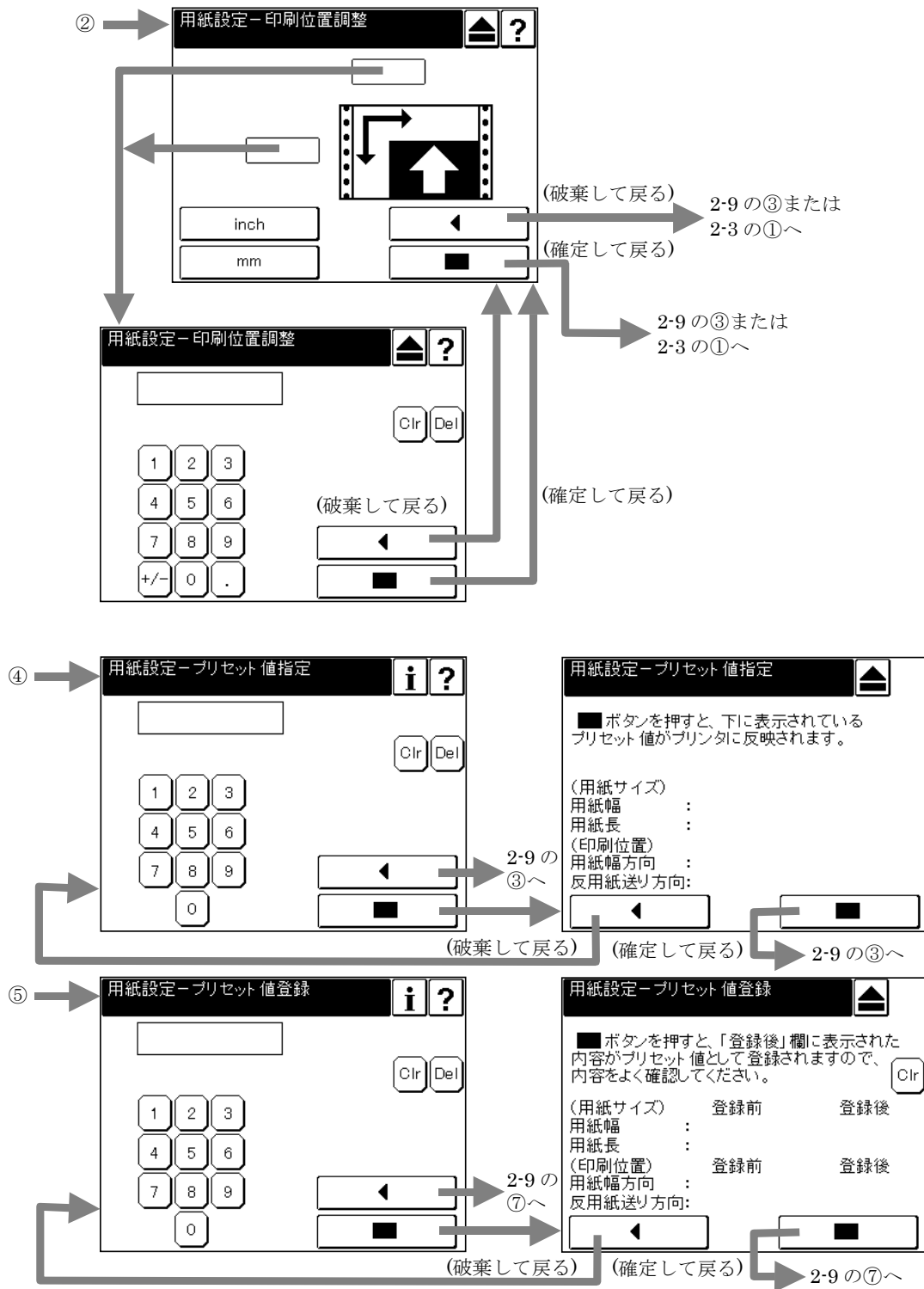


(次のページに続く)

留意事項:

印刷データがプリンタ内に残っている状態で用紙サイズを変更後に印刷を継続した場合、「ヨウジイグ マチガ ッタイマ」を OCP に表示します。印刷データがプリンタ内に残っている場合は、印刷データを削除してから用紙サイズを変更してください。

(前のページから続く)

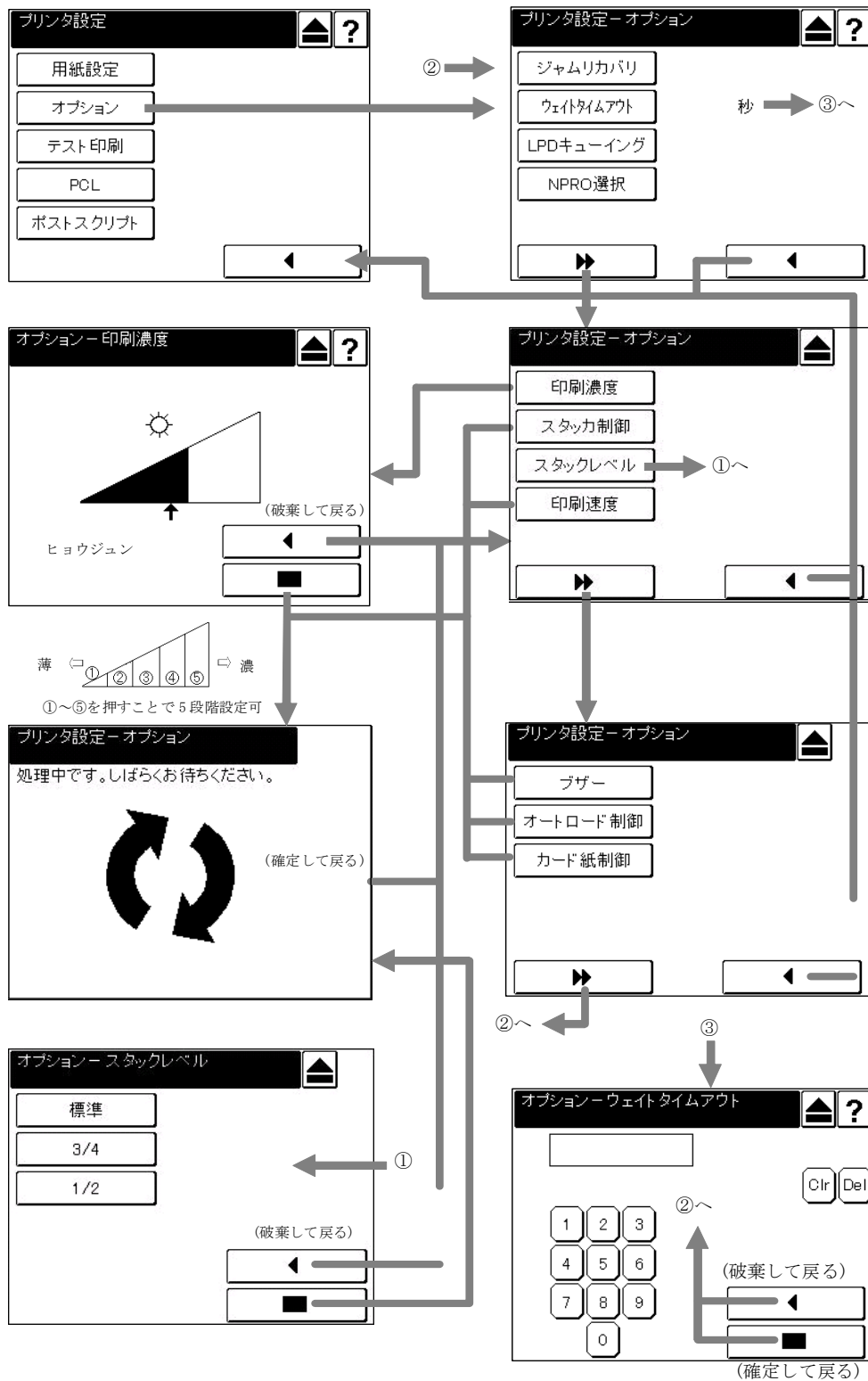


下表に、設定内容を備考と共に示します。

設定内容	備考
用紙サイズ (用紙幅) inch mm (用紙長) xxx inch + yy x 1/6 inch = zzz mm	用紙幅： 表示されたテンキーを使って用紙幅を設定できます。 設定可能な範囲は以下の通りです。 <ul style="list-style-type: none"> ● 単位inch: 6.50～18.00、増減単位は0.01 ● 単位mm: 165.1～457.2、増減単位は0.1 用紙長： 初期値は、現在選択されている用紙のサイズを示します。上向き矢印または下向き矢印のボタンに触れることにより、1/6inch単位で値を増減できます。mm単位の表示は、1/6inch単位を換算した値を表示しています。 設定可能な範囲は以下の通りです。 <ul style="list-style-type: none"> ● 単位inch: 3.00～14.00 ● 単位mm: 76.2～355.6
印刷位置調整 (上マージン) inch mm (左マージン) inch mm	表示されたテンキーを使って上マージンと左マージンを設定できます。設定可能な範囲は以下の通りです。 <ul style="list-style-type: none"> ● 単位inch: -0.16～+0.16、増減単位は0.01 ● 単位mm: -4.23～+4.23、増減単位は0.01
プリセット値指定 1～99	用紙サイズ、印刷位置のプリセット値を99通り指定できます。指定方法の詳細は2.10節「用紙サイズ・印刷位置のプリセット」を参照してください。
プリセット値登録 1～99	用紙サイズ、印刷位置のプリセット値を99通り登録できます。指定方法の詳細は2.10節「用紙サイズ・印刷位置のプリセット」を参照してください。

2.4.2 「オプション」サブメニューの使い方

「オプション」ボタンを押すことにより、ジャムリカバリ、ウェイトタイムアウト、LPD キューイング、NPRO 選択、印刷濃度等を設定する一連の画面の先頭画面が表示されます。以降、ヘルプを参照しながら各項目を設定できます。



下表に、設定内容を備考と共に示します。

設定内容	備考
ジャムリカバリ ユウコウまたは ムコウ(トグル)	工場出荷時は「ユウコウ」に設定されています。有効時、用紙ジャムにより正しく印刷されなかったページは、ジャムの回復後再印刷されます。
ウェイトタイムアウト sss 秒	受信中のデータ送信が中断された場合、最終データ受信から次のデータ受信まで待つ時間(秒)を設定できます。本設定時間までに次のデータを受信しない場合、そのジョブはキャンセルされ、受信したデータ分の印刷を行います。工場出荷時は「300」に設定されています。表示されたテンキーを使って、値を変更できます。変更可能なタイムアウト値は、0 (タイムアウトなし) から 999 秒です。PJM付きジョブを、スプーリングせずに受信した場合、タイムアウト値は設定値の10倍もしくは300秒のどちらか長いほうになります。
LPD キューイング ユウコウまたは ムコウ(トグル)	「ユウコウ」にすると、プリンタを複数のPCから共用できるようになります。 工場出荷時の設定は「ムコウ」です。
NPRO 選択 ユウコウまたは ムコウ(トグル)	「ユウコウ」にすると、メインメニューでNPROアイコン押下時に、NPROの種類を選択できるようになります。 工場出荷時の設定は「ムコウ」です。
印刷濃度 ウスイ、ヤヤウスイ、 ヒョウジュン、ヤヤコイ、 コイ	「ウスイ」、「ヤヤウスイ」、「ヒョウジュン」、「ヤヤコイ」、「コイ」の5段階で設定できます。三角形を押すと濃度を変更できます。工場出荷時の設定は「ヒョウジュン」です。
スタッカ制御 ユウコウまたは ムコウ(トグル)	工場出荷時は「ユウコウ」に設定されています。スタッカテーブル操作及びスイングフィン制御の有効・無効の設定を行います。
スタックレベル 標準 3/4 1/2	工場出荷時は「標準」に設定されています。スタッキングレベルの設定を行います。切り替えは3段階です。
印刷速度 *1 ヒョウジュンまたは テイソク(トグル)	工場出荷時は「ヒョウジュン」に設定されています。電源を切ると、「ヒョウジュン」に戻ります。 「ヒョウジュン」: 100[PPM]*2, 「テイソク」: 75[PPM]*2
ブザー ユウコウまたは ムコウ(トグル)	工場出荷時は「ユウコウ」に設定されています。プリンタ本体のブザーの設定です。操作パネルのブザーとは異なりますので、ご注意ください。
オートロード制御 ヒョウジュンまたはヨウシ サクゲン(トグル)	工場出荷時は「ヒョウジュン」に設定されています。用紙の自動装填方法を設定する機能です。*3

(次のページに続く)

(前のページから続く)

設定内容	備考
カード紙制御 ユウコウまたは ムコウ(トグル)	工場出荷時は「ムコウ」に設定されています。カード紙を使用する場合に設定する機能です。カードの剥れやスタッカ部での用紙ジャムを低減できます。尚、本機能が「ユウコウ」になっている場合、一旦印刷が停止してから再度印刷を開始するまでの時間が多少長くなります。*4 エンジンファームウェアが下記以降でなければ、表示されません。 HT-4558-120A : 4 HT-4558-150A : 5

*1 : HT-4558-120A では表示されません。

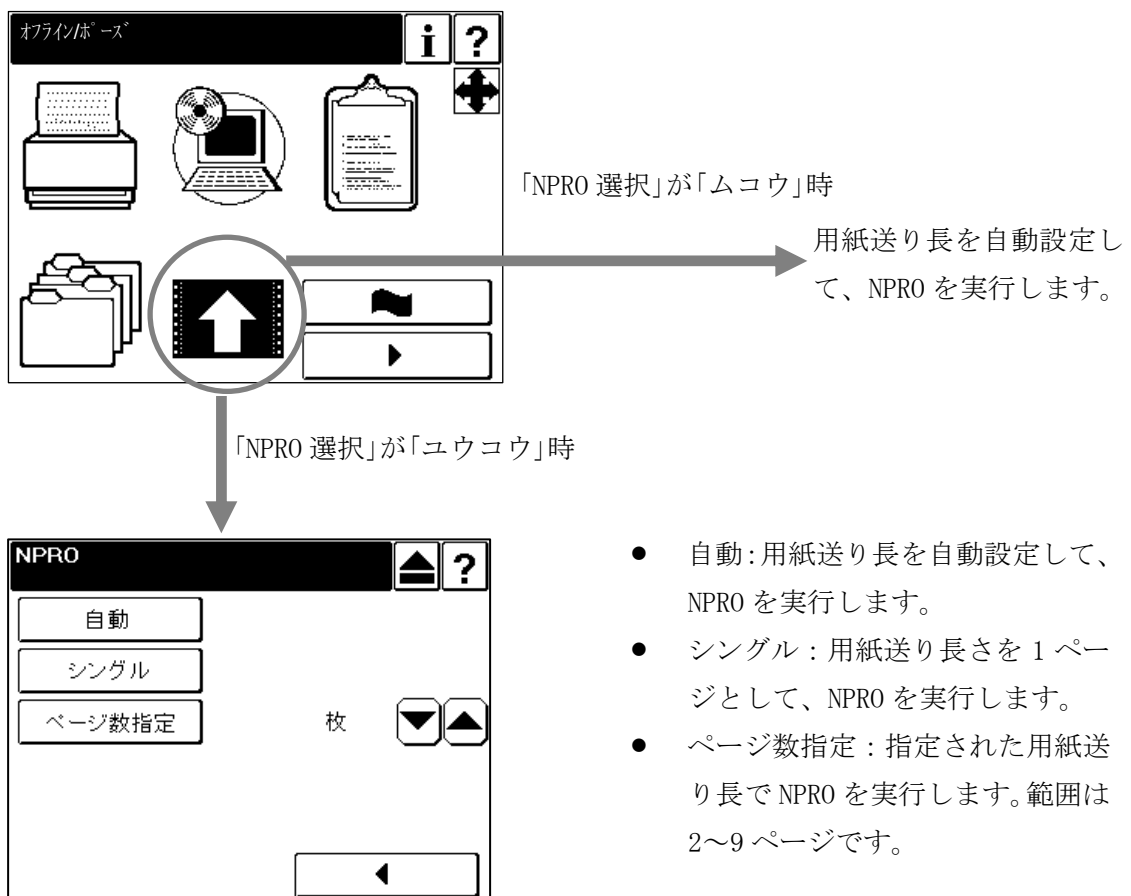
*2 : レター、1up 換算

*3 : 「ヨウシサクゲン」に設定した場合には、一部制約事項がありますので付録 G 「オートロード制御について」を参照してください。

*4 : 「ユウコウ」に設定した場合には、一部制約事項がありますので付録 H 「カード紙制御について」を参照してください。

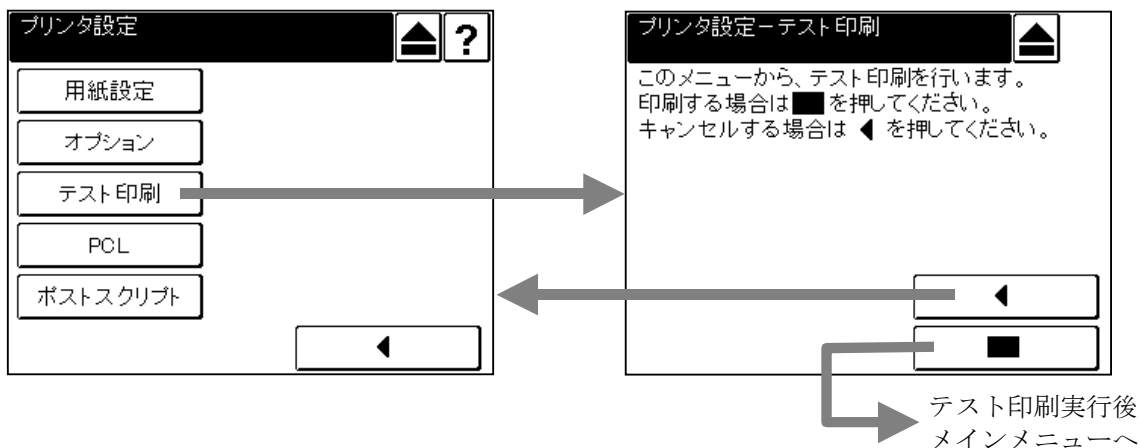
2.4.2.1 NPRO 選択

NPRO 選択の設定により、メインメニュー下の NPRO アイコン押下時の動作は以下のようになります。



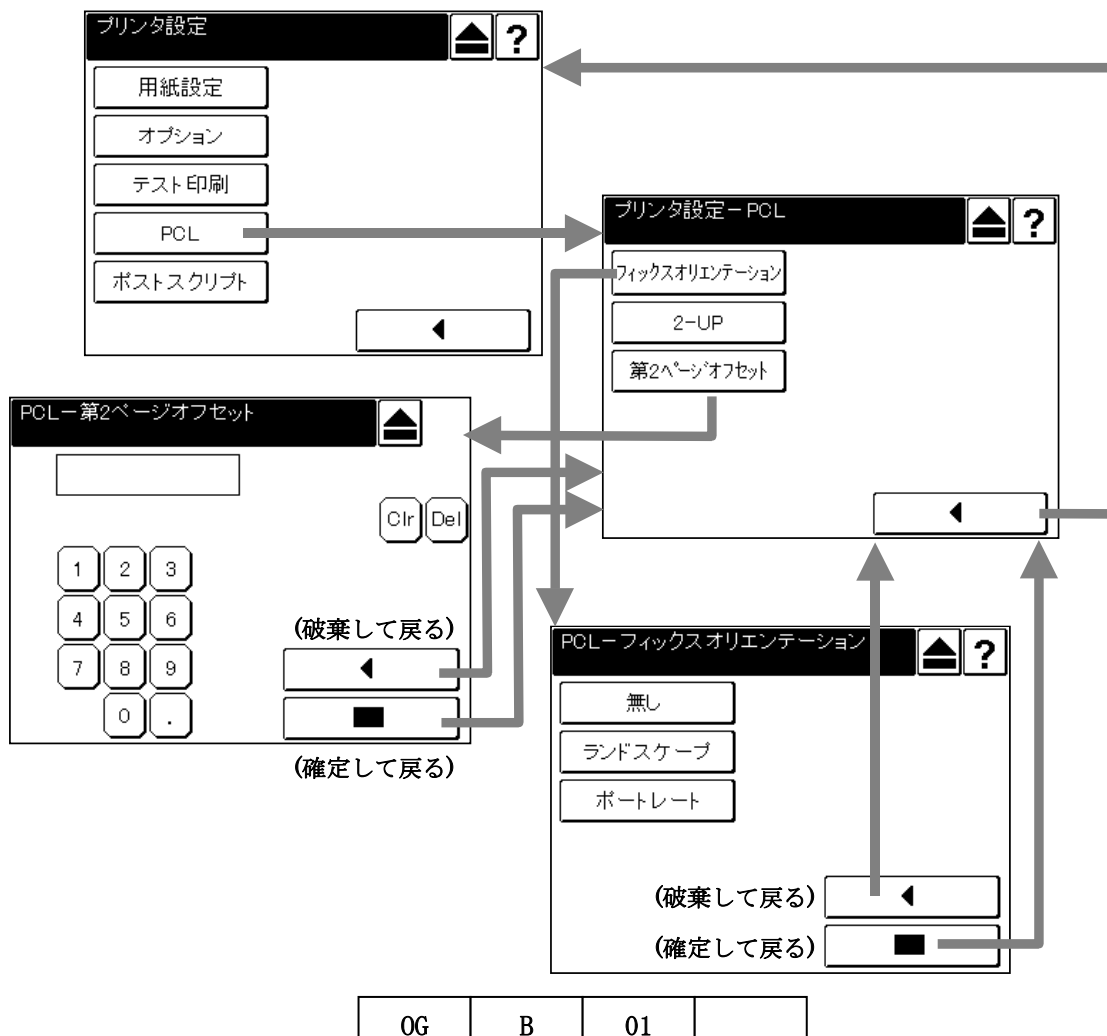
2.4.3 「テスト印刷」サブメニューの使い方

「テスト印刷」ボタンを押すことにより、テスト印刷を実行する画面が表示されます。印刷されるテストパターンは付録D「テスト印刷」を参照してください。



2.4.4 「PCL」サブメニューの使い方

「PCL」ボタンを押すことにより、PCL印刷の構成オプション(用紙方向と1枚当り2ページ印刷)を設定する一連の画面の先頭画面が表示されます。以降、ヘルプを参照しながら各項目を設定できます。

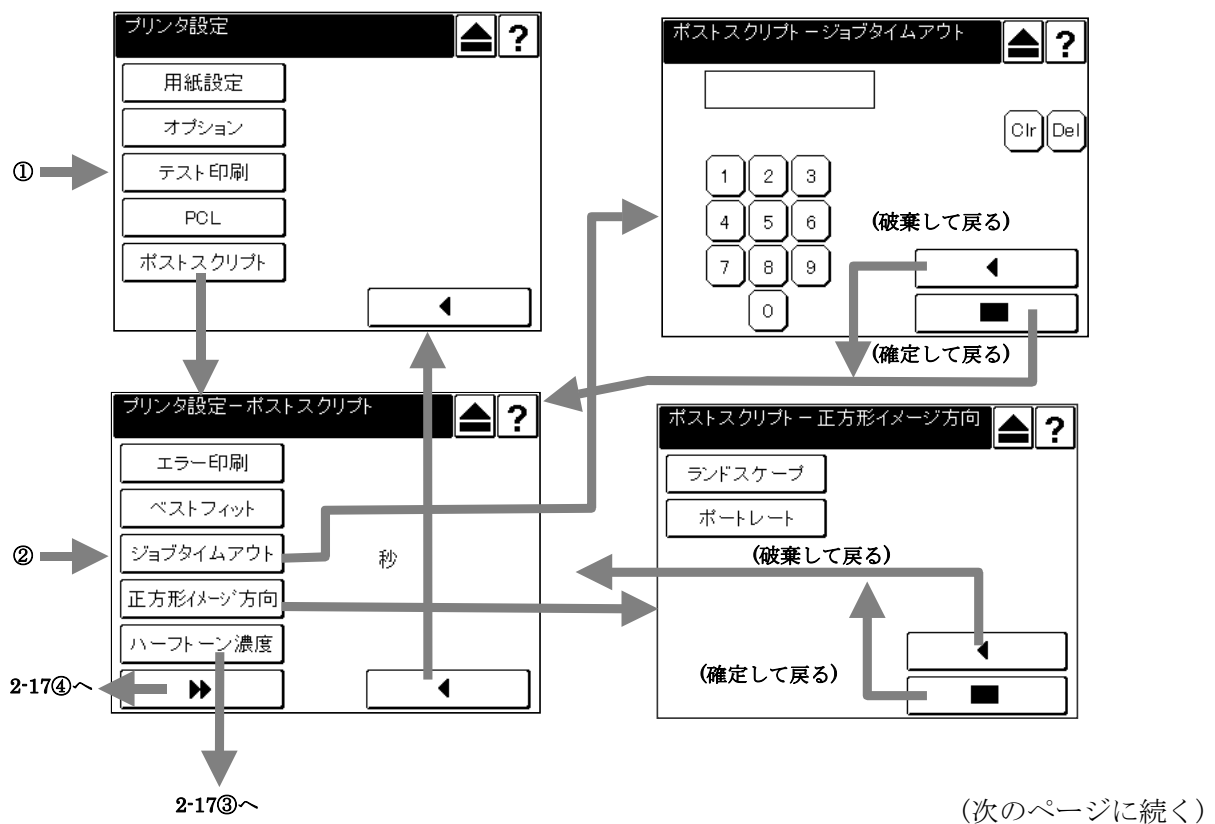


下表に、設定内容を備考と共に示します。

設定内容	備考
フィックスオリエンテーション <input type="button" value="無し"/> <input type="button" value="ランドスケープ"/> <input type="button" value="ポートレート"/>	「無し」を選択すると、印刷ジョブが指定する用紙の向きを通り印刷します。「ランドスケープ」または「ポートレート」を選択すると、印刷ジョブが指定する用紙の向きにかかわらず、選択した向きで印刷します。 工場出荷時の設定は「無し」です。
<input type="button" value="2-UP"/> ユウコウまたはムコウ(トグル)	「ユウコウ」が設定されていると、2-UP、つまり1枚当り2ページで印刷します。工場出荷時の設定は「ムコウ」です。
<input type="button" value="第2 ページオフセット"/> inch	2-UP印刷時における第2ページのオフセットを変更します。変更可能なオフセット値は「0.0」～「1.0」インチ、増減単位は0.1インチです。 工場出荷時の設定は「0.0」インチです。

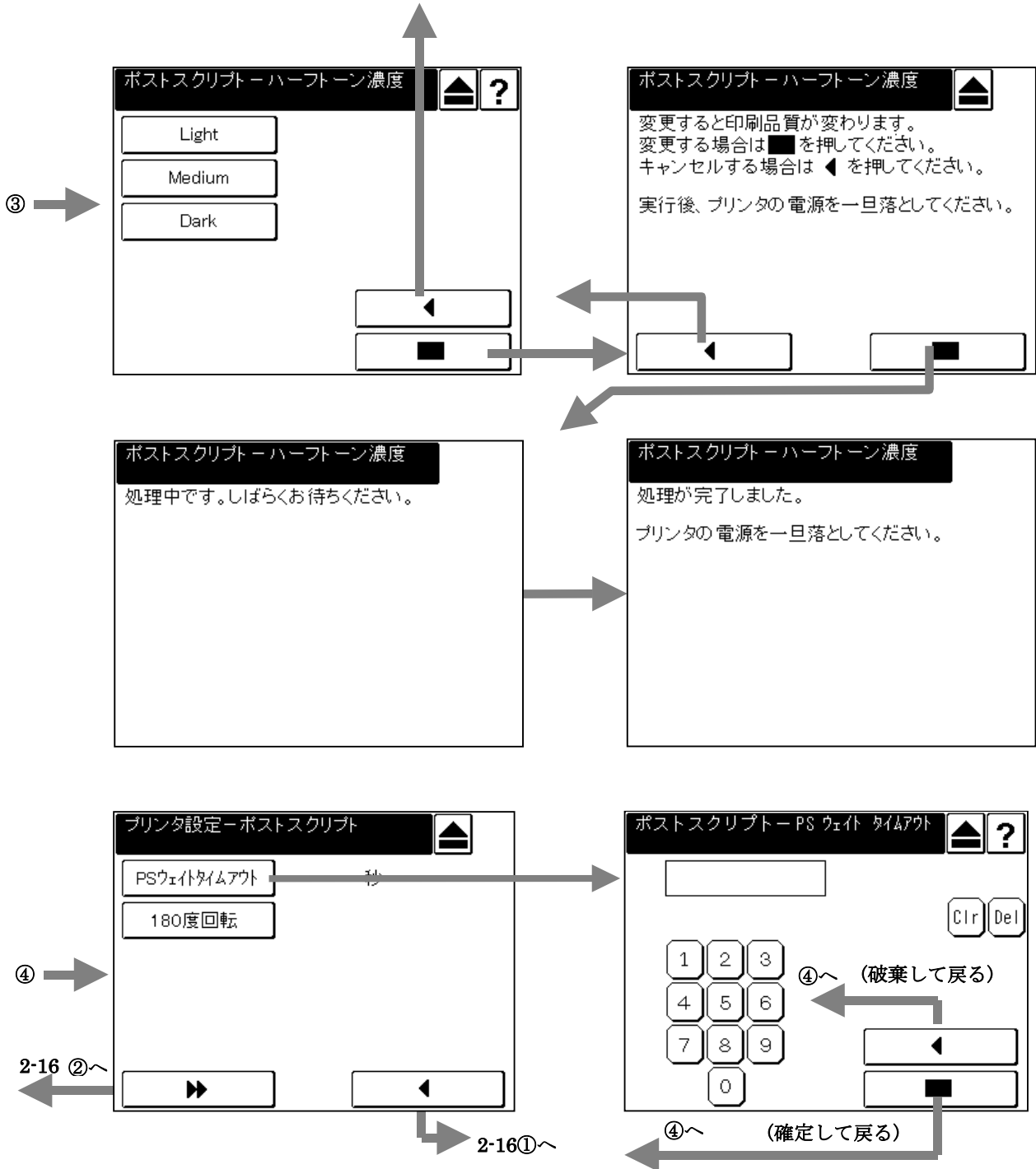
2.4.5 「ポストスクリプト」サブメニューの使い方

「ポストスクリプト」ボタンを押すことにより、PostScript 印刷の構成オプション（エラー印刷、ベストフィット、ジョブタイムアウト、正方形イメージ方向、ハーフトーン濃度、PS ウェイトタイムアウト、180 度回転）を設定する一連の画面の先頭画面が表示されます。以降、ヘルプを参照しながら各項目を設定できます。本メニューは PostScript がインストールされているモデルのみ有効です。



(前のページから続く)

2-16②へ



下表に、設定内容を備考と共に示します。

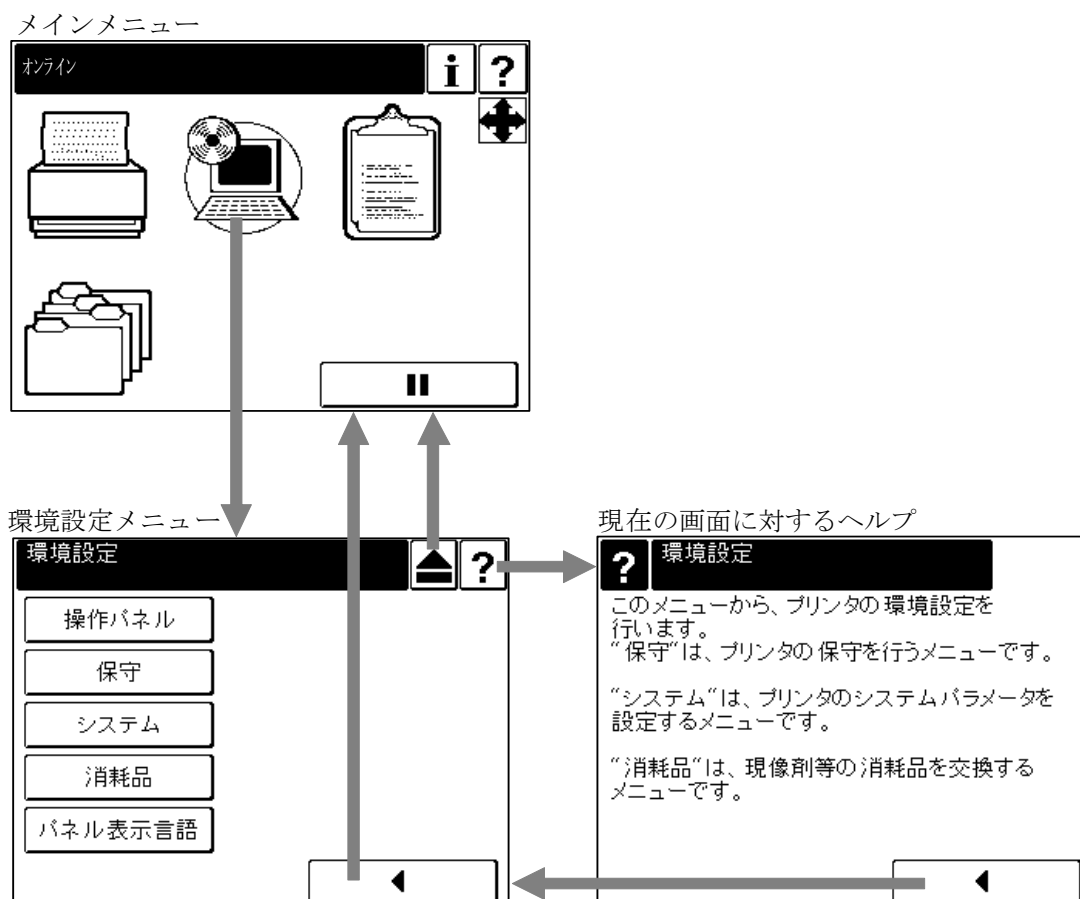
設定内容	備考
<div style="border: 1px solid black; padding: 2px; display: inline-block;">エラー印刷</div> ユウコウまたは ムコウ(トグル)	PostScriptエラーが発生したときのプリンタの動作を選択できます。 PostScriptエラー発生時、そのジョブはキャンセルされ印刷されません。 工場出荷時は「ユウコウ」に設定されています。「ユウコウ」の場合、 PostScriptエラーが発生すると、エラー情報を印刷します。この情報は PostScriptエラーのデバッグに役立つ可能性があります。この設定が「ム コウ」の場合はエラーページを印刷しません。
<div style="border: 1px solid black; padding: 2px; display: inline-block;">ベストフィット</div> ユウコウ/ムコウ/ ムコウ(OCPユウセン)	工場出荷時は「ムコウ」に設定されています。「ユウコウ」の場合、指定さ れた用紙より印刷する用紙サイズが小さい場合は、印刷イメージを印刷す る用紙サイズに合わせて印刷します。また、指定された用紙より印刷する 用紙が大きい場合は、印刷イメージはそのままの大きさと印刷されます。 この設定が「ムコウ」の場合、指定された用紙をセットするようにOCPにメ ヂッセージを表示します。 特定のアプリケーションとベストフィット「ユウコウ」の組み合わせにお いて、描画方向を90度回転して印刷する場合、「ムコウ (OCPユウセン)」に 設定することで90度回転せずに印刷可能なことがあります。この様な場合 以外はベストフィットを「ムコウ (OCPユウセン)」に設定しないでくださ い。
<div style="border: 1px solid black; padding: 2px; display: inline-block;">ジョブタイムアウト</div> sss 秒	工場出荷時は「0」(タイムアウトなし) に設定されています。プリンタが 印刷ジョブの処理にかかる時間(秒)を設定できます。設定したタイムア ウト時間までにジョブが処理できない場合、そのジョブはキャンセルされ印 刷されません。設定可能範囲は 0 (タイムアウトなし) および 15~999 秒 です。
<div style="border: 1px solid black; padding: 2px; display: inline-block;">正方形イメージ方向</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; display: inline-block; margin: 2px;">ランドスケープ</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; display: inline-block; margin: 2px;">ポートレート</div>	このメニューでPostScript印刷時の正方形イメージ(用紙長=用紙幅)の描 画方向を設定します。工場出荷時の設定は「ポートレート」です。 「ランドスケープ」 <div style="display: inline-block; vertical-align: middle; text-align: center;"> </div> 「ポートレート」 元のイメージ：A
<div style="border: 1px solid black; padding: 2px; display: inline-block;">ハーフトーン濃度</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; display: inline-block; margin: 2px;">Light</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; display: inline-block; margin: 2px;">Medium</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; display: inline-block; margin: 2px;">Dark</div>	このメニューでハーフトーン濃度の設定を行います。ただし、保守メニ ューでハーフトーン濃度設定が「ユウコウ」でなければ表示されません。ま た、プリンタ内に印刷ジョブが残っているときは、ハーフトーン濃度は変 更できません。この設定を変更した場合、電源をOFF/ONしてプリンタを再 起動してください。
<div style="border: 1px solid black; padding: 2px; display: inline-block;">PS ウェイトタイムアウト</div>	受信中のPostScriptデータ送信が中断された場合、最終データ受信から次 のデータ受信まで待つ時間(秒)を設定できます。本設定時間までに次の データを受信しない場合、そのジョブはキャンセルされ、受信したデータ 分の印刷を行います。出荷時は「295」に設定されています。表示されたデ ンキーを使って、値を変更できます。変更可能なタイムアウト値は、0 (タ イムアウトなし) から 999 秒です。
<div style="border: 1px solid black; padding: 2px; display: inline-block;">180度回転</div> ユウコウまたは ムコウ(トグル)	このメニューを「ユウコウ」に設定するとPSデータを印刷するとき180度回 転して印刷します。「ユウコウ」に設定すると回転処理の時間がかかりま す。工場出荷時の設定は「ムコウ」です。

2.5 環境設定メニューの使い方

環境設定メニューにより、プリンタの環境設定に関するサブメニューにアクセスできます。

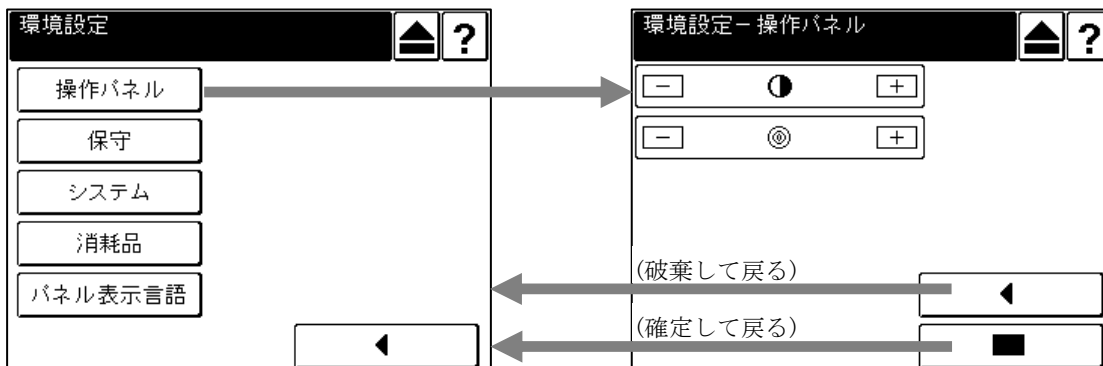
- 操作パネル: OCP のコントラスト、ブザー音量。
- 保守: 一般ユーザ向けではなく、保守員向けのサブメニューです。アクセスには保守用パスワードが必要です。
- システム: ソフトウェアログの収集、パラレルポートの設定、ネットワークパラメータの設定、カレンダーの設定、国番号の設定、システムパスワードの設定、エミュレーションの設定、public R/W の設定等のサブメニューです。一般ユーザ向けではなく、システム管理者向けのサブメニューです。アクセスにはシステムパスワードが必要です。
- 消耗品: 現像剤の交換と消耗品使用値のリセット。
- パネル表示言語: OCP の表示言語 (英語または日本語) の選択。

メインメニューとは異なり、「 ? 」ボタンを押すと、現在の画面に対するヘルプが呼び出されます。


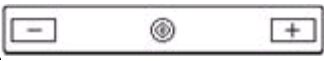


2.5.1 「操作パネル」サブメニューの使い方

「操作パネル」ボタンを押すことにより、OCPのコントラスト、ブザー音量を設定する一連の画面の先頭画面が表示されます。以降、ヘルプを参照しながら各項目を設定できます。

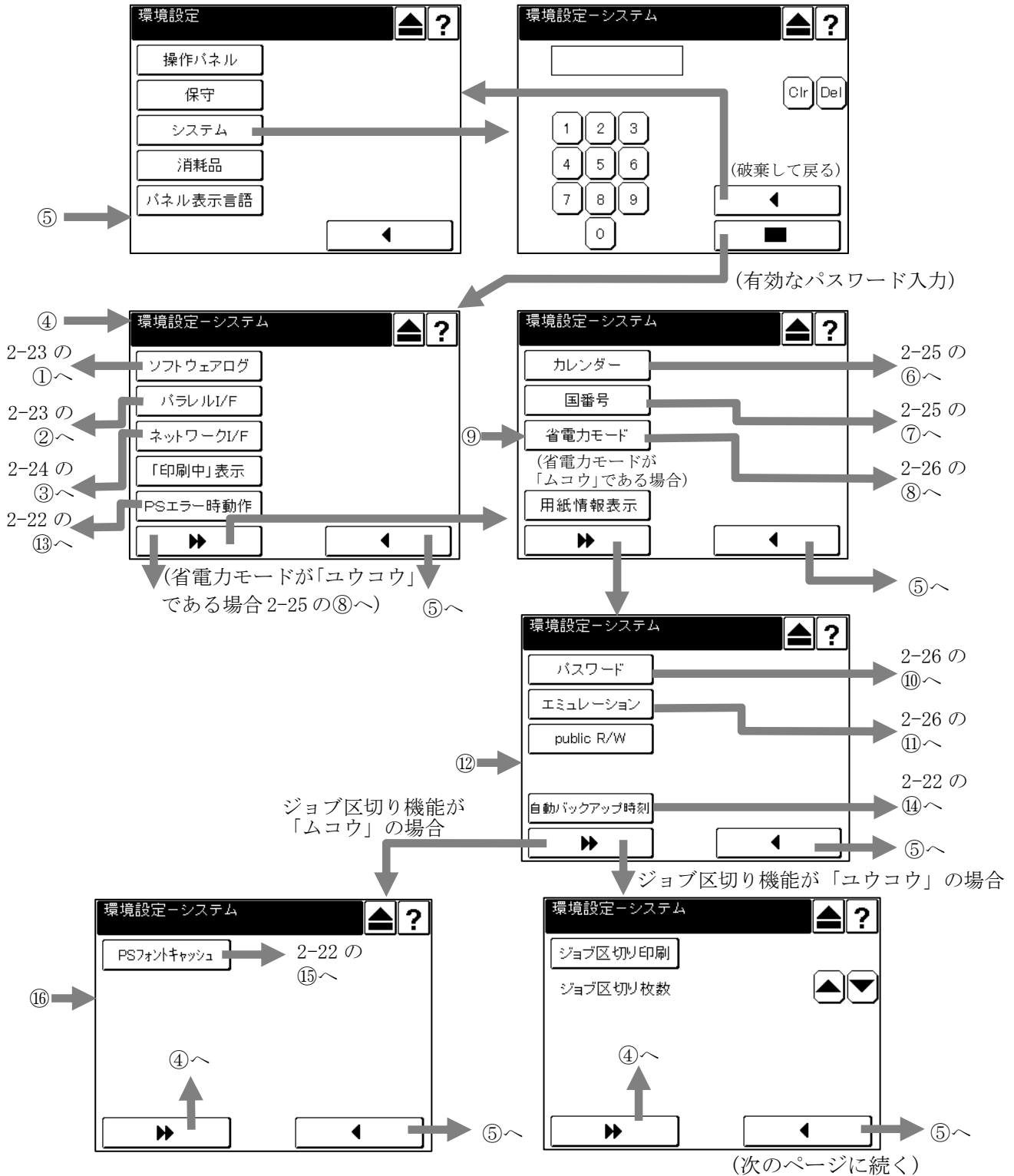


下表に、設定内容を備考と共に示します。

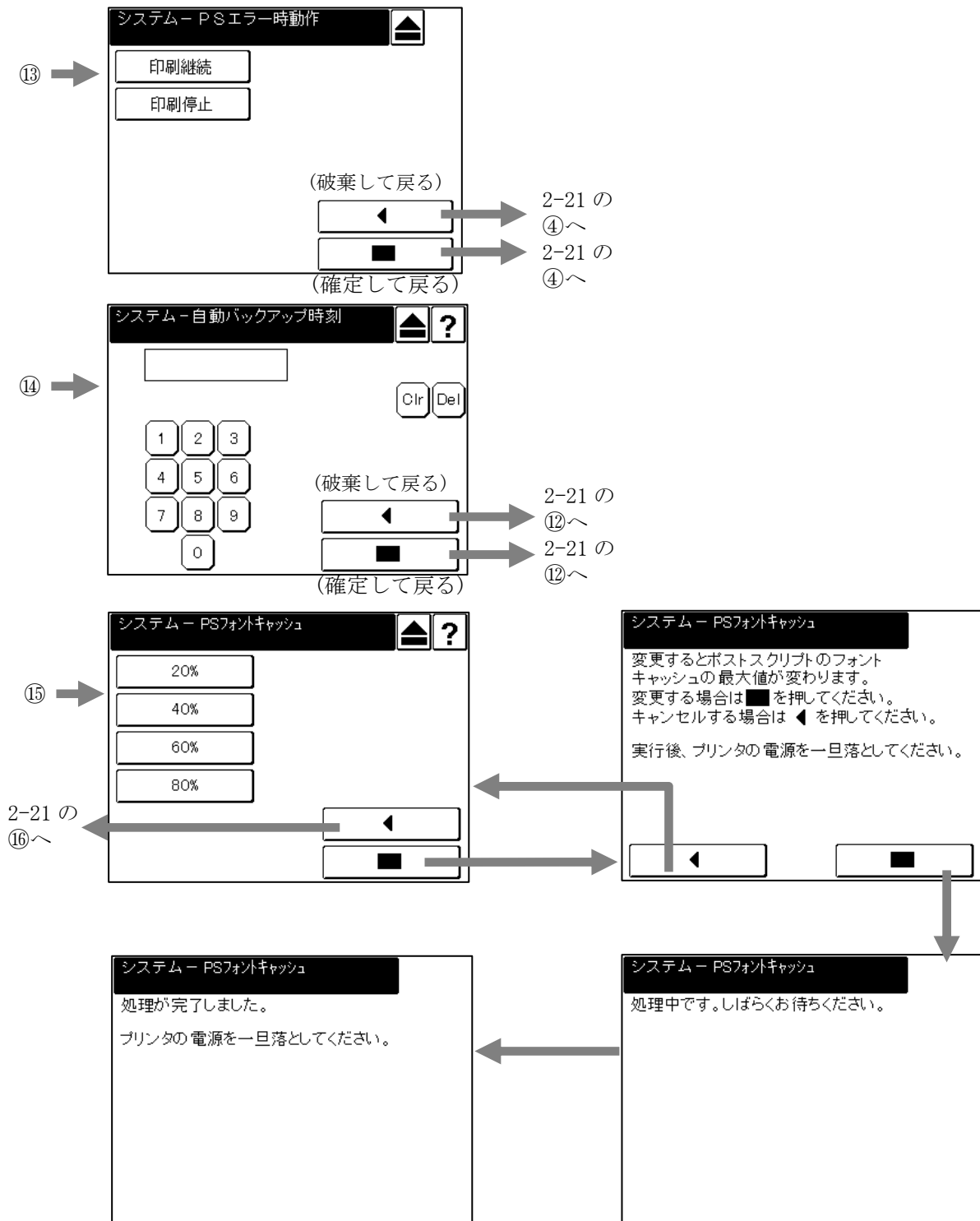
設定内容	備考
 (コントラスト)	コントラストの値は工場出荷時には「10」に設定されており、1～16の間で設定変更できます。また、ブザー音量は工場出荷時には「3」に設定されており、1～5の間で設定変更できます。画面のプラスアイコンまたはマイナスアイコンに触れることによって、値を増減します。
 (ブザー音量)	

2.5.2 「システム」サブメニューの使い方

このサブメニューはシステム管理者向けのため、「システム」ボタンを押すと、はじめにパスワード入力要求が表示されます。そこで有効なパスワードを入力すると、システム環境設定に用いる一連の画面の先頭画面が表示されます。以降、ヘルプを参照しながら各項目を設定できます。

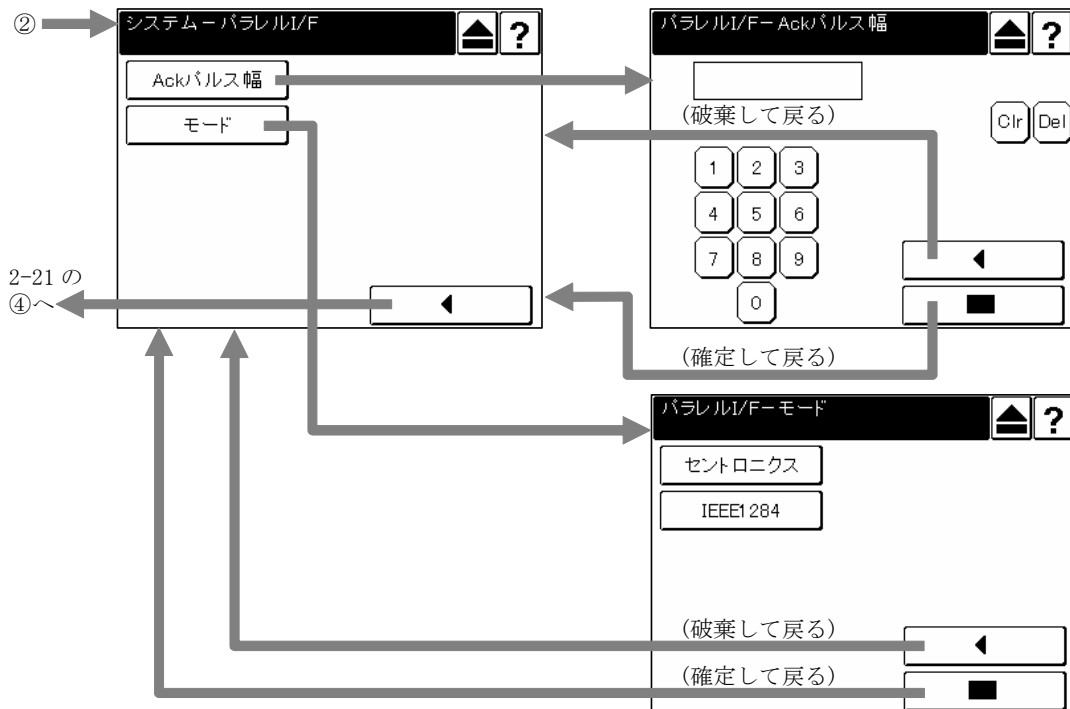
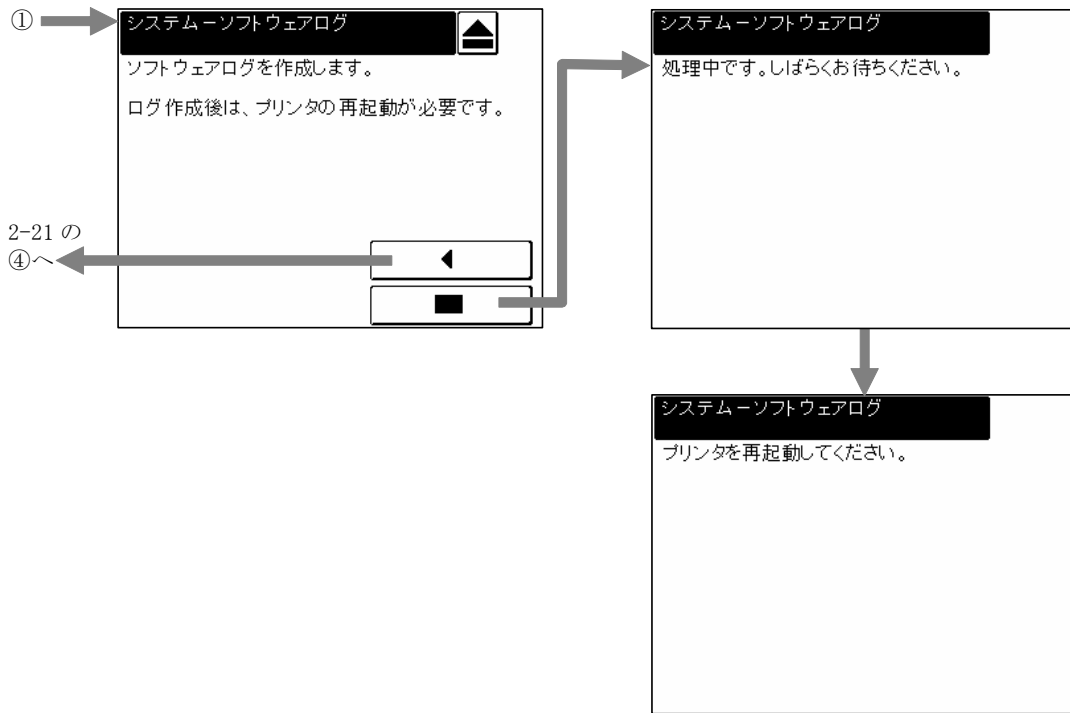


(前のページから続く)



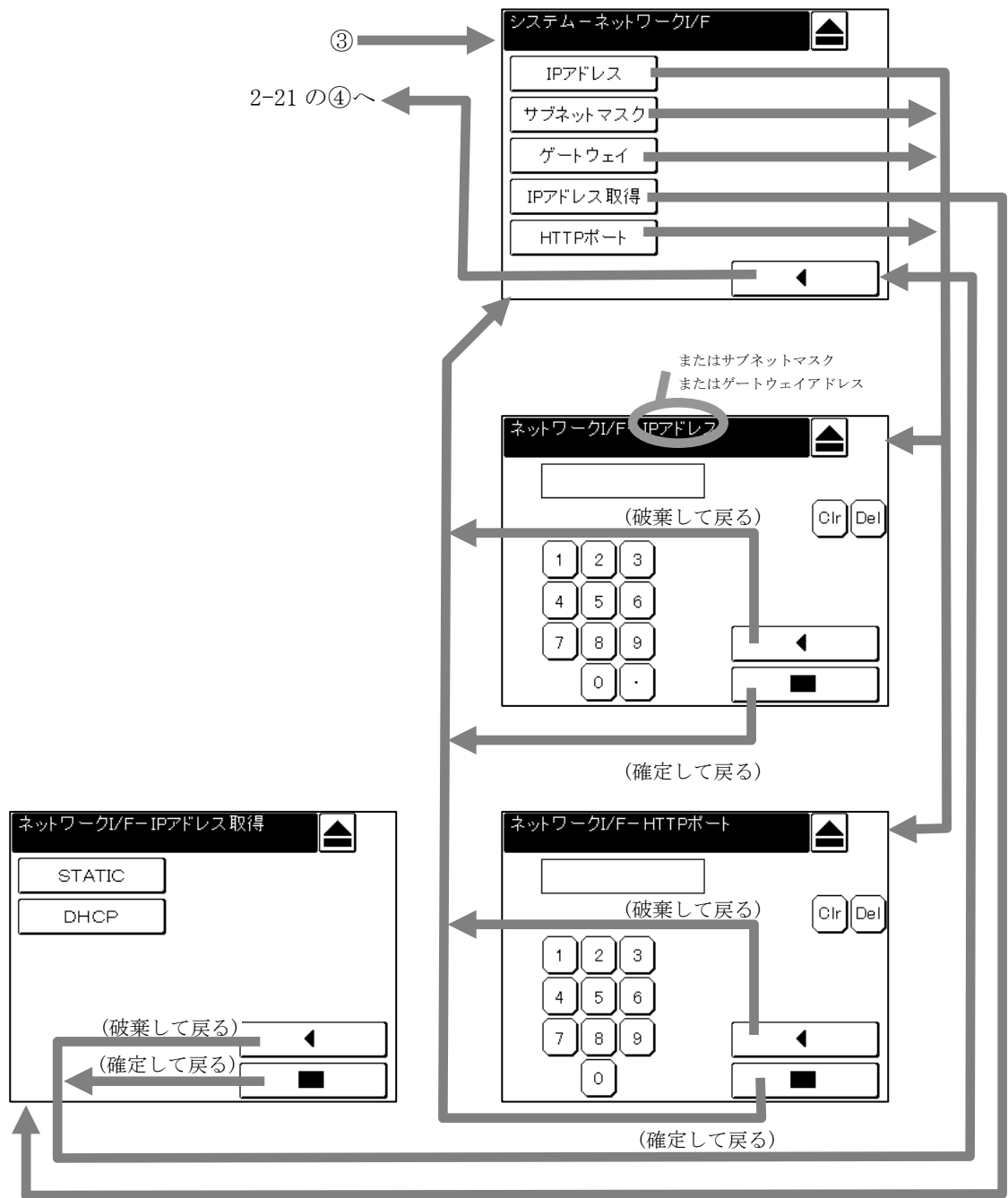
(次のページに続く)

(前のページから続く)



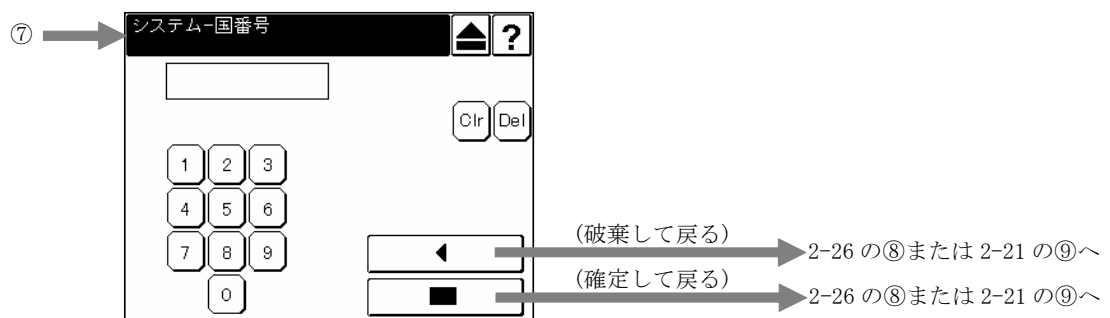
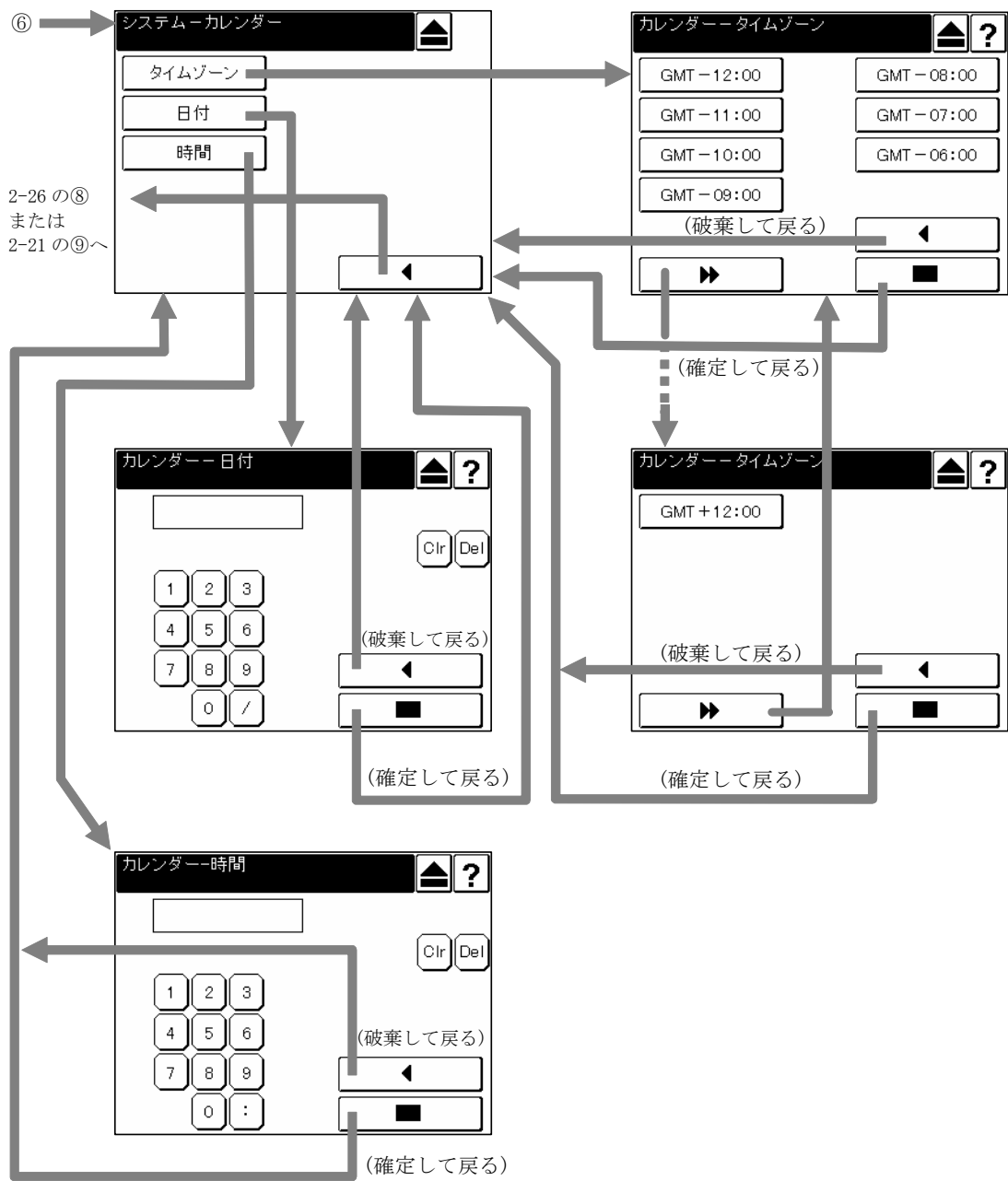
(次のページに続く)

(前のページから続く)



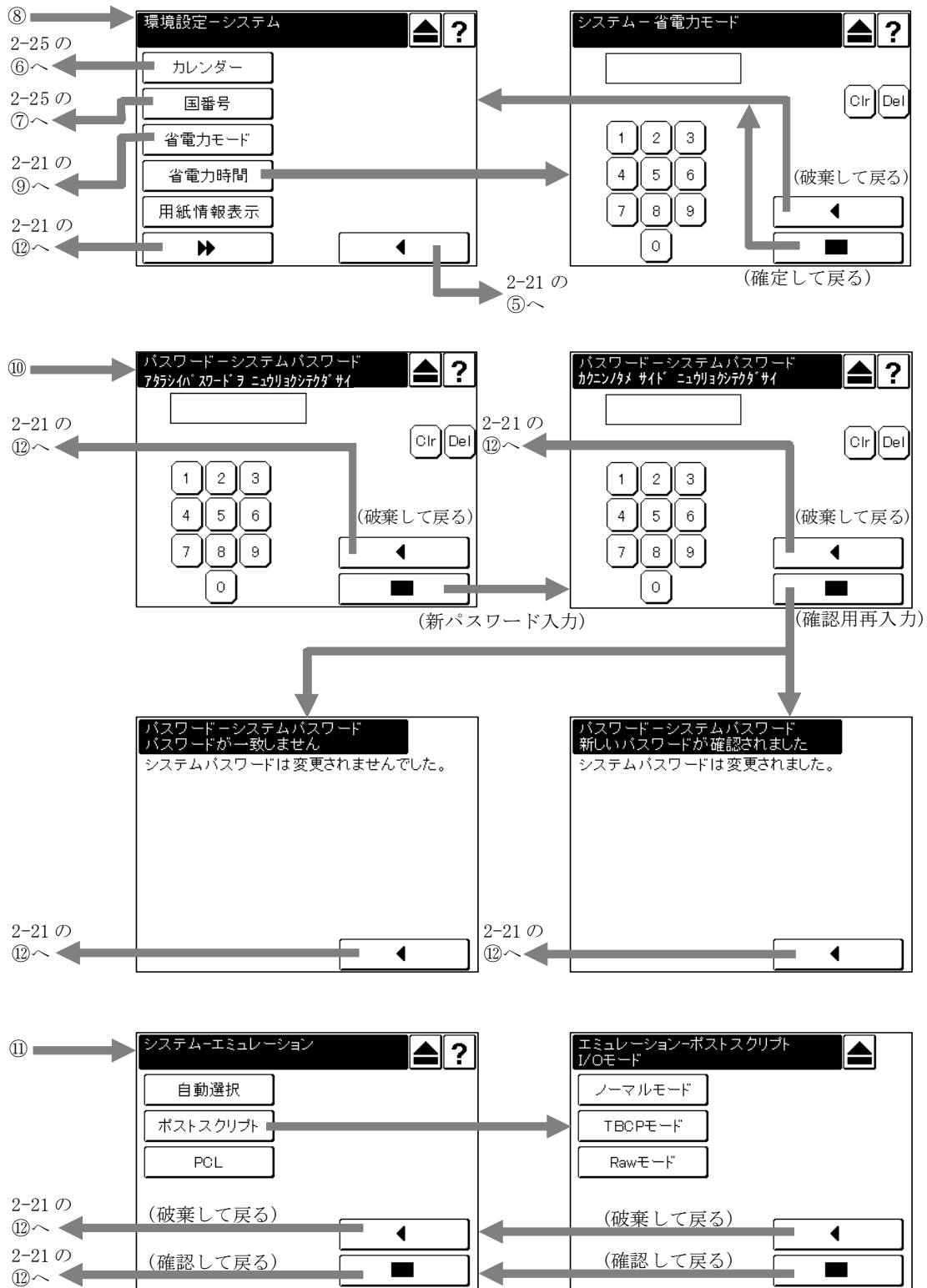
(次のページに続く)

(前のページから続く)



(次のページに続く)

(前のページから続く)



下表に、設定内容を備考と共に示します。

設定内容	備考
ソフトウェアログ	コントローラソフトウェアのログを収集します。
パラレル I/F Ack パルス幅 モード セントロニクス IEEE1284	<p>「Ackパルス幅」は、プリンタがホストに返すAckパルス幅を設定できます。設定可能範囲は500～12750nsで、工場出荷値は1000nsです。通常は設定を変更する必要はありません。</p> <p>「モード」は、通信モードを設定します。「セントロニクス」はセントロニクスモード、「IEEE1284」はIEEE1284に準拠した双方向モードです。「セントロニクス」では双方向データ通信は動作しません。工場出荷値は「IEEE1284」です。</p>
ネットワーク I/F IP アドレス サブネットマスク ゲートウェイ IP アドレス取得 STATIC DHCP HTTP ポート	<p>「ネットワーク I/F」サブメニューは、以下の工場出荷値となっています：</p> <ul style="list-style-type: none"> • IPアドレス: “192.0.0.1” • サブネットマスク: “0.0.0.0” • ゲートウェイアドレス: “0.0.0.0” • HTTPポート番号: “80” <p>これらの値は表示されたテンキーを使って変更できます。通常、HTTPポート番号を変更する必要はありません。HTTPポート番号を変更した場合は、新しい値を有効化するためにプリンタの再起動が必要です。</p> <p>「IPアドレス取得」の工場出荷値は「STATIC」です。</p>
印刷中表示 ユウコウまたは ムコウ(トグル)	設定が「ユウコウ」の時、プリンタが印刷中の間はメインメニューの印刷ジョブ一覧アイコン上に印刷中という文字が表示されます。工場出荷時は「ムコウ」です。
PS エラー時動作 印刷継続 印刷停止	PostScriptエラー発生時の動作を設定できます。「印刷継続」の時、印刷を継続します。「印刷停止」の時、「ポストスクリプトエラー／チェックリセットヲオシテクダサイ」というメッセージをOCPに表示し、印刷が停止します。「▶」ボタンを押すことにより印刷が継続します。工場出荷時の設定は「印刷継続」です。
カレンダー タイムゾーン 日付 時間	<p>「タイムゾーン」は、GMT(国際標準時) マイナス12:00時間～プラス12:00時間の範囲で選択可能です。</p> <p>日付を指定する際は、無効な値(2001/2/31等)を設定してもその値が適用されてしまうため、正確な日付を設定してください。</p>
国番号	国際電話で使用される国番号を設定します。工場出荷時の設定は「81」(日本の国番号)です。

(次のページに続く)

(前のページから続く)

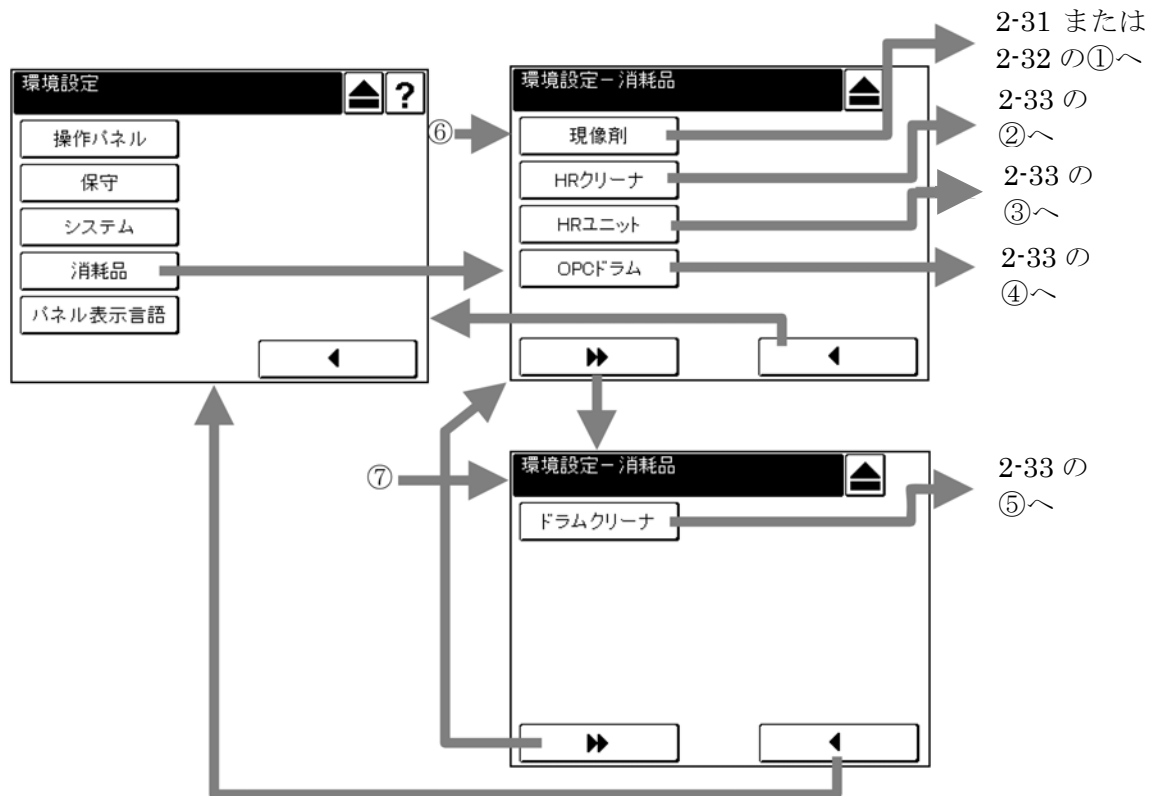
設定内容	備考
省電力モード ユウコウまたは ムコウ(トグル)	省電力モードの有効無効を切り換えます。工場出荷時の設定は「ユウコウ」です。この設定が「ユウコウ」の時、省電力時間で設定された時間の間、印刷動作、パネル操作がなければ省電力モードになります。省電力モードにはヒータオフモードとスリープモードがあります。 ヒータオフモードは、ヒータランプへの給電を停止します。またスリープモードはコントローラを除くプリンタの電源を切断します。省電力モードは、下記の条件のいずれかが成立した場合、解除されます。 ・オンライン時に印刷起動がかかったとき ・OCPのキーを押したとき
省電力時間	ヒータオフモードになるまでの時間(分)を設定します。5~230分の間で設定ができます。工場出荷時の設定は「15」です。スリープモードはヒータオフモードの状態になった10分後に移行します。
用紙情報表示 ユウコウまたは ムコウ(トグル)	ユウコウ/ムコウのトグル表示です。設定が有効の時、OCPのオンライン画面に用紙幅、用紙長、印刷調整値及びプリセット番号(プリセット設定時)を表示します。工場出荷時の設定は「ムコウ」です。
パスワード システムパスワード	システムメニューに入る時に使用するパスワードを変更することができます。システムパスワードの工場出荷値は「1000」です。
エミュレーション 自動選択 ポストスクリプト ノーマルモード TBCP モード Raw モード PCL	パラレルインターフェースのエミュレーション方式を設定します。工場出荷時の設定は「自動選択」です。 ・「自動選択」を選択すると、送られてきたジョブがPostScriptジョブか、PCLジョブかを自動的に識別して処理を行います。 ・「ポストスクリプト」を選択すると、送られてきたジョブをPostScriptジョブとして扱います。また「ポストスクリプト」には「ノーマルモード」、「TBCPモード」および「Rawモード」があり、それぞれ適切なモードにセットされていないと正常に印刷が行われない場合があります。本メニューはPostScriptがインストールされているモデルのみ有効です。 ・「PCL」を選択すると、送られてきたジョブをPCLジョブとして扱います。
public R/W ユウコウまたは ムコウ(トグル)	この設定が「ユウコウ」のとき、SNMPコミュニティー名がpublicでもR/Wできます。工場出荷時の設定は「ムコウ」です。
自動バックアップ時刻	電源立ち上げ時以外の自動バックアップを実行する時刻を0時から23時の間で設定します。なお、設定時間は1時間単位です。工場出荷時の設定は午前1時です。
ジョブ区切り印刷 ユウコウまたは ムコウ(トグル)	工場出荷時は「ユウコウ」に設定されています。本設定が「ユウコウ」のとき、ジョブ区切りマークを印刷します。ただし、保守メニューでジョブ区切り機能が「ユウコウ」でなければ、表示されません。
ジョブ区切り枚数 ss枚	工場出荷時は4に設定されています。ジョブ区切りマークの印刷枚数を設定できます。設定可能範囲は3~11枚です。

(前のページから続く)

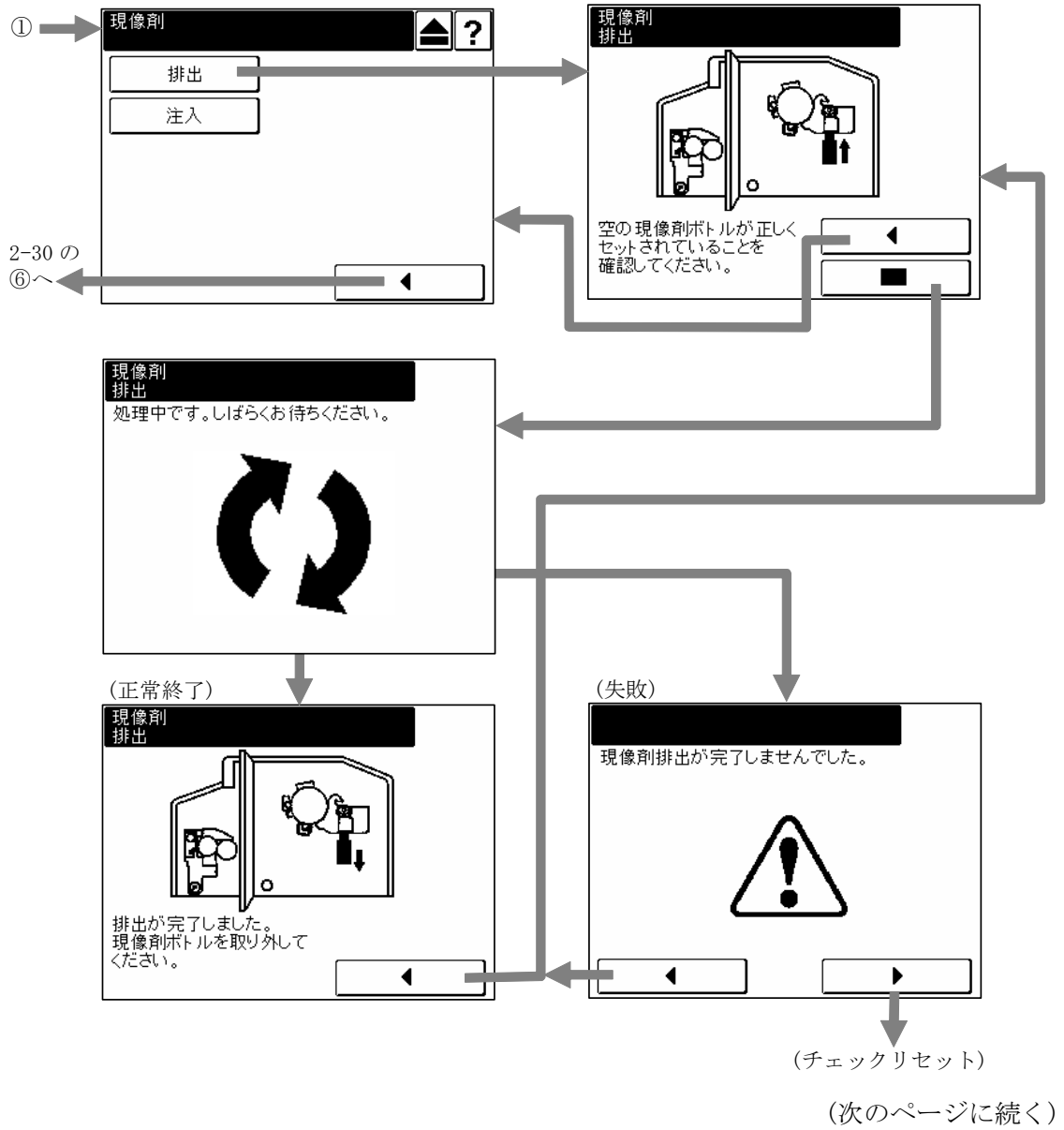
設定内容	備考	
<table border="1"><tr><td data-bbox="256 304 504 342">PS フォントキャッシュ</td></tr></table>	PS フォントキャッシュ	PostScriptがインストールされている場合、システムメニューにおいて「PSフォントキャッシュ」サブメニューが表示されます。また、プリンタ内に印刷ジョブが残っているときは、PSフォントキャッシュは変更できません。この設定を変更した場合、電源をOFF/ONしてプリンタを再起動してください。ただし、20%を選択した場合は4MBが最大値となります。
PS フォントキャッシュ		

2.5.3 「消耗品」サブメニューの使い方

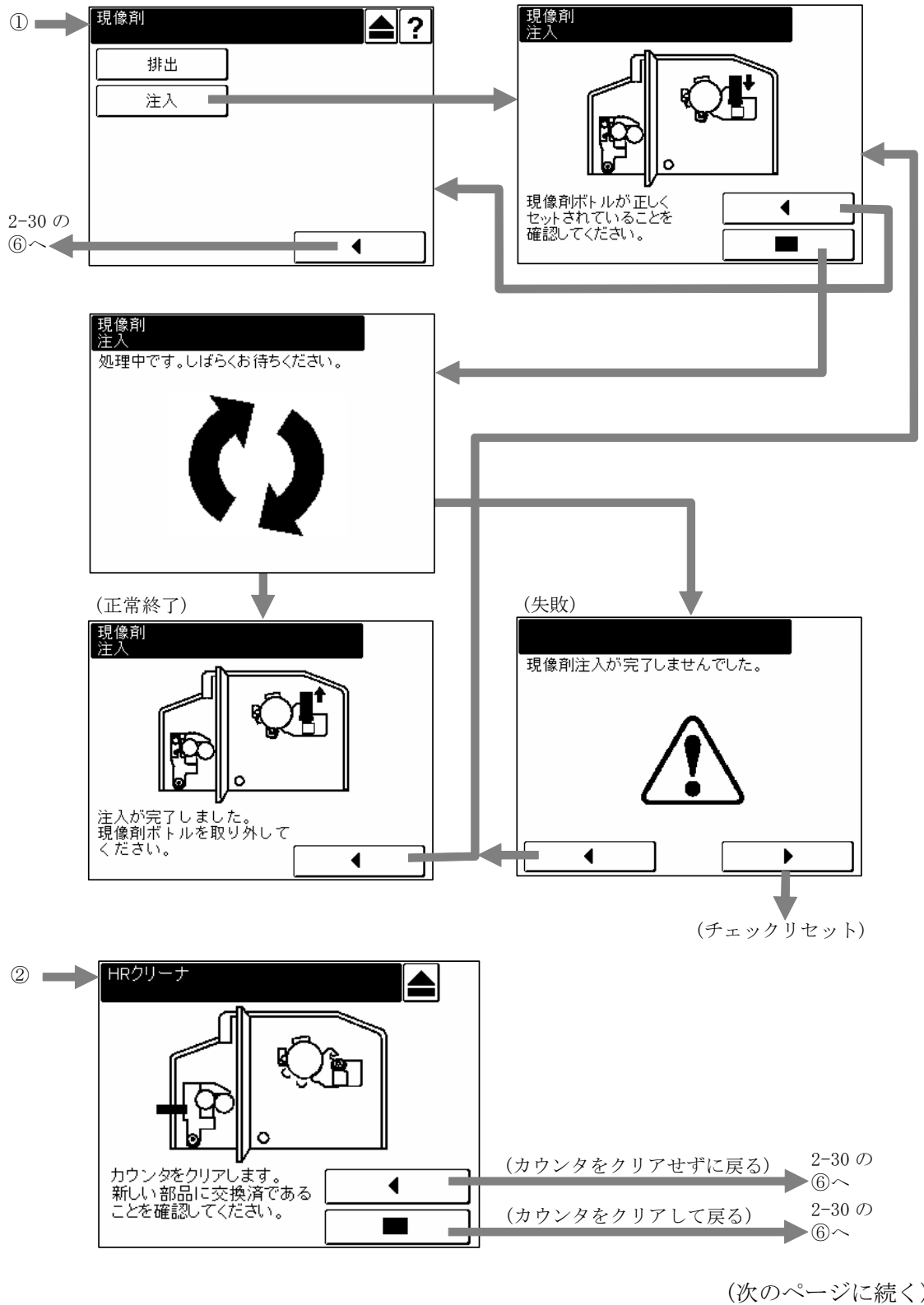
「消耗品」ボタンを押すことにより、現像剤の交換と消耗品使用値（カウンタ）のリセットを実施する一連の画面の先頭画面が表示されます。以降、ヘルプを参照しながら各項目を設定できます。



(前のページから続く)



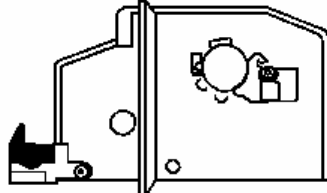
(前のページから続く)



(前のページから続く)

③ →

HRユニット



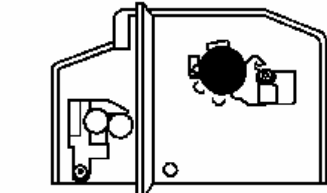
カウンタをクリアします。
新しい部品に交換済であることを確認してください。

← (カウンタをクリアせずに戻る) →
■ (カウンタをクリアして戻る) →

(カウンタをクリアせずに戻る) 2-30 の ⑥へ
(カウンタをクリアして戻る) 2-30 の ⑥へ

④ →

OPCドラム



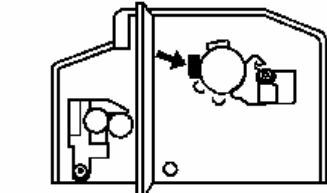
カウンタをクリアします。
新しい部品に交換済であることを確認してください。

← (カウンタをクリアせずに戻る) →
■ (カウンタをクリアして戻る) →

(カウンタをクリアせずに戻る) 2-30 の ⑥へ
(カウンタをクリアして戻る) 2-30 の ⑥へ

⑤ →

ドラムクリーナ



カウンタをクリアします。
新しい部品に交換済であることを確認してください。

← (カウンタをクリアせずに戻る) →
■ (カウンタをクリアして戻る) →

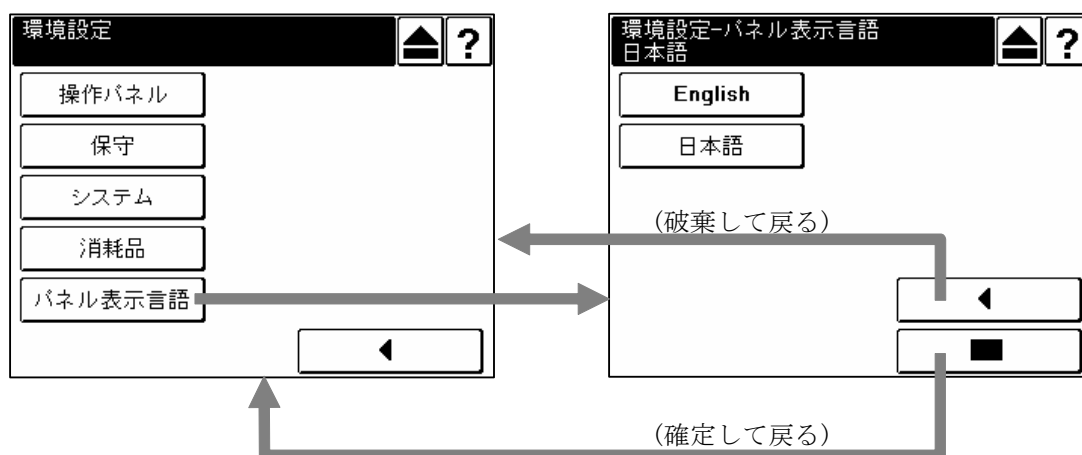
(カウンタをクリアせずに戻る) 2-30 の ⑦へ
(カウンタをクリアして戻る) 2-30 の ⑦へ

下表に、設定内容を備考と共に示します。

設定内容	備考
<div style="border: 1px solid black; padding: 2px; display: inline-block; margin-bottom: 2px;">現像剤</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; display: inline-block; margin-bottom: 2px; margin-left: 20px;">排出</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; display: inline-block; margin-left: 20px;">注入</div>	古い現像剤の「排出」の後、新しい現像剤を「注入」することで交換できます。現像剤の使用値は自動的に初期化されます。
<div style="border: 1px solid black; padding: 2px; display: inline-block; margin-bottom: 2px;">HR クリーナ</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; display: inline-block; margin-bottom: 2px;">HR ユニット</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; display: inline-block; margin-bottom: 2px;">OPC ドラム</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; display: inline-block; margin-bottom: 2px;">ドラムクリーナ</div>	HRクリーナ、HRユニット、OPCドラム、またはドラムクリーナを交換したときは、該当するサブメニューで必ず消耗品の使用値をリセットしてください。交換手順の詳細は第6章「お手入れとメンテナンス」を参照してください。

2.5.4 「パネル表示言語」サブメニューの使い方

「パネル表示言語」ボタンを押すことにより、OCP の表示言語（英語または日本語）を選択する画面が表示されます。



下表に、設定内容を備考と共に示します。

設定内容	備考
<div style="border: 1px solid black; padding: 2px; display: inline-block;">English</div>	OCPの表示言語を英語にします。
<div style="border: 1px solid black; padding: 2px; display: inline-block;">日本語</div>	OCPの表示言語を日本語にします。

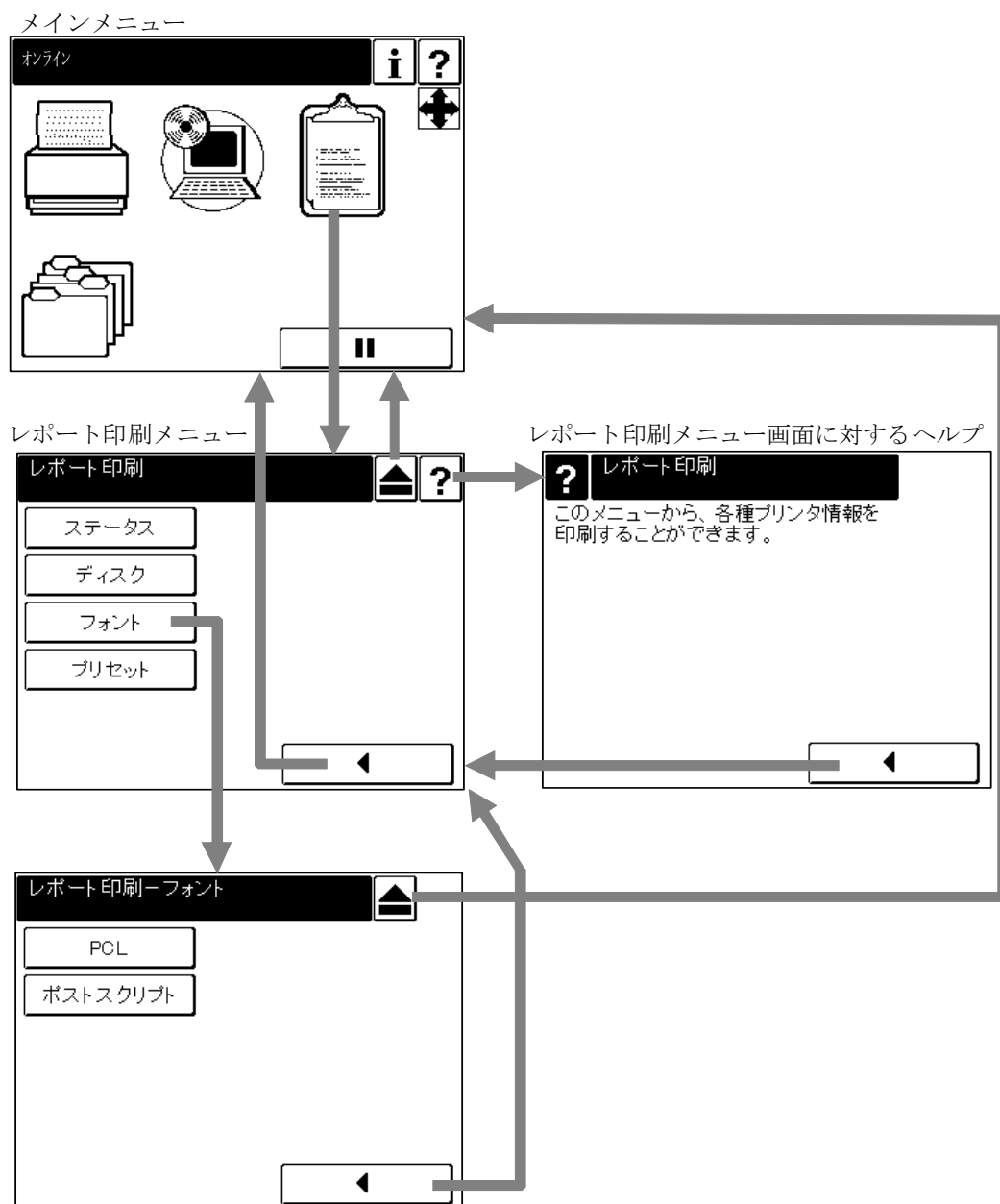
2.6 レポート印刷メニューの使い方

レポート印刷メニューにより、プリンタに関する以下のレポートを印刷できます。

印刷サンプルは付録 C「レポート印刷」を参照してください。

- ステータス：現在の設定内容。
- ディスク：PCL/PostScript 用ディスク・ディレクトリの内容。
- フォント：PCL/PostScript 用フォント。
- プリセット：用紙サイズ・印刷位置の登録値。

メインメニューとは異なり、「**?**」ボタンを押すと、レポート印刷メニュー画面に対するヘルプが呼び出されます。



下表に、設定内容を備考と共に示します。

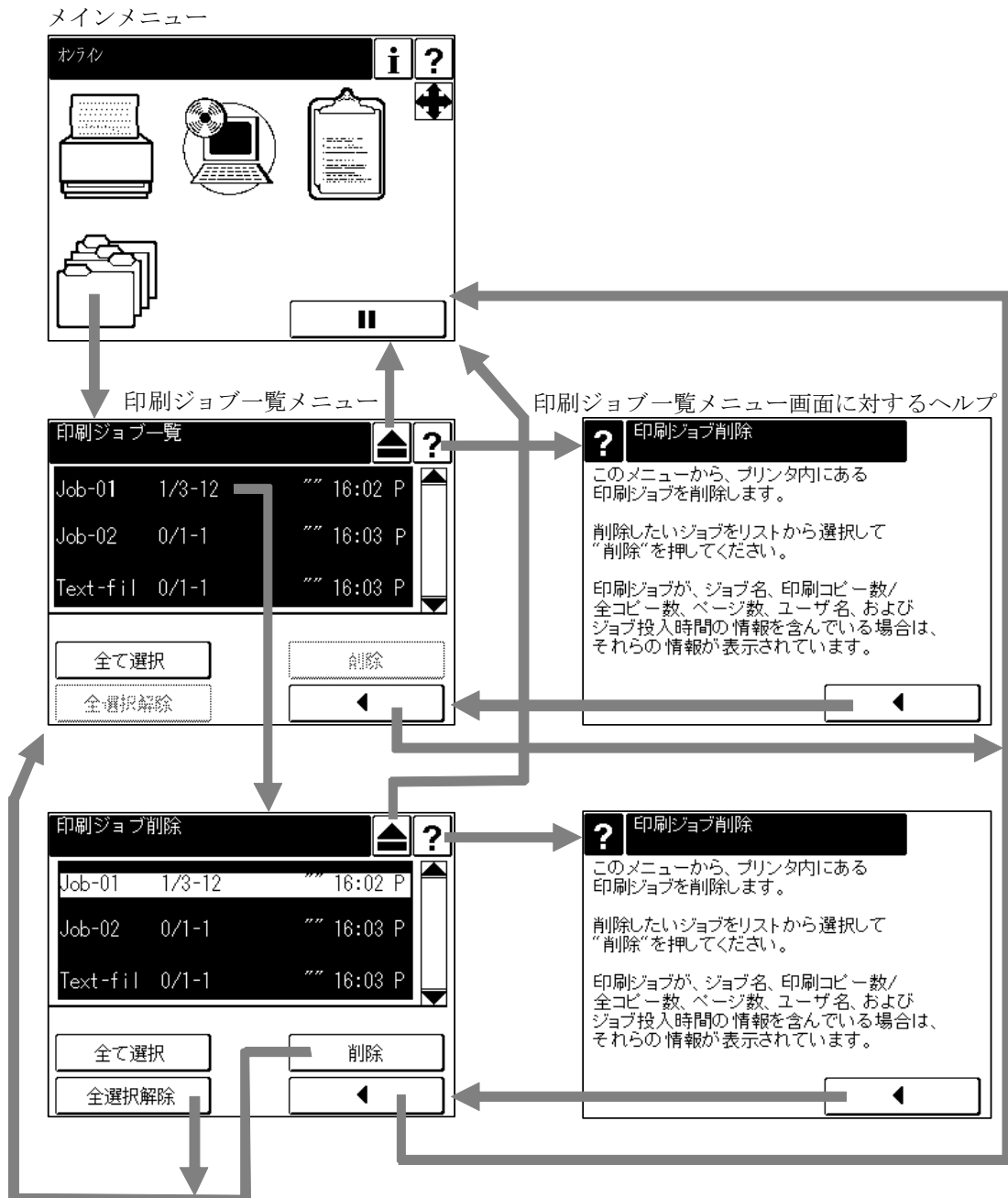
設定内容	備考
ステータス	ステータス印刷はプリンタの現在の設定内容が印刷されます。
ディスク	ディスクディレクトリ印刷はPCL/PostScript用ディスクディレクトリの内容が印刷されます。
フォント	フォント印刷はPCL/PostScript用フォントが印刷されます。
PCL	
ポストスクリプト	
プリセット	プリセット印刷は用紙サイズ・印刷位置の登録値が印刷されます。

OG	B	03	
----	---	----	--

2.7 印刷ジョブ一覧メニューの使い方

印刷ジョブ一覧メニューは、プリンタがデータを受信して印刷待ち状態になっているジョブを表示します。また、一覧の中の印刷ジョブを選択して削除することができます。

メインメニューとは異なり、「**?**」ボタンを押すと、印刷ジョブ一覧メニュー画面に対するヘルプが呼び出されます。



下表に、設定内容を備考と共に示します。

設定内容	備考
印刷ジョブ一覧リスト	<p>各行は印刷待ちのジョブの情報を以下の書式で示します。</p> <p>例: <u>Job-01</u> <u>1/3-13</u> ” ” <u>16:02</u> <u>P</u></p> <p style="text-align: center;">① ②③ ④ ⑤ ⑥ ⑦</p> <p>① 印刷ジョブ名 ② 印刷中のコピー部数 ③ 全コピー部数 ④ 1コピー中の全ページ数 ⑤ 印刷ジョブのユーザ名 ⑥ 印刷ジョブ受信時刻 ⑦ 印刷ジョブの状態 (P = 停止中、A = 処理中、C = 削除中、D = 転写済)</p> <p>印刷ジョブに印刷ジョブ名、ユーザ名が入っていない場合は、上記の印刷ジョブ名、印刷ジョブのユーザ名は表示されません。また、2バイト文字(ひらがな、カタカナ、漢字)が含まれる場合は、その部分が正しく表示されません。</p> <p>スクロールバーの上矢印または下矢印に触れると、リストを上下にスクロールします。リスト中の1行に触れると、その1つの印刷ジョブを選択します。</p>
<input type="button" value="全て選択"/>	リスト中の全ての印刷ジョブを選択します。
<input type="button" value="全選択解除"/>	リスト中の全ての印刷ジョブの選択を解除します。
<input type="button" value="削除"/>	選択されている印刷ジョブを削除します。

2.8 パスワード管理

パスワードを設け、システム設定やプリンタ保守機能の取り扱いを制限することで、運用上の安全性を確保することができます。このプリンタには、システムパスワードと保守用パスワードの2種類のパスワードが用意されています。

システムパスワードは、システム管理者が使用するもので、システム・パラメータを管理するために使用します。保守用パスワードは、保守の機能を利用する時に使用します。

システムパスワードの工場出荷初期値は「1000」に設定されています。

システムパスワードは以下のメニューより変更することが可能です。

「環境設定」－「システム」－「パスワード」



変更後のシステムパスワードを紛失した場合はシステムパスワードを再設定する必要がありますが、再設定操作には保守用パスワードが必要です。そのような時には保守員に連絡してください。

2.9 メニュー構成

本プリンタのメニュー構成を以下に示します。

レベル1	レベル2	レベル3	レベル4	
i(インフォメーション)	プリンタ	エンジン レビジョン		
		コントローラ レビジョン		
		操作パネルレビジョン		
	消耗品	トナー残量		アリ/スクナイ/ナシ
		現像剤使用量		現在までの使用値/最大使用可能値
		HR クリーナ使用量		現在までの使用値/最大使用可能値
		HR ユニット使用量		現在までの使用値/最大使用可能値
		OPC ドラム使用量		現在までの使用値/最大使用可能値
		ドラムクリーナ使用量		現在までの使用値/最大使用可能値
	使用状況	トナーカバレッジ		
		印刷枚数		
		UC カウンタ*1		
	ネットワーク	MAC アドレス		
		IP アドレス		
		サブネットマスク		
		ゲートウェイアドレス		
		HTTP ポート		

*1: 保守メニューで UC カウント値設定が「ヒョウジ」の場合、表示されます。

レベル1	レベル2	レベル3	レベル4
プリンタ設定*1	用紙設定	用紙サイズ	サイズ入力
		印刷位置調整	位置調整
		プリセット値指定	1~99
		プリセット値登録	1~99
	オプション	ジャム リカバリ	ユウコウ/ムコウ
		ウェイト タイムアウト	0~999 秒
		LPD キューイング	ユウコウ/ムコウ
		NPRO 選択	ユウコウ/ムコウ
		印刷濃度	ウスイ
			ヤヤウスイ
			ヒョウジュン
			ヤヤコイ
		コイ	
		スタッカ制御	ユウコウ/ムコウ
		スタックレベル	標準
			3/4
			1/2
		印刷速度*2	ヒョウジュン/テイソク
	ブザー	ユウコウ/ムコウ	
	オートロード制御	ヒョウジュン/ヨウシサクゲン*3	
	カード紙制御	ユウコウ/ムコウ	
	テスト印刷		
	PCL	フィックスオリエンテーション	無し
			ランドスケープ
			ポートレート
		2-UP	ユウコウ/ムコウ
	第2 ページオフセット	0.0~1.0	
	ポストスクリプト *4	エラー印刷	ユウコウ/ムコウ
		ベストフィット	ユウコウ/ムコウ/ムコウ (OCP ユウセン)
		ジョブタイムアウト	0 秒(無限大), 15~999 秒
		正方形イメージ方向	ランドスケープ
			ポートレート
		ハーフトーン濃度*5	Light
Medium			
Dark			
PS ウェイトタイムアウト	0~999 秒		
180 度回転	ユウコウ/ムコウ		

*1: ホストから受信したデータに各種設定項目に対しての指定が含まれている場合、その指定が優先されるため、OCP での設定は無視されます。

*2: 印刷速度は HT-4558-120A では表示されません。

*3: 本機能においては使用する上で制約がありますので付録 G「オートロード制御について」を参照して下さい。

*4: PostScript がインストールされているモデルのみ有効です。

*5: 保守メニューでハーフトーン濃度設定が「ユウコウ」の場合のみ表示されます。

(次のページに続く)

(前のページから続く)

レベル 1	レベル 2	レベル 3	レベル 4	レベル 5	レベル 6		
環境設定	操作パネル	コントラスト	1~16				
		ブザー音量	1~5				
	保守*1						
	システム	パスワード入力*2 (パスワード:1000)	ソフトウェアログ				
			パラレル I/F	Ack パルス幅	500~12750ns		
				モード	セントロニクス		
					IEEE1284		
			ネットワーク I/F	IP アドレス			
				サブネットマスク			
				ゲートウェイ			
				IP アドレス取得	STATIC		DHCP
				HTTP ポート			
			「印刷中」表示	ユウコウ/ムコウ			
			PS エラー時動作*5	印刷継続			
				印刷停止			
			カレンダー	タイムゾーン	GMT-12:00 -		GMT+12:00
				日付*3			
				時間			
			国番号				
			省電力モード	ユウコウ/ムコウ			
			省電力時間*4	5~230 フン			
			用紙情報表示	ユウコウ/ムコウ			
			パスワード	パスワード変更画面			
			エミュレーション	自動選択			
				ポストスクリプト*5	ノーマルモード		
					TBCP モード		
					Raw モード		
			PCL				
			public R/W	ユウコウ/ムコウ			
			自動バックアップ時刻	0~23			
			ジョブ区切り印刷*6	ユウコウ/ムコウ			
	ジョブ区切り枚数*6	3~11					
	PS フォントキャッシュ*5	20%					
40%							
60%							
80%							

- *1: 本メニューに入るときはパスワードが必要です。本メニューは保守員が使用します。
- *2: 「システム」サブメニューはシステム管理者のみ操作が許されているメニューです。本メニューに入るときはパスワードが必要です。
- *3: 日付の項目に無効な日付(2002/2/31 等)を入力した場合、その値が適用されますので、必ず正確な日付を入力してください。
- *4: 省電力モードが「ユウコウ」の場合のみ表示されます。
- *5: PostScript がインストールされているモデルのみ有効です。
- *6: 保守メニューでジョブ区切り機能が「ユウコウ」の場合のみ表示されます。

(次のページに続く)

OG	B	04	
----	---	----	--

(前のページから続く)

レベル1	レベル2	レベル3	レベル4
環境設定	消耗品	現像剤	排出
			注入
		HR クリーナ	
		HR ユニット	
		OPC ドラム	
	ドラムクリーナ		
	パネル表示言語	English	
	日本語		
レポート印刷	ステータス		
	ディスク		
	フォント	PCL	
		ポストスクリプト*1	
	プリセット		

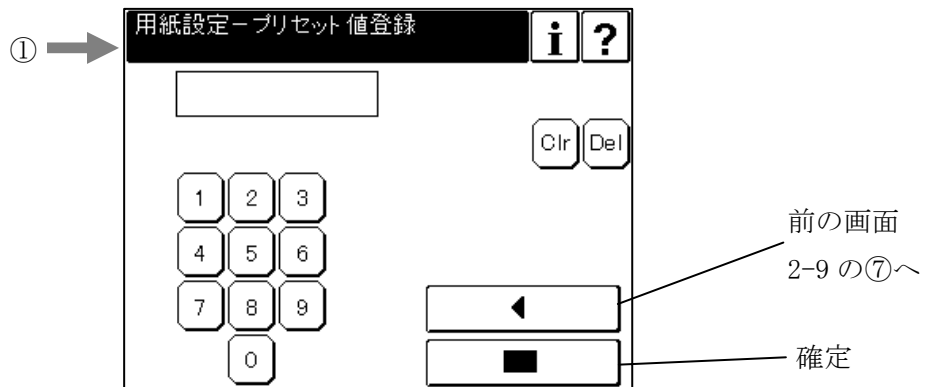
*1: PostScript がインストールされているモデルのみ有効です。

2.10 用紙サイズ・印刷位置のプリセット

この機能は、用紙サイズ、印刷位置の各設定を登録し、使用できる機能です。各設定の組み合わせを 99 通りに登録し、使用することができます。

(1) プリセット値登録

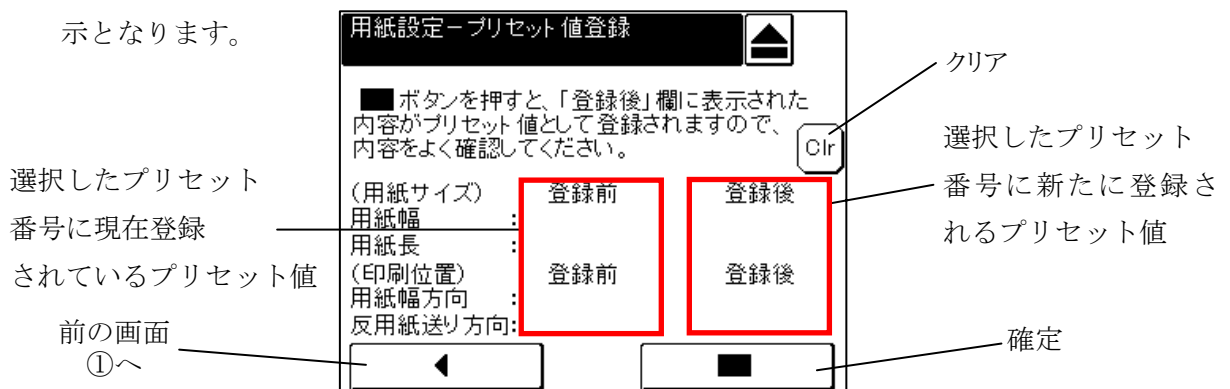
- (a) 「プリンタ設定メニュー」－「用紙設定」－「プリセット値登録」を選択すると、下記のプリセット値登録画面が表示されます。新規登録または登録内容修正、登録削除するプリセット値のプリセット番号をテンキーにて入力し、「■」ボタンを押してください。



留意事項:

プリセット値登録とプリセット値指定の画面を確認して操作を行ってください。

- (b) 上記(a)において、有効なプリセット番号 (1~99) である場合には、下記の確認画面が表示されます。「登録前」には、(a)にて選択したプリセット番号に現在登録されているプリセット値が表示されます。プリセット値が未登録である場合には、「登録前」のプリセット値は棒線表示となります。「登録後」のプリセット値には、現在の用紙サイズおよび印刷位置が表示され、「■」ボタンを押すと選択したプリセット番号のプリセット値として登録されます。用紙サイズおよび印刷位置の設定方法は 2.4.1 節「用紙設定」サブメニューの使い方」を参照してください。また、「Clr」ボタンを押すと「登録後」は棒線表示となります。

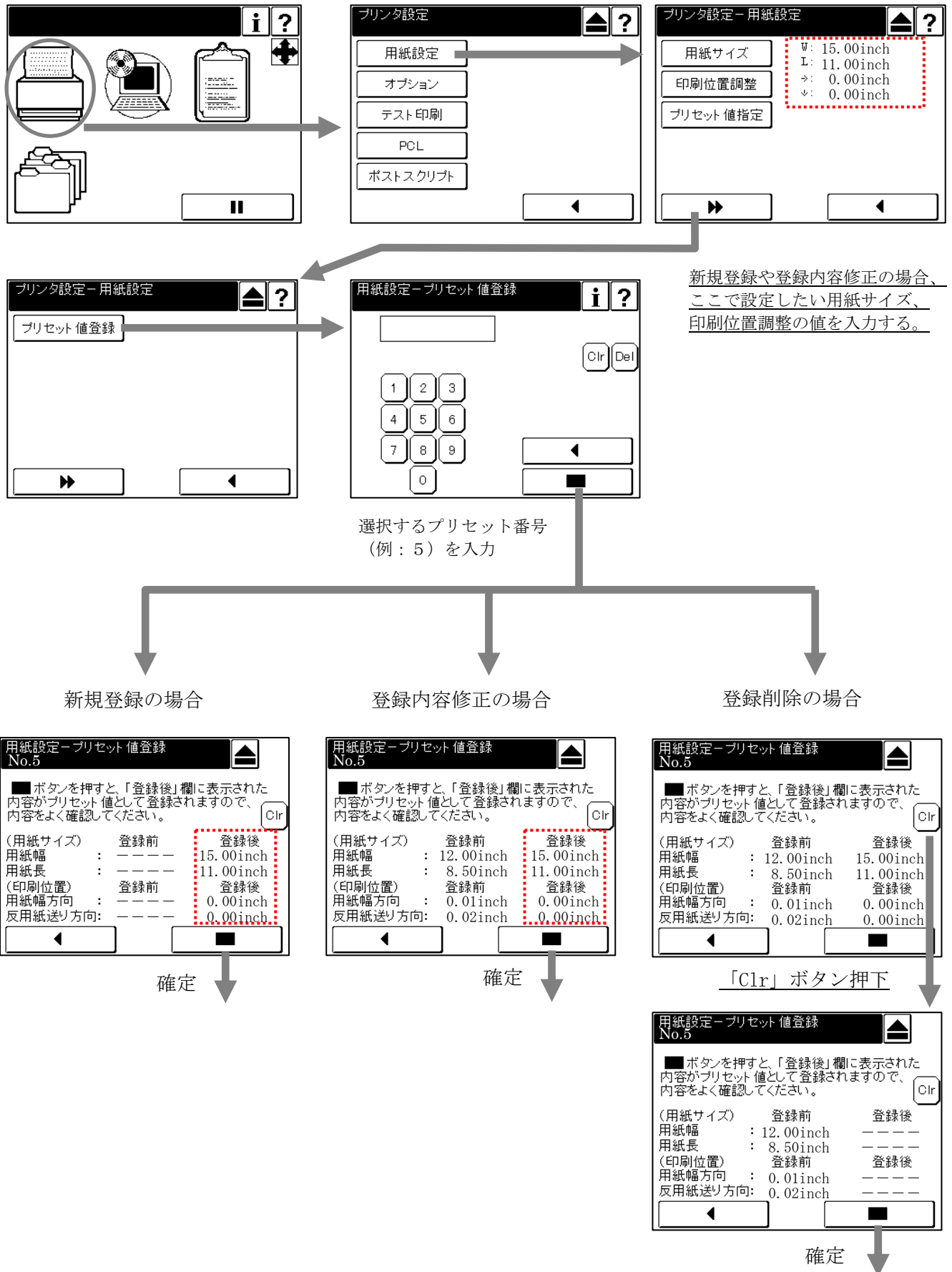


- (c) 各項目を確認後、「■」ボタンを押して登録内容を確定してください。また、「◀」ボタンを押すと登録・修正がされずに①へと戻ります。

留意事項:

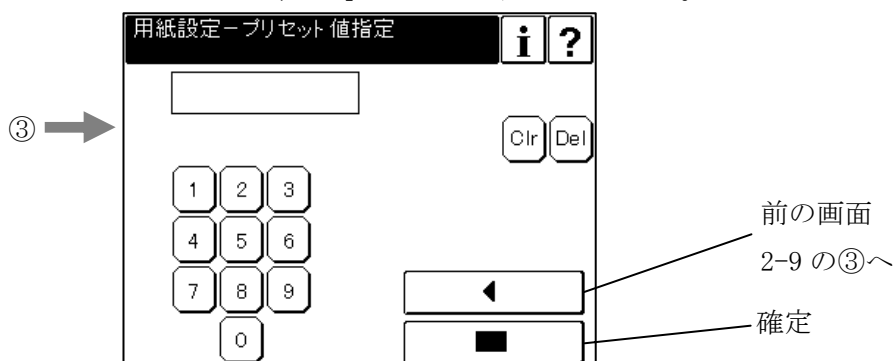
「■」ボタンを押して確定した場合、前に登録していたプリセット値は消えてしまいますのでご注意ください。また、「◀」ボタンを押すと値が確定されませんのでご注意ください。

■プリセットの操作例



(2) プリセット値指定

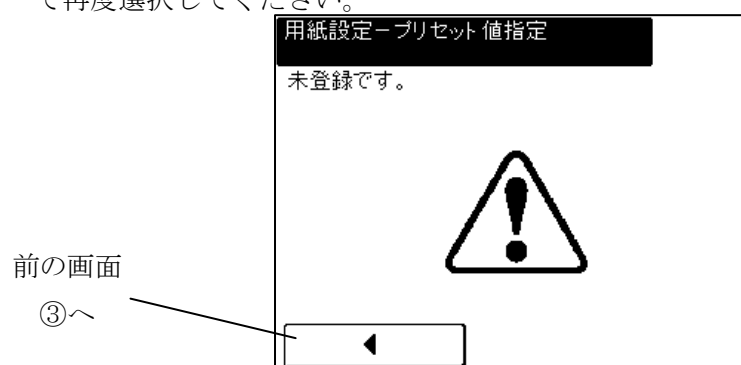
- (a) 「プリンタ設定メニュー」-「用紙設定」-「プリセット値指定」を選択すると、下記のプリセット値指定画面が表示されます。指定するプリセット値が登録されているプリセット番号をテンキーにて入力し、「■」ボタンを押してください。



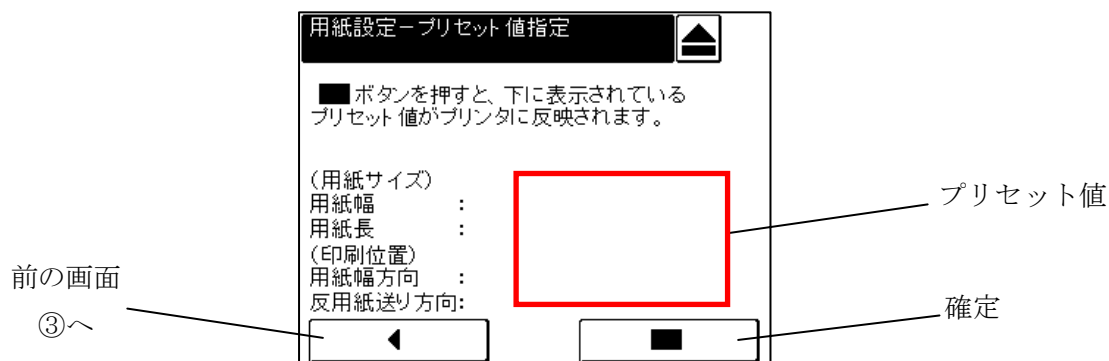
留意事項:

未登録のプリセット値は指定できません、プリセット値登録とプリセット値指定の画面を確認して操作を行ってください。

- (b) 上記(a)において、選択したプリセット番号のプリセット値が未登録である場合には、下記のエラー画面が表示されます。エラー画面が表示された場合は、「◀」ボタンを押して再度選択してください。



- (c) 上記(a)において、選択したプリセット番号のプリセット値が登録されている場合には、下記の確認画面が表示され、選択したプリセット番号のプリセット値に現在登録されている値が表示されます。各項目を確認後、「■」ボタンを押して値を確定してください。また、「◀」ボタンを押すと③へと戻ります。



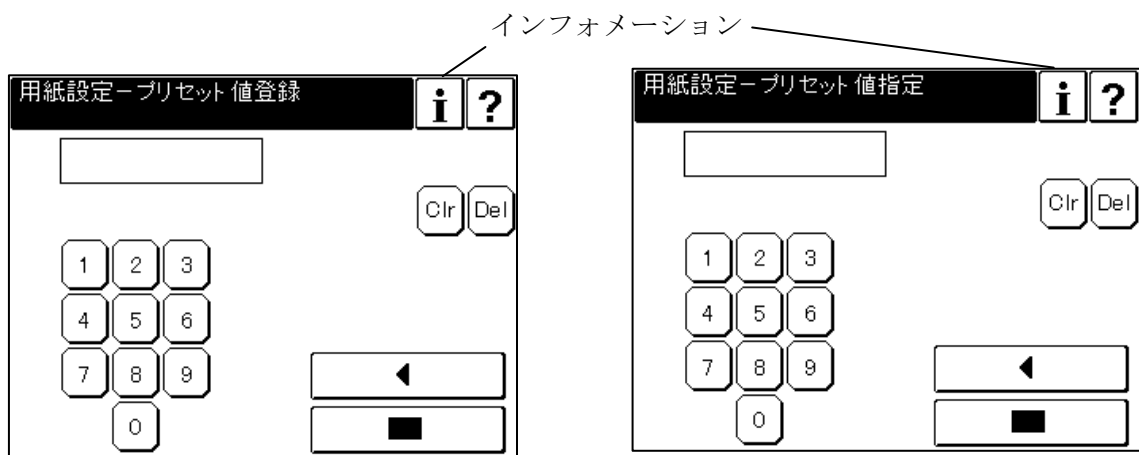
OG	B	01	
----	---	----	--

留意事項:

プリンタにセットされている用紙と、プリセット値で指定した用紙サイズが合っていることを確認してください。用紙サイズが合っていない場合、正しく印刷できません。また、「◀」ボタンを押すと値が確定されませんのでご注意ください。

(3) プリセットインフォメーション

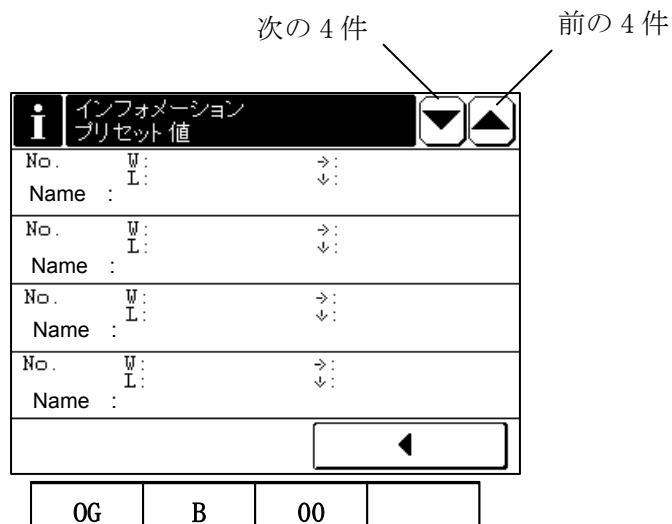
(a) 「プリンタ設定メニュー」－「用紙設定」－「プリセット値登録」または「プリンタ設定メニュー」－「用紙設定」－「プリセット値指定」を選択すると、下記の画面が表示されます。



(b) 上記(a)において、「**i**」ボタンを押すと、下記の画面が表示されます。登録されているプリセット値の内容について、プリセット番号1～4、5～8、…と4件ずつ表示されます。

「▼」ボタンを押すと次の4件のプリセット値が、「▲」ボタンを押すと前の4件のプリセット値が表示されます。値が未登録である場合には、プリセット値は棒線表示となります。

また(a)において、テンキーにてプリセット番号を入力してから「**i**」ボタンを押すと、入力したプリセット番号が含まれる範囲の4件が表示されます。



BLANK

0G	B	00	
----	---	----	--

第3章 用紙

3.1 この章の内容

この章では、以下の事項について説明します。

- 推奨される用紙
- 用紙重量と用紙サイズ
- 利用できない用紙
- 使用時に注意すべき点
- 用紙の保管方法
- 用紙の取り付け

OG	B	01	
----	---	----	--

3.2 推奨される用紙

良好な印刷品質を得るためには、推奨される用紙を使用してください。用紙の仕様や特殊な用紙への印刷方法については、付録 B「用紙の仕様」に詳しい情報を示してあります。

3.3 用紙重量と用紙サイズ

本プリンタでは、以下の重量とサイズの内紙を使用することができます。

- 連量: 55~135 kg (64~157 g/m² または 17~42 ポンド)
- 用紙幅: 165.1~457.2 mm (6.5~18 インチ)
- 用紙長: 177.8~355.6 mm (7~14 インチ)

3.4 利用できない用紙

以下の用紙は、用紙ジャムや印刷品質に関する問題を起こしますので、使用しないでください。

- 極端に厚いまたは薄い用紙
- 電子写真方式のプリンタまたは複写機で印刷した用紙(プレプリント紙は除く)
- しわのある用紙、やぶれのある用紙、曲っている用紙
- 濡れたり、湿ったりしている用紙
- 丸まった用紙
- 静電気を帯びた用紙
- のりの付いている用紙
- 特殊な塗装(コーティング)のしたある用紙
- 表面処理のなされている色紙
- 200 °Cの温度または約 300 kPa の圧力に耐えられない用紙
- 感熱紙
- カーボン紙
- ペーパー・ファスナー、ひも、帯等の付いている用紙
- 厚い生地の内紙
- ラベルをはがして裏の内紙が出ているラベル用紙

OG	B	01	
----	---	----	--

3.5 使用時に注意すべき点

用紙の仕様や特殊な用紙への印刷方法については、付録B「用紙の仕様」に詳しい情報を示してありますが、用紙によっては、注意をすべき点がありますので下記を参考にしてください。

- 圧着用紙／封書等は、用紙によっては重なって搬送される（重送を発生する）場合があります。この場合は、用紙のミシン目（山／谷）の部分を十分に捌いてから使用していただくと重送が低減できることがあります。
- カード紙／ラベル等は、用紙種類によってカード部／ラベル部の剥れやスタッカ部での用紙ジャムが発生する場合があります。この場合は、OCPより「プリンタ設定メニュー」—「オプション」—「カード紙制御」を「ユウコウ」に設定することで、用紙ジャム等を軽減できる可能性があります。

3.6 用紙の保管方法

用紙は正しく保管して、印刷品質が低下したり用紙ジャムが起こらないようにしてください。

- 用紙は、湿気のないところに水平に（平らに）置き、しわがよったり、曲ったり、丸まったりしないように注意してください。
- 用紙は、直射日光の当たらないところに保管してください。
- 使用しなかった用紙は、元の包装の中に戻して保管してください。

3.7 用紙の取り付け

3.7.1 操作の前に

装置の機能を十分に発揮させるために、お使いいただくにあたり以下の点にご注意ください。

- カバーを開いたまま印刷しないでください。外光の影響で印刷異常が発生することがあります。また、印刷中に不用意にカバーを開けないでください。印刷が停止する場合があります。可動部、通電部に触る危険があります。
- 印刷用紙や消耗品は指定されたものをお使いください。消耗品仕様書に合致しているかどうかご確認ください。指定以外のものを使用すると、用紙ジャムが多発したり、印刷品質が低下する等の障害の原因となります。
- 印刷用紙を取付ける時は、用紙の表面と裏面を間違えないでください。用紙の裏面に印刷すると送り穴や、ミシン目の折抜きの方向が反対となるため、OPC ドラムが傷つきやすくなり、印刷品質が低下します。
- 印刷用紙は用紙給紙部内に表示された所定の位置に正しく置いてください。正しく置かれていない場合には用紙がねじれた状態で搬送ユニットに送られるため、用紙ジャムとなることがあります。
- 用紙をトラクタに取付ける時には、3.7.3 節「用紙の張りの確認と調整」に記載されている状態に用紙の張りの確認と調整を行ってください。この張りの調整を忘れると用紙ジャム、印刷品質低下および OPC ドラム損傷の原因になります。
- 用紙を取付ける時には、6.3.1 節「スタッカ部での用紙ジャムの修復」に従って折りたたみミシン目の方向を正しく取付けてください。取付け方向を誤りますと用紙を折りたたむことができません。
- スタッカ部の「FORMS WIDTH」レバーおよび「FORMS LENGTH」ノブによる設定を用紙サイズに合わせて正しく行ってください。設定がずれるとスタッカジャムが発生します。
- 印刷用紙がポリエチレン袋、またはポリエチレンシートで梱包されている時には、ポリエチレン袋、またはポリエチレンシートを必ず収納箱の外側に折り返してください。ポリエチレンが折り返されてないと、ポリエチレン袋、又はポリエチレンシートが用紙に吸着されて、抵抗が増し用紙ジャムが発生することがあります。
- 印刷中は搬送ユニットを開かないでください。開いた場合には用紙ジャムが発生し、OPC ドラムを傷つけたり、データの破壊となります。
- HR ユニットに入るまでの印刷部分は未定着です。従って、この部分は軽く触れるだけでトナーが取れてしまいますので、触れないでください。
- 印刷終了後用紙を排出する場合には、オペレータ・コントロール・パネル (OCP) の「NPRO」アイコンに触れて排出してください。未定着部が定着されて排出されます。PF パネルの「FORWARD」スイッチを使用して排出すると、未定着部が定着されずに排出され印刷結果は損傷され装置内が汚れます。

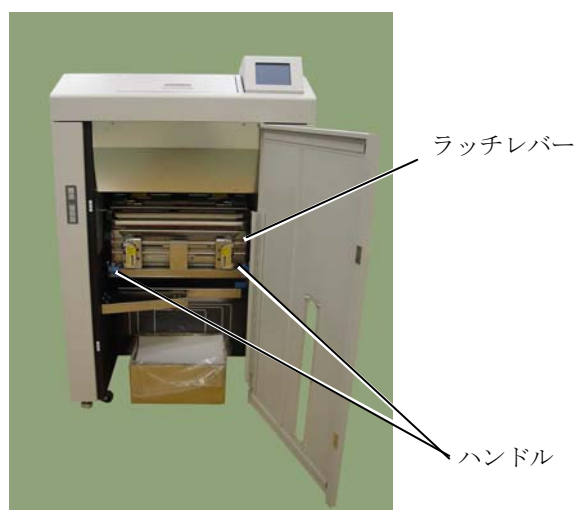
OG	B	02	
----	---	----	--

- 印刷前に、「FORMS SELECT」スイッチの設定が誤っていないか確認してください。誤って設定すると定着力の低下、印刷汚れが発生することがあります。
- プリンタに用紙を取り付けたまま長時間放置した場合、用紙が湿気を帯びてしまうため、ジャムの発生要因となります。また、HR ユニットにある用紙が熱の為若干変色することがあります。焼損することはありませんが、30 分以上印刷しない場合は出来るだけ用紙を外しておくようにしてください。
- 用紙給紙部やスタッカの容量を超えないように使用してください。
- その他操作に際しては、必ず装置に表示されている操作銘板の指示に従ってください。
- 省電力モード中はカバーを開けたり、搬送ユニットを開けたり、用紙給紙部側やスタッカ側から用紙を引っ張ったりしないでください。印刷不良が発生したり、印刷位置がずれる場合があります。

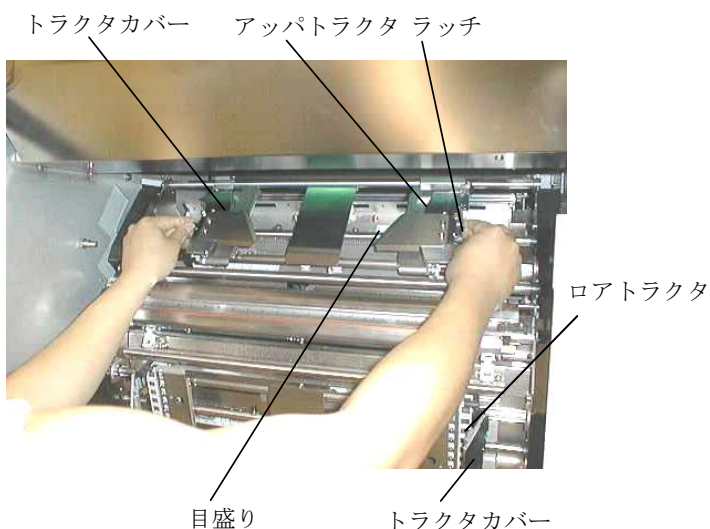
3.7.2 用紙の取り付け

以下の手順に従って、搬送ユニットに用紙を取り付けてください。

1. フロントカバ(L)クミを開けてください。
2. 搬送ユニットのハンドルを持って、ハンドル上部のラッチレバーに指をかけ、ロックを解除し搬送ユニットを開けてください。
3. 用紙の表面が印刷面（用紙の先頭を持上げた時正面側になる面）になるように、用紙の箱を用紙給紙部の中央部奥に突き当ててセットしてください。（用紙セット位置を示す銘板を目安としてください。）



4. アップトラクタの両側のラッチを外します（つまみが真上を向く状態）。次に、両側のトラクタを持ち、用紙幅の目盛りに合わせてアップトラクタを移動してください。
5. 用紙幅の目盛りに合わせてロアトラクタを移動してください。
6. アップトラクタ／ロアトラクタのトラクタカバーを開けてください。



留意事項：

トラクタカバーを開けた状態で、トラクタカバーをつかんでトラクタを移動させないでください。トラクタカバーが破損する恐れがあります。

7. 用紙の先頭ページを下表のように取り付けてください。用紙の先頭ページは、用紙連量、ミシン目の方向、用紙の長さによって切断する必要があります。詳しくは次ページの「用紙の切り取り方法」を参考にしてください。

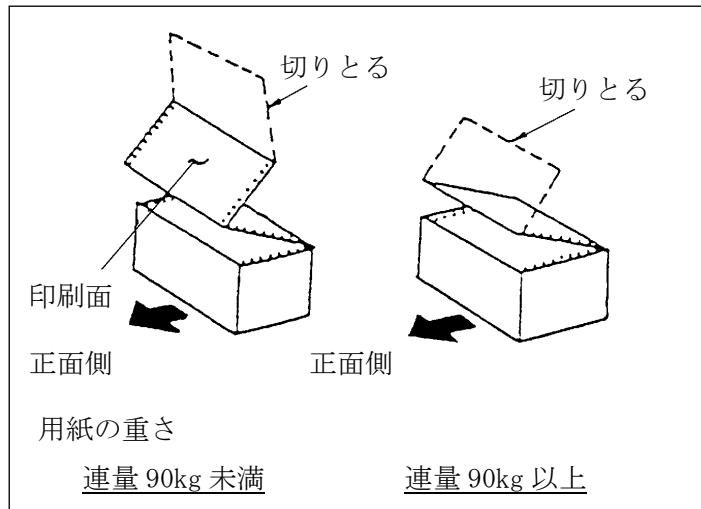
用紙連量	用紙の取付け方
90kg 未満(薄紙)	先頭ページを2枚折りにして取り付ける
90kg 以上(厚紙)	先頭ページは1枚のまま取り付ける

留意事項：

用紙セットを正しく行わないと、用紙が正しく折りたたまれないため、用紙ジャムが発生する可能性があります。

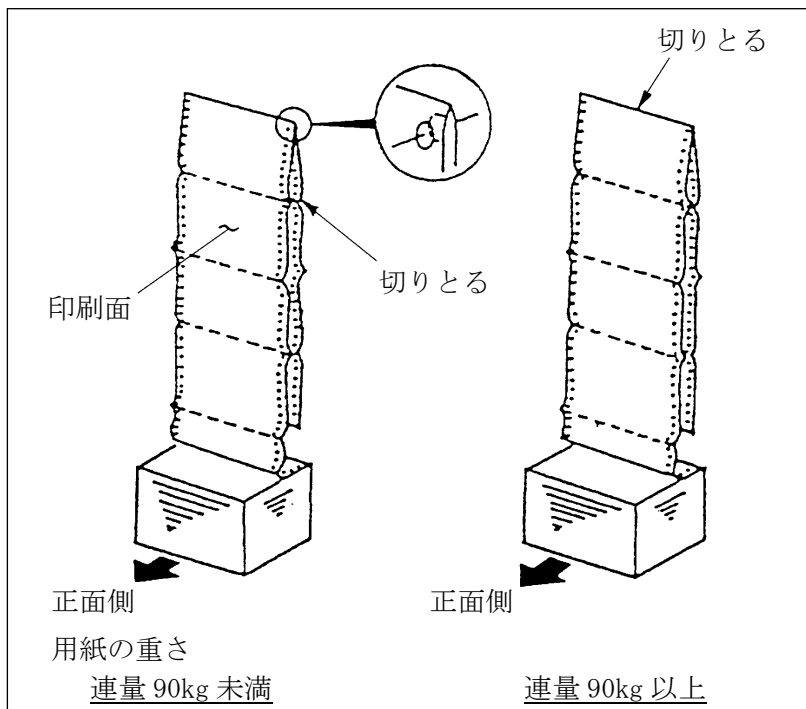
用紙の切り取り方法

- 用紙長が 12.7mm(1/2 インチ)の整数倍の用紙



- 用紙長が 12.7mm(1/2 インチ)の整数倍ではない用紙:

用紙を重ね合わせ、用紙の送り穴がお互いに一致する折りたたみ山ミシン目を見つけてください。次に用紙連量に応じて下図のように用紙を切断してください。



留意事項:

用紙の先頭ページを切断する時は、以下のことに注意してください。

- ・必ずミシン目から切断する。
- ・切れ端を残さない。
- ・用紙の先端部分を折ったり、曲げたりしない。

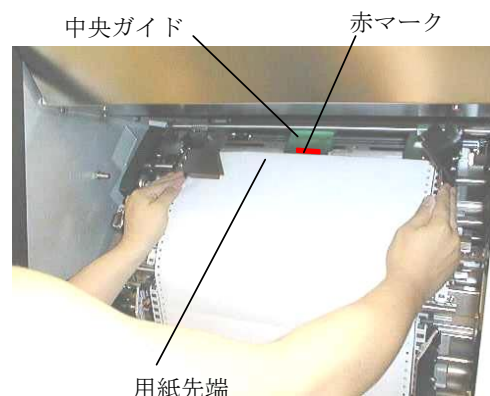
上記のような状態で用紙を使用しないと自動装填エラーになることがあります。また自動装填ができて印刷位置がずれる場合があります。

OG	B	02	
----	---	----	--

8. 用紙の先端を中央ガイドの赤マーカの前後約10mm以内に合わせ、アップトラクタのトラクタピンに用紙の送り穴を入れてください。
- 3.7.3節「用紙の張りの確認と調整」に従い、用紙の張りを調整してください。

留意事項：

457.2mm(18インチ)幅の用紙の場合、搬送ユニットのハンドルに用紙端部が引っかかります。用紙セット後に、用紙をハンドルの内側に入れてください。



9. アップトラクタのトラクタカバーを閉めてください。

留意事項：

搬送ユニットを閉める前に必ずトラクタカバーを閉めてください。



10. 搬送ユニットのハンドルを持ち、搬送ユニットを上げ、きちんとロックするまで閉めてください。



注意

搬送ユニットを閉める時、ハンドルとラッチレバーの間に指を入れないでください。指を挟む場合があります。

留意事項：

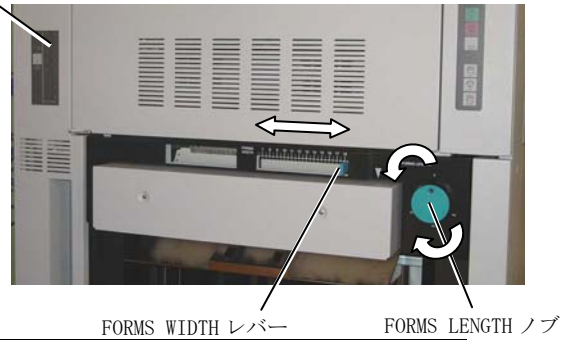
搬送ユニットは左右のハンドルを持って完全に閉めてください。ロックが正確にかかっていないと用紙ジャムを発生させる原因となることがあります。

11. アップトラクタ/ロアトラクタ間で用紙にたるみが生じないように、ロアトラクタのトラクタピンに用紙の送り穴を入れてください。3.7.3節「用紙の張りの確認と調整」に従い、用紙の張りを調整してください。トラクタの幅はトラクタノブを回すと微調整できます。時計回りで広がり、反時計回りで狭くなります。



OG	B	02	
----	---	----	--

12. ロアトラクタのトラクタカバーを閉めてください。
13. フロントカバ(L)クミを閉めてください。
14. スタッカの「FORMS WIDTH」レバーを用紙幅に合わせて移動させてください。

**留意事項:**

「FORMS WIDTH」レバーの位置が用紙幅に合っていないと自動装填に失敗したり、印刷中の用紙ジャムの原因となることがあります。「FORMS WIDTH」レバーの位置は用紙幅に正しく合わせてください。

15. スタッカの「FORMS LENGTH」ノブを用紙長に合わせて回転させてください。

留意事項:

「FORMS LENGTH」ノブの位置が用紙長に合っていないと、印刷位置が合わなかったり、印刷中の用紙ジャムの原因となることがあります。「FORMS LENGTH」ノブの位置は用紙長に正しく合わせてください。「FORMS LENGTH」パネルで用紙長を確認してください。

用紙長の設定が正しくない場合は、「FORMS LENGTH」パネルのLEDが全灯します。

16. ST パネルまたは PF パネルの「AUTO LOAD」スイッチを押してください。自動装填中はブザー音によりプリンタの状態が示されます。

状 態	ブザー音
自動装填準備中	0.1 秒オン, 1 秒オフのくり返し (用紙幅変更時最大 3 分)
自動装填中	ブザーオフ
自動装填正常終了	ブザーオフ
自動装填異常終了	1 秒オン, 1 秒オフのくり返し

**注意**

スタッカテーブル上に用紙を残したまま自動装填を行うと、用紙の先端が初期の位置にうまく案内されないため、印刷開始直後にジャムが発生することがあります。スタッカテーブル上に残った用紙は必ず取り除いてください。

留意事項:

- ・ 使用する用紙幅を 38.1mm(1.5 インチ)以上広げた場合に、プリンタの暖機動作のため「AUTO LOAD」スイッチを押してから自動装填が開始されるまで最大 3 分間かかる場合があります。
- ・ OCP の表示がメインメニューとなる前、または「ジドゥカ ックアッ チュ」を表示している場合は「E02B」を表示し、自動装填が中断する場合があります。

16. (続き)

なお、プリンタが以下のような状態になっていると自動装填が開始されません。正しい状態に戻してから、自動装填をやりなおしてください。

原因	処理
リアカバ(N)クミが開いている	リアカバ(N)クミを閉めてください。1.5 節参照
搬送ユニットが開いている	搬送ユニットを閉めてください。
用紙がセットされていない	用紙をセットしてください。用紙はペーパーガイド(用紙検出機構)の間を通してからトラクタピンにセットしてください。
プリンタ内に用紙が残っている	プリンタ内の用紙を取り除いてください。
HR ユニットがセットされていない	HR ユニートをセットしてください。6.2.4 節参照

17. 印刷開始前に、下記の確認及び設定を行なってください。

- 3.7.5 節「用紙の停止位置の確認」に従い、停止位置の確認を行なってください。ズれている場合は合わせてください。
- 印刷する用紙の連量に従い、PF パネルの「FORMS SELECT」スイッチのランプ表示を確認してください。A は 55kg～71kg 用紙、B は 72kg～135kg 用紙です。合っていない場合はスイッチを押して合わせてください。
- 用紙のミシン目の山谷位置を 6.3.1 節「スタッカ部の用紙ジャムの修復」のステップ 3～5 に従い確認し、合っていない場合は合わせてください。

留意事項：

自動装填エラーが頻発する場合は、下記の①または②の処置を行ってください。

- ① 用紙連量 90kg 以上の場合、先頭ページを 2 枚折り（用紙連量 90kg 未満と同様）にして搬送ユニットに用紙を取り付けて、自動装填を行ってください。
 - ② 先頭ページの反りを矯正して自動装填を行ってください。
-

18. OCP から用紙サイズを設定します。「プリンタ設定メニュー」－「用紙設定」－「用紙サイズ」を選択し、値を設定してください。

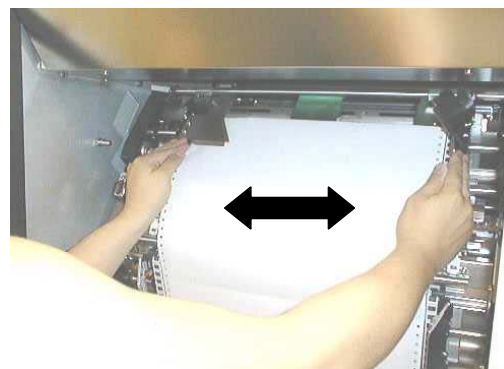
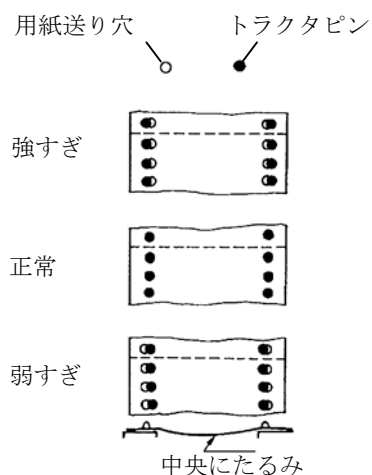
- ① 用紙幅テキストボックスを押してください。
- ② テンキーから数値を入力後、「■」ボタンを押して数値を確定してください。
- ③ 用紙長テキストボックスを押してください。
- ④ 「▼」「▲」ボタンを押して数値を入力後、「■」ボタンを押して数値を確定してください。
- ⑤ 用紙幅と用紙長が表示されますので、確認後「■」ボタンを押してください。

OG	B	03	
----	---	----	--

3.7.3 用紙の張りの確認と調整

以下の手順に従って、トラクタにセットした用紙の張りの確認と調整をしてください。

1. アップトラクタとロアトラクタのトラクタカバーを開けてください。
2. トラクタピンに用紙の送り穴がきちんと入っているか見ます。トラクタピンで送り穴が変形していたら、用紙の幅方向の張りが強すぎます。
3. 用紙の中央にたるみがないか見ます。もしあったら、用紙の幅方向の張りが弱すぎます。
4. 用紙の幅方向の張りが強すぎたり弱すぎたりしたら、以下に従い調整します。
 - a. アップトラクタのトラクタラッチを外します。(つまみが真上を向く状態)
 - b. 両側のトラクタをほんの少し内側か外側に動かして張りを弱めるか強めるかして、張りを正しく調整します。ロアトラクタはトラクタノブを回転させることにより微調整できます。
 - c. アップトラクタのトラクタラッチを元に戻します。
5. アップトラクタとロアトラクタのトラクタカバーを閉めてください。



留意事項:

- 穴の変形が大きくなると、用紙が外れやすくなります。張りが不足すると、自動装填エラーが起きやすくなります。必ず用紙の張りを確認してください。
 - 用紙を交換した時は印刷前に必ず用紙の張りを再確認してください。
-

3.7.4 用紙の取り出し

以下の手順に従って、スタッカから用紙を取り出してください。

用紙給紙部側で用紙を切断する場合

1. フロントカバ(L)クミを開けてください。
2. 搬送ユニットと用紙箱の間のミシン目で用紙を切断してください。
3. OCPのNPROアイコンに触れて、用紙を排出してください。

留意事項:

PFパネルのFORWARDスイッチを使って用紙を排出すると、トナーが定着しないまま排出されてしまいます。

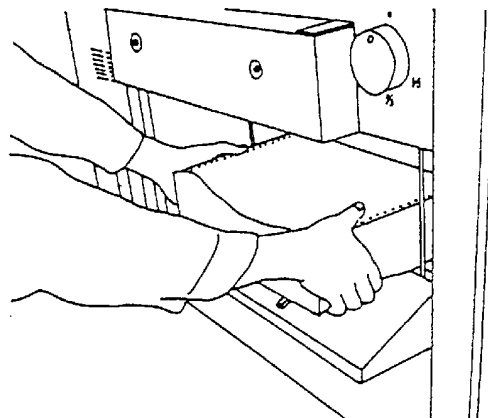
4. スタッカテーブルから用紙を取り出してください。

留意事項:

ミシン目で用紙を切断後、用紙箱側の用紙を手前側のペーパーガイドに掛けないようにしてください。EOFを検出できなくなるため、E077(バッファプレートアガリスギ)を検出し、リカバリ印刷を行なう可能性があります。

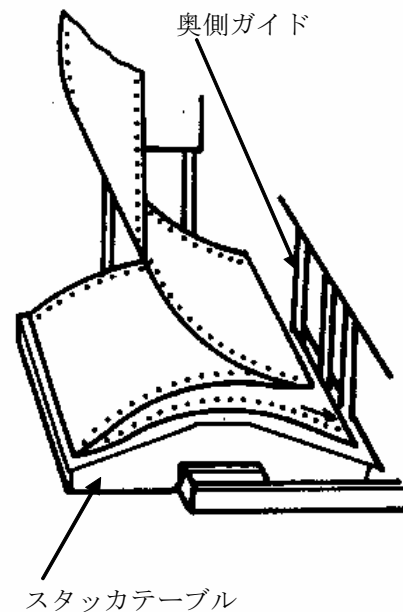


切り取り位置



スタッカ側で用紙を切断する場合

1. STパネルの「DOWN」スイッチを押して、スタッカテーブルを下降させてください。
2. スタッカテーブルに2ページ以上残るようにミシン目で切断し、用紙を取り出してください。
3. スタッカテーブルのたれ下がった用紙を折りたたみ方向に合わせて折りたたみ、用紙が奥側ガイドに均等に突き当たるまで押し込んでください。
4. STパネルの「UP」スイッチを押して、スタッカテーブルを上昇させてください。スタッカテーブルの上昇中に用紙がずれた場合は、STパネルの「STOP」スイッチを押してスタッカテーブルをいったん止めます。用紙を整えた後、用紙を奥に押し込み、再度「UP」スイッチを押してください。



注意

- 用紙をプリンタに取り付けるときや取り出すとき等で用紙を持ち上げる場合は、腰や背中に無理な力がかからないようにしてください。用紙を両手でしっかり持ち、背中を地面に垂直になるようにして、足の筋肉を使って持ち上げるようにしてください。
- スタッカテーブルの動作中は、スタッカテーブルの上および下には絶対に手や足等を入れないでください。テーブルとフレームの間にはさまれる恐れがあります。
- 用紙の取り出しおよび手直しはスタッカテーブルが停止していることを確認してから行ってください。

留意事項：

用紙がスタッカテーブル上に正しくセットされていないと、スタッカセーフティ、スタッカジャム等を引き起こす恐れがあります。

3.7.5 用紙の停止位置の確認

用紙の送り方向の印刷位置が 4.2mm (1/6 インチ) 以上ずれている場合、次のステップに従って、用紙の停止位置を合わせてください。(但し、用紙ジャムの場合は 6.3 節「用紙ジャムの修復」に従って修復してください。)

1. 搬送ユニットを開けてください。
2. 用紙のミシン目の位置を確認してください。リトラクタ部にある赤マーカと同位置にミシン目があれば正常の停止位置です。ミシン目位置が前後にずれていれば PF パネルの「FORWARD」または「REVERSE」スイッチを押して、赤マーカと合わせてください。
3. 搬送ユニットを閉めてください。

留意事項:

搬送ユニットの開閉はゆっくり行ってください。早く開閉すると装置内に未定着の用紙がある場合、印刷部が乱れたり、欠落する場合があります。

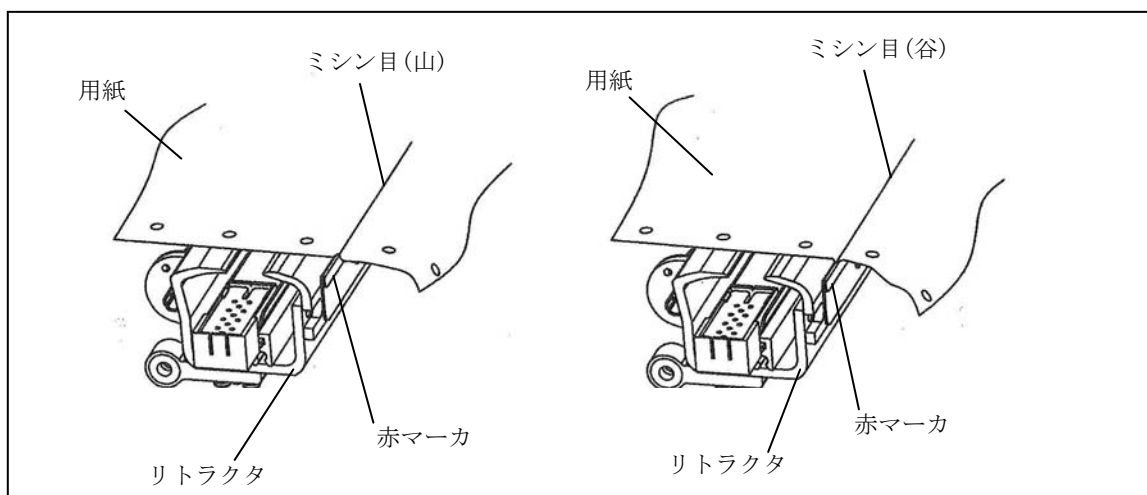


注意

搬送ユニットを閉める時、ハンドルとラッチレバーの間に指を入れないでください。指を挟む場合があります。

留意事項:

搬送ユニットは左右のハンドルを持って完全に閉めてください。左右のラッチが正確にかかっていないと用紙ジャムを発生させる原因となることがあります。



4. 搬送ユニットから出ている用紙の最初のミシン目が「山」か「谷」かを判別してください。
5. PF パネルの「FORMS SET」スイッチを押下し、スイッチのランプ表示を搬送ユニットから出た最初のミシン目の「山」か「谷」に合わせてください。始めから、ミシン目と「FORMS SET」スイッチのランプ表示が合っている場合は、2 回「FORMS SET」スイッチを押してください。

OG	B	01	
----	---	----	--

3.7.6 印刷位置の確認

次のステップに従って、印刷位置を確認してください。

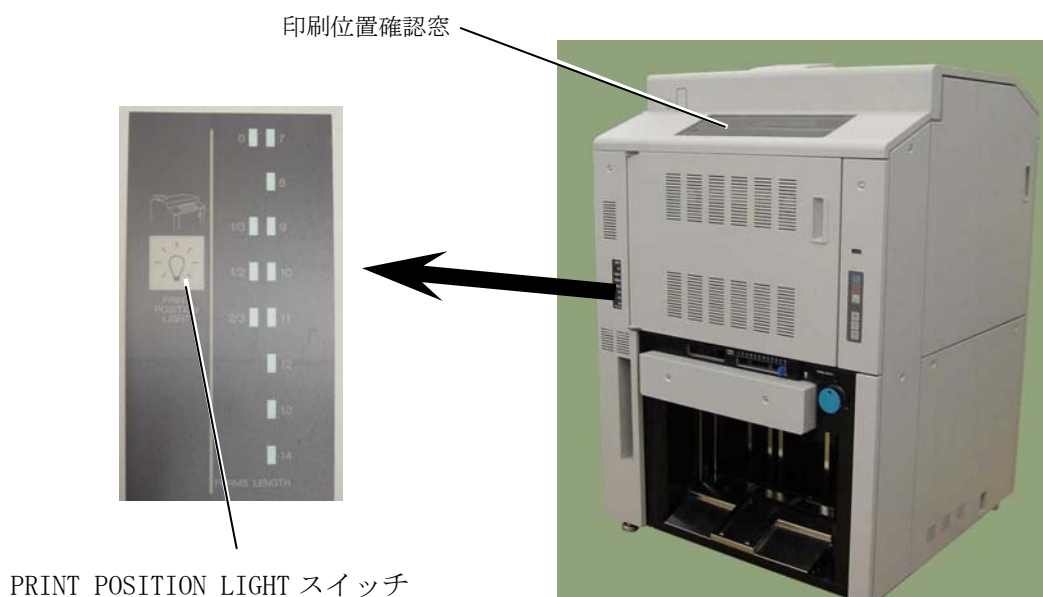
確認方法(A)

1. 3.7.2 節「用紙の取り付け」に従って、用紙を取り付けてください。
2. テスト用のジョブ（サンプル印刷）を数ページ印刷した後、印刷を停止してください。
3. ST パネルの「DOWN」スイッチを押してスタッカテーブルを下げてください。
4. 印刷結果を確認してください。
5. ST パネルの「UP」スイッチを押してスタッカテーブルを上げてください。
6. 印刷位置の変更が必要な場合は、後述の「印刷位置の調整」に従って調整してください。

上記の方法で確認できない場合は、以下のステップに従ってください。

確認方法(B)

1. 3.7.2 節「用紙の取り付け」に従って、用紙を取り付けてください。
2. テスト用のジョブ（サンプル印刷）を数ページ印刷した後、印刷を停止してください。
3. 印刷位置確認窓より印刷結果を確認してください。暗くて見えづらい時には「PRINT POSITION LIGHT」スイッチを押して印刷結果を確認してください。
4. 印刷位置の変更が必要な場合は、後述の「印刷位置の調整」に従って調整してください。



上記の方法で確認できない場合は、以下のステップに従ってフロント側で確認してください。

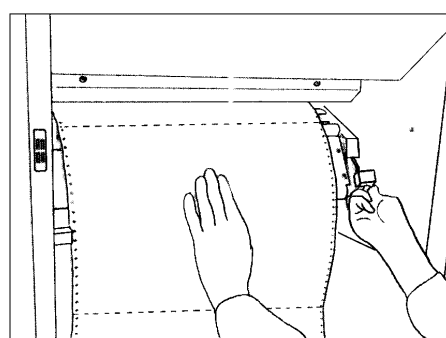
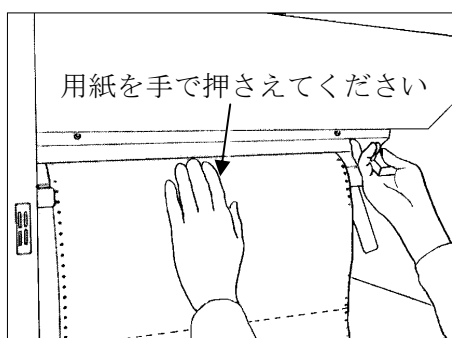
OG	B	02	
----	---	----	--

確認方法(C)

留意事項:

搬送ユニット開閉時に装置内に未定着の用紙がある場合には、印刷部が装置内部に接触し、汚れたり欠落する場合があります。従って、実際に出力結果として利用するデータを印刷した場合には搬送ユニットを開閉しないで下さい。

1. 3.7.2 節「用紙の取り付け」に従って、用紙を取り付けてください。
2. テスト用のジョブ(サンプル印刷)を数ページ印刷した後、印刷を停止してください。
3. フロントカバーを開けてください。
4. 搬送ユニットを開いてください。



留意事項:

- ・ 搬送ユニットの開閉はゆっくり行ってください。
 - ・ 搬送ユニット開閉時に装置内に未定着の用紙がある場合には、印刷部が装置内部に接触し、汚れたり欠落する場合があります。また、次回用紙装填時に用紙の先端(余白ページ)が装置内に付着したトナーで汚れる場合があります。
 - ・ 搬送ユニットを開いた時に見える用紙上のトナーは未定着です。手等で触れると印刷部が汚れたり、手等にトナーが付着します。
-

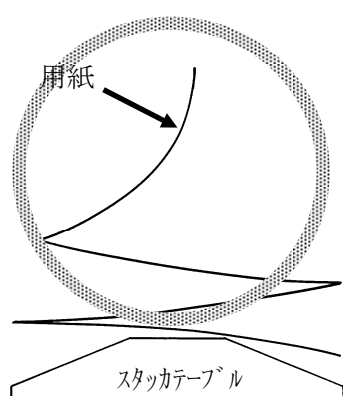
5. 3.7.5 節「用紙の停止位置の確認」を参照し用紙の停止位置を確認してください。用紙の停止位置がずれていないことを確認して用紙の印刷結果を確認してください。万一用紙の停止位置がずれている場合は、3.7.2 節「用紙の取り付け」を参照し、用紙のセットからやり直してください。
6. 印刷位置の確認ができれば次項7に進んでください。

7. 印刷結果を確認し、印刷位置の調整を行う場合には、後述の「印刷位置調整手順」に従って印刷位置を調整してください。
8. 搬送ユニットを閉めてください。
9. フロントカバ(L)クミを閉めてください。
10. スタッカ内の用紙の折りたたみを確認してください。(下記確認方法参照)

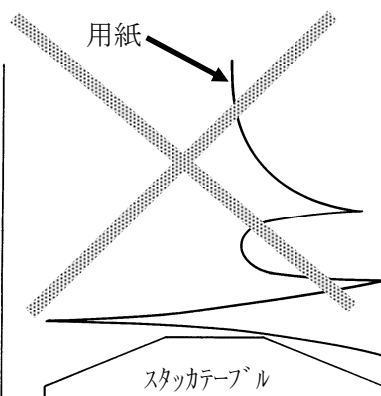
用紙折りたたみ状態確認方法

スタッカテーブルを中程まで下げて、スタッカテーブル上の用紙の折りたたみがミシン目と合っていることを確認してください。

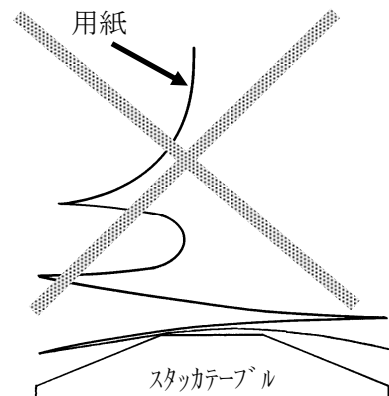
用紙の折りたたみがミシン目と合っていない場合は、ミシン目と合う様折りたたみを直してください。その後、スタッカテーブルを上げてください。



用紙の折りたたみが
ミシン目と合っている場合



用紙の折りたたみが
ミシン目と合っていない場合

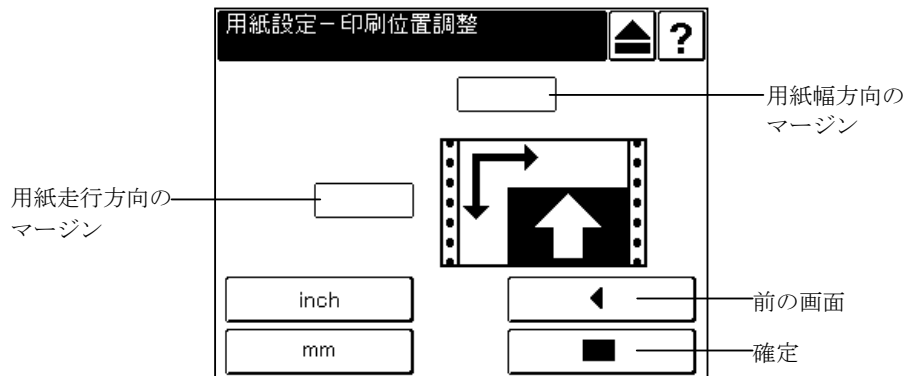


上図の様な状態ではスタッカ
テーブルを下げて確認しないと
正しく用紙が折りたたまれてい
る様に見える場合があるのでご
注意ください。

印刷位置調整手順

この機能は、印刷されるページの中で像をずらす必要がある時に使用します。

1. 「プリンタ設定メニュー」－「用紙設定」－「印刷位置調整」メニューを選択すると、以下の画面が表示されます。



2. インチで設定をする場合は「inch」ボタンを、ミリで設定する場合は「mm」ボタンを押します。
3. 用紙幅方向の左マージンを変更する場合は、用紙幅方向のマージンを示すテキストボックスを押し、以下のようにテンキー付きの設定画面を表示させます。



4. テンキーを使って、現在の位置からの横方向の移動距離を入力します。入力後、「■」ボタンを押すと入力値が確定し、自動的に前画面に戻ります。入力した値がテキストボックスに表示されます。
5. 用紙走行方向の上マージンを変更する場合は、用紙走行方向のマージンを示すテキストボックスを押します。用紙幅方向の設定と同様にテンキー付きの設定画面が表示されます。テンキーを使って現在の位置からの走行方向の移動距離を入力後、「■」ボタンを押します。
6. 前画面に戻り、用紙幅方向と用紙走行方向の入力値がテキストボックスに入っていることを確認し、「■」ボタンを押して設定を有効にします。このとき「■」ボタンでなく「◀」ボタンを押すと、入力した調整値が有効にならないので注意してください。

第 4 章

ネットワーク設定

4.1 この章の内容

この章では、以下の事項について説明します。

- ネットワークへの接続
- ネットワーク・インターフェースの設定
- MAC アドレスの確認
- プリンタドライバのインストール
- UNIX オペレーティングシステムへの登録
- JP1/NPS システムへの接続

留意事項：

本章は、システムおよびネットワークの管理概念について熟知している方を対象としています。ネットワーク環境へのプリンタ登録については、お客様のネットワーク環境でホスト、サーバおよびプリンタの管理責任を持つネットワーク管理者に確認してください。

4.2 ネットワークへの接続

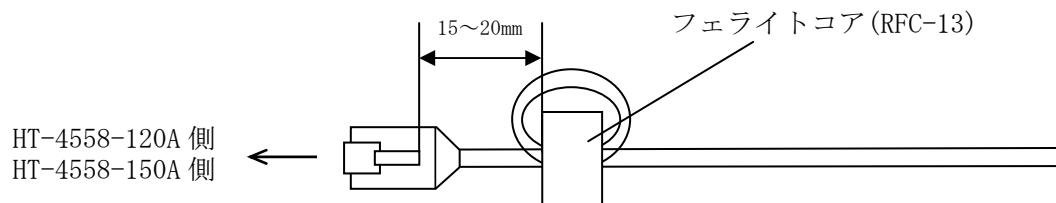
本プリンタは、以下のネットワーク・インターフェースをサポートしています。

■10BASE-T/100BASE-TX/1000BASE-T（自動切り替え）Ethernet

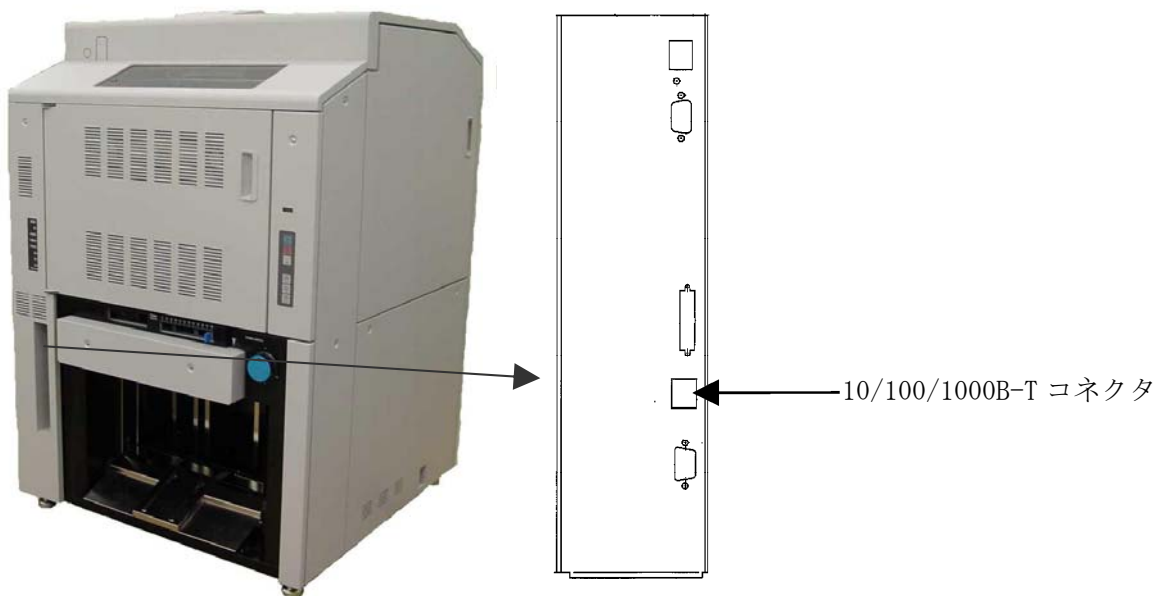
TCP/IP、LPR/LPD および AppleTalk のプロトコルをサポートしています。

留意事項：

Ethernet ケーブルは、プリンタの電源を入れる前にネットワークコネクタに接続してください。



プリンタをネットワークに接続するには、お客様の環境の Ethernet ケーブル(10BASE-T の場合はカテゴリー3 以上、100BASE-TX の場合はカテゴリー5 以上、1000BASE-T の場合はカテゴリー5e 以上の UTP ケーブル)に上図の様にフェライトコアを取り付け、プリンタのリア側にあるネットワークコネクタ (10/100/1000B-T コネクタ) に接続してください。



4.3 ネットワーク・インターフェースの設定

ここでは、プリンタの IP アドレス設定や LPR/LPD、AppleTalk 印刷に必要な情報を説明します。

4.3.1 IP アドレスその他のネットワーク・パラメータの設定

プリンタの IP アドレスやその他ゲートウェイアドレス等のネットワーク・パラメータは、オペレータ・コントロール・パネル (OCP) を使用して設定します。



注意

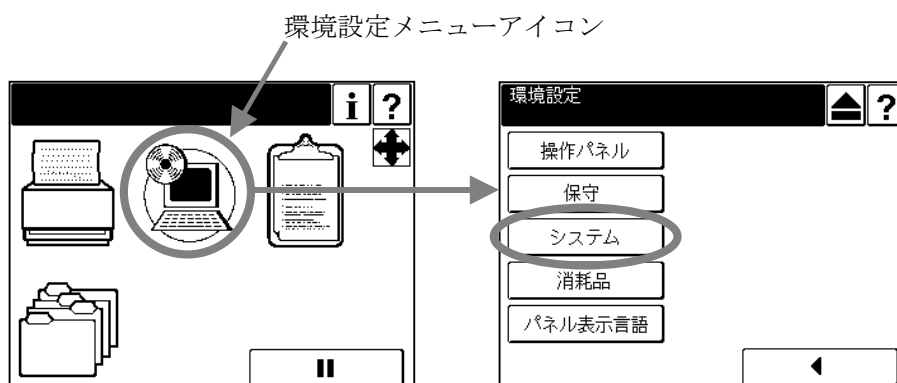
IP アドレスを設定する場合、ネットワーク管理者から与えられた IP アドレスであることを確認して下さい。誤った IP アドレスを設定すると、ネットワークの破壊等、ネットワーク環境に深刻な被害を与える可能性があります。

留意事項:

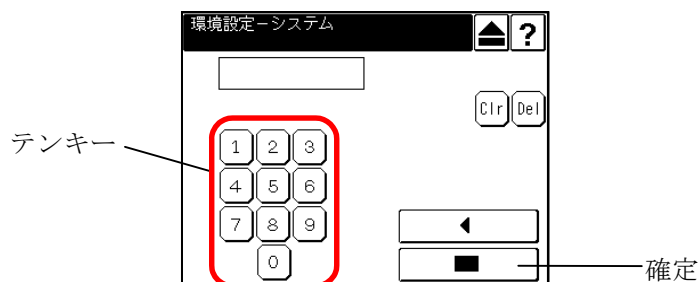
セットアップ操作の前に、Ethernet ケーブルをネットワークコネクタに接続してください。Ethernet ケーブルを接続していない状態でネットワーク・パラメータを設定した場合は、Ethernet ケーブルを接続し、プリンタの電源を切り、しばらく待って、再びプリンタの電源を入れてください。

以下に、OCP からネットワーク・パラメータを設定する手順を示します。関連情報が、第 2 章「オペレータ・コントロール・パネル」に記述されています。

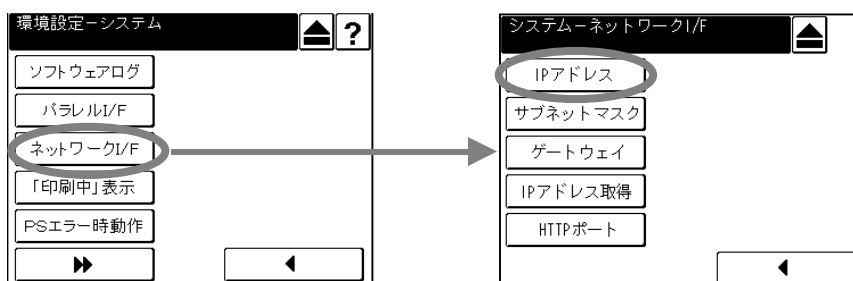
1. OCP のメイン・メニュー画面で、「環境設定メニュー」アイコンを押します。環境設定画面が表示されたら、「システム」ボタンを押します。



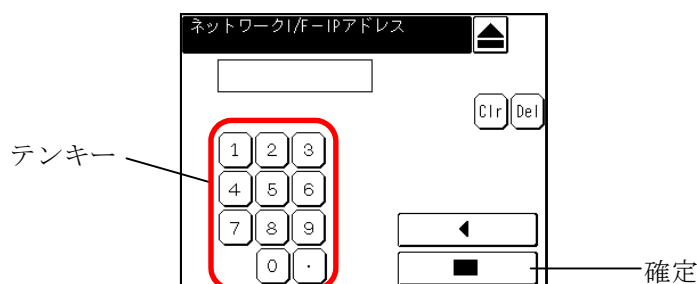
- システムパスワード認証画面に切り替わります。有効なシステムパスワード（初期値“1000” またはその後の変更値）をテンキーで入力し、「■」ボタンを押します。



- 「システム」サブメニュー画面に切り替わります。「ネットワーク I/F」ボタンを押して「ネットワーク I/F」サブメニュー画面を表示し、「IP アドレス」ボタンを押してください。



- テンキー付きの設定画面に切り替わりますので、IP アドレスをドット区切り書式で入力（例：192. 1. 1. 195）します。このとき、ドット “.” も入力する必要があります。テンキー入力を完了したら、「■」ボタンを押します。



- IP アドレスが設定され、「ネットワーク I/F」サブメニュー画面に戻ります。IP アドレス以外の項目を設定する場合は、該当する項目のボタンを押してください。4 項と類似の設定画面に切り替わりますので、同様の手順で値を設定してください。

OG	B	02	
----	---	----	--

4.3.2 TCP/IP プロトコルを使用した LPR/LPD 印刷

TCP/IP 環境で Windows や UNIX オペレーティングシステムから本プリンタをネットワークプリンタとして使用する場合、下記のプリントキュー名を PDL 設定またはエミュレーション設定によって指定する必要があります。

- PostScript プリンタとして使用する場合： postscript (すべて小文字)
- PCL プリンタとして使用する場合： vp-pcl (すべて小文字)

留意事項：

- ・ 「LPRバイトカウントを有効にする」とプリンタの「スプーリング」設定の組み合わせでの1ファイルの転送制限は以下のようになります。ただし、コントローラソフトウェア A002以降。
- ・ プリンタの「スプーリング」設定に関しては、5.4.2.2節「システム-論理プリンタ」ページを参照してください。(LPR/LPDの場合)

LPR バイトカウントを有効にする	スプーリング	上限値	備考
ON	「LPD のみ」 「LPD と Raw Socket」	2GB	*1 の制約あり *2 の制約あり
ON	無し	4GB	4GB を超えた場合は 4GB 未満の端数まで印刷 *1 の制約あり
OFF	「LPD のみ」 「LPD と Raw Socket」	印刷不可	*1 の制約あり
OFF	無し	なし (100TB)	運用上は上限値なし

(RAW の場合)

スプーリング	上限値	備考
「Raw Socket のみ」 「LPD と Raw Socket」	2GB	2GB を超えた場合は印刷不可 *1 の制約あり

*1：上限値を超えた場合、上位 PC からのジョブの再送が行なわれる場合があります。

*2：1 ファイルの容量と印刷動作の関係は以下のようになります。

2GB 以上 4GB 未満、6GB 以上 8GB 未満、10GB 以上 12GB 未満…:印刷不可

4GB 以上 6GB 未満、8GB 以上 10GB 未満 12GB 以上 14GB 未満…:4GB 未満の端数まで印刷

Windows XP/Server 2003/Vista を使用する場合、Windows の「標準 TCP/IP ポートモニタの構成」画面の「LPR 設定」項目に表示される「LPR バイトカウントを有効にする」の選択を確認してください。

Windows XP/Server 2003/Vista での LPR バイトカウント設定の確認方法について以下説明します。

1. Windows を起動して、「Administrator」等の管理者権限を持ったユーザ名でログオンします。
2. Windows XP/Server 2003 の場合
「スタート」－「コントロールパネル」を選択し、コントロールパネルを開きます。次に「プリンタと FAX」をダブルクリックします。

Windows Vista の場合

「スタート」－「コントロールパネル」を選択し、コントロールパネルを開きます。次に「プリンタ」をダブルクリックします。「プリンタ」が表示されていない場合は、「クラシック表示」を選択して下さい。

OG	B	05	
----	---	----	--

3. 該当するプリンタアイコン上にマウスポインタを合わせ、右ボタンクリックして「プロパティ」を選択します。
4. プリンタのプロパティ画面より「ポート」タブを選択します。
5. 「ポートの構成」ボタンをクリックすると、「標準 TCP/IP ポートモニタの構成」画面が表示されますので、「LPR 設定」項目に表示される「LPR バイトカウントを有効にする」の設定を確認ください。

4.3.3 AppleTalk プロトコルを使用した印刷

AppleTalk 環境で本プリンタをネットワークプリンタとして使用する場合、以下の論理プリンタを指定してください。

■ PSAXxxxxx *

* : 論理プリンタ名に使用されている “xxxxxx” は、ネットワーク・インターフェース・カードの持つ MAC アドレス (Ethernet アドレス) の下 6 桁を示します。MAC アドレスの確認については、4.4 節「MAC アドレスの確認」を参照してください。

AppleTalk ゾーンの設定が必要な場合には、以下の設定を Web ブラウザから行ってください。


1. 「管理」 - 「構成」 - 「通信」をクリックします。
「構成 - 通信」設定ページに切り替わります。
2. 「AppleTalk」ボタンをクリックします。
3. 「AppleTalk ゾーン」フィールドに、設定したいゾーン名をタイプします。
4. 「確定」ボタンをクリックします。

留意事項:

Windows Server 2003 にて、プリンタポートに PSAXxxxxx を指定する場合、「AppleTalk 印刷装置の確保」を選択しないでください。本プリンタは、「AppleTalk 印刷装置の確保」に対応していません。

4.4 MAC アドレスの確認

本プリンタの MAC アドレスは、以下の手順で OCP から確認できます。関連情報と参考情報が、第 2 章「オペレータ・コントロール・パネル」に記述されています。

1. OCP のメインメニューにて、「」ボタンを押すと、インフォメーション・メニュー画面に切り替わります。
2. インフォメーション・メニュー画面の「ネットワーク」ボタンに触れます。
 - 「インフォメーション ネットワーク」画面が表示され、MAC アドレス、IP アドレスその他の現在設定されているネットワーク情報が表示されます。

OG	B	03	
----	---	----	--

4.5 プリンタドライバのインストール

添付されている CD-ROM からクライアント PC に、各 PC の OS に合ったプリンタドライバをインストールしてください。詳細は CD-ROM に格納されているプリンタドライバの README ファイルを参照してください。

4.6 UNIX オペレーティングシステムへの登録

ここでは、本プリンタを UNIX オペレーティングシステムに登録する手順を説明します。登録手順は、以下のオペレーティングシステム別に説明していますので、ご使用のオペレーティングシステムにあった説明を参照してください。

- Solaris 2.6, 7, 8, 9
- HP-UX 11i
- AIX 5L

留意事項:

UNIX オペレーティングシステムに登録し、使用するためには、本プリンタに IP アドレスが設定されている必要があります。

4.6.1 Solaris 2.6, 7, 8, 9

ここでは、本プリンタを Solaris 2.6, 7, 8, 9 に登録する手順を説明します。この登録を行うためには、ホストに root でログインする必要があります。また、リモートプリンタとして使用する場合、プリンタのリモートホスト名 (/etc/hosts に登録したプリンタのノード名) とリモートプリンタ名 (論理プリンタ) が必要となります。

例として、以下の前提条件での Solaris 7 の設定手順を示します。名前は全て小文字です。

- ホストに登録するプリンタ名 (印刷時に使用するプリンタ名): rpr1
- リモートホスト名 (/etc/hosts に記述が必要): printer1
- リモートプリンタ名: postscript (PDL/エミュレーションが PostScript のデフォルト論理プリンタ名。PCL 用のデフォルト論理プリンタ名なら、全て小文字の “vp-pcl” を使います。)

1. ホストにスーパーユーザ (root) としてログインします。
2. リモートホストの OS の種類を BSD 系ホストとして指定します。

```
# lpsystem -tbsd printer1
```

```
-t : リモートホストの OS の種類を指定 (bsd )
```

OG	B	02	
----	---	----	--

3. 次に、プリントジョブが実行されていないことをチェックしてください
(lpstat -o)。また、これから作成するプリンタ名と同じプリンタがないか確認してください。

もしプリントジョブが実行中ならば、プリントジョブ終了後に以下のコマンドを入力し、lp スケジューラを停止します。

```
# /usr/lib/lpshut
```

4. 以下のコマンドによりプリンタの登録を行います。

```
# /usr/sbin/lpadmin -prpr1 -spprinter1!postscript -I any -Tunknown
```

- p : ホストに作成するプリンタ名。例では、"rpr1"です。
- s : リモートホスト名とリモートプリンタ名を!で区切って指定します。ここでは、ホスト名がprinter1、リモートプリンタ名が全て小文字のpostscriptです。
- I : プリンタに送るファイル形式 (Content types)。ここでは、"any"です。
- T : Printer Type です。"unknown"を指定します。

5. プリンタをデフォルトプリンタとして設定する場合、以下のコマンドを実行してください。この設定を行うと、印刷時に"-d"オプションで指定するプリンタ名が省略できます。

```
# /usr/sbin/lpadmin -d rpr1
```

6. 以下のコマンドを入力し、lp スケジューラを再起動します。

```
# /usr/lib/lpsched
```

7. 登録したプリンタを使用可能にします。

```
# /usr/sbin/accept rpr1
```

```
# /usr/bin/enable rpr1
```

8. プリンタの状況を確認するには、以下のコマンドを入力してください。

```
# lpstat -t
```

9. 以上で設定は終了です。印刷は、下記の"lp -d"コマンドを使用して行うことができます。

```
# lp -d rpr1 印刷ファイル名
```

留意事項:

- 今回、登録したプリンタにより印刷できるファイルは、PostScript ファイルのみです。テキストファイルをプリンタに送った場合、印刷されません。
 - "lp -d" コマンドによるコピー枚数の指定はできません。
-

4.6.2 HP-UX 11i

ここでは、本プリンタを HP-UX 11i に登録する手順を説明します。この登録を行うためには、ホストに root でログインする必要があります。また、リモートプリンタとして使用する場合、プリンタのリモートホスト名 (/etc/hosts に登録したプリンタのノード名) とリモートプリンタ名 (論理プリンタ) が必要となります。

例として、以下の前提条件での HP-UX 11.11 の設定手順を示します。名前は全て小文字です。

- ホストに登録するプリンタ名 (印刷時に使用するプリンタ名) : rpr1
- リモートホスト名 (/etc/hosts に記述が必要) : printer1
- リモートプリンタ名: postscript (PDL/エミュレーションが PostScript のデフォルト論理プリンタ名。PCL 用のデフォルト論理プリンタ名なら、全て小文字の “vp-pcl” を使います。)

1. ホストにスーパーユーザ (root) としてログインします。
2. 以下のコマンドにより SAM (System Administration Manager) (システム管理ツール) を起動します。

```
# sam
```

3. SAM の使用方法を説明する画面が表示されますので、内容を確認した後、“Enter” キーを押します。
4. SAM による各設定項目の選択画面が表示されますので、“Printers and Plotters” を選択し、“Enter” キーを押します。
5. “LP Spooler” を選択して “Enter” キーを押し、“Printers and Plotters” を選択して “Enter” キーを押すと、現在ホストに登録されているプリンタのリストが表示されます。
6. “Tab” キーを押し、“Actions” メニューから “Add Remote Printer/Plotter…” を選択して “Enter” キーを押します。

7. “Add Remote Printer/Plotter” 画面が表示されますので、以下の必要事項を入力し、[OK]を実行します。

Printer Name : ホスト上に作成するプリンタ名。例では、“rpr1”です。

Remote System Name : リモートホスト名。ここでは、“printer1”です。

Remote Printer Name : リモートプリンタ名。ここでは、全て小文字の“postscript”です。

[X] Remote Printer is on a BSD System <-- この項目を有効にする。

その他の項目については、デフォルトのまま使用します。

8. 留意事項等が表示されますので、内容を確認した後、“Tab” キーにより [OK] を選択し、登録を続けます。
9. 登録が完了すると、以下のように “Printer and Plotters” 画面に登録内容が表示されます。

Name	Type	Enable To Print	Accepting Requests	Location
rpr1	remote	yes, idle	yes	postscript on printer1

10. 以上で登録は完了です。SAMを終了するために “Tab” キーを押し、“File” メニューから “Exit” を実行し、もう一度 “Tab” キーを押し、“File” メニューから “Exit” を実行します。
11. 印刷は、下記の “lp -d” コマンドを使用して行うことができます。

lp -d rpr1 印刷ファイル名

留意事項:

- 今回、登録したプリンタにより印刷できるファイルは、PostScript ファイルのみです。テキストファイルをプリンタに送った場合、印刷されません。
 - “lp -d” コマンドによるコピー枚数の指定はできません。
-

4.6.3 AIX 5L

ここでは、本プリンタを AIX 5L V5.1 に登録する手順を例として説明します。この登録を行うためには、ホストに root でログインする必要があります。また、リモートプリンタとして使用する場合、プリンタのリモートホスト名 (/etc/hosts に登録したプリンタのノード名) とリモートプリンタ名 (論理プリンタ) が必要となります。

例として、以下の前提条件での設定手順を示します。名前は全て小文字です。

- ホストに登録するプリンタ名 (印刷時に使用するプリンタ名): rpr1
- リモートホスト名 (/etc/hosts に記述が必要): printer1
- リモートプリンタ名: vp-pcl (PDL/エミュレーションが PCL のデフォルト論理プリンタ名。PostScript 用のデフォルト論理プリンタ名なら、全て小文字の “postscript” を使います。)

1. ホストにスーパーユーザ (root) としてログインします。
2. dtterm より以下のコマンドを入力し、SMIT (System Manager Interface Tool) を起動します。

smitty mkrque

3. “印刷キューの追加” 画面が表示されます。“接続タイプ” から “remote” を選択し、“Enter” キーを押します。“remote” の “記述” は “リモートホストに接続されたプリンタ” です。
4. “リモート印刷のタイプ” 画面が表示されます。“標準処理” を選択し、“Enter” キーを押します。
5. “標準リモート印刷キューの追加” 画面が表示されますので、以下の必要事項を入力し、“Enter” キーを押します。

追加するキュー名: 印刷に使用するプリンタ名。この例では、“rpr1” です。

リモート・サーバのホスト名: リモートホスト名。この例では、“printer1” です。

リモート・サーバ上のキュー名: リモートプリンタ名。この例では、“vp-pcl” です。

OG	B	02	
----	---	----	--

6. 登録が完了すると、以下のように“コマンド状況”画面が表示されます。

コマンド状況

コマンド: OK stdout: あり stderr: なし

コマンドが完了する前に以下に追加指示が表示される場合があります。

印刷キュー' rpr1' を追加しました。

7. 以上で登録が完了しました。”F10 PFKEY”を押して、アプリケーションを終了します。

8. “アプリケーションマネージャ – システム管理”、Management Console”のプリンタ”より、追加したキュー”rpr1”が “実行中” になっていることを確認してください。

9. 以上で設定は終了です。印刷は、下記の”lp -d”コマンドを使用して行うことができます。

lp -d rpr1 印刷ファイル名

留意事項:

- 今回、登録したプリンタにより印刷できるファイルは、PCL ファイルのみです。
 - “lp - d” コマンドによるコピー枚数の指定はできません。
-

4.7 JP1/NPS システムへの接続

4.7.1 プリンタ設定の変更

本プリンタを JP1/NPS システムに接続する場合、本プリンタの Web インターフェース機能を使用して、プリンタの設定を変更する必要があります。

以下の操作手順に従い、「1pq 応答でのジョブ削除契機」の設定値を「転写完了時」に変更してください。

留意事項:

- クライアント PC から本プリンタの HTTP サーバにアクセスして Web インターフェース機能を利用するためには、あらかじめ使用されるクライアント PC に Web ブラウザ (Internet Explorer 等) が動作する環境が必要です。

- (1) Web ブラウザを起動し、「管理」－「システム一般」－「オプション」ページを開きます。

Web ブラウザの使用方法については 5.2 節「Web ブラウザによるプリンタへのアクセス」を参照してください。

- (2) 「管理」－「システム一般」－「オプション」ページが表示されたのち、「1pq 応答でのジョブ削除契機(*)」設定を「排紙完了時」から「転写完了時」に変更して、

 ボタンを押してください。



- (3) Web ブラウザを一旦閉じ、プリンタの電源を OFF/ON してプリンタを再起動してください。
- (4) プリンタがオンライン状態になったのち、上記画面を表示して、「1pq 応答でのジョブ削除契機」設定が「転写完了時」であることを確認してください。

留意事項:

- 保守員により、各種プリンタ設定値を工場出荷設定値に初期化する操作が行われた場合、本設定は「排紙完了時」に初期化されます。保守員よりプリンタ設定値を初期化する旨の連絡がありましたら、上記操作を再度実行して「転写完了時」に設定し直してください。

4.7.2 プリンタの LPD スプールの設定を無効でご使用になる場合

JP1/NPS のプリンタとの通信処理におけるタイムアウトの時間設定値を、初期値(45 秒)より大きな値で使用されることを推奨します。

初期値をそのまま使用した場合、通信障害を示すメッセージ「プリンタからの応答がありませんでした」が報告される場合があります。

タイムアウト時間値の変更方法については、JP1/NPS のマニュアルを参照して下さい。

OG	B	01	
----	---	----	--

BLANK

0G	B	01	
----	---	----	--

第 5 章

Web インターフェース機能

5.1 この章の内容

この章では、以下の事項について説明します。

- Web ブラウザによるプリンタへのアクセス
- Web ページのコンポーネント概略
- Web ページの使い方

留意事項:

Web インターフェース機能で設定した各種パラメータは、OCP で設定したパラメータの上書きとなりますのでご注意ください。

プリンタの電源を OFF/ON した場合、正しく動作しないことがあるので、ブラウザも再起動してください。

5.2 Web ブラウザによるプリンタへのアクセス

本プリンタは、HTTP サーバを搭載しており、Web ブラウザ (Internet Explorer や Netscape) を使用することで、プリンタの状態 (ステータス) の参照、および各種パラメータの設定を遠隔操作にて行うことができます。

本章では、本プリンタの Web インターフェース機能の説明を行います。

留意事項:

クライアント PC から本プリンタの HTTP サーバにアクセスし、Web 機能を利用するためには、あらかじめ使用されるクライアント PC に、Web ブラウザが動作する環境が必要です。

使用する Web ブラウザによっては正しく動作しない場合があります。

その場合には、下記バージョンを使用してください。

- ・ Internet Explorer : バージョン 6 以降
 - ・ Netscape : バージョン 7.1 以降
-

Web ブラウザを起動し、ブラウザのアドレス入力フィールドに “http://” に続けて本プリンタの IP アドレスをタイプします。例えば、本プリンタの IP アドレスが 192.1.1.31 の場合、http://192.1.1.31 とタイプしてください。タイプ後 Enter キーを押すと、下に示すようにいくつかのリンクボタンが配置されたインデクスページが表示されます。



①管理およびステータス: プリンタの管理メニューにアクセスします。

プリンタ全般の状態が参照できる、一連の「状況」ページに案内します。

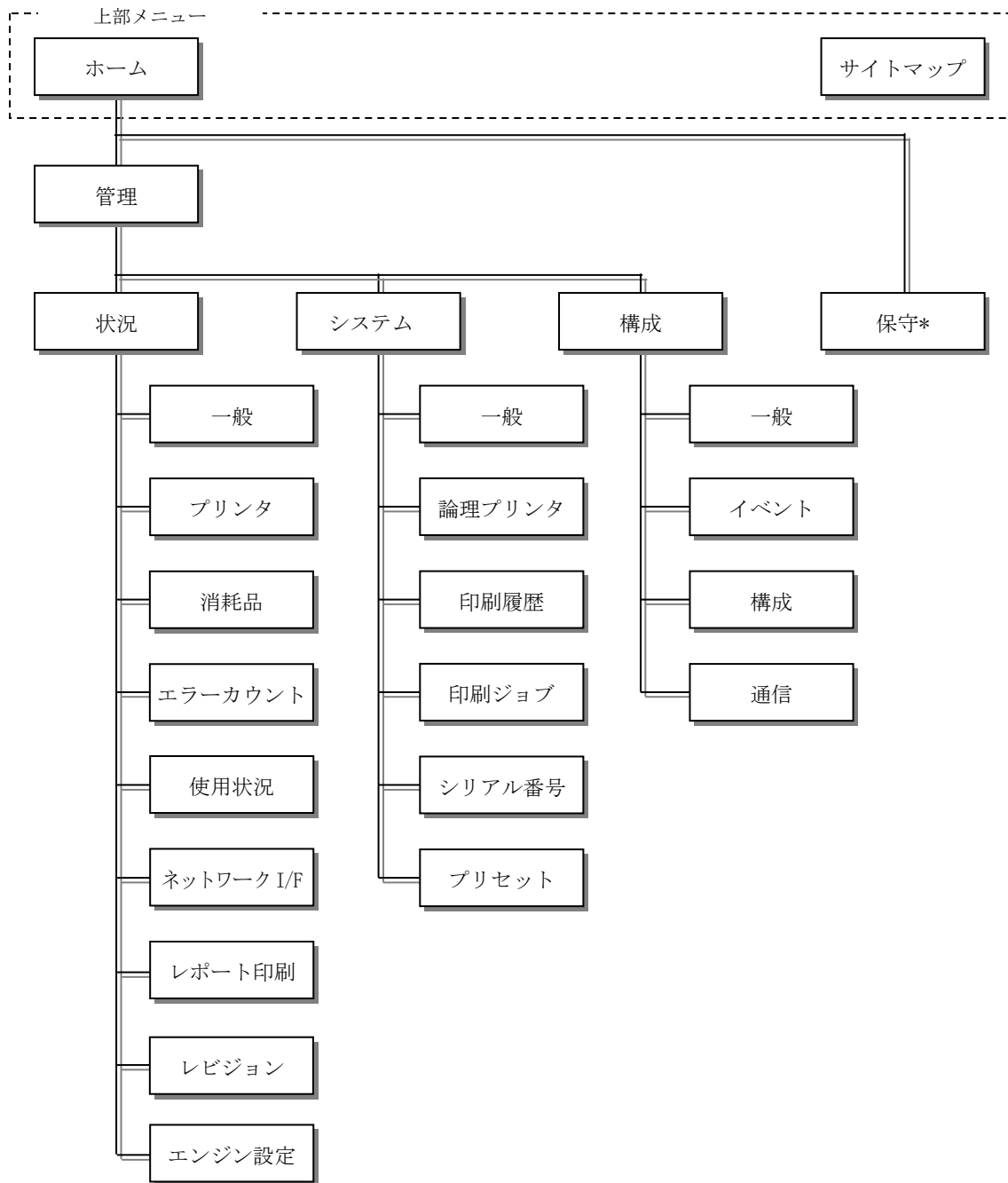
②保守: 保守員が使用するため、このマニュアルでは説明していません。

留意事項:

インデクスページのリンクボタンを選択しないまま 90 秒が経過すると、

「状況一般」ページに自動的に切り替わります。

5.3 Web ページのコンポーネント概略



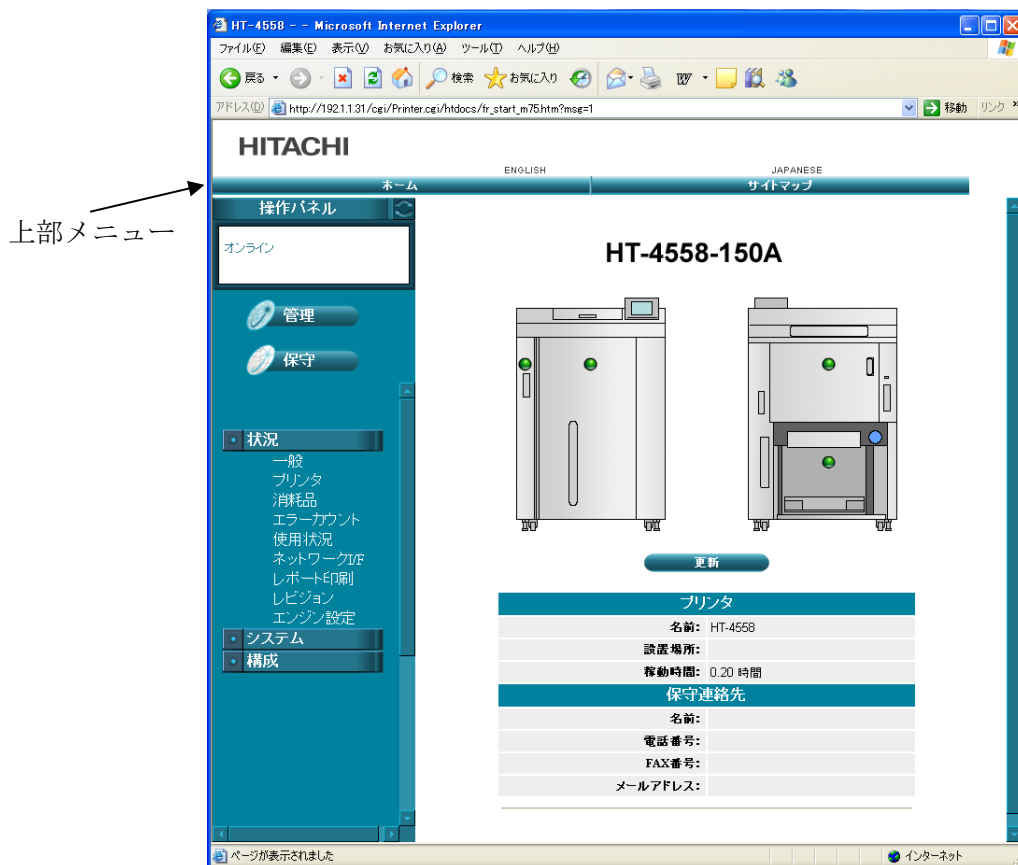
* 「保守」機能は保守員が使用するため、このマニュアルでは説明していません。

5.4 Web ページの使い方

本項では、各 Web ページで示される内容および使い方について詳しく説明します。

留意事項:

各 Web ページの左側に表示される「管理」および「保守」メニューが表示されない場合、「サイトマップ」ページを起点に各ページの機能にアクセスしてください。



上部メニュー

以下の各ページを表示します。

■ 「ホーム」 ページ

インデックスページを表示します。

■ 「サイトマップ」 ページ

本ページを起点に各ページにアクセスすることができます。

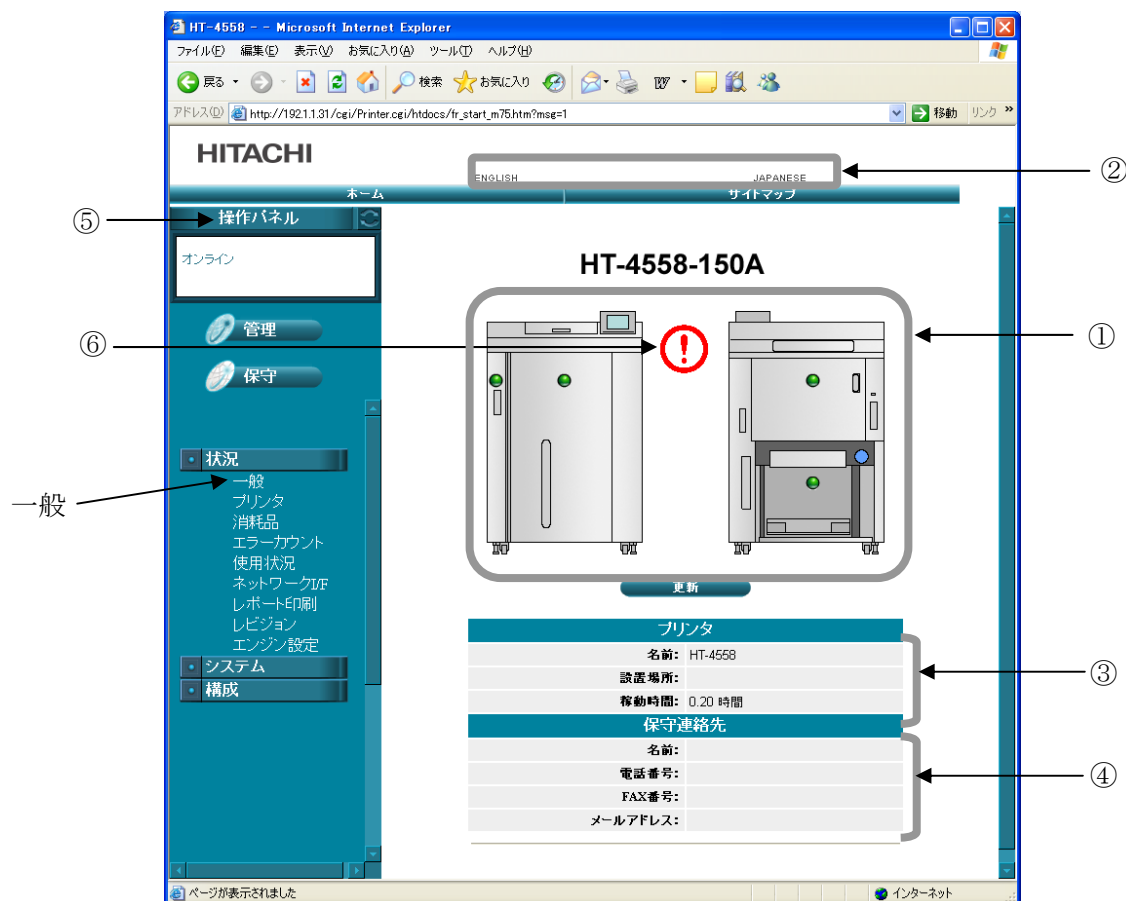
OG	B	01	
----	---	----	--

5.4.1 「状況」ページの使い方

「状況」ページは、消耗品やネットワーク設定等、プリンタの様々な状態に関する情報を複数のページで提供します。以下、各ページの使い方を説明します。


5.4.1.1 「状況—一般」ページ

「状況—一般」ページは、プリンタの全般的な状態と一般的な情報を提供します。




- ① プリンタの絵は、プリンタ各部の状態を緑マーク（正常、印刷可能）、黄マーク（ワーニング（警告））と赤マーク（エラー発生、印刷不可）で表します。更新 ボタンをクリックすると、表示内容が最新に更新されます。
- ② 「表示言語」は、日本語または英語を選択できます。
- ③ 「プリンタ」は、プリンタに関する名前、設置場所および稼動時間を表示します。名前と設置場所は、「構成—一般」ページで設定された内容を反映しています。
- ④ 「保守連絡先」は、保守に関する問い合わせ先の名前、電話番号、FAX 番号、メールアドレスを表示します。ここで表示される内容は、「構成—一般」ページで設定された内容を反映しています。
- ⑤ 「操作パネル」は、OCP に表示されているメッセージと同じ内容が表示されます。
- ⑥ 警告マークは、消耗品がワーニング（警告）またはエラー発生、印刷不可状態になると表示されます。

5.4.1.2 「状況－プリンタ」ページ

本ページは、現在の用紙サイズおよび調整値、プリンタ各部の状態を緑マーク（正常、印刷可能）と赤マーク（エラー発生、印刷不可）で表します。 ボタンをクリックすると、表示内容が最新に更新されます。

5.4.1.3 「状況－消耗品」ページ

本ページは、各種消耗品の状態を緑マーク（正常、印刷可能）、黄色マーク（交換時期が近い、印刷可能）、赤マーク（交換必要、印刷不可）で表します。 ボタンをクリックすると、表示内容が最新に更新されます。

下表に、特定の条件下で各消耗品の状態色がいつ頃変わるかを示します。この表に示される時期等はおおよその目安であり、実際の印刷内容によって変わります。

消耗品	緑 → 黄 ^{*1}	赤
トナー ^{*2}	印刷可能ページ数約 2,000 ページ	トナーが空になったとき
現像剤 ^{*3}	使用量が寿命-10K 以上に達したとき	使用量が寿命値に達したとき
HR クリーナ		
HR ユニット		
OPC ドラム ^{*3}		
ドラムクリーナ		

*1: 残り何ページ印刷できるかを、11 インチ長の用紙を使用した場合で想定した目安です。

*2: 3.6%の印刷密度で印刷した場合の目安です。

*3: OPC ドラムの総回転数の 90%が実際に印刷に使用されたことを想定して計算されています。

5.4.1.4 「状況－エラーカウント」ページ

本ページは、エラーの発生状況を表示します。

■エラー総数

カウントしたエラーの総数を表示します。

■今月のエラー数

今月発生したエラー数を表示します。

■過去 1000 ページ内のエラー数

過去 1000 ページ内のエラー数を表示します。

OG	B	03	
----	---	----	--

5.4.1.5 「状況－使用状況」ページ

本ページは、各種使用状況を表示します。

■ UC カウンタ*

UC カウンタを表示します。

■ トナーカバレッジ

トナーカバレッジを表示します。

■ 用紙

印刷枚数を表示します。

* : OCP の保守メニューで UC カウント値が「ヒョウジ」の場合のみ表示されます。

5.4.1.6 「状況－ネットワーク I/F」ページ

本ページは、MAC アドレス、IP アドレス、サブネットマスク、ゲートウェイアドレス、IP アドレス取得方法、HTTP ポートの設定を表示します。変更については、5.4.3.4 節「「構成－通信」ページ」を参照して下さい。

5.4.1.7 「状況－レポート印刷」ページ

本ページにアクセスすることにより、各種レポートページを印刷することができます。また、ステータスファイルをダウンロードすることができます。

■印刷

ステータスページ

プリンタの現在の設定内容を印刷します。

PCL ディレクトリ

PCL ディレクトリ内のファイルリストを印刷します。

PCL フォント

インストールされている PCL フォントのリストを印刷します。

PostScript ディレクトリ

PostScript ディレクトリ内のファイルリストを印刷します。

PostScript フォント

インストールされている PostScript フォントのリストを印刷します。

プリセット

用紙サイズ、印刷位置のプリセット値の登録内容を印刷します。

OG	B	04	
----	---	----	--

■ステータスページファイル作成

□作成

プリンタのステータス(現在の設定内容)をコントローラ内にファイルとして作成します。

□ダウンロード

作成でコントローラ内に作成したファイルをダウンロードします。最新のステータスファイルをダウンロードする場合、必ず作成を行ってからダウンロードしてください。

5.4.1.8 「状況－レビジョン」ページ

本ページは、エンジンファームウェア、操作パネルファームウェアおよびコントローラソフトウェアのレビジョン情報を表示します。

5.4.1.9 「状況－エンジン設定」ページ

本ページは、ユーザが OCP で設定可能な、エンジン設定の設定状況を表示します。

OG	B	03	
----	---	----	--

5.4.2 「システム」ページの使い方

「システム」ページは、各種パラメータの設定と変更に関する複数のページを提供します。これらの操作は、通常システム管理者によって行われます。そのため、本ページへのアクセスには次に示すユーザ名とパスワードの入力が必要になります。

■ ユーザ名: system (すべて小文字)

■ パスワード: 1000 (工場出荷値)、または変更された場合は、変更後のパスワード

以下、各ページの使い方を説明します。

5.4.2.1 「システム一般」ページ

本ページは、PostScript その他の各種オプションパラメータを設定します。印刷データに各パラメータの指定が含まれている場合はその指定が優先され、Web での設定は無視されません。

■ PostScript

PostScriptに関する以下のパラメータを設定するページを表示します。

□ エラー印刷

工場出荷時の設定は「有効」です。この場合、PostScriptエラーが発生すると、エラーの内容を印刷します。PostScript言語プログラムのデバッグに役立ちます。「無効」に設定すると、エラーページは印刷されません。

□ ベストフィット

工場出荷時の設定は「無効」です。「有効」設定時、ホストからの印刷データで指定した用紙がセットされていないとき、印刷イメージを印刷する用紙サイズに合わせて印刷します。「無効」に設定すると、指定したサイズの用紙をセットするよう OCP に表示します。特定のアプリケーションとベストフィット「有効」の組み合わせにおいて、描画方向を 90 度回転して印刷する場合、「無効 (OCP 優先)」に設定することで 90 度回転せずに印刷可能なことがあります。このような場合以外はベストフィットを「無効 (OCP 優先)」に設定しないでください。

□ ジョブタイムアウト

工場出荷時の設定は0(無限大)です。プリンタがジョブの処理にかかる秒数を0(無限大)または15~999の範囲で設定します。

□ PSウェイトタイムアウト

受信中のPostScriptデータ送信が中断された場合、最終データ受信から次のデータ受信まで待つ時間(秒)を設定できます。タイムアウトまでに次のデータを受信しない場合、そのジョブはキャンセルされ、受信したデータ分の印刷を行います。出荷時は「295」に設定されています。表示されたテンキーを使って、値を変更できます。設定可能なタイムアウト値は、0(タイムアウトなし)から999秒です。0秒に設定した場合は、タイムアウトを検出しません。

□ 正方形イメージ方向

正方形イメージ(用紙長=用紙幅)の描画方向を設定します。工場出荷時の設定は「ポートレート」です。

OG	B	01	
----	---	----	--

□ メモリ割り当て

PostScriptの処理に割り当てるメモリサイズを設定することができます。設定を変更する場合には、値を入力し、「メモリ割り当てを変更」の横のチェックボックスをクリックし、チェックマーク(✓)をつけてください。

この設定を変更した場合、電源をOFF/ONしてプリンタを再起動してください。

留意事項:

メモリの使用状況によっては、指定された数値を割り当てられない場合があります。その場合、割り当てが可能な範囲内で最大値が自動的に設定されますので、プリンタ再起動後に、設定値を再度ご確認ください。

入力した設定を有効にするためには  ボタンをクリックしてください。

■ オプション

オプションパラメータを設定するページを表示します。

□ ウェイトタイムアウト

工場出荷時の設定は「300」秒です。プリンタが使用しているインターフェースにて、受信した最終データから次のデータ受信まで待つ時間(秒)を設定します。タイムアウトまでに次のデータを受信しない場合そのジョブはキャンセルされます。「0」に設定した場合、ウェイトタイムアウトは検出されません。

□ 1pq応答でのジョブ削除契機

工場出荷時の設定は、「排出完了時」です。

1pq応答からジョブを削除する契機を、「排出完了時」か「転写完了時」に選択できます。設定後の電源OFF/ONで、選択した値が有効になります。

□ PCL - 第2ページオフセット

工場出荷時の設定は「0.0」インチです。

2-UP印刷時における第2ページのオフセットを変更します。変更可能なオフセット値は「0.0」～「1.0」インチ、増減単位は0.1インチです。

入力した設定を有効にするためには  ボタンをクリックしてください。

OG	B	02	
----	---	----	--

5.4.2.2 「システムー論理プリンタ」ページ

本ページは、論理プリンタの各種パラメータを設定します。

留意事項：

論理プリンタとは、実際の物理的なプリンタ内に定義された論理的なプリンタであり、ネットワーク上から認識することができるプリンタです。本プリンタでは複数の論理プリンタを定義することができます。PostScript がインストールされているモデルでは、工場出荷時には予め 8 つの論理プリンタが、プロトコルおよびエミュレーション別に定義されています。PostScript がインストールされていないモデルでは 6 つの論理プリンタが定義されています。各論理プリンタが独立した構成を持つことができるため、一台の物理的なプリンタで、複数の印刷サービスを提供することができます。

「システムー論理プリンタ」ページを開くと、以下のように表示されます。

システムー論理プリンタ

<input checked="" type="radio"/> Default	パラレル/、オフライン印刷に適用 ← ①
<input type="radio"/> TEXT	TCP ポート = 9100
<input type="radio"/> vp-pcl	TCP ポート = 3101
<input type="radio"/> postscript	TCP ポート = 3102
<input type="radio"/> ascii_portrait	TCP ポート = 3104 ← ②
<input type="radio"/> ascii_landscape	TCP ポート = 3105
<input type="radio"/> lp_portrait	TCP ポート = 3106
<input type="radio"/> lp_landscape	TCP ポート = 3107
<input type="radio"/> PSA003B01	TCP ポート = N/A

設定 削除 新規作成

Default に対する "削除" は無視されます。
"新規作成" ボタンは、新しい論理プリンタを作成します。

⑤ ④ ③

- ① 「Default」は、論理プリンタを使用しない印刷（パラレル I/F、オフライン印刷）で使用されるチャンネルです。論理プリンタではありませんので、ネットワーク上からは認識できません。以下、Default チャンネルと表記します。
- ② 「TEXT」～「PSAxxxxxx」は、工場出荷時にあらかじめ定義されている論理プリンタのチャンネルです。各論理プリンタの初期設定を以下の表に示します。動作しているネットワーク・インターフェースによって初期設定は異なります。

論理プリンタ名	プロトコル	エミュレーション	備考
TEXT	TCP/IP	自動選択	TCP Port = 9100
vp-pcl	TCP/IP	PCL	TCP Port = 3101
postscript*1	TCP/IP	PostScript	TCP Port = 3102
ascii_portrait	TCP/IP	PCL	TCP Port = 3103 用紙方向 = ポートレート
ascii_landscape	TCP/IP	PCL	TCP Port = 3104 用紙方向 = ランドスケープ
lp_portrait	TCP/IP	PCL	TCP Port = 3105 用紙方向 = ポートレート
lp_landscape	TCP/IP	PCL	TCP Port = 3106 用紙方向 = ランドスケープ
PSAxxxxxx*1	AppleTalk	Postscript	xxxxxx は MAC アドレスの下 6 桁

*1:PostScriptがインストールされているモデルのみ。

- ③ **新規作成** ボタンは、新しい論理プリンタを作成します。作成された論理プリンタの初期状態は、プロトコルはいずれも無効、エミュレーションは PCL となっておりますので、ご利用のネットワーク環境に合わせた設定に変更してご使用ください。
- ④ **削除** ボタンは、ラジオボタンで選択した論理プリンタを削除します。Default チャンネルを削除することはできません。
- ⑤ **設定** ボタンは、ラジオボタンで選択した論理プリンタの各種パラメータを設定するための画面を表示します。Default チャンネルに対しても有効です。

個々の論理プリンタの設定手順を以下に示します。Default チャンネルに対する設定も同様です。

- 最初に表示される「システムー論理プリンタ」ページで、目的のチャンネルのラジオボタンをクリックします。
- 設定** ボタンをクリックして、選択したチャンネルの設定ページを表示します。
- 目的の設定項目に従って以下のボタンのいずれかをクリックします。

- 一般**
- PostScript**
- PCL**
- 用紙設定**

OG	B	03	
----	---	----	--

4. 選択したチャンネルの設定ページの内容を入力します。

a. 「一般」設定ページ

論理プリンタ

論理プリンタの名前が表示されます。また、Default チャンネル以外の名前を変更できます。ただし、工場出荷時にあらかじめ設定されている論理プリンタに対しては名前を変更しないでください。名前の変更が必要な場合には、新規に論理プリンタを作成し、作成された論理プリンタの名前を変更してご使用ください。

エミュレーション

現在のエミュレーション方式を表示します。また、他のエミュレーション方式に変更できます。「自動選択」が選択された場合は、ホストから送信されてきたジョブが PostScript ジョブであるか PCL ジョブであるかを自動的に判別して処理を行います。「PostScript」が選択された場合は PostScript ジョブのみを処理します。「PCL」が選択された場合は PCL ジョブのみを処理します。

プロトコル

各プロトコルの有効/無効、TCP ポート番号および AppleTalk Type を指定します。チェックマーク(✓)をつけたプロトコルが有効になります。AppleTalk Type には「LaserWriter」を指定してください。TCP/IP(ポート番号が 0 以外)プロトコルと AppleTalk プロトコルの論理プリンタは、それぞれ 15 個まで設定することができます。

スプーリング

「無し」または「LPD のみ」以外を選択した場合、最大ファイルサイズ編集ボックスが表示されます。

- 無し : 送信される印刷データを順次処理して印刷します。
- LPD のみ : LPD プロトコルにて送信される印刷データを一旦プリンタのハードディスクドライブに全て受信してから処理および印刷を開始します。
- Raw Socket のみ : Raw Socket プロトコルにて送信される印刷データを一旦プリンタのハードディスクドライブに全て受信してから処理および印刷を開始します。
- LPD と Raw Socket : LPD プロトコルおよび Raw Socket プロトコルにて送信される印刷データを一旦プリンタのハードディスクドライブに全て受信してから処理および印刷を開始します。
- ファイルにキャプチャー : 送信される印刷データをプリンタのハードディスクドライブにキャプチャします。印刷は行われません。

入力した設定を有効にするためには  ボタンをクリックしてください。

OG	B	03	
----	---	----	--

b. 「PostScript」設定ページ

ここでの設定は、前のページ a. のエミュレーションの設定が「PostScript」または「自動選択」で、かつホストから送られた印刷ジョブが当該パラメータを指定していない場合に有効化（印刷処理に反映）されます。

PostScript I/O モード

PostScript バイナリを含むデータを印刷する場合、「Raw」に設定してください。
PostScript タグ付きバイナリを含むデータを印刷する場合、「TBCP」に設定してください。そうでない場合は「Normal」に設定してください。

入力した設定を有効にするためには  ボタンをクリックしてください。

c. 「PCL」設定ページ

ここでの設定は、前のページ a. のエミュレーションの設定が「PCL」または「自動選択」で、かつホストから送られた印刷ジョブが当該パラメータを指定していない場合に有効化（印刷処理に反映）されます。印刷ジョブが当該パラメータを指定している場合は印刷ジョブでの指定が優先されるため、本項目での設定内容は無視されます。

用紙方向

現在設定されている用紙方向が表示されます。また、設定を変更できます。

ページ長

現在設定されているページ長(1 ページあたりの最大行数)が表示されます。また、設定を変更できます。

改行コード変換

改行(LF)、復帰(CR)、改ページ(FF)コードを設定します。

折り返し

行がページ幅を超えるとき、自動改行するかどうかを設定します。

フィックスオリエンテーション

PCLにおける用紙の向きを変更します。自動選択を選択した場合、OCP で入力した設定を使用します。

2-UP

2-UP 印刷の有効/無効を切り替えます。自動選択を選択した場合、OCP で入力した設定を使用します。

マージン

現在選択されている上、下マージンが表示されます。また、設定を0から1.5インチ(0から38.1ミリメートル)に変更することができます。
単位としてミリメートルまたはインチのいずれかを選択できます。

OG	B	03	
----	---	----	--

フォント

PCL フォントの現在のパラメータ設定が表示されます。また、設定を変更できます。

入力した設定を有効にするためには  ボタンをクリックしてください。

d. 「用紙設定」 ページ

ここでの設定は、ホストから送られた印刷ジョブが当該パラメータを指定していない場合に有効化（印刷処理に反映）されます。印刷ジョブが当該パラメータを指定している場合は印刷ジョブでの指定が優先されるため、本項目での設定内容は無視されません。

用紙長

用紙長を設定できます。自動選択を選択した場合、OCP で入力したサイズを使用します。

用紙幅

用紙幅を設定できます。自動選択を選択した場合、OCP で入力したサイズを使用します。

部数

現在設定されている印刷部数が表示されます。また、設定を変更できます。

丁合い

「有効」に設定した場合、プリンタは部単位での印刷を行います。

入力した設定を有効にするためには  ボタンをクリックしてください。

OG	B	02	
----	---	----	--

5.4.2.3 「システムー印刷履歴」ページ

「システムー印刷履歴」ページは、印刷の履歴情報を提供します。

UC カウンタ

UC カウンタを表示します。


トナーカバレッジ

最後に印刷された印刷ジョブ、および各期間ごとのトナーカバレッジを表示します。

ジョブ

印刷を行ったジョブの数を表示します。

履歴ファイルのダウンロード

 を右クリックし、「対象をファイルに保存」(Internet Explorer を使用している場合)または「リンクに名前を付けて保存」(Netscape を使用している場合)を選択すると、各期間ごとの印刷履歴ファイルをダウンロードすることができます。ファイルはCSV (カンマ区切り) 形式で保存されます。履歴内容は次ページの表の通りです。

用紙

印刷枚数を表示します。印刷枚数は 11 インチ用紙長でカウントされます。

OG	B	03	
----	---	----	--

印刷履歴の表の内容

項目	説明
Job ID	履歴ファイルにて管理される印刷ジョブの ID 番号です。
Record Version	履歴ファイルの記録フォーマットのバージョンを示します。
Status	ジョブのステータスを示します。 0：正常に印刷終了 2：キャンセル
Session ID	印刷データの受け取り開始から、受け取り完了且つ印刷終了までをセッションと定義し、その番号を示します。
Channel Source	印刷ジョブの転送に使用したチャンネル情報を示します。 0：パラレル I/F 1：ネットワーク I/F 3：オフライン印刷（ステータスページ、テスト印刷等） 4：スプーリング
VPT	使用した論理プリンタを示します。 0：TEXT 1：vp-pcl 2：postscript 3：ascii_portrait 4：ascii_landscape 5：lp_portrait 6：lp_landscape 7：PSAxxxxxx（"xxxxxx"は MAC アドレスの下 6 桁） 8～：新規に作成された論理プリンタ 255：Default チャンネル（パラレル I/F、オフライン印刷）
PDL Source	印刷ジョブの PDL（PostScript または PCL）が示されます。
File Size	印刷ジョブのデータ処理サイズを示します。
User Name	印刷ジョブのユーザ名を示します。印刷ジョブ内の記述によっては、正しく記録されない場合があります。
Document Name	印刷ジョブの印刷ジョブ名を示します。印刷ジョブ内の記述によっては、正しく記録されない場合があります。
Priority	本項目はサポートしていません。
Completed Sides	印刷が完了し、正常に排紙されたページ数を示します。
Completed Copies	印刷が終了し、正常に排紙されたコピー数を示します。 非丁合い印刷時には常に 1 となります。
PDL Sides	コントローラにより展開処理されたページ数を示します。排紙されたページ数を示すものではありません。
PDL Copies	コントローラにより展開処理されたコピー数を示します。排紙されたコピー数を示すものではありません。非丁合い印刷時は常に 1 となります。
Total Sets	本項目はサポートしていません。
Total Sheets	コントローラにより展開処理されたページ数を用紙枚数に換算した値を示します。排紙された用紙枚数を示すものではありません。
Added Sides	本項目はサポートしていません。
Jams	本項目はサポートしていません。
Lost Sheets	本項目はサポートしていません。
Toner Coverage	トナーカバレッジを示します。
Date Created	履歴ファイルに記録された日付を示します。
Time Created	履歴ファイルに記録された時間を示します。
Duration	印刷処理が開始されてから履歴ファイルに記録されるまでの時間（秒）を示します。
Media n Size	本項目はサポートしていません。
Media n Type	本項目はサポートしていません。
Media n Weight	本項目はサポートしていません。
Media n Color	本項目はサポートしていません。
Media n Hopper	本項目はサポートしていません。
Media n Stacker	本項目はサポートしていません。
Media n Sheet Count	排紙された用紙の枚数を示します。
Media n Side Count	排紙された印刷ページ数を示します。Media n Sheet Count と同じ数になります。

OG	B	02	
----	---	----	--

5.4.2.4 「システムー印刷ジョブ」ページ

「システムー印刷ジョブ」ページは、印刷中や印刷待ちのジョブの情報を提供します。また、印刷ジョブを削除することもできます。下の図は、2つの印刷ジョブがスプールされているときの例です。

システムー印刷ジョブ

	ジョブ名	部数	*ページ	ユーザ	時間	**状況
<input type="checkbox"/>	readme.txt	1/1	1 0	ysuga	THU FEB 01 02:24:22 2007	D
<input type="checkbox"/>	Microsoft Word- manual.doc	1/1	1 0	ysuga	THU FEB 01 02:46:44 2007	A

①


②

選択ジョブの削除 全ジョブの削除

(*)上段: RIP完了ページ数, 下段: 排紙完了ページ数
(**) C: 削除中, P: 停止中, A: 処理中, D: 転写済


更新

①と②の説明を次ページに示します。

- ① このリストには印刷中や印刷待ちのジョブの状態が表示されます。  ボタンをクリックすると、リストの内容が最新の状態に更新されます。

留意事項:

印刷ジョブ内の記述によっては正しく表示されない場合があります。

- **選択:** チェックボックスにチェックマーク(✓)をつけることで、その印刷ジョブを削除の対象とします。選択を解除する時には、チェックマーク(✓)のついたチェックボックスをもう一度クリックしてください。
 - **ジョブ名:** 印刷ジョブ名が表示されます。
 - **部数:** 印刷ジョブの印刷部数が表示されます。前の数値は印刷が完了した部数を示します。後ろの数値は最終的に印刷される総部数を示します。印刷ジョブの処理の進行状況によって、表示される内容が変化していきます。
 - **ページ:** 印刷ジョブの以下のページ数が表示されます。
 - 上段: RIP 完了ページ数
 - 下段: 排紙完了ページ数
 - **ユーザ:** 印刷ジョブの所有者名が表示されます。
 - **時間:** プリンタが印刷ジョブの受信を開始した時間が表示されます。
 - **状況:** 印刷ジョブの状態を表示します。表示されるアルファベットは以下の状態を示します。
 - C: 削除中 (Cancel)
 - P: 停止中 (Pause)
 - A: 処理中 (Active)
 - D: 転写済 (Developed)
- ② 「印刷ジョブの削除」のコンボボックスから「選択ジョブの削除」または「全ジョブの削除」が選択できます。実行する場合には、  ボタンをクリックしてください。

5.4.2.5 「システムーシリアル番号」ページ

本ページは、コントローラのシリアル番号を表示します。

OG	B	02	
----	---	----	--

5.4.2.6 「システム—プリセット」ページ


本ページは、プリセット値をプリセットファイル(PJL ファイル)にするプリセットファイル作成、プリセットファイルを用紙プリセットに一括登録するプリセットファイル適用、およびプリセットファイルの登録/検索を提供します。

■ ファイル

本ページは、プリセットファイル作成、およびプリセットファイル適用を提供します。

(作成したプリセットファイルをダウンロードし、他のプリンタに適用することでプリセット値をコピーすることができます。但し、同じコントローラレビジョン間でのみ実行可能です。)

□ プリセットファイル作成

プリセットファイルの **作成** ボタンを押して、プリセットファイルを作成します。 を右クリックすることで、プリセットファイルをダウンロードすることができます。

□ プリセットファイル適用

プリセットファイル作成で作成したプリセットファイルをダウンロードし、適用するプリンタに LPR コマンドを使って論理プリンタ (例えば vp-pc1) へ送信すると※

適用 ボタンが表示されます。プリセットファイルの **適用** ボタンを押すことにより、用紙プリセットを一括登録することができます。プリセットファイルが無い場合、**適用** ボタンは表示されません。プリセットファイル適用後、適用したプリセットファイルの作成日時が表示されます。OCP で用紙プリセット値登録を行うと、プリセットファイルの作成日時は削除されます。



作成日時	サイズ	ダウンロード
MON OCT 27 13:19:36 2008	50937	

作成

プリセットファイル適用

プリンタ内に未適用のプリセットファイルがあります。

プリセットファイル受信日時	サイズ
MON OCT 27 13:20:00 2008	50813

適用

※コマンドプロンプトから下記のように LPR コマンドを実行する。

lpr - S <プリンタの IP アドレス> -P vp-pc1 <プリセットファイル>

例) lpr - S 192.0.0.1 - P vp-pc1 c:¥presetdata.pjl

OG	B	04	
----	---	----	--

留意事項:

- この機能は、同じコントローラレビジョン間でのみ実行できます。
 - OCP で用紙設定サブメニュー下の画面を表示している場合は本機能を実行できません。
 - Web で本機能実行中は OCP のプリセット値登録画面及びプリセット値指定画面に入れません。
 - Web からプリセットファイルを適用した場合、OCP での「プリセット値指定」値がリセット（指定無し）されます。
 - 適用ボタンを押さないまま次のプリセットファイルを受信した場合、前のプリセットファイルは上書きされ、最後に受信したプリセットファイルが有効になります。
-

■ 登録/検索

本ページでは、プリセットファイルの登録と検索を提供します。

- ① 番号(No.)
プリセット値に1～99までの番号を付けることができます。
- ② 読込
このボタンを①に番号を入力後に押すと、該当する番号(No.)のプリセット値を呼び出すことができます。
- ③ 名前
プリセット値に半角英数字で16文字までの名前を付けることができます。
- ④ 用紙サイズ
プリセット値の用紙のサイズを入力できます。
用紙幅：6.5 ～ 18 inch、165.1 ～ 457.2 mm (0.01 inch 単位)
用紙長：3 ～ 14 inch、76.2 ～ 355.6 mm (1/6 inch 単位)
- ⑤ 調整値
プリセットデータの用紙の調整値を入力できます。
用紙幅方向調整値 : -0.16 ～ 0.16 inch (0.01 inch 単位)、
-4.23 ～ 4.23 mm (0.01 mm 単位)
反用紙送り方向調整値 : -0.16 ～ 0.16 inch (0.01 inch 単位)、
-4.23 ～ 4.23 mm (0.01 mm 単位)
- ⑥ 任意の ID
本メニューは使用しません。デフォルト値 (-1) のままご使用ください。
- ⑦ 説明
プリセット値の説明を半角英数字 70 文字分まで入力できます。
- ⑧ 登録
①、③、④、⑤、⑥、⑦で指定したプリセット値を登録できます。
- ⑨ ソート
⑬に表示されるプリセット値を以下の項目の昇順/降順によって並べ替えることができます。
 - 番号(No.)
 - 名前
 - 用紙幅
 - 用紙長
 - 用紙幅方向調整値
 - 反用紙送り方向調整値
 - 任意の ID
 - 説明

OG	B	03	
----	---	----	--

- ⑩ 検索
登録されているプリセット値を名前によって検索することができます。検索結果は⑬に表示されます。
- ⑪ 現在の選択番号 (No.)
現在選択されているプリセット番号を表示します。プリセット番号は OCP からのみ選択できます。
- ⑫ プリセット登録件数
現在登録されているプリセット値の件数を表示します。
- ⑬ プリセット値詳細表示欄
プリセット値の一覧、もしくは⑩での検索結果を表示します。

② 現在の選択番号 (No.): 無し

④ システム — プリセット

登録/検索

登録

⑪ 管理

① 保守

③ 状況

⑥ システム

⑩ 構成

番号 (No.) 1 読込

名前 form1

任意のID -1

用紙サイズ

inch 6.70

mm

5/6 inch : 122.8 mm

調整値

inch

mm -0.11

4.22

説明 form1

登録

検索

ソート 番号 (No.) 降順 昇順

番号 (No.)	名前	用紙幅	用紙長	用紙幅方向調整値	反用紙送り方向調整値
1	form1	6.70 inch	4.83 inch	-0.11 mm	4.22 mm
		-1			form1
2	form2	18.00 inch	14.00 inch	0.05 inch	0.16 inch
		-1			form2

⑫ プリセット登録件数: 2

⑤

⑦

⑧

⑨

⑬

留意事項:

- OCP で用紙設定サブメニュー下の画面を表示している場合は本機能を実行できません。
- Web からプリセット値を登録した場合、OCP での「プリセット値指定」値および Web での「現在の選択番号 (No.)」値がリセット (指定無し) されます。
- プリセット値の削除 (未登録化) は OCP から行ってください。削除方法は、2.10 節 (1)「プリセット値登録」を参照してください。

5.4.3 「構成」ページの使い方

「構成」ページは、各種パラメータの設定と変更に用いる複数のページを提供します。これらの操作は、通常システム管理者によって行われます。そのため、本ページへのアクセスには次に示すユーザ名とパスワードの入力が必要になります。

- ユーザ名: system (すべて小文字)
- パスワード: 1000 (工場出荷値)、または変更された場合は、変更後のパスワード

5.4.3.1 「構成—一般」ページ

本ページにアクセスすることにより、各種情報に関する設定ができます。

(1) ユーザ情報

ユーザに関する各種情報を設定します。

(2) プリンタ

プリンタに関する情報を設定します。

(3) 保守連絡先

保守連絡先情報を設定します。ここで設定した内容は、「状況—一般」ページで表示されません。

(4) 期間

期間の開始日を設定します。期間ごとに集計されている情報は、毎月ここで指定された日から、新たに集計が開始されます。工場出荷時の設定は毎月1日です。

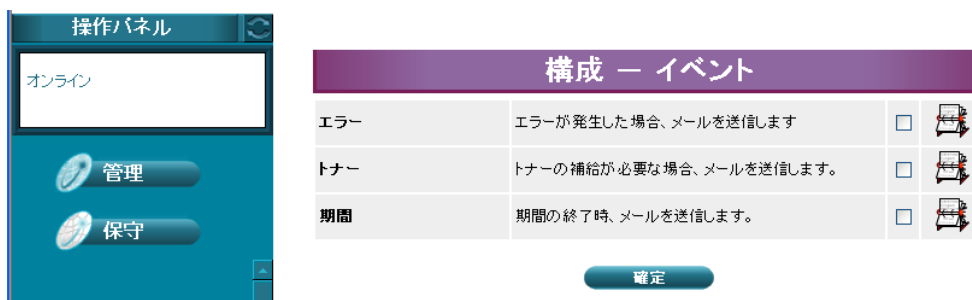
入力した設定を有効にするためには  ボタンをクリックしてください。

OG	B	03	
----	---	----	--

5.4.3.2 「構成－イベント」ページ

本ページにアクセスすることにより、エラー等のイベントが発生した場合のメールによる通知について設定することができます。

この機能を使用する場合は、5.4.3.4節「構成－通信」ページを参照し、SMTPサーバアドレスの設定が正しく行われていることを確認してください。尚、SMTPの認証には対応しておりません。認証を必要とするSMTPサーバアドレスが設定されていると、メールを送信できません。



(1) イベント

■エラー

エラーが発生した際に、メールを送信します。エラーとは、用紙切れなどの障害を指します。障害に関しては、7.9節「OCPに表示されるメッセージ」を参照してください。以下に、用紙切れ発生時に送信されるメールの内容を示します。
xx:xx:xx:xx:xx:xxはプリンタのMacアドレスです。

```
Version 01.00.  
Error Notification Report.  
Printer (xx:xx:xx:xx:xx:xx) error E001: End of Forms.
```

■トナー

トナーの補給が必要な場合、メールを送信します。以下に送信されるメールの内容を示します。
xx:xx:xx:xx:xx:xxはプリンタのMacアドレスです。

```
Version 01.00.  
Toner Low Report.  
Printer (xx:xx:xx:xx:xx:xx) toner low.
```

■期間

期間の終了時、メールを送信します。このメールにはプリンタの印刷履歴ファイルが添付されます。期間の設定に関しては、5.4.3.1節「構成－一般」ページを参照してください。以下に送信されるメールの内容を示します。
xx:xx:xx:xx:xx:xxはプリンタのMacアドレスです。また、


```
Version 01.00.  
End of Accounting Period Report.  
Printer (xx:xx:xx:xx:xx:xx) end of an accounting period.
```


各設定は、チェックボックスにチェックマーク (✓) をつけることで機能します。

入力した設定を有効にするためには  ボタンをクリックしてください。

OG	B	03	
----	---	----	--

(2) メールアドレスの編集

イベントの各項目に対して、それぞれメール宛先を設定することができます。メール宛先の設定は、チェックボックスの右にある  アイコンをクリックしてください。下記のようなウィンドウが開きます。

<input checked="" type="checkbox"/>		名前	メールアドレス
<input checked="" type="checkbox"/>		000	000@aaa.ne.jp
<input type="checkbox"/>		001	001@aaa.ne.jp
<input type="checkbox"/>		002	002@aaa.ne.jp
<input type="checkbox"/>		003	003@aaa.ne.jp
<input type="checkbox"/>		004	004@aaa.ne.jp
<input type="checkbox"/>		005	005@aaa.ne.jp
<input type="checkbox"/>		006	006@aaa.ne.jp
<input type="checkbox"/>		007	007@aaa.ne.jp
<input checked="" type="checkbox"/>		008	008@aaa.ne.jp
<input type="checkbox"/>		009	009@aaa.ne.jp
<input type="checkbox"/>		aaa000	aaa000@aaa.ne.jp
<input type="checkbox"/>		aaa001	aaa001@aaa.ne.jp
<input type="checkbox"/>		aaa00?	aaa00?@aaa.ne.jp


・名前

メールを送信する相手の名称を設定します。


・メールアドレス

メールを送信する相手のメールアドレスを設定します。

(ゴミ箱が明るい色で表示)

 アイコンをクリックすることにより項目を削除することが可能です。

(ゴミ箱が暗い色で表示)

 アイコンをクリックしても削除されません。

ボタンをクリックすることにより、チェックボックスにチェックマーク (✓) をつけた項目を削除することができます。

ボタンをクリックすることにより、現在の設定を保存することができます。

ボタンをクリックすることにより、本ウィンドウを閉じます。保存されていない設定は破棄されます。

5.4.3.3 「構成－構成」ページ

本ページにアクセスすることにより、プリンタの構成に関する項目を設定することができます。

(1) パスワード

本項目にアクセスすることにより、システムパスワードを変更することができます。
工場出荷時のシステムパスワードは”1000”に設定されています。

パスワードは、0 から 65535 までの半角数字のみ有効となります。
確認のため、2 箇所と同じ値を入力してください。

“0”を設定すると、パスワードによる保護がなくなります。

入力した設定を有効にするためには  ボタンをクリックしてください。



変更後のシステムパスワードを紛失した場合はシステムパスワードを再設定する必要がありますが、再設定操作には保守用パスワードが必要です。そのような時には保守員に連絡してください。

(2) その他

本項目にアクセスすることにより、国番号、及び省電力モードを設定することができます。

■国番号

国際電話で利用されている国番号を入力してください。

■省電力モード時間

省電力モードになるまでの時間を設定します。5～230 分の間で設定が可能です。また、省電力モードの有効／無効の設定が可能です。

工場出荷時には、省電力モードは有効、省電力時間は 15 分に設定されています。

入力した設定を有効にするためには  ボタンをクリックしてください。

OG	B	02	
----	---	----	--

(3) カレンダー

本項目にアクセスすることにより、プリンタ内部のカレンダーを設定することができます。

■タイムゾーン

現在のタイムゾーン設定が表示されます。また、設定を変更することができます。

■タイムサーバ


タイムサーバの設定ができます。タイムサーバを使用して日時を設定する場合には、「タイムサーバを使用」の横のラジオボタンをクリックし、チェックマーク (●) をつけてください。プリンタは起動時および同期時刻で指定された時間に、指定されたタイムサーバにアクセスし時刻を取得します。

プライマリ	プリンタはここで指定された IP アドレスのタイムサーバにアクセスし、日時の取得を試みます。
セカンダリ	プライマリで指定した IP アドレスのタイムサーバが見つからない場合、プリンタはここで指定されたタイムサーバにアクセスし、日時の取得を試みます。
プロトコル	タイムサーバーのプロトコルとして、TIME プロトコル(RFC868)、あるいは SNTP プロトコル(RFC1769)を選択できます。
同期時刻	毎日ここで指定した時間 (Hour) にタイムサーバにアクセスし、日時を取得します。


■マニュアル設定

タイムサーバを使用せず手動で日時を設定する場合には、「マニュアル設定(タイムサーバを設定しない)」の横のラジオボタンをクリックし、チェックマーク (●) をつけてください。また、夏時間の設定もここでいきます。


・日付と時間を変更

「日付と時間を変更」の横のチェックボックスをクリックし、チェックマーク (✓) をつけて、日時の設定を行ってください。  ボタンをクリックした際に変更が適用されます。

・夏時間を使用

「夏時間を使用」の横のチェックボックスをクリックし、チェックマーク (✓) をつけてください。  ボタンをクリックした際に変更が適用されます。

・夏時間の設定の変更

「夏時間の設定を変更」の横のチェックボックスをクリックし、チェックマーク (✓) をつけて、夏時間の設定を行ってください。  ボタンをクリックした際に変更が適用されます。

5.4.3.4 「構成ー通信」ページ

本ページにアクセスすることにより、通信に関連した項目を設定することができます。

(1) パラレル I/F

本項目にアクセスすることにより、パラレル I/F に関する設定ができます。

■Ack パルス幅

プリンタがホストに返す Ack パルス幅を設定できます。

工場出荷時の設定は 1000ns です。通常は、変更する必要はありません。

■モード

通信モードの設定ができます。

IEEE1284 : IEEE1284 に準拠した双方向モードです。

セントロニクス : セントロニクスモードです。

入力した設定を有効にするためには  ボタンをクリックしてください。

(2) TCP/IP

本項目にアクセスすることにより、TCP/IP プロトコルの設定ができます。

OG	B	02	
----	---	----	--

■利用可能な論理プリンタ

TCP/IP プロトコル環境で利用できる論理プリンタ名が表示されます。

論理プリンタ名をクリックすると、「システムー論理プリンタ」ページの該当する論理プリンタの設定画面が表示されます。論理プリンタの設定については、5.4.2.2 節「システムー論理プリンタ」ページを参照してください。

■IP アドレス

IP アドレスの設定ができます。

ただし、ここで IP アドレスを変更した場合、プリンタとの接続が断たれます。引き続き Web インターフェース機能を利用する場合には、新しく設定した IP アドレスでプリンタとの接続を再度確立し直してください。

■サブネットマスク

サブネットマスクの設定ができます。

■ゲートウェイアドレス

ゲートウェイアドレスの設定ができます。

■SMTP サーバアドレス

SMTP サーバアドレスの設定ができます。

■ホスト名

DNS サーバにプリンタのホスト名を通知したい場合、このプリンタのホスト名を設定します。

■DNS サーバアドレス

DNS サーバにプリンタのホスト名を通知したい場合、DNS サーバの IP アドレスを設定します。

■ドメイン名

DNS サーバにプリンタのホスト名を通知したい場合、このプリンタが属するドメインの名前を設定します。

■HTTP ポート

HTTP ポートの設定ができます。

工場出荷時の設定値は 80 です。通常は変更する必要はありません。

変更後はプリンタを再起動させる必要があります。

入力した設定を有効にするためには  ボタンをクリックしてください。

OG	B	00	
----	---	----	--

■IP アドレス取得方法

IP アドレスの取得方法を設定します。
工場出荷時の設定は「STATIC」です。
変更後はプリンタを再起動させる必要があります。

STATIC	DHCP サーバから IP アドレスを取得しません。 手動によって IP アドレスを設定する必要があります。
DHCP	プリンタ起動時に DHCP サーバから IP アドレスを取得します。 プリンタ起動時に毎回取得します。また、本機能を使用する場合、ネットワーク上で DHCP サーバが動作している必要があります。

■TCP との直接印刷 (Raw Socket)

TCP との直接印刷の設定ができます。
工場出荷時の設定は「有効」です。

■LPR/LPD

LPR/LPD の設定ができます。
工場出荷時の設定は「有効」です。

■FTP

FTP の設定ができます。
工場出荷時の設定は「有効」です。

入力した設定を有効にするためには  ボタンをクリックしてください。

(3) AppleTalk

本項目にアクセスすることにより、AppleTalk に関する設定ができます。

■AppleTalk

AppleTalk プロトコルの使用を「有効」または「無効」に設定します。「無効」にした場合、AppleTalk プロトコルを利用することはできません。
設定変更後はプリンタを再起動させる必要があります。

■利用可能な論理プリンタ

AppleTalk プロトコル環境で利用できる論理プリンタを設定できるページへのリンクボタンです。論理プリンタの設定方法は、5.4.2.2 節「システムー論理プリンタ」ページを参照してください。

■AppleTalk ゾーン

このプリンタが属する AppleTalk ゾーンが表示されます。また、ゾーンを変更できます。設定変更後はプリンタを再起動させる必要があります。

OG	B	00	
----	---	----	--

第6章 お手入れとメンテナンス

6.1 この章の内容

この章では、オペレータにお願いする以下の事項について説明します。

(1) 消耗品の補給と交換作業

No.	項目	参照項	備考
1	トナーの補給	6.2.1	
2	廃トナーボトルの交換	6.2.2	
3	現像剤の交換	6.2.3	
4	HRユニットの交換	6.2.4	
5	HRクリーナの交換	6.2.5	

- ①ユーセージ・チャージ適用機器の場合、HRユニットの交換は保守員が行います。
(HRクリーナの交換はオペレータ作業となります。)
- ②部品購入方式の場合は上記の保守／交換作業はオペレータ作業となります。
交換作業について、別途保守部門と契約がある場合にはその内容によります。

(2) 用紙ジャムの修復

No.	項目	参照項	備考
1	スタッカ部での用紙ジャムの修復	6.3.1	
2	スタッカ部以外での用紙ジャムの修復	6.3.2	

(3) 点検

No.	項目	参照項	点検時期
1	印刷品質のチェック	6.4.1	毎日(始業時)、印刷品質を特に重視する業務の前、及び用紙ジャム、各種トラブル発生時。また、実ジョブでの確認もお願いします。

(4) プリンタの清掃

No.	項目	清掃周期	参照項
1	給紙部の清掃	毎日(始業時)	6.5.1
2	スタッカの清掃	毎日(始業時)	6.5.2
3	転写器の清掃	毎日(始業時)	6.5.3
4	トナーホッパ周辺の清掃	トナー補給時	6.5.4
5	廃トナーボトル周辺の清掃	廃トナーボトル交換時	6.5.5
6	プレクリンクミの清掃	毎日(始業時)	6.5.6

(5) 消耗品の取り扱いと保管

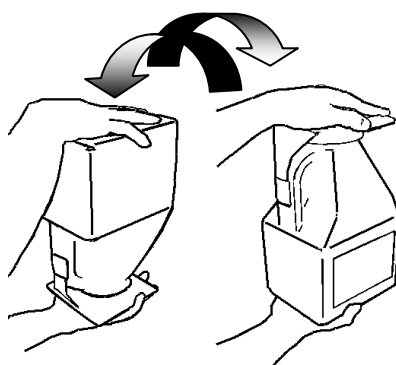
No.	項目	参照項	備考
1	印刷用紙	6.6.1	
2	トナーと現象剤	6.6.2	

6.2 消耗品の補給と交換作業

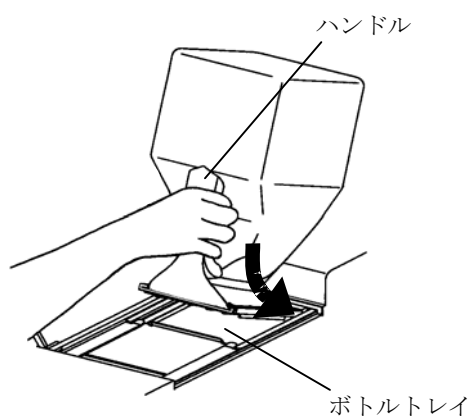
消耗品の補給または交換が必要な場合、プリンタは印刷を中止し、エラーメッセージを OCP に表示します。消耗品の使用寿命については、付録 A.3「消耗品」を参照してください。

6.2.1 トナーの補給

1. 新しいトナーボトルを用意してください。
2. トナーサプライドアクミ (N) を開けてください。
3. トナーボトルを上下に 10 回程度強くひっくり返してボトル内のトナーを攪拌し、トナーボトル内のトナーがほぐれていることを確認してください。



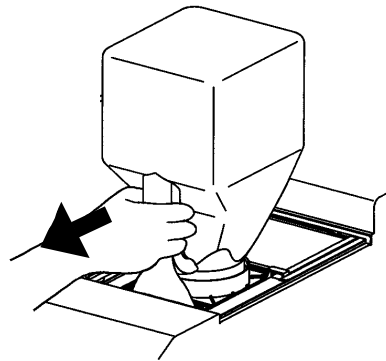
4. トナーボトルの取っ手を持ち、ボトルトレイ上に奥から差し込むようにトナーボトルをセットしてください。



留意事項:

トナーボトルがボトルトレイ上に正しくセットされていないと、以下のステップに進めません。

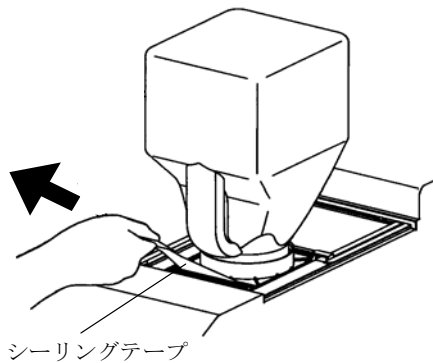
5. トナーボトルを左に動かなくなるまで引いてください。



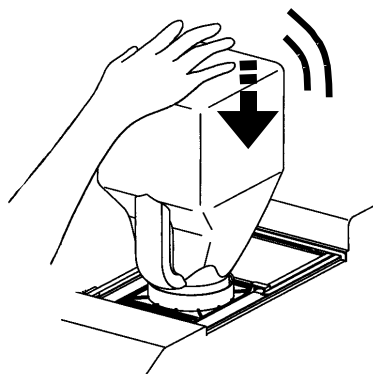
留意事項:

トナーボトルが所定の位置まで引かれていないと、補給時にトナー漏れが発生したり、十分にトナーが補給されない場合があります。

6. シーリングテープをトナーボトルから引き抜いてください。



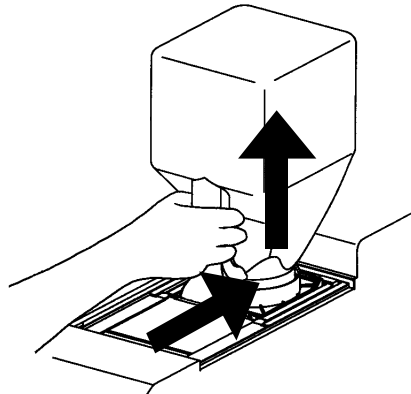
7. トナー補給中にトナーボトルの上部を、手で10～15回叩いてください。



留意事項:

- トナーボトルを叩かないと、十分にトナーが補給されない場合があります。
 - 必ずトナーボトルの上部を叩いてください。側面を叩くと、トナーがあふれる場合があります。
-

8. トナーホッパ内のトナーを攪拌させるため、そのままの状態です30秒程お待ちください。
9. トナーボトルを最初にセットした位置まで押し戻し、取り外してください。



10. トナーサプライドアクミ (N) を閉めてください。
11. 法令、条例に従って、空になったトナーボトルを産業廃棄物として処理処分してください。6.2.2 節「廃トナーボトルの交換」の手順にて、廃トナーボトルを交換します。

留意事項:

- OCP に「トナーが アリマセン/ホキユウシテクダサイ」または「トナーが スナクナツテマス」と表示されない限り、トナーは補給しないでください。また、トナーの補給は1 ボトル (1 kg) とし、残したり余分に補給したりしないでください。
 - トナーに異物が混じらないようにしてください。異物により OPC ドラムが損傷し、印刷不良が生じることがあります。また、回収した廃トナーは絶対に再使用しないでください。
 - トナーは購入後 1 年以内を目安に使用してください。また、一度開封したものは使用しないでください。
 - トナーがこぼれた時は、衣服、身体、装置等が汚れますので、トナー専用掃除機でただちに清掃してください。
-

 **警告**

- トナーボトルは火中に投げ込まないでください。火中に投げ込むと急激に燃えることがあり、火災や怪我の原因になります。
- トナーボトルは不燃物として廃棄してください。

 **注意**

- トナーは人体に有害ではありませんが、トナーを吸い込んだり飲み込んだりしないよう注意して下さい。気分が悪くなる場合があります。
- 取り扱い中にトナーを吸い込んだ場合は、多量の水でうがいをし、空気の新鮮な場所へ移動して下さい。何か症状が出たら、医師の診察を受けて下さい。
- 取り扱い中にトナーを飲み込んだ場合は、大量の水を飲み胃の内容物を水で希釈してください。何か症状が出たら、医師の診察を受けて下さい。
- 取り扱い中にトナーが目に入った場合は、ただちに流水で 15 分以上洗眼してください。何か症状が出たら、医師の診察を受けてください。
- トナーが皮膚や衣類に付着した時は、石鹼水で完全に洗い流してください。何か症状が出たら、医師の診察を受けてください。

6.2.2 廃トナーボトルの交換

廃トナーボトルの交換は、以下の手順に従って下さい。

1. ボトルカバー (N) を開けて下さい。
廃トナーボトルを取り出す。



2. 廃トナーボトルの取り出しは、廃トナーボトンを傾けずに引き出し、この時にシャッター部分が手前に突き当たる位置まで、廃トナーボトルとシャッター部を一緒に引き出す。



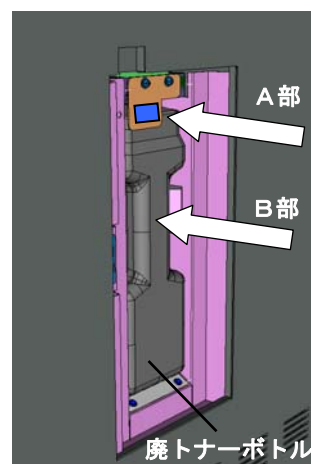
3. 廃トナーボトルに添付されているキャップで、廃トナーボトルの口に封をして処分します。



4. 新しい廃トナーボトルをセットして下さい。
セットする際、「ガシヤン」と音がするまで、A部（シャッター）とB部（廃トナーボトル）を両手で確実に押し込んで下さい。

* 手順2. でのシャッター部分が手前に突き当たっていることを確認してから廃トナーボトルをセットして下さい。

5. ボトルカバー (N) を閉めて下さい。



留意事項:

- シャッターを一番手前まで引き、ボトルセット時に『ガチャン』と音がする動作により、トナーダクト部に溜まったトナーを除去させる振動動作が行われます。シャッターを一番手前まで引いてボトルをセットしなければ、トナーダクト部に溜まったトナーを除去させる振動動作が正しく行なわれないため、廃トナー詰まりになる場合があります。このため、廃トナーボトルセット時にはシャッター機構部が手前に突き当たる位置まで引き出されていることを確認してから、廃トナーボトルをセットして下さい。
 - トナーがこぼれた時は、衣服、身体、装置等が汚れますので、トナー専用掃除機でただちに清掃してください。
 - 廃トナーボトルを処分する際は 6. 6. 2 節「トナーと現像剤」に従ってください。
-

 警告

- 使用済の廃トナーボトルは火中に投げ込まないでください。火中に投げ込むと急激に燃えることがあり、火災や怪我の原因になります。

 注意

- トナーは人体に有害ではありませんが、トナーを吸い込んだり飲み込んだりしないよう注意して下さい。気分が悪くなる場合があります。
- 取り扱い中にトナーを吸い込んだ場合は、多量の水でうがいをし、空気の新鮮な場所に移動して下さい。何か症状が出たら、医師の診察を受けて下さい。
- 取り扱い中にトナーを飲み込んだ場合は、大量の水を飲み胃の内容物を水で希釈してください。何か症状が出たら、医師の診察を受けて下さい。
- 取り扱い中にトナーが目に入った場合は、ただちに流水で 15 分以上洗眼してください。何か症状が出たら、医師の診察を受けてください。
- トナーが皮膚や衣類に付着した時は、石鹼水で完全に洗い流してください。何か症状が出たら、医師の診察を受けてください。

6.2.3 現像剤の交換

OCPに「ゲソウサイジユミヨウ / コウソシテクダサイ」と表示されたら、以下の手順に従って現像剤を交換してください。

1. 空の現像剤ボトルを用意してください。
2. プリンタのサイドカバ(LU)Nクミを開けてください。
3. 空の現像剤ボトルを、現像剤ダクトに取り付けます。その際、現像剤ボトルのスリットがダクトの突起に合うようにしてください。



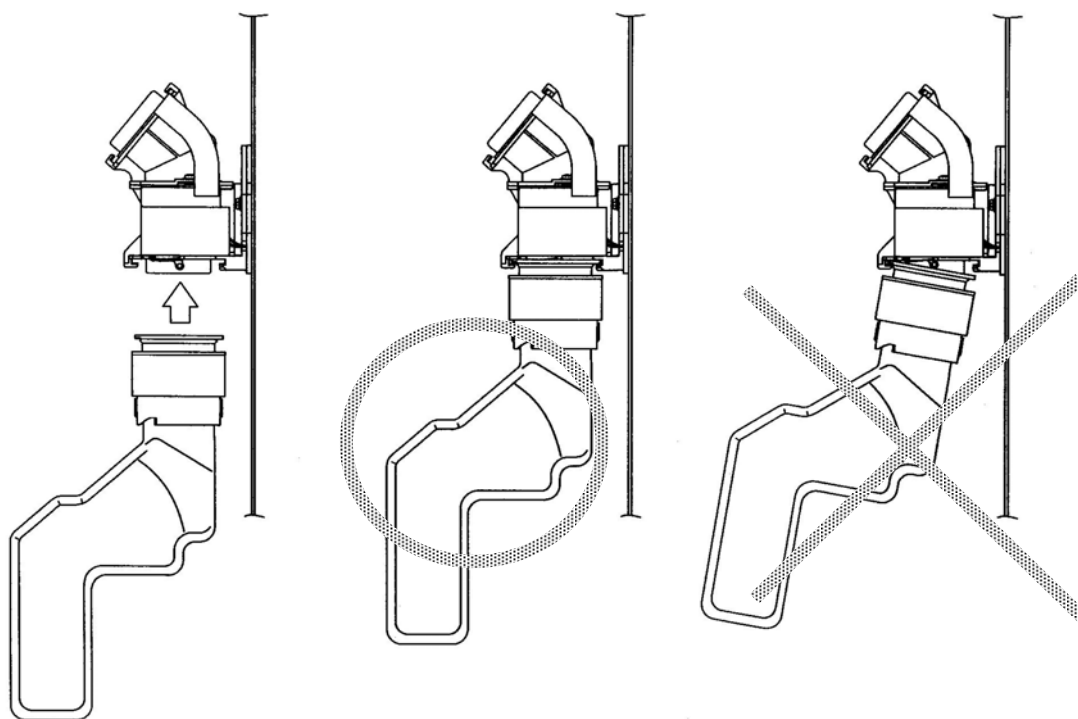
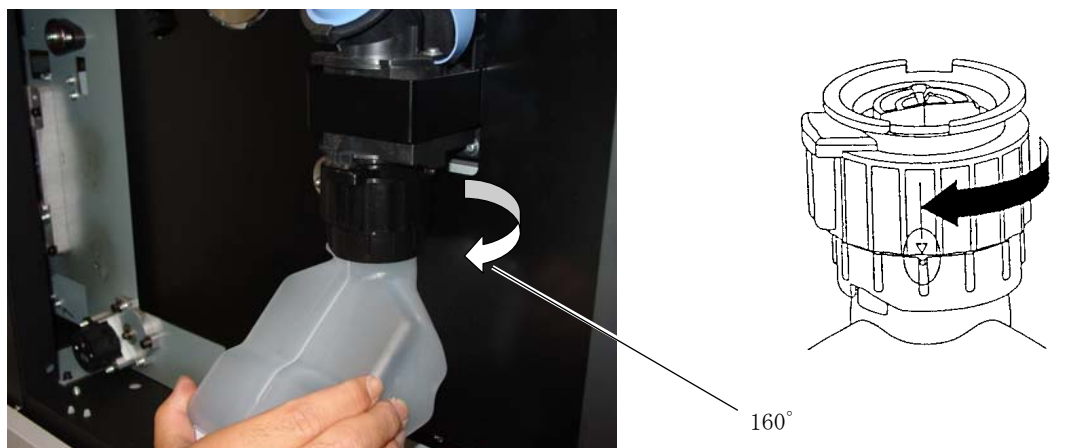
4. 現像剤ボトルのキャップを下の図の矢印に示す向きに約 160 度回転して、空の現像剤ボトルを固定します。



留意事項:

キャップを回す際は、現像剤ボトルをつかんで、ボトルがキャップと一緒に回らないようにしてください。

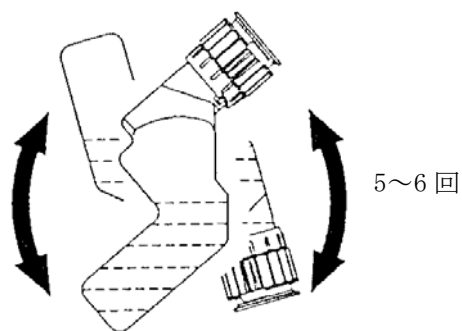
5. OCP で以下の順に選択し、排出処理を開始します。
「環境設定メニュー」－「消耗品」－「現像剤」－「排出」－「■」。
排出処理には、約3分20秒かかります。
6. ボトルのキャップを、下の図の矢印に示す向きに約160度回して元に戻し、現像剤ボトルを取り外してください。



留意事項：

- ボトルを取り付ける時には、ダクト部に真っ直ぐ取り付けてください。斜めに取り付けると正常に現像剤を排出することができず故障の原因となる場合があります。
 - 現像剤排出後はボトルのキャップに残った現像剤をこぼさないように注意してください。
-

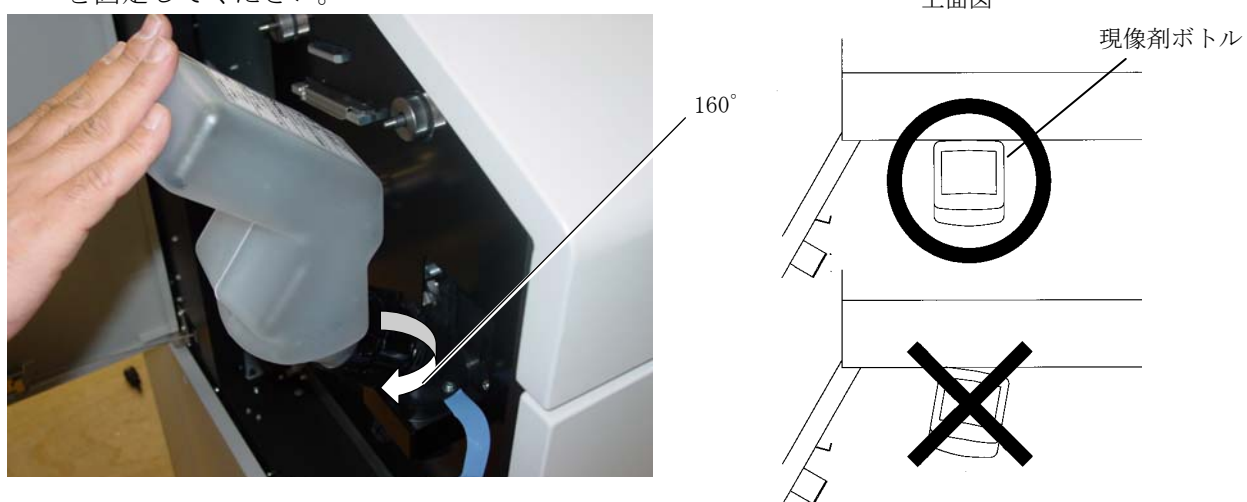
7. 新しい現像剤ボトルを用意し、5～6回振ってください。



8. 現像剤ダクトからダクトキャップを外してください。新しい現像剤ボトルを現像剤ダクトに取り付けてください。



9. 現像剤ボトルのキャップを下の図の矢印に示す向きに約 160 度回転して、現像剤ボトルを固定してください。



留意事項:

キャップを回す際は、現像剤ボトルをつかんで、ボトルがキャップと一緒に回らないようにしてください。

10. OCP で以下の順に選択し、注入処理を開始します。

「環境設定メニュー」－「消耗品」－「現像剤」－「注入」－「■」。

注入処理には、約4分かかります。

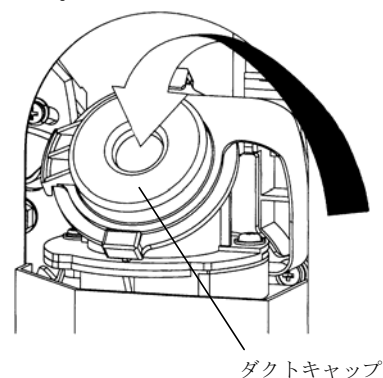
留意事項：

現像剤ボトルの上部を叩いて、空にしてください。

11. ボトルのキャップを、下の図の矢印に示す向きに約160度回して元に戻し、現像剤ボトルを取り外してください。



12. ダクトキャップを、現像剤ダクトに元通りに取り付けてください。



13. プリンタの上にこぼれた現像剤は完全に拭き取ってください。

留意事項：

現像剤を供給した後の現像剤ボトルは、次の現像剤交換の際に使用するもので、取っておいてください。

14. サイドカバ(LU)N を閉めてください。

OG	B	03	
----	---	----	--



・使用済みの現像剤ボトルは火中に投げ込まないでください。火中に投げ込むと急激に燃えることがあり、火災や怪我の原因になります。



- 床にこぼれた現像剤を踏むと滑りやすく、転倒して怪我の原因になります。
トナー専用掃除機でよく清掃してください。
- 取り扱い中に現像剤を吸い込んだ場合は、多量の水でうがいをし、空気の新鮮な場所へ移動して下さい。何か症状が出たら、医師の診察を受けて下さい。
- 取り扱い中に現像剤を飲み込んだ場合は、大量の水を飲み胃の内容物を水で希釈してください。何か症状が出たら、医師の診察を受けて下さい。
- 取り扱い中に現像剤が目に入った場合は、ただちに流水で15分以上洗眼してください。何か症状が出たら、医師の診察を受けてください。
- 現像剤が皮膚や衣類に付着した時は、石鹼水で完全に洗い流してください。
何か症状が出たら、医師の診察を受けてください。

留意事項:

- 所定の現像剤を使用してください。それ以外の現像剤は絶対に使用しないでください。印刷品質の劣化と故障の原因となります。
 - OCPに「ゲンゾウガイジ ユミョウ / コウカンシテグサイ」が表示されたとき、OCPの「▶」ボタンを押すことによって最大10,000ページの印刷を継続できます。しかし、印刷品質に影響が出る場合がありますので、現像剤はできるだけ早めに交換してください。
 - 現像剤は規定量(1ボトル 1.85 kg)を供給してください。残したり、余分に供給したりしないでください。
 - 現像剤に異物が混じらないようにしてください。異物により感光体ドラムが損傷し、印刷不良が生じることがあります。また、回収した現像剤は絶対に再使用しないでください。
 - 現像剤の中にごみ、油、水等の異物を入れてしまった場合には、すぐに装置を停止し、保守連絡先に連絡してください。
 - 現像剤は購入後1年以内を目安に使用してください。また、一度開封した現像剤は使用しないでください。
 - 現像剤を処分する際は6.6.2節「トナーと現像剤」に従ってください。
-

6.2.4 HRユニットの交換

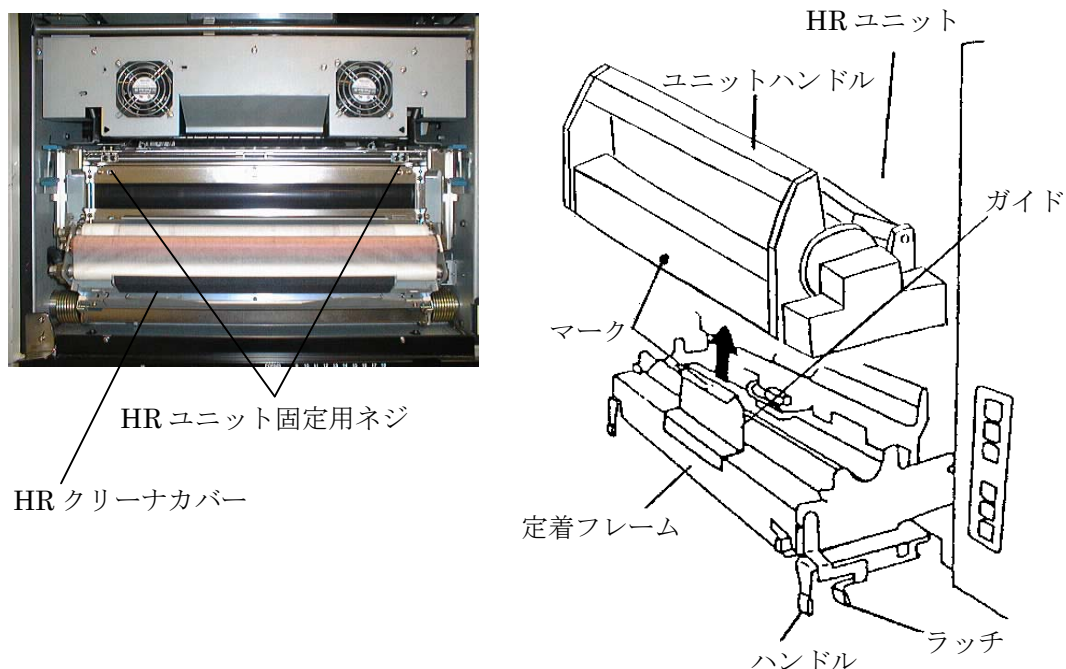
HRユニットの交換は、以下の手順に従ってください。

1. 用紙がセットされている場合は、取り出してください。(3.7.4節「用紙の取り出し」を参照してください。)
2. プリンタの電源を切ってください。

留意事項:

EOF直後もしくはNPRO実施後に電源を切る場合には、HRユニットが駆動している場合がありますので約5分経過後またはリアカバーを開けた後に、電源を切ってください。

3. リアカバーを開けてください。
4. 6.2.5節「HRクリーナの交換」に従い、HRクリーナカバーを開けてください。
5. HRユニット固定用ネジ(2個、外側)を手で緩めて取り外してください。



6. 6.2.5節「HRクリーナの交換」に従い、HRクリーナカバーを閉めてください。
7. 定着フレームの左右のラッチを解除して、両手で定着フレームのハンドルを持ちながら定着フレームを開いてください。
8. HRユニット上部のハンドルを持ち、HRユニットを上方に引き出して取り外してください。

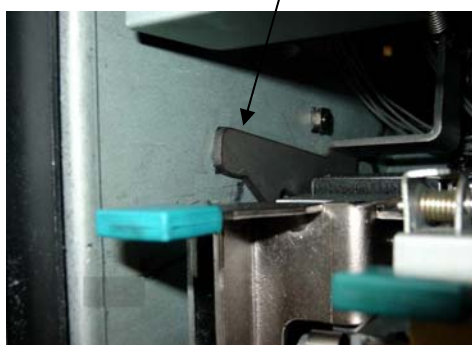


HRユニットは高温になっています。ユニットハンドル部や断熱シート部以外には手を触れないよう注意してください。また、熱に弱い机や紙の上に置かないように注意してください。

9. HRユニットのユニットハンドルを持ち、HRユニットを定着フレーム上に取り付けてください。このとき、左右方向と前後方向の取り付け位置を下記のようにしてください。
 - 左右方向：HRユニット上のマークと定着フレーム上のマークを合わせる。
 - 前後方向：HRユニットが定着フレーム上のガイド内に収まるようにする。
10. 両手で定着フレーム上のハンドルを持ちながら、定着フレームのラッチがロックされるまで定着フレームを閉めてください。

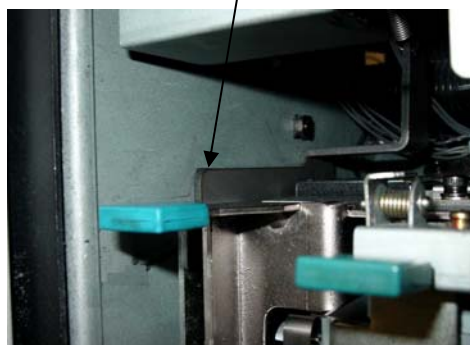
ラッチは左右にあるので両方確認してください。

ラッチレバーが
水平になっていない



ラッチがロックされていない場合

ラッチレバーが
水平になっている



ラッチがロックされている場合

留意事項：

ロックが正確にかかっていないと、用紙走行に悪影響を与えることがあります。

11. 6.2.5節「HRクリーナの交換」に従い、HRクリーナカバーを開けてください。
12. HRユニット固定用ネジ(2個、外側)を手で締めて、HRユニットを固定してください。
13. 6.2.5節「HRクリーナの交換」に従い、HRクリーナカバーを閉めてください。
14. リアカバーを閉めてください。
15. OCPで以下の順に選択し、HRユニットの使用値カウンタをリセットしてください
「環境設定メニュー」－「消耗品」－「HRユニット」－「■」。
(2.5.3節「「消耗品」サブメニューの使い方」を参照してください。)

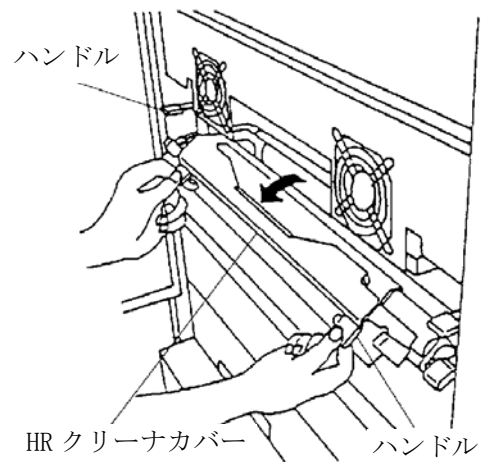
留意事項：

印刷品質に影響を与える為、使用値カウンタのリセットは必ず実施して下さい。

6.2.5 HRクリーナの交換

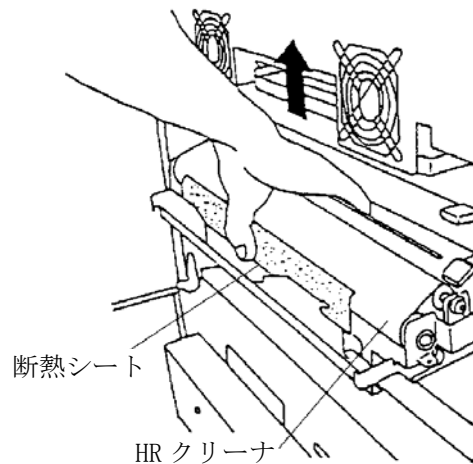
HRクリーナの交換は、以下の手順に従ってください。

1. プリンタの電源を切ってください。
2. リアカバ(N)クミを開けてください。
3. HRクリーナカバーのハンドルを両手でつかみ、前方に押しながら押し下げて、HRクリーナカバーを開けてください。

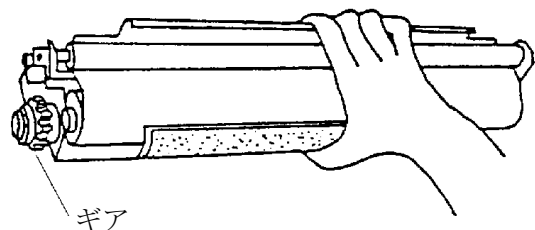


HRクリーナは高温になっている場合があります。断熱シート部以外には手を触れないよう注意してください。また、HRクリーナ周辺、特にヒートロールは、非常に高温になっています。手を触れないよう注意してください。

4. HRクリーナを上引き出して外してください。



5. 新しいHRクリーナを、ギアの付いている方を左側にして、HRクリーナカバー上に取り付けてください。



6. HRクリーナを取り付けた状態で、HRクリーナカバーを閉めてください。
7. きちんとロックしたことを確認して下さい。
8. リアカバ(N)クミを閉じてください。
9. OCPで以下の順に選択し、HRクリーナの使用値カウンタをリセットしてください。
「環境設定メニュー」－「消耗品」－「HRクリーナ」－「■」。
(2.5.3 節「消耗品」サブメニューの使い方)を参照してください。)

留意事項:

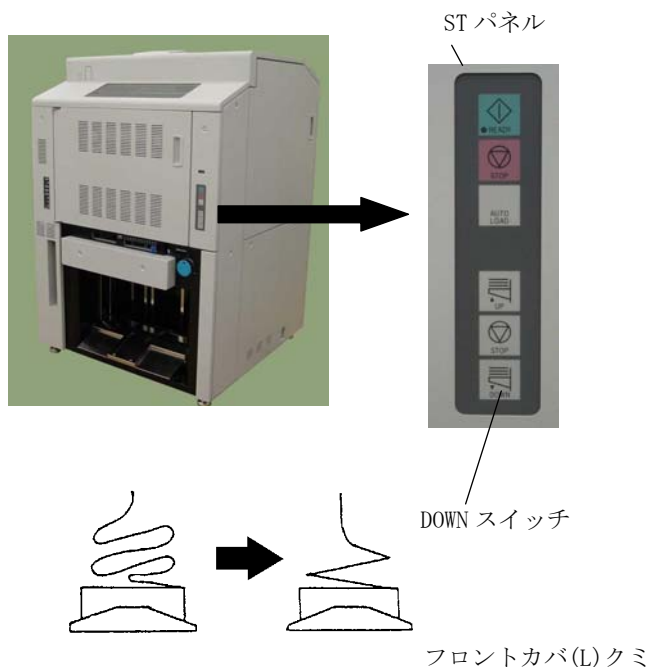
OCPに「HR クリーナ ジュミヨウ / コウカンテクダサイ」が表示されたとき、OCPの「▶」ボタンを押すことによって最大10,000ページの印刷を継続できません。しかし、印刷品質に影響が出ることがありますので、HRクリーナはできるだけ早めに交換してください。

6.3 用紙ジャムの修復

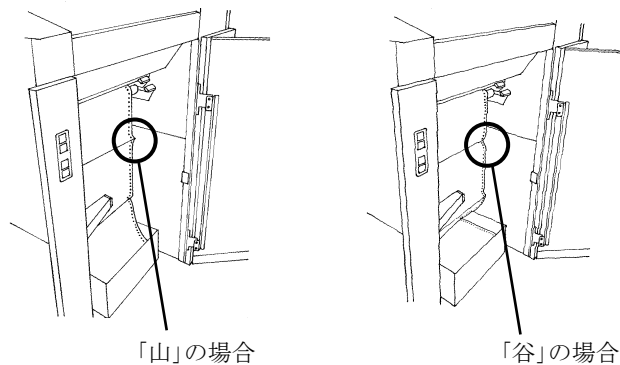
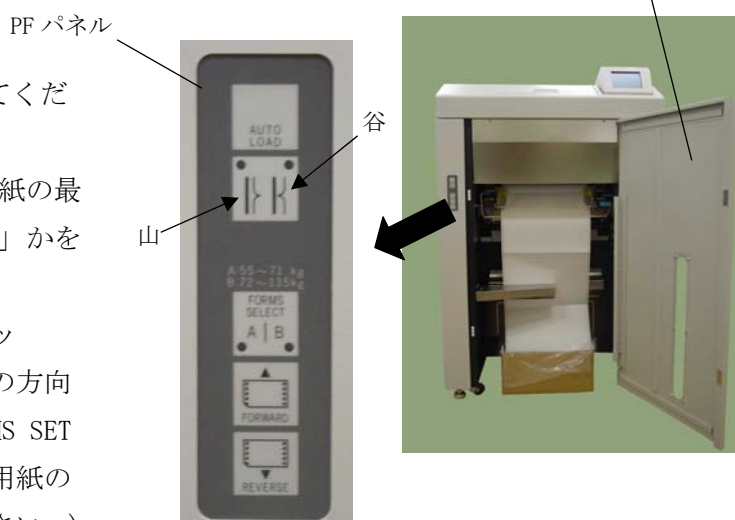
6.3.1 スタッカ部での用紙ジャムの修復

スタッカ部に用紙ジャムが発生した場合、以下の手順に従って用紙ジャムを修復してください。

1. STパネルのDOWNスイッチを押して、スタッカテーブルを下げてください。
2. スタッカ内の用紙をミシン目に沿って折り直してください。



3. フロントカバ(L)クミを開けてください。
4. 搬送ユニットから出ている用紙の最初のミシン目が「山」か「谷」かを判別してください。
5. PFパネルの「FORMS SET」スイッチを押して、用紙のミシン目の方向を入力してください。（「FORMS SET」スイッチのランプ表示を、用紙のミシン目方向と合わせてください。）



OG	B	02	
----	---	----	--

6.3.2 スタッカ部以外での用紙ジャムの修復

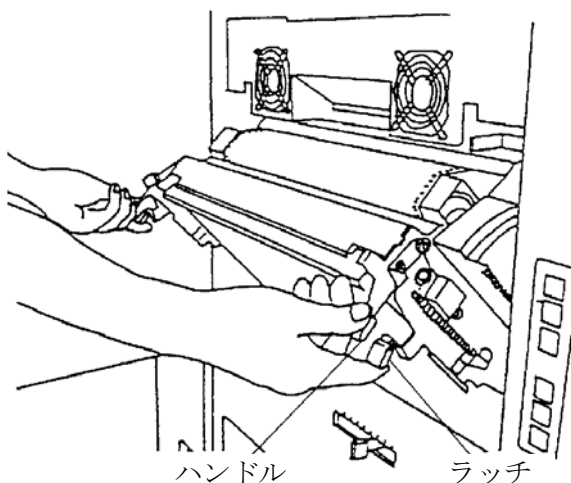
トラクタ部やHRユニット等、スタッカ部以外に用紙ジャムが発生した場合は、以下の手順に従って用紙ジャムを修復してください。

1. STパネルの「DOWN」スイッチを押して、スタッカテーブルを下げてください。
2. スタッカ内の用紙をミシン目に沿って切り離してください。
3. フロントカバ(L)クミを開けてください。
4. 用紙をミシン目に沿って切り離してください。
5. 搬送ユニットを開けてください。
6. トラクタカバーを開けてください。
7. プリンタ内の用紙を給紙部側から引っ張り、取り除いてください。

留意事項:

- 未定着の印刷ページを取り扱うとき、トナーで衣服を汚さぬようご注意ください。
 - 手や衣服に付着したトナーは冷水と石鹼で洗ってください。
-

8. リアカバ(N)クミを開けてください。
9. 定着フレームの左右のラッチを解除し、両手で定着フレームのハンドルを持ちながら、定着フレームを開いてください。



10. HRユニット前後に詰まっている用紙を引っ張って取り除いてください。



HRユニットは高温になっています。ユニットハンドル部や断熱シート部以外には手を触れないよう注意してください。また、熱に弱い机や紙の上に置かないように注意してください。

OG	B	02	
----	---	----	--

11. 両手で定着フレームのハンドルを持ちながら、定着フレームを閉めてください。
12. きちんとロックされたことを確認してください。
(6.2.4 節「HR ユニットの交換」を参照してください。)

留意事項:

ロックが正確にかかっていないと、用紙ジャムを発生させる原因となることがあります。

13. リアカバ(N)クミを閉じてください。
14. 用紙をスタッカ側から引っ張り、取り除いてください。
15. 3.7.2 節「用紙の取り付け」に従って、用紙を取り付けてください。

OG	B	02	
----	---	----	--

6.4 点検

6.4.1 印刷品質のチェック

トラブルを防ぐため、印刷品質を定期的にチェックしてください。印刷前(始業時)のチェックは毎日、印刷品質を特に重視する印刷ジョブの実行前のチェックは随時、必要になります。

- ・ 毎日の印刷開始前（始業時）
- ・ 用紙ジャム／各種トラブル発生時
- ・ 大量印刷時
- ・ 特に印刷品質を重視する業務の時

印刷品質のチェック手順を以下に示します。

1. 3.7.2 節「用紙の取り付け」に従って、用紙を取り付けてください。
2. 2.4.3 節「[テスト印刷] サブメニューの使い方」に従いテストパターンを印刷後、印刷結果をチェックして “白点”、 “黒点(OPC ドラムキズ)” 等の異常が無いことを確認してください。
また、実ジョブの印刷品質についてもサンプリング確認をお願いします（位置ズレ、汚れ、他印刷異常）

留意事項:

ミシン目から1/3インチ以内と用紙端部から1/2インチ以内は、印刷品質を保証できません。

OG	B	03	
----	---	----	--

6.5 プリンタの清掃

トラブルを防ぐため、プリンタを定期的に清掃してください。項目と周期を下表に示します。

項目	周期	手順参照先
給紙部	毎日(始業時)	6.5.1
用紙スタッカ	毎日(始業時)	6.5.2
転写器	毎日(始業時)	6.5.3
トナーホッパ周辺	トナー補給時	6.5.4
廃トナーボトル周辺	廃トナーボトル交換時	6.5.5
プレクリンクミ	毎日(始業時)	6.5.6



警告

作業上電源を投入する必要のない場合には、作業前に必ず電源を切断してください。回転部、通電部等へ手等が触れた場合や、工具等を装置へ落とした場合の安全を確保するためです。



注意

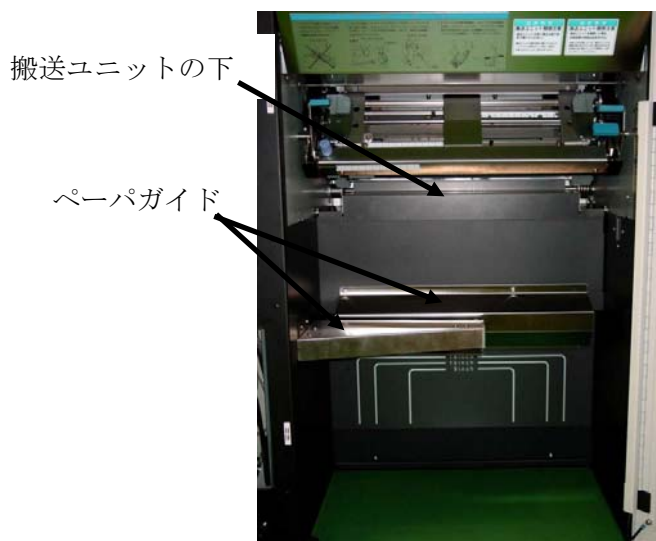
トナーと現像剤の清掃には、トナー専用掃除機を使用してください。

6.5.1 給紙部の清掃

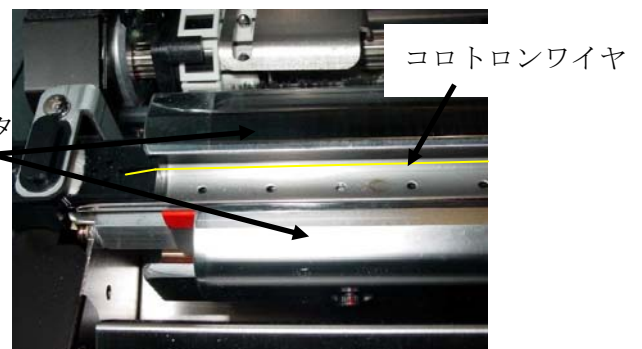
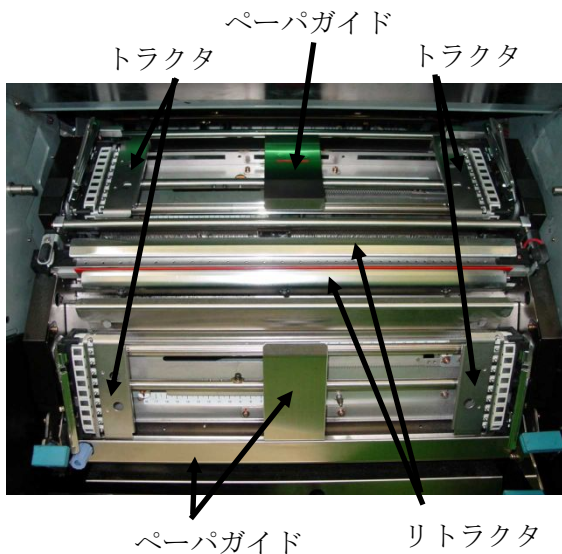
給紙部の清掃は、以下の手順に従ってください。

1. フロントカバ(L)クミを開けてください。
2. 用紙が搬送ユニットに取り付けてある場合は、搬送ユニットから用紙を取り外して、用紙箱を給紙部から取り出してください。
3. プリンタの電源を切ってください。
4. 給紙部周囲、ペーパーガイド、搬送ユニットの下、搬送ユニット内のトラクタ、ペーパーガイド、及びリトラクタに堆積している紙粉あるいはトナーをトナー専用掃除機で吸い取ってください。(清掃箇所は下図矢印の箇所を参照下さい。)
5. フロントカバ(L)クミを閉めてください。

フロントカバ(L)クミを開いた状態



搬送ユニットを開いた状態



留意事項:

リトラクタ部を清掃する時には、コロトロンワイヤに触らない様にご注意ください。

OG	B	02	
----	---	----	--

6.5.2 スタッカの清掃

スタッカの清掃は、以下の手順に従ってください。

1. スタッカテーブル上に用紙がある場合は、用紙を取り出してください。
2. STパネルのDOWNスイッチを押し、スタッカテーブルを最下部まで下げてください。
3. プリンタの電源を切ってください。
4. スタッカテーブル上の紙粉等を掃除機で吸い取ってください。
5. トナー等がこびりついている場合は、少量の水を含ませた布で拭き取ってください。
6. プリンタの電源を入れてください。
7. STパネルのUPスイッチを押し、スタッカテーブルを最上部まで上げてください。
8. プリンタの電源を切ってください。
9. スタッカテーブル下部の紙粉等を掃除機で吸い取ってください。

スタッカテーブルを下げた状態



スタッカテーブル

スタッカテーブルを上げた状態



スタッカテーブル下部

6.5.3 転写器の清掃

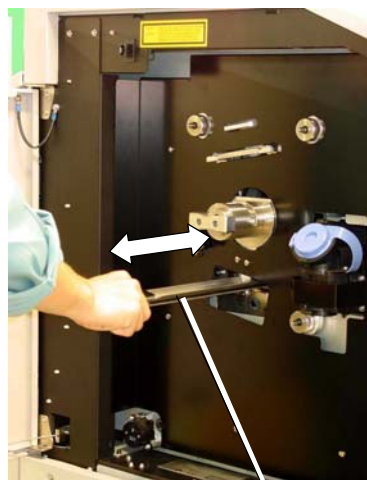
転写器の清掃は、以下の手順に従ってください。

1. サイドカバ(LU)Nクミを開けてください。
2. 転写器を図の矢印方向に2、3回往復させてください。

留意事項:

上記のステップ2は搬送ユニットを閉めたまま行ってください。開けた状態では転写器が引き出せません。

3. 転写器を止まるまで押し込んでください。
4. サイドカバ(LU)Nクミを閉めてください。



転写器



転写器は止まるまで押しこんで下さい。途中で止めると搬送ユニットの開閉ができなかったり、印刷不良等の障害が発生する場合があります。

留意事項:

転写器の清掃を実施した後は、6.4.1節「印刷品質のチェック」に従い、印刷品質のチェックを行ってください。

6.5.4 トナーホッパ周辺の清掃

トナーホッパ周辺の清掃は、以下の手順に従ってください。

1. トナーサプライドアクミ (N)を開けてください。
2. トナーホッパ周辺に付着しているトナーをトナー専用掃除機で吸い取ってください。
3. トナーがこびりついている場合は、少量の水を含ませた布で拭き取ってください。
4. トナーサプライドアクミ (N)を閉めてください。



OG	B	02	
----	---	----	--

6.5.5 廃トナーボトル周辺の清掃

廃トナーボトル周辺の清掃は、以下の手順に従ってください。

1. ボトルカバー(N)を開けてください。
2. 廃トナーボトル周辺に付着しているトナーをトナー専用掃除機で吸い取ってください。
(清掃箇所は下図矢印の箇所を参照下さい。)
3. トナーがこびりついている場合は、少量の水を含ませた布で拭き取ってください。
4. ボトルカバー(N)を閉めてください。



6.5.6 プレクリンクミの清掃

プレクリンクミの清掃は、以下の手順に従ってください。

1. サイドカバ(LU)Nクミを開けてください。
2. プレクリンクミを図の矢印方向に2、3回往復させてください。
3. プレクリンクミを止まるまで押し込んでください。
4. サイドカバ(LU)Nクミを閉めてください。



プレクリンクミは止まるまで押しこんで下さい。途中で止めると、印刷不良等の障害が発生する場合があります。

留意事項:

プレクリンクミの清掃を実施した後は、6.4.1節「印刷品質のチェック」に従い、印刷品質のチェックを行ってください。

OG	B	02	
----	---	----	--

6.6 消耗品の取り扱いと保管

6.6.1 印刷用紙

用紙を購入する際は、以下の点にご注意ください。

- 用紙購入の際、送り穴およびファイル用バイнда穴等の抜きかすが残っていないよう、用紙メーカーに注意を促してください。抜きかすが残っていると、印刷時に抜きかすがドラムと用紙との間に入り、脱字の原因となることがあります。
- 用紙にしわや折りたたみ部以外の折り目が見つからないよう、用紙メーカーに注意を促してください。保管時や取扱い時にもしわや折り目がつきますと、その近辺の文字が転写されずにデータの脱落や脱字の原因となります。
- 用紙購入の際、用紙の破れがないよう、用紙メーカーに注意を促してください。途中で用紙の破れがあると、用紙のジャム、データの脱落、脱字の原因となります。最終ページに用紙の破れがあると、用紙切れ (EOF) の検出が不完全となり、障害になります。
- 用紙は極力ポリエチレンシートで梱包してダンボール箱に入れるよう、用紙メーカーにご指定願います。流通経路での環境変化による吸湿を防止するためです。なお、ポリエチレンシートが使用できない場合は、防湿ダンボールをご指定ください。

留意事項:

塩化ビニール系のシートは可塑剤を含むため、使用しないでください。

用紙を保管する際は、下記の条件で保管することをお勧めします。用紙は環境により影響を受けますが、特に湿度条件は印刷プロセスに大きく作用します。

- 保管環境： 温度 10～30° C、湿度 30～70%RH
- 保管場所と使用場所で温湿度差が大きい場合、使用する 2～3 日前に使用場所に移動して、環境に順応させてください。差があまりない場合も、1 日前には使用場所に移動してください。
- 梱包された用紙は、直射日光の照射する場所等温度と湿度の変化の多い場所は避けてください。また、空調機の風の当たる場所も避けてください。
- 3～6 ヶ月以上を越える用紙の長期保管は極力避けてください。
- 使い残しの用紙を保管する場合も、必ずポリエチレンシートで包装し、上ふたをしてください。温湿度変化の繰返しによって生じる用紙凹凸の蓄積を防止するためです。

OG	B	02	
----	---	----	--

用紙の保管形態は、以下の通りとしてください。

- 用紙はプリンタで使用する直前まで輸送されてきた箱のままの状態でご保管してください。
- 用紙は直接床の上に置かないで、パレット等の上に置いてください。
- 用紙を高く積み重ねるとしわの原因となりますので、積み重ね高さは下記を守ってください。
 - 55 kg紙 2,000 シート/箱の場合： 最大 5 箱まで
 - 70～135 kg紙 1,000 シート/箱の場合： 最大 5 箱まで
 - 上記より 1 箱当りのシート数が多い場合： 最高 3 箱まで

本プリンタで印刷した用紙は、表面も裏面も、電子写真式プリンタおよびインパクトプリンタで再利用できません。またインパクトプリンタで印刷した用紙の本プリンタでの再利用もできません。

6.6.2 トナーと現像剤

トナーと現像剤は、直射日光の当たらない空調された場所で保管してください。40°C以上になりますと変質する恐れがあります。下記の保管環境を守ってください。

- 温度： -10～40° C
- 湿度： 8～90%RH、結露させないこと

トナーと現像剤はご使用になるまで開封せず、直接外気に触れないように保管してください。直接外気に触れたまま保管しますと、トナーの固まりや錆が発生し、データの脱落や脱字の原因となります。

本プリンタ用のトナーと現像剤は、他の電子写真式プリンタ用のものと成分が異なります。誤って他のものを使用しますと印刷品質の低下ばかりでなく故障の原因ともなります。従って、指定品以外は絶対に使用しないでください。指定品は青色のラベルに以下の表示があります。ご使用前には必ず確認してください。

- トナー : HT-4558-120A/150A プリンタ用トナー
- 現像剤 : HT-4558-80/80R/120/120A/150A プリンタ用現像剤

OG	B	03	
----	---	----	--

トナーと現像剤は長期間保存すると印刷品質の低下等を招く可能性があるため、先に購入したもものから使用してください。長期間保存する場合は、なるべく低い温度（推奨 30° C 以下）で保存し、保存期間は1年以内を目安としてください。

危険ですので、トナーや現像剤が入った使用済み容器を絶対に火中に投げ込まないでください。

使用済みのトナーや現像剤は、法令や条例に従って、産業廃棄物としてお客様にて処理処分をお願いします。トナーと現像剤を含む、本プリンタの消耗品の産業廃棄物区分を下に示します。

名称	種類(コード)	形状	重金属等
トナーボトル	廃プラスチック (0610)	固形	なし
廃トナーボトル	廃プラスチック (0610)	固形	なし
トナー	廃プラスチック (0610) 金属屑 (1200) 紙屑 (0700)	固形	なし
現像剤ボトル	廃プラスチック (0610)	固形	なし
現像剤	廃プラスチック (0610) 金属屑 (1200)	固形	なし
OPCドラム	廃プラスチック (0610) 金属屑 (1200)	固形	なし
ドラムクリーナ	廃プラスチック (0610) 金属屑 (1200) 繊維屑 (0900)	固形	なし
HRユニット	廃プラスチック (0610) 金属屑 (1200)	固形	なし
HRクリーナ	廃プラスチック (0610) 金属屑 (1200)	固形	なし

第7章 トラブルシューティング

7.1 この章の内容

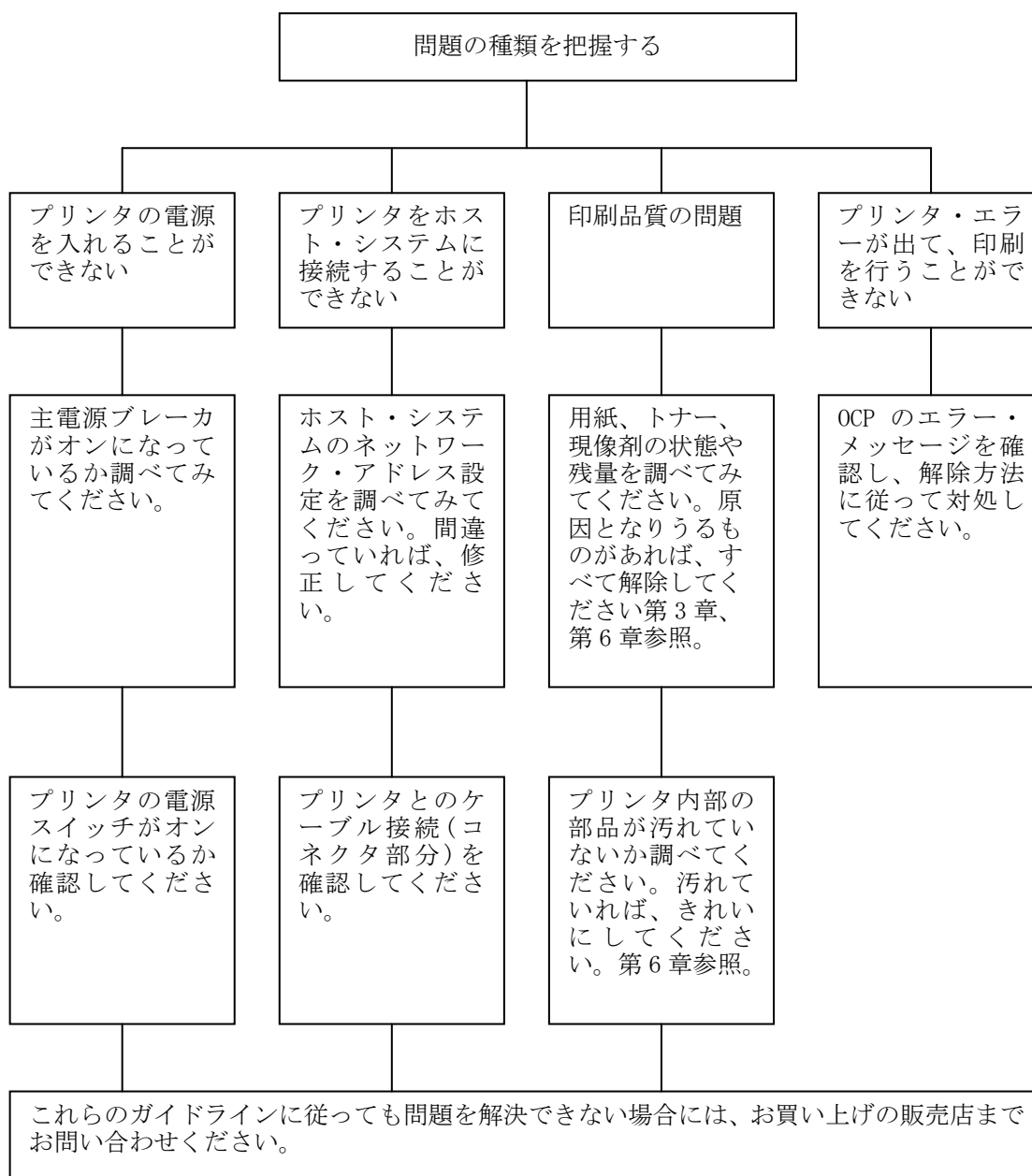
この章では、以下の事項について説明します。

- ガイドライン・フローチャート
- 基本的な問題解決のヒント
- 一般的な印刷時の問題
- 印刷品質の問題
- 使用上の留意事項
- ネットワークの問題
- エラーリカバリ印刷
- OCP に表示されるメッセージ

留意事項:

以下では、いろいろな問題を解決する際のガイドラインを紹介します。なかなか問題を解決できない時には、お買い上げの販売店までお問い合わせください。

7.2 ガイドライン・フローチャート



7.3 基本的な問題解決のヒント

以下には、問題を解決するための確認事項をいくつか紹介します。問題を特定する際には、まずこのリストをヒントにしてください。

- 電源およびプリンタに接続されるすべてのケーブルを確認してください。
- プリンタの OCP に表示されるメッセージを確認してください。
- 可能なら、レポート印刷メニューのステータス印刷を実行して、各種設定値が現在のプリンタの動作環境に一致しているかどうか確認してください。
- プリンタの現在のステータスを確認してください。
 - 現在のステータスは OCP のステータス・バーに表示されます。
 - プリンタが印刷を実行中の場合は、このステータス・メッセージには、その印刷処理に関する情報が示されます。
 - ステータス・メッセージにその印刷処理の情報が示されない場合は、その印刷処理の前に別のユーザのジョブの印刷を行っているか、あるいはその印刷はすでに終了していることが考えられます。
 - ジョブが印刷を待機している時には、印刷ジョブ一覧メニューにそのジョブが表示されます。

OG	B	01	
----	---	----	--

7.4 一般的な印刷時の問題

問題	対処方法
スタッカ部で用紙ジャムが発生する	<ul style="list-style-type: none"> ・用紙ミシン目の「山」「谷」が設定と合っているか確認してください。 ・実際用の紙長と OCP の用紙長の指定及びスタッカノブの設定が合っているか確認してください。
HR ユニットで用紙ジャムまたはスキューが発生する	<ul style="list-style-type: none"> ・HR ユニットが正しくセットされているか確認してください。 ・スキューセンサを清掃してください。 ・トラクタに対する用紙の張りを確認してください。 ・用紙ミシン目の「山」「谷」を正しく調整してください。 ・仕様に合った印刷用紙を使ってください。
印刷開始位置がずれる	<ul style="list-style-type: none"> ・用紙ミシン目の「山」「谷」を正しく調整してください。 ・実際用の紙長と OCP の用紙長の指定及びスタッカノブの設定が合っているか確認してください。
ステータス印刷が実行されない	<ul style="list-style-type: none"> ・OCP にエラー・メッセージが表示されている場合には、表示内容に従い修復処置を講じてください。 ・OCP にまったく何も表示されない場合には、電源を切り、プリンタを再起動してください。OCP のステータス表示がオンラインになったら、レポート・メニューのステータス印刷を実行してください。
印刷オプションで設定したとおりに印刷が行われない	<ul style="list-style-type: none"> ・他の設定をした時に、その設定値を上書きしなかったか確認してください。 ・印刷のオプションや設定値については、第2章「オペレータ・コントロール・パネル」を参照してください。

7.5 印刷品質の問題

問題	対処方法
きれいな印刷結果が得られない	出力結果にトナーの縞が入っている場合は、第6章「お手入れとメンテナンス」に従ってプリンタを清掃してください。

7.6 使用上の留意事項

本プリンタを使用する上での留意事項を以下に示します。

- 丁合指示: アプリケーションソフトの丁合を無効、プリンタドライバの丁合を有効にしてください。
- レポート印刷とテスト印刷: ジョブの印刷中に OCP メニューからレポート印刷、テスト印刷を選択した場合、印刷中のジョブの終了時に、前に選択したレポート印刷、テスト印刷が出力されます。
- 印刷速度低下: 1部印刷または複数部数印刷の1部目印刷中に用紙切れ、用紙ジャム等のエンジネラーが発生した場合、エラー要因のクリア後のリカバリ印刷において、一時的に印刷速度が低下する場合があります。
- Web でのページ長設定: 100 行以上の設定をした場合、用紙長 4 インチ以下または用紙幅 8.5 インチ以下(2-UP 印刷時)において、設定値より 1 行または 2 行余分に印刷されることがあります。
- パラレル I/F でのジョブ削除: パラレル I/F を使用する場合、ジョブを連続して送信し、OCP からジョブを削除すると、後続のジョブも削除される場合があります。削除対象であるジョブの受信終了から、次のジョブの受信開始までの時間がウェイトタイムアウトまたは PS ウェイトタイムアウトより短い時間であった場合に、このような問題が発生します。パラレル I/F をご利用の際は、ウェイトタイムアウト及び PS ウェイトタイムアウトを小さな値に設定してください。その際、ウェイトタイムアウトは PS ウェイトタイムアウトよりも大きな値にしてください。
- プリンタを安定してお使いいただくため、定期的な電源の OFF/ON をお願い致します。(3 ヶ月に 1 度程度)
- バーコード印刷に関する事項 (付録 J 参照)

7.7 ネットワークの問題

7.7.1 AppleTalk プロトコルで発生する問題

1. Macintosh から論理プリンタが見えない。

原因調査：

- (1) Ethernet ケーブルが正しく接続されていますか。
- (2) MacintoshにてAppleTalkが動作していますか。
- (3) 論理プリンタのAppleTalkプロトコル設定が「無効」になっていませんか。
- (4) プリンタが属しているAppleTalkゾーンを選択していますか。
- (5) AppleTalkネットワークは安定して動作していますか。

対処方法：

- (1) ネットワークケーブルが正しく接続されているか確認してください。
- (2) MacOS Xの「システム環境設定」の中から「ネットワーク」を選択、「内蔵Ethernet」から「AppleTalk」を選択し、「AppleTalkを使用」を選択してください。
- (3) Webを使用して、論理プリンタのAppleTalkプロトコルを「有効」に設定してください。
詳細は、5.4.3.4節「構成ー通信」ページを参照してください。
- (4) Webを使用して、AppleTalkゾーンの設定を行ってください。
- (5) ネットワーク環境が安定して、正しく動作しているか調査してください。

2. 印刷していないにも関わらず「ジョブロードフル」エラーとなる。

原因調査：

- (1) Windows Server 2003にて、論理プリンタに対して「AppleTalk印刷装置の確保」が設定されていませんか。

対処方法：

- (1) Windows Server 2003にてプリンタのポート設定から、論理プリンタに対する「AppleTalk印刷装置の確保」を外してください。

7.7.2 TCP/IP プロトコルで発生する問題

1. pingを使用してプリンタから応答がない。

原因調査：

- (1) プリンタの電源はONになっていますか。
- (2) Ethernet ケーブルが正しく接続されていますか。
- (3) プリンタのIP アドレスは設定されていますか。
- (4) ホスト側とプリンタ側のIP アドレスのクラスが合っていますか。
- (5) ホスト側とプリンタ側のサブネットマスクの設定が合っていますか。
- (6) ネットワーク接続されているプリンタとホストとの間にGateway またはRouter が存在しますか。

対処方法：

- (1) プリンタの電源をONにしてください。
- (2) Ethernet ケーブルを正しく接続してください。
- (3) プリンタのIP アドレスを設定してください。
- (4) ホスト側とプリンタ側のIP アドレスのクラスを合わせてください。
- (5) サブネットマスクを合わせてください
- (6) プリンタにデフォルトゲートウェイの設定を行ってください。

2. TIME LIMIT EXPIRED と表示される。

原因調査：

- (1) 実在しないIP アドレスを指定していませんか。

対処方法：

- (1) プリンタ側のIP アドレスをもう一度確認してください。

3. NODE name NOT KNOWN またはxxx :Unknown host と表示される。

原因調査：

- (1) サーバに、ノード名とIP アドレスを対応づけて登録していますか。

対処方法：

- (1) サーバのノードテーブル(hosts ファイル)に、ノード名とIP アドレスを登録してください。

OG	B	02	
----	---	----	--

4. 印刷が行われない

(「オンライン」表示のままデータを受け付けなくなる。または、エラー印刷を有効に設定した場合、timeout のエラーを印刷することがある。)

原因調査：

- (1) pingでプリンタから応答がありますか。
- (2) printcap ファイルは正しく設定されていますか。(UNIXの場合)
- (3) Windows XP/Server 2003/Vistaを使用し「LPRバイトカウントを有効にする」をOFFにしていませんか。
- (4) 4GByteを超えるデータを転送していませんか。

対処方法：

- (1) pingで応答がない場合、この項目の“pingを使用してプリンタから応答がない”を参照してください。
- (2) 正しく設定されているか確認してください。
- (3) 4.3.2節「TCP/IPプロトコルを使用したLPR/LPD印刷」を参照し、Windowsの「LPRバイトカウントを有効にする」が正しく設定されているか確認してください。
- (4) ファイルを分割し、4GByte以下のデータとして転送してください。

7.7.3 ネットワークとの接続における共通問題

原因調査：

- (1) Ethernet ケーブルに断線等の異常はありませんか。
- (2) ホストのインターフェースは正常に動作していますか。
- (3) プリンタ自身に問題はありませんか。
- (4) プリンタのコントローラを交換していませんか。
- (5) ネットワークケーブルが接続されていますか。

対処方法：

- (1) Ethernet ケーブルを交換してください。
- (2) 異なるホストを使用して印刷してください。
- (3) プリンタのテスト印刷を実行し、プリンタ自身に問題ないことを確認してください。
- (4) コントローラには、それぞれ固有のEthernet アドレスが決められており、コントローラ交換時にはEthernet アドレスが変わります。ホストのEthernetアドレスを設定するファイルの変更を行ってください。また交換した場合、論理プリンタは工場出荷時に設定されているものだけですので、今まで追加した論理プリンタは、もう一度登録しなおしてください。
- (5) プリンタにネットワークケーブルを接続し、ケーブルの另一端を電源の入ったネットワーク機器(Hub等)に接続してプリンタの電源を入れてください。

OG	B	03	
----	---	----	--

7.8 エラーリカバリ印刷

本プリンタは、エラーリカバリ機能をサポートしております。

エラーリカバリ印刷とは、用紙ジャム等でプリンタが停止した際にプリンタ内の未定着用紙や印刷データが保証出来ないページを次の印刷時に再印刷する機能です。

エラーリカバリ印刷機能は OCP の「プリンタ設定メニュー」-「オプション」-「ジャムリカバリ」で「ユウコウ」/「ムコウ」を切替えることが出来ます。

(1) ジャムリカバリが「ユウコウ」の場合

印刷データの保証出来ないエラーが発生した場合、次の印刷時に印刷データの保証されないデータをさかのぼって再印刷されます。そのため、印刷データを再送する必要はありません。エラーリカバリ印刷機能では、用紙長 51 インチ分相当の印刷ページをリカバリします。*1

目安として 15×11 インチの用紙をご使用の場合、5 枚分リカバリ印刷します。

*1 : OCP に「エラーを全て解除した後オンラインにするとリカバリ印刷を行います」が表示されます。

<オペレータ操作手順>

- ①OCP に表示されているエラーを 7.9 節「OCP に表示されるメッセージ」にしたがい、修復してください。
- ②用紙のミシン目位置を確認してください。

用紙ミシン目位置がずれている場合は、用紙ミシン目を合わせるか、用紙の再装填を行ってください。

- ③オンラインにしてください。
(このとき、リカバリ印刷が行われます)
- ④印刷結果に問題が無いか確認してください。

リカバリ印刷したページが重複している可能性がありますので、印刷結果をよく確認してください。

(2) ジャムリカバリが「ムコウ」の場合

リカバリ印刷を行いませんのでエラー解除後、印刷データの再送が必要となります。エラーが発生したことにより、スタック後の印刷データが抜けますのでご注意願います。尚、必要に応じてデータの削除を行ってください。

<オペレータ操作手順>

- ①OCP に表示されているエラーを 7.9 節「OCP に表示されるメッセージ」にしたがい、修復してください。
- ②用紙のミシン目位置を確認してください。
用紙ミシン目位置がずれている場合は、用紙ミシン目を合わせるか、用紙の再装填を行ってください。
- ③オンラインにして、印刷を再開してください。

OG	B	01	
----	---	----	--

7.9 OCP に表示されるメッセージ

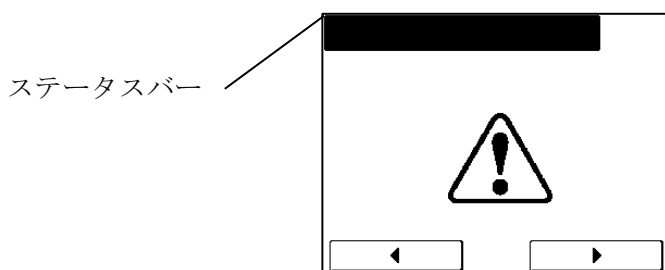
OCP 上には 1, 2 行のメッセージでプリンタの状態が表示されます。以下の表では、それぞれのメッセージについて説明するとともに、対応方法について示してあります。なお、OCP の表示が英語になっていた場合、以下を順に選択すると日本語の表示に切り替わります。

「環境設定メニュー」－「Language」－「日本語」

プリンタにてエラーが発生した場合、OCP に以下の画面が表示されます。またオプションのアテンションライトを装着している場合は、アテンションライトが点灯します。復帰(チェックリセット)は、以下の手順に従ってください。

ただし、オフライン/ポーズ画面でプリンタにエラーが発生した場合、下記エラー画面は表示されなくて、ステータスバーにエラーの内容のみが表示されます。

その場合は、オフライン/ポーズ画面で「▶」ボタンを押した後、下記エラー画面でエラーの解除を行ってください。



ボタン	名称	内容
	前の画面	エラーから復帰しないで前の画面へ遷移します。
	オンライン/ 復帰(チェックリセット)	エラーから復帰してオンライン画面へ遷移します。 ただしエラーが解除できない場合は、再度エラー画面を表示します。

(1) ステータスバーに表示されているメッセージにしたがってください。次ページ以降に各エラーコード毎の修復手順を記載しています。

(2) 用紙ジャム等のエラーを修復後、「▶」ボタンを押してください。

メッセージ	内容	対応方法
オンライン	オンライン状態	-
オフライン/ポーズ	オフライン状態	「▶」ボタンを押してください。
インサッチュウ: x/x	印刷ジョブのコピー数	処理が終了するまで待ってください。
インサッチュウ	印刷中	“オンライン”表示になるまで待ってください。
ジョリチュウ	印刷ジョブの処理中	処理が終了するまで待ってください。

OG	B	02	
----	---	----	--

メッセージ	内容	対応方法
ツギノデータ待ち	印刷データ待ち、巨大なジョブの処理中	“オンライン”表示になるまで待ってください。
NPRO	NPRO の実行中	NPRO が終了するまで待ってください。
ウォーミングアップチュウ	HR ユニットのウォーミングアップ中	“オンライン”表示になるまで待ってください。
トナーがスカクナッテimas	トナーが残り少ない	トナーを補給し、廃トナーボトルを交換してください。
ネットワーク ロードチュウ	ネットワーク I/F の起動中	“オンライン”表示になるまで待ってください。
アタシハパスワードヲ ニュウヨクシテタサイ	パスワードの変更時に表示	パスワードはシステム管理者か保守員のみ変更します。
カクニノタメ サイト ニュウヨクシテタサイ	パスワードの変更時に表示	パスワードはシステム管理者か保守員のみ変更します。
パスワードヲ ニュウヨクシテタサイ	システムメニューに入る時に表示	システムメニューはシステム管理者のみ使用します。
パスワードヲ ニュウヨクシテタサイ	保守メニューに入る時に表示	保守メニューは保守員のみ使用します。
AppleTalk ジュシチュウ	AppleTalk による印刷データの受信中です	“オンライン”表示になるまで待ってください。
アタイガ チカ イマス	入力値が間違っている	正しい値を入力してください。
パスワードガ チカ イマス	パスワードが間違っている	正しい値を入力してください。
ヨウシサイズガ マチガ ッテimas セツトシテタサイ XX.X x XX.X	用紙サイズの不一致が発生	指定した用紙をセットしてください。
PS サイズシテガ マチガ ッテimas ジョブヲ キャンセルシテタサイ	ジョブで指定した用紙サイズが最大用紙サイズを超えている	ジョブの用紙サイズ指定を確認してください。
ナイブ エラー TIFF/CCITT メモリアソク	TIFF/CCITT イメージ印刷時のメモリ不足	プリンタの電源を OFF/ON してください。

メッセージ	内容	対応方法
Insufficient disk space One Copy Job	ハードディスクドライブの容量不足のため1部印刷となる	注1
ヒータオフモード	ヒータオフモード	注2
スリープモード	スリープモード	注2
タイムサーバ xxx.xxx.xxx	タイムサーバから時刻を取得している	—
タイムサーバが ミツカリマセン	タイムサーバが見つからなかった	タイムサーバの設定を確認してください。5.4.3.3節参照。
ジドウバックアップ	自動バックアップ中 (自動バックアップ設定時刻およびプリンタ電源投入時)	—
Spool directory is full	スプリーング用のハードディスクドライブに空きがない	スプール済のジョブが印刷終了してからジョブを送って下さい。
Spooling	ジョブをハードディスクドライブにスプールしている	—
Job too big—Data flushed	ハードディスクドライブに空き容量が無い為、スプールできなかった	スプールを無効にして、ジョブを再送信してください。
インサツジョブサクジョチュウ	ジョブ削除中	—
ポストスクリプトエラー チェックリセットヲオシテタガサイ	PostScript エラーが発生した	「▶」ボタンを押してください。
ジョブレコードフル NPRO ヲシツコウシテタガサイ	受信したジョブが規定数を超えた	NPRO を実行してください。
PCL エラー チェックリセットヲオシテタガサイ	PCL ジョブ印刷時にメモリ不足が生じた	「▶」ボタンを押してください。 注3

注1：複数部数印刷(MOP)時の印刷枚数制限の目安は以下の通りです。ただし、実際の印刷環境によっては、下記印刷ページ数が変わる場合があります。

用紙サイズ	印刷ページ
6.5×7 インチ	1500
15×11 インチ	1500
18×14 インチ	1500

注2：ヒータオフモード、スリープモードの省電力モードは下記の条件で解除します。

- (1) オンライン時に印刷起動がかかったとき
- (2) OCPのキーを押したとき

注3：

- (1) 「▶」ボタンを押した後に、再度PCLエラーが表示された場合は、プリンタの電源をOFF/ONしてください。
- (2) PCLジョブを分割して再印刷してください。

OG	B	04	
----	---	----	--

メッセージ	内容	対応方法	リカバリ印刷
ヨウシ キレ ヨウシヨ セットシテタサイ E001	用紙が無くなった	用紙をセットしてください。 3.7.2 節参照。	
スタッカ フル スタッカカラヨウシヨトリタシテタサイ E004	スタッカテーブル上の用紙が規定の最大量に達した	用紙を取り出してください。 3.7.4 節参照。	
トナーボトル フル コウカンシテタサイ E005	廃トナーボトルが一杯になっている	廃トナーボトルを交換してください。 6.2.2 節参照。	
トナーガ アリマセン ホキョウシテタサイ E006	トナーがない	トナーを補給してください。 6.2.1 節参照。	
ゲンソウウサエイ ジュミョウ コウカンシテタサイ E007	現像剤の交換時期	現像剤を交換してください。 6.2.3 節参照。	
HR クリーナ ジュミョウ コウカンシテタサイ E009	HR クリーナの交換時期	HR クリーナを交換してください。 6.2.5 節参照。	
HR ユニット ジュミョウ コウカンシテタサイ E00A	HR ユニットの交換時期	作業内容を確認してください。 6.1 節(1)参照	
OPC ドラム ジュミョウ コウカンシテタサイ E00B	OPC ドラムの交換時期	保守員に連絡してください。	
ドラムクリーナユニット ジュミョウ コウカンシテタサイ E00C	ドラムクリーナユニットの交換時期	保守員に連絡してください。	
トナーボトルガセットサレテイマセン トナーバックヲセトシテタサイ E00E	廃トナーボトルが適切にセットされていない	廃トナーボトルを適切にセットしてください。 6.2.2 節参照。	○
ハンソウユニットガアイテイマス トジテタサイ E010	搬送ユニットが開いている	搬送ユニットを閉じてください。 3.7.2 節参照。	○
ゲンソウウサエイボトルガセットサレテイマス ハズシテタサイ E011	現像剤交換ボトルが排出側(下側)にセットされている	現像剤交換ボトルを外してください。 6.2.3 節参照。	
スイングフィン ミセツエイ ヨウシミンメヲ カクニンシテタサイ E012	スイングフィンが開始可能位置にない	用紙停止位置を確認し、ずれている場合は3.7.6 節を参照し用紙を再セットしてください。	
テーブルカコウチュウ テーブルヲ テイシシテタサイ E013	スタッカテーブル降下スイッチが押された	テーブルを停止させる STOP スイッチを押してください。	
スタッカ セーフティ スタッカテーブルヲカクニンシテタサイ E015	スタッカセーフティスイッチが動作した	スタッカテーブルをチェックしてください。 6.3.1 節参照。	
リアカバー ガ アイテイマス トジテタサイ E016	リアカバーが開いている	リアカバ(N)クミを閉めてください。 1.5 節参照。	○
サイドカバー ガ アイテイマス トジテタサイ E018	サイドカバーが開いている	サイドカバ(LU)N クミを閉めてください。 1.5 節参照。	○
ヨウシトウソウテンチュウ オマチタサイ(サイドイ 3 プン) E019	自動装填動作中	処置不要(自動的にリセット)。	

リカバリ印刷の項が「○」になっているエラーは、印刷中にエラーが発生した場合、エラーリカバリ印刷を行います。エラー修復・用紙を再装填(3.7 節参照)後、「▶」ボタンを押してください。

メッセージ	内容	対応方法	リハビリ印刷
HRクリーナがセットサレテイマセン HRクリーナフセットシテタサイ E01D	HR クリーナが正しくセットされていない	HR クリーナを正しくセットしてください。6.2.4 節参照。	
HRユニットがセットサレテイマセン HRユニットフセットシテタサイ E01E	HR ユニットが正しくセットされていない	保守員に連絡してください。	○ *1
ゲンゾウサ イコウカンチュウ オマチタサイ E01F	現像剤交換中	完了までお待ちください。	
ヨウシ キレ ヨウシジトウソウテンヤリナオシテタサイ E020	自動装填中に用紙が無くなった	「▶」ボタンを押してください。 再度自動装填してください。	
ハンソウユニットがアイテイマス ヨウシジトウソウテンヤリナオシテタサイ E021	自動装填中に搬送ユニットが開かれた	「▶」ボタンを押してください。 再度自動装填してください。	
スタッカ セーフティ ヨウシジトウソウテンヤリナオシテタサイ E022	自動装填中にスタッカセーフティスイッチが動作した	「▶」ボタンを押してください。 再度自動装填してください。	
リアカバー が アイテイマス ヨウシジトウソウテンヤリナオシテタサイ E023	自動装填中にリアカバーが開かれた	「▶」ボタンを押してください。 再度自動装填してください。	
サイドカバー が アイテイマス ヨウシジトウソウテンヤリナオシテタサイ E024	自動装填中にサイドカバーが開かれた	「▶」ボタンを押してください。 再度自動装填してください。	
テイチャクユニットがセットサレテイマセン ヨウシジトウソウテンヤリナオシテタサイ E025	自動装填中に HR ユニットが外された	「▶」ボタンを押してください。 再度自動装填してください。	*1
オートロードジャム ヨウシジトウソウテンヤリナオシテタサイ E026	自動装填中に搬送部で用紙ジャムが発生した	「▶」ボタンを押してください。 再度自動装填してください。	
オートロードジャム ヨウシジトウソウテンヤリナオシテタサイ E027	自動装填中に HR ユニットで用紙ジャムが発生した	「▶」ボタンを押してください。 再度自動装填してください。	
オートロードジャム ヨウシジトウソウテンヤリナオシテタサイ E028	自動装填中にスタッカ部で用紙ジャムが発生した	「▶」ボタンを押してください。 再度自動装填してください。	
オートロードセンサオフ ヨウシ トリゾ イテタサイ E029	搬送部に用紙がある状態で自動装填を実行された	「▶」ボタンを押してください。 再度自動装填してください。	
スタッカジャムオフ ヨウシ トリゾ イテタサイ E02A	スタッカ部に用紙がある状態で自動装填を実行された	「▶」ボタンを押してください。 再度自動装填してください。	
オートロードシッハイ ヨウシジトウソウテンヤリナオシテタサイ E02B	自動装填に失敗した	「▶」ボタンを押してください。 再度自動装填してください。	

*1 : アテンションライトは点灯しません。

メッセージ	内容	対応方法	リカバリ印刷
スタッカ [®] ティンチュウテ [®] ス スタッカノヨウシ [®] カクニンシテクダ [®] サイ E02C	用紙削減モードを選択した	付録 G 参照。	
ヨウシ [®] ヨウミセッテイ ヨウシ [®] ヨウノブ [®] ヲカクニンシテクダ [®] サイ E02D	<ul style="list-style-type: none"> スタッカの用紙長位置が不正 OCP から入力した用紙長とスタッカ部の用紙長ノブの設定が合っていない 	<ul style="list-style-type: none"> スタッカの用紙長位置を修正してください。3.7.2 節参照。 OCP で入力した用紙長とスタッカ部の用紙長を合わせてください。2.4.1 節、3.7.2 節参照。 	
ヨウシ [®] ヤム：ハッファプレートカ [®] リスキ [®] ヨウシ [®] トリノゾ [®] イテクダ [®] サイ E077	印刷中または空送り中に用紙のたるみが発生し、バッファ上限値を検出	3.7.2 節参照。	○
ヨウシ [®] ヤム：ハッファプレートカ [®] リスキ [®] ヨウシ [®] トリノゾ [®] イテクダ [®] サイ E078	印刷中または空送り中に用紙の張りすぎが発生し、バッファ下限値を検出	3.7.2 節参照。	○

リカバリ印刷の項が「○」になっているエラーは、印刷中にエラーが発生した場合、エラーリカバリ印刷を行います。エラー修復・用紙を再装填(3.7 節参照)後、「▶」ボタンを押してください。

メッセージ	内容	対応方法	リカバリ印刷
ヨウシヤム：ヨウシキュー ヨウシヤ トリノゾ イテクタサイ E07D	駆動側にオーバスキュー発生	6.3 節参照。	○
ヨウシヤム：ヨウシキュー ヨウシヤ トリノゾ イテクタサイ E07E	反駆動側にオーバスキュー発生	6.3 節参照。	○
ヨウシヤム：ヒートロール ヨウシヤ トリノゾ イテクタサイ E07F	ヒートロールで用紙ジャム発生	6.3 節参照。	○
ヨウシヤム：スタッカ ヨウシヤ トリノゾ イテクタサイ E080	スタッカで用紙ジャム発生	6.3 節参照。	
HRユニットがセットサレテイマセン ゲンソウウサ イコウカンヲヤリナオシテクタサイ E0EA	現像剤交換中に HR ユニットが外された	「▶」ボタンを押してください。 再度現像剤を交換してください。	
ゲンソウウサ イ コウカンエラー ゲンソウウサ イコウカンヲヤリナオシテクタサイ E0EB	現像剤交換が出来なかった	「▶」ボタンを押してください。 再度現像剤を交換してください。	
ゲンソウウサ イ カ ノコッテイマス テシ ユンヲカクニンシテクタサイ E0EC	現像剤排出前に投入された	「▶」ボタンを押してください。 現像剤を排出してください。	
ゲンソウウサ イ ボトル セットエラー タダシクセットシテクタサイ E0ED	現像剤ボトルの位置が正しくない	「▶」ボタンを押してください。 ボトルを正しくセットし、再度現像剤を交換してください。	

*1

*1：アテンションライトは点灯しません。

リカバリ印刷の項が「○」になっているエラーは、印刷中にエラーが発生した場合、エラーリカバリ印刷を行います。エラー修復・用紙を再装填(3.7 節参照)後、「▶」ボタンを押してください。

OG	B	02	
----	---	----	--

メッセージ	内容	対応方法	リカバリ印刷
エラーメッセージ マタハ デンゲン OFF/ON E030	ドラム回転異常	「▶」ボタンを押してください。	○
エラーメッセージ マタハ デンゲン OFF/ON E035	チャージャ/グリッドエラー	「▶」ボタンを押してください。	○
エラーメッセージ マタハ デンゲン OFF/ON E037	現像剤バイアス/シールド	「▶」ボタンを押してください。	○
エラーメッセージ マタハ デンゲン OFF/ON E038	ブリククリーンコロナ異常	「▶」ボタンを押してください。	○
エラーメッセージ マタハ デンゲン OFF/ON E039	転写器電圧異常	「▶」ボタンを押してください。	○
エラーメッセージ マタハ デンゲン OFF/ON E03A	トナコンセンサのリップル異常を検出した	「▶」ボタンを押してください。	○
エラーメッセージ マタハ デンゲン OFF/ON E03B	マグロール回転異常	「▶」ボタンを押してください。	○
エラーメッセージ マタハ デンゲン OFF/ON E03C	トナー濃度が異常に高くなった	「▶」ボタンを押してください。	
エラーメッセージ マタハ デンゲン OFF/ON E03D	トナー濃度が異常に低くなった	「▶」ボタンを押してください。	
エラーメッセージ マタハ デンゲン OFF/ON E041	オゾンブローのアラームを検出	「▶」ボタンを押してください。	
エラーメッセージ マタハ デンゲン OFF/ON E042	ドラムクリーナの回転異常を検出	「▶」ボタンを押してください。	○
エラーメッセージ マタハ デンゲン OFF/ON E043	チャージャワイヤクリーナポジションの異常を検出	「▶」ボタンを押してください。	
エラーメッセージ マタハ デンゲン OFF/ON E046	BD のタイムアウト	「▶」ボタンを押してください。	○
エラーメッセージ マタハ デンゲン OFF/ON E047	BD のエラー	「▶」ボタンを押してください。	○
エラーメッセージ マタハ デンゲン OFF/ON E048	ミラーモータのアラームを検出	「▶」ボタンを押してください。	○
エラーメッセージ マタハ デンゲン OFF/ON E04A	ミラーモータのタイムアウト	「▶」ボタンを押してください。	
エラーメッセージ マタハ デンゲン OFF/ON E04C	OC 制御基板の異常	「▶」ボタンを押してください。	○
エラーメッセージ マタハ デンゲン OFF/ON E05A	CE からのログデータにおいて CRC エラーを検出	「▶」ボタンを押してください。	○
エラーメッセージ マタハ デンゲン OFF/ON E05B	コマンド不正	「▶」ボタンを押してください。	○
エラーメッセージ マタハ デンゲン OFF/ON E06A	CVD ENB 信号の異常	「▶」ボタンを押してください。	○

*1

*1：アテンションライトは点灯しません。

「エラーメッセージ マタハ デンゲン OFF/ON」エラー発生時は、印刷中のジョブは保証されません。

ただし、リカバリ印刷の項が「○」になっているエラーにおいては、「▶」ボタンを押してエラーが解除できた場合は、エラーリカバリ印刷を行います。また、「▶」ボタンを押してもエラーが解除できない場合は、いったんプリンタの電源を切り、再び電源を入れてください。それでもエラーが発生するようでしたら、保守員に連絡してください。

留意事項：

プリンタの電源を切る時は、1.8 節「プリンタの電源を切る」の指示に従ってください。

OG	B	03	
----	---	----	--

メッセージ	内容	対応方法	リカバリ印刷
エラーカイジ ョ マタハ デンゲン OFF/ON E06B	CVD クロック信号の異常	「▶」 ボタンを押してください。	○
エラーカイジ ョ マタハ デンゲン OFF/ON E06C	CVD 信号のパリティエラーを検出	「▶」 ボタンを押してください。	○
エラーカイジ ョ マタハ デンゲン OFF/ON E06D	CHD 信号の異常	「▶」 ボタンを押してください。	○
エラーカイジ ョ マタハ デンゲン OFF/ON E073	CPF 信号の異常	「▶」 ボタンを押してください。	○
エラーカイジ ョ マタハ デンゲン OFF/ON E074	CPF 信号の異常	「▶」 ボタンを押してください。	○
エラーカイジ ョ マタハ デンゲン OFF/ON E076	印刷中に EOF を検出したが CPF 信号を受信した	「▶」 ボタンを押してください。	○
エラーカイジ ョ マタハ デンゲン OFF/ON E083	紙送りエラー1	「▶」 ボタンを押してください。	○
エラーカイジ ョ マタハ デンゲン OFF/ON E084	紙送りエラー2	「▶」 ボタンを押してください。	○
エラーカイジ ョ マタハ デンゲン OFF/ON E087	バッファ位置エラー	「▶」 ボタンを押してください。	○
エラーカイジ ョ マタハ デンゲン OFF/ON E089	リトラクタ位置エラー (NPRO)	「▶」 ボタンを押してください。	○
エラーカイジ ョ マタハ デンゲン OFF/ON E08A	リトラクタ位置エラー (印刷)	「▶」 ボタンを押してください。	○
エラーカイジ ョ マタハ デンゲン OFF/ON E08B	リトラクタ初期位置エラー	「▶」 ボタンを押してください。	○
エラーカイジ ョ マタハ デンゲン OFF/ON E08D	バッファモータドライバ異常	「▶」 ボタンを押してください。	○
エラーカイジ ョ マタハ デンゲン OFF/ON E097	BR オープン位置エラー	「▶」 ボタンを押してください。	○
エラーカイジ ョ マタハ デンゲン OFF/ON E098	BR クローズ位置エラー	「▶」 ボタンを押してください。	○
エラーカイジ ョ マタハ デンゲン OFF/ON E09C	ヒータ 1 温度センサの異常を検出した	「▶」 ボタンを押してください。	○
エラーカイジ ョ マタハ デンゲン OFF/ON E09D	ヒータ 2 温度センサの異常を検出した	「▶」 ボタンを押してください。	○
エラーカイジ ョ マタハ デンゲン OFF/ON E09E	ヒータ 3 温度センサの異常を検出した	「▶」 ボタンを押してください。	○
エラーカイジ ョ マタハ デンゲン OFF/ON E09F	ヒータランプ 1 断線	「▶」 ボタンを押してください。	
エラーカイジ ョ マタハ デンゲン OFF/ON E0A0	ヒータランプ 2 断線	「▶」 ボタンを押してください。	

*1

*1

*1

*1

*1: アテンションライトは点灯しません。

「エラーカイジ ョ マタハ デンゲン OFF/ON」 エラー発生時は、印刷中のジョブは保証されません。

ただし、リカバリ印刷の項が「○」になっているエラーにおいては、「▶」 ボタンを押してエラーが解除できた場合は、エラーリカバリ印刷を行います。また、「▶」 ボタンを押してもエラーが解除できない場合は、いったんプリンタの電源を切り、再び電源を入れてください。それでもエラーが発生するようでしたら、保守員に連絡してください。

留意事項:

プリンタの電源を切る時は、1.8 節「プリンタの電源を切る」の指示に従ってください。

OG	B	03	
----	---	----	--

メッセージ	内容	対応方法	リカバリ印刷	
エラーカイジ ョ マタハ テンゲン OFF/ON EOA1	ヒータランプ 3 断線	「▶」 ボタンを押してください。		
エラーカイジ ョ マタハ テンゲン OFF/ON EOA2	ヒータランプ 1 異常高温	「▶」 ボタンを押してください。	○	*1
エラーカイジ ョ マタハ テンゲン OFF/ON EOA3	ヒータランプ 2 異常高温	「▶」 ボタンを押してください。	○	*1
エラーカイジ ョ マタハ テンゲン OFF/ON EOA4	ヒータランプ 3 異常高温	「▶」 ボタンを押してください。	○	*1
エラーカイジ ョ マタハ テンゲン OFF/ON EOA5	ヒータ・オンのタイムアウト	「▶」 ボタンを押してください。		
エラーカイジ ョ マタハ テンゲン OFF/ON EOA6	ヒータランプ 1 異常低温	「▶」 ボタンを押してください。		
エラーカイジ ョ マタハ テンゲン OFF/ON EOA7	ヒータランプ 2 異常低温	「▶」 ボタンを押してください。		
エラーカイジ ョ マタハ テンゲン OFF/ON EOA8	ヒータランプ 3 異常低温	「▶」 ボタンを押してください。		*1
エラーカイジ ョ マタハ テンゲン OFF/ON EOA9	スイングフィン位置エラー	「▶」 ボタンを押してください。		*1
エラーカイジ ョ マタハ テンゲン OFF/ON EOAE	テーブルのタイムアウト	「▶」 ボタンを押してください。		*1
エラーカイジ ョ マタハ テンゲン OFF/ON EOB8	CP 基板の ROM CHECK エラーを検出	「▶」 ボタンを押してください。	○	*1
エラーカイジ ョ マタハ テンゲン OFF/ON EOBA	PR 内部の RAM データの異常を検出	保守員に連絡してください。		*1
エラーカイジ ョ マタハ テンゲン OFF/ON EOBE	印刷速度切り換えの異常を検出	「▶」 ボタンを押してください。	○	
エラーカイジ ョ マタハ テンゲン OFF/ON EOC2	CP 基板搭載の FPGA 異常を検出	「▶」 ボタンを押してください。	○	
エラーカイジ ョ マタハ テンゲン OFF/ON EOC3	OC 基板搭載の FPGA 異常を検出	「▶」 ボタンを押してください。	○	
エラーカイジ ョ マタハ テンゲン OFF/ON EOC6	CE とのパケットデータ転送時にエラーを検出	「▶」 ボタンを押してください。	○	
エラーカイジ ョ マタハ テンゲン OFF/ON EOC7	ROM の消去、或いは書き込みエラーを検出	「▶」 ボタンを押してください。	○	
エラーカイジ ョ マタハ テンゲン OFF/ON EOC8	LED イレーサ断線	「▶」 ボタンを押してください。	○	
エラーカイジ ョ マタハ テンゲン OFF/ON EOCB	排気ファンの異常を検出	「▶」 ボタンを押してください。	○	*1

*1：アテンションライトは点灯しません。

「エラーカイジ ョ マタハ テンゲン OFF/ON」エラー発生時は、印刷中のジョブは保証されません。

ただし、リカバリ印刷の項が「○」になっているエラーにおいては、「▶」ボタンを押してエラーが解除できた場合は、エラーリカバリ印刷を行います。また、「▶」ボタンを押してもエラーが解除できない場合は、いったんプリンタの電源を切り、再び電源を入れてください。それでもエラーが発生するようでしたら、保守員に連絡してください。

留意事項：

プリンタの電源を切る時は、1.8 節「プリンタの電源を切る」の指示に従ってください。

OG	B	04	
----	---	----	--

メッセージ	内容	対応方法	リカバリ印刷	
エラーカイジ ョ マタハ テンゲン OFF/ON EOCC	スタッカ部冷却ファンの異常を検出	「▶」ボタンを押してください。	○	*1
エラーカイジ ョ マタハ テンゲン OFF/ON EOCD	光学部ファンの異常を検出	「▶」ボタンを押してください。	○	*1
エラーカイジ ョ マタハ テンゲン OFF/ON EOCE	HRユニットファンの異常を検出	「▶」ボタンを押してください。	○	*1
エラーカイジ ョ マタハ テンゲン OFF/ON EOCF	サーモパイルダクトファンの異常を検出	「▶」ボタンを押してください。	○	*1
エラーカイジ ョ マタハ テンゲン OFF/ON EOD0	トナーレベルセンサのエラー	「▶」ボタンを押してください。		
エラーカイジ ョ マタハ テンゲン OFF/ON EOD1	用紙長センサのエラー	「▶」ボタンを押してください。		
エラーカイジ ョ マタハ テンゲン OFF/ON EOD2	用紙幅センサのエラー	「▶」ボタンを押してください。		
エラーカイジ ョ マタハ テンゲン OFF/ON EOD3	トナコンセンサの異常を検出	「▶」ボタンを押してください。		
エラーカイジ ョ マタハ テンゲン OFF/ON EOD4	スキューセンサのエラー	「▶」ボタンを押してください。		
エラーカイジ ョ マタハ テンゲン OFF/ON EOD5	温湿度センサの異常を検出	「▶」ボタンを押してください。		
エラーカイジ ョ マタハ テンゲン OFF/ON EOE0	用紙送りドライバ異常	「▶」ボタンを押してください。	○	*1
エラーカイジ ョ マタハ テンゲン OFF/ON EOE1	印刷ドライバ異常	「▶」ボタンを押してください。	○	*1
エラーカイジ ョ マタハ テンゲン OFF/ON EOE2	定着機ドライバ異常	「▶」ボタンを押してください。	○	*1
エラーカイジ ョ マタハ テンゲン OFF/ON EOE3	スタッカドライバ異常	「▶」ボタンを押してください。	○	*1

*1：アテンションライトは点灯しません。

「エラーカイジ ョ マタハ テンゲンOFF/ON」エラー発生時は、印刷中のジョブは保証されません。ただし、リカバリ印刷の項が「○」になっているエラーにおいては、「▶」ボタンを押してエラーが解除できた場合は、エラーリカバリ印刷を行います。また、「▶」ボタンを押してもエラーが解除できない場合は、いったんプリンタの電源を切り、再び電源を入れてください。それでもエラーが発生するようでしたら、保守員に連絡してください。

留意事項：

プリンタの電源を切る時は、1.8節「プリンタの電源を切る」の指示に従ってください。

メッセージ	内容	対応方法
エラーカイジ [®] ヨ マタハ テンゲン OFF/ON EC#02	Activate の時間切れを検出 (Activate コマンド送信から 180 秒)	「▶」ボタンを押してください。
エラーカイジ [®] ヨ マタハ テンゲン OFF/ON EC#03	DORMANT コマンドを送信した にもかかわらず DORMANT ビット がセットされない	「▶」ボタンを押してください。
エラーカイジ [®] ヨ マタハ テンゲン OFF/ON EC#0E	DHSYNC の時間切れを検出	「▶」ボタンを押してください。
エラーカイジ [®] ヨ マタハ テンゲン OFF/ON EC#16	イメージ・ロックの時間切れ を検出(60 秒)	「▶」ボタンを押してください。
エラーカイジ [®] ヨ マタハ テンゲン OFF/ON EC#20	エンジンアダプタボードを正 しく初期化できなかった	「▶」ボタンを押してください。 *1
エラーカイジ [®] ヨ マタハ テンゲン OFF/ON EC#21	シリアル・データの受信時に オーバーラン・エラーを検出 (デバイス・データ)	「▶」ボタンを押してください。 *1
エラーカイジ [®] ヨ マタハ テンゲン OFF/ON EC#22	シリアル・データの受信時に フレーミング・エラーを検出 (デバイス・データ)	「▶」ボタンを押してください。 *1
エラーカイジ [®] ヨ マタハ テンゲン OFF/ON EC#23	シリアル・データの受信時に パリティ・エラーを検出(デバ イス・データ)	「▶」ボタンを押してください。 *1
エラーカイジ [®] ヨ マタハ テンゲン OFF/ON EC#24	デバイス・ドライバがデバイ ス・データの時間切れ(30 ms) を検出	「▶」ボタンを押してください。 *1
エラーカイジ [®] ヨ マタハ テンゲン OFF/ON EC#2C	同期 FIFO エンプティ・エラ ーを検出	「▶」ボタンを押してください。
エラーカイジ [®] ヨ マタハ テンゲン OFF/ON EC#2E	同期 FIFO 読み出しエラーを 検出	「▶」ボタンを押してください。
エラーカイジ [®] ヨ マタハ テンゲン OFF/ON EC#33	BUSY タイムアウトエラー	「▶」ボタンを押してください。
エラーカイジ [®] ヨ マタハ テンゲン OFF/ON EC#40	DHSYNC 時間切れをハードウエ アで検出	「▶」ボタンを押してください。
エラーカイジ [®] ヨ マタハ テンゲン OFF/ON EC#41	CVDCLK エラーを検出	「▶」ボタンを押してください。

*1：アテンションライトは点灯しません。

「エラーカイジ[®] ヨ マタハ テンゲン OFF/ON」エラー発生時は、印刷中のジョブは保証されません。「▶」ボタンを押してもエラーが解除できない場合は、いったんプリンタの電源を切り、再び電源を入れてください。それでもエラーが発生するようでしたら、保守員に連絡してください。

留意事項：

プリンタの電源を切る時は、1.8 節「プリンタの電源を切る」の指示に従ってください。

メッセージ	内容	対応方法
エラーカイジ ョ マタハ テンゲン OFF/ON EC#42	同期 FIFO パリティーエラーを検出	「▶」ボタンを押してください。
エラーカイジ ョ マタハ テンゲン OFF/ON EC#47	マスターアクションでエラーを検出した	「▶」ボタンを押してください。
エラーカイジ ョ マタハ テンゲン OFF/ON EC#48	ターゲットアクションでエラーを検出した	「▶」ボタンを押してください。
エラーカイジ ョ マタハ テンゲン OFF/ON EC#49	未定義コードを EC ドライバより受信した	「▶」ボタンを押してください。
エラーカイジ ョ マタハ テンゲン OFF/ON EC#51	PRINT BIT が OFF にならない	「▶」ボタンを押してください。
エラーカイジ ョ マタハ テンゲン OFF/ON EC#52	COOL タイムアウト	「▶」ボタンを押してください。
エラーカイジ ョ マタハ テンゲン OFF/ON EC#53	エンジンからのシリアルデータ受信時に unknown error 検出	「▶」ボタンを押してください。
エラーカイジ ョ マタハ テンゲン OFF/ON EC#54	BUSY BIT が ON にならない	「▶」ボタンを押してください。
エラーカイジ ョ マタハ テンゲン OFF/ON EC#55	Engine が Not Ready である	「▶」ボタンを押してください。
エラーカイジ ョ マタハ テンゲン OFF/ON EC#56	Engine がパリティーエラーを検出	「▶」ボタンを押してください。
エラーカイジ ョ マタハ テンゲン OFF/ON EC#57	Engine がフレーミング・オーバーランエラーを検出	「▶」ボタンを押してください。
エラーカイジ ョ マタハ テンゲン OFF/ON EC#58	Engine がインバリッドデータを検出	「▶」ボタンを押してください。
エラーカイジ ョ マタハ テンゲン OFF/ON EC#59	Diag Start 時のエラー	「▶」ボタンを押してください。
エラーカイジ ョ マタハ テンゲン OFF/ON EC#5A	Diag End 時のエラー	「▶」ボタンを押してください。
エラーカイジ ョ マタハ テンゲン OFF/ON EC#5B	Diag Read 時のエラー	「▶」ボタンを押してください。
エラーカイジ ョ マタハ テンゲン OFF/ON EC#5C	Diag Load 時のエラー	「▶」ボタンを押してください。
エラーカイジ ョ マタハ テンゲン OFF/ON EC#5D	コントローラプログラムエラー (予期せぬステートへ遷移した)	「▶」ボタンを押してください。
エラーカイジ ョ マタハ テンゲン OFF/ON EC#5E	コントローラプログラムエラー (UC Index が不当)	「▶」ボタンを押してください。
エラーカイジ ョ マタハ テンゲン OFF/ON EC#5F	DPFREQ タイムアウト	「▶」ボタンを押してください。
エラーカイジ ョ マタハ テンゲン OFF/ON EC#60	Fuser ON 時のエラー	「▶」ボタンを押してください。
エラーカイジ ョ マタハ テンゲン OFF/ON EC#61	Fuser OFF 時のエラー	「▶」ボタンを押してください。
エラーカイジ ョ マタハ テンゲン OFF/ON EC#62	スリープモードから復帰時のエラー	「▶」ボタンを押してください。

「エラーカイジ ョ マタハ テンゲン OFF/ON」エラー発生時は、印刷中のジョブは保証されません。「▶」ボタンを押してもエラーが解除できない場合は、いったんプリンタの電源を切り、再び電源を入れてください。それでもエラーが発生するようでしたら、保守員に連絡してください。

留意事項:

プリンタの電源を切る時は、1.8 節「プリンタの電源を切る」の指示に従ってください。

OG	B	01	
----	---	----	--

メッセージ	内容	対応方法
エラーカイジ ヽマタハ テンゲン OFF/ON EC#63	UC カウンタの更新エラー	「▶」ボタンを押してください。
エラーカイジ ヽマタハ テンゲン OFF/ON EC#64	コントローラ・エンジン間パケット通信エラー。	「▶」ボタンを押してください。
エラーカイジ ヽマタハ テンゲン OFF/ON EC#A0	RIP イメージをHDDに書き込んだときのエラー	「▶」ボタンを押してください。
エラーカイジ ヽマタハ テンゲン OFF/ON EC#A1	DMA 転送時のHDD 書き込みエラー	「▶」ボタンを押してください。
エラーカイジ ヽマタハ テンゲン OFF/ON BR#xx	Backup/Restore 時のエラー	「▶」ボタンを押してください。
エラーカイジ ヽマタハ テンゲン OFF/ON IF#01	ネットワーク送信エラー	「▶」ボタンを押してください。
エラーカイジ ヽマタハ テンゲン OFF/ON IF#10	AppleTalk 処理エラー	「▶」ボタンを押してください。
エラーカイジ ヽマタハ テンゲン OFF/ON IF#11	AppleTalk 処理エラー	「▶」ボタンを押してください。
エラーカイジ ヽマタハ テンゲン OFF/ON IF#12	AppleTalk 処理エラー	「▶」ボタンを押してください。
エラーカイジ ヽマタハ テンゲン OFF/ON IF#13	AppleTalk 処理エラー	「▶」ボタンを押してください。
エラーカイジ ヽマタハ テンゲン OFF/ON IF#14	AppleTalk 処理エラー	「▶」ボタンを押してください。
エラーカイジ ヽマタハ テンゲン OFF/ON IF#15	AppleTalk 処理エラー	「▶」ボタンを押してください。
エラーカイジ ヽマタハ テンゲン OFF/ON OP#01	OCP エラー	「▶」ボタンを押してください。
エラーカイジ ヽマタハ テンゲン OFF/ON Task Exit	コントローラプログラムエラー	「▶」ボタンを押してください。
エラーカイジ ヽマタハ テンゲン OFF/ON PPC Exception	コントローラプログラムエラー	「▶」ボタンを押してください。
エラーカイジ ヽマタハ テンゲン OFF/ON HDD エラー	ハードディスクドライブアクセスエラー	「▶」ボタンを押してください。
エラーカイジ ヽマタハ テンゲン OFF/ON ログ メッセージ フル	エラーログ処理エラー	「▶」ボタンを押してください。
コントローラ メモリ エラー メモリ フォクニシテクタサイ	コントローラメモリエラー	「▶」ボタンを押してください。
エラーカイジ ヽマタハ テンゲン OFF/ON フラッシュメモリ エラー	コントローラハードウェアエラー	「▶」ボタンを押してください。
エラーカイジ ヽマタハ テンゲン OFF/ON NMI CPU	コントローラプログラムエラー	プリンタの電源を OFF/ON してください。
エラーカイジ ヽマタハ テンゲン OFF/ON NMI ECC	コントローラハードウェアエラー	プリンタの電源を OFF/ON してください。

「エラーカイジ ヽマタハ テンゲン OFF/ON」エラーおよび「コントローラ メモリ エラー」発生時は、印刷中のジョブは保証されません。「▶」ボタンを押してもエラーが解除できない場合は、いったんプリンタの電源を切り、再び電源を入れてください。それでもエラーが発生するようでしたら、保守員に連絡してください。

留意事項:

プリンタの電源を切る時は、1.8 節「プリンタの電源を切る」の指示に従ってください。

OG	B	03	
----	---	----	--

メッセージ	内容	対応方法
isSdInit	ハードディスクドライブに異常がある	プリンタの電源を OFF/ON してください。
Invalid Mac Address	コントローラハードウェアエラー	プリンタの電源を OFF/ON してください。
StartUp	キーコードエラー	プリンタの電源を OFF/ON してください。
Boot Error	設定ファイルエラー	プリンタの電源を OFF/ON してください。
Boot failed	ハードディスクドライブに異常がある	プリンタの電源を OFF/ON してください。
checkNmi	コントローラハードウェアエラー	プリンタの電源を OFF/ON してください。
Suspended Task	コントローラプログラムエラー	プリンタの電源を OFF/ON してください。
エラーカイジヨ マタハ テンゲン OFF/ON ロク メッセジ フル	未処理のログメッセージが最大値を超えた	プリンタの電源を OFF/ON してください。
エラーカイジヨ マタハ テンゲン OFF/ON コンフィグレーション ファイル エラー	コンフィグレーションファイルに問題が生じた	プリンタの電源を OFF/ON してください。
エラーカイジヨ マタハ テンゲン OFF/ON ゲンコ ファイル エラー	指定された言語用メニューファイルに問題が生じた	プリンタの電源を OFF/ON してください。
エラーカイジヨ マタハ テンゲン OFF/ON コウジ ヨウ シュツチ エラー	工場出荷値処理が異常終了した	プリンタの電源を OFF/ON してください。
エラーカイジヨ マタハ テンゲン OFF/ON オフライン プリント エラー	オフライン印刷が異常終了した	プリンタの電源を OFF/ON してください。
エラーカイジヨ マタハ テンゲン OFF/ON ロク ファイル エラー	ログファイルに問題が生じた	プリンタの電源を OFF/ON してください。
エラーカイジヨ マタハ テンゲン OFF/ON アラート ファイル エラー	アラートファイルに問題が生じた	プリンタの電源を OFF/ON してください。
エラーカイジヨ マタハ テンゲン OFF/ON インサツ リレキ ファイル エラー	印刷履歴ファイルに問題が生じた	プリンタの電源を OFF/ON してください。
エラーカイジヨ マタハ テンゲン OFF/ON PCL インシャライズ エラー	PCL のフォント初期化が出来なかった	プリンタの電源を OFF/ON してください。

「エラーカイジヨ マタハ テンゲン OFF/ON」エラーおよび「コントローラ メリ エラー」発生時は、印刷中のジョブは保証されません。「▶」ボタンを押してもエラーが解除できない場合は、いったんプリンタの電源を切り、再び電源を入れてください。それでもエラーが発生するようでしたら、保守員に連絡してください。

留意事項：

プリンタの電源を切る時は、1.8 節「プリンタの電源を切る」の指示に従ってください。

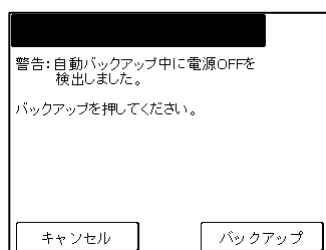
メッセージ	内容	対応方法
Call for Service (NV#xx)	NVRAM エラー	プリンタの電源を OFF/ON してください。
エラーカイジ ョ マタハ デンゲン OFF/ON NV#xx	NVRAM エラー	プリンタの電源を OFF/ON してください。

「エラーカイジ ョ マタハ デンゲン OFF/ON」エラーおよび「コントローラ メリ エラ」発生時は、印刷中のジョブは保証されません。「▶」ボタンを押してもエラーが解除できない場合は、いったんプリンタの電源を切り、再び電源を入れてください。それでもエラーが発生するようでしたら、保守員に連絡してください。

留意事項：

プリンタの電源を切る時は、1.8 節「プリンタの電源を切る」の指示に従ってください。

自動バックアップ中の電源 OFF を検出すると、次回プリンタ起動時に下のような画面が表示されます。



このような画面が表示された時は、画面の指示に従いバックアップを実行して下さい。但し、E0BA エラー発生後にこの画面が表示された場合はバックアップを実行せずに保守員に連絡してください。

なお、自動バックアップは電源投入直後および自動バックアップの設定時刻に実施します。

BLANK

OG	B	00	
----	---	----	--

付録 A

各種仕様

A.1 プリンタ本体

仕様は、予告なく変更されることがあります。

項目	仕様
転写方法	光学式記録
露光システム	半導体 2 レーザ(レーザ・ダイオード)スキャンニング
解像度	600 x 600 ドット/インチ (dpi)
連続印刷速度	<ul style="list-style-type: none">HT-4558-150A :<ul style="list-style-type: none">8 行/インチ(1pi)印刷で 6,800 行/分(lpm)A4/レター換算で 100 ページ/分(ppm)1 枚当り 2 ページ印刷で 154 ページ/分(ppm)HT-4558-120A :<ul style="list-style-type: none">8 行/インチ(1pi)印刷で 5,100 行/分(lpm)A4/レター換算で 75 ページ/分(ppm)1 枚当り 2 ページ印刷で 115 ページ/分(ppm)
印刷可能領域	付録 B「用紙の仕様」を参照してください。
コントローラ	PowerPC 750 FX800 MHz
メモリ容量	256 Mbyte
月間印刷枚数	<ul style="list-style-type: none">HT-4558-150A : 用紙長 11 インチで 200,000 ページHT-4558-120A : 用紙長 11 インチで 150,000 ページ
公称電圧	AC200V ±10%
公称周波数	50/60 Hz ±1 Hz
消費電力(平均値)	<ul style="list-style-type: none">HT-4558-150A :<ul style="list-style-type: none">待機時 : 1.0kW 以下印刷時 : 2.9kW 以下エナジーセーブ時 : 54W 以下HT-4558-120A :<ul style="list-style-type: none">待機時 : 1.0kW 以下印刷時 : 2.5kW 以下エナジーセーブ時 : 54W 以下
動作音レベル	<ul style="list-style-type: none">HT-4558-150A :<ul style="list-style-type: none">待機時 : 50 dB印刷時 : 65 dBHT-4558-120A :<ul style="list-style-type: none">待機時 : 50 dB印刷時 : 65 dB

項目	仕様
稼働環境条件	温度範囲： 16～32° C (印刷品質保証： 19～25° C) 湿度範囲： 20～80%RH (結露のないこと) (印刷品質保証： 40～65%RH)
寸法(H x W x D)	1323 x 890 x 905 [985] mm ([] 内の値は 14 インチ長の用紙使用時)
重量	<ul style="list-style-type: none"> ● 360 kg
製品寿命	<ul style="list-style-type: none"> ● HT-4558-150A 用紙長 11 インチで印刷ページ数 2,400 万ページまたは使用年数 5 年のいずれか早い方 ● HT-4558-120A 用紙長 11 インチで印刷ページ数 1,800 万ページまたは使用年数 5 年のいずれか早い方
間欠印刷について	1 ジョブが 1 ページなど少量ページ数の印刷の場合、ジョブを多数連続投入しても間欠印刷（印刷開始と停止を頻繁に繰り返す）となり、実行速度が低下します。頻繁な間欠印刷を継続しますと機器短寿命となり、廃トナーが溢れたり、印刷品質、用紙送りの障害となります。印刷データを 1 ジョブ 1 ページなど細かく分割せず纏めて送付し、間欠印刷とならぬようお願いします。
バーコード印刷について	<ul style="list-style-type: none"> ● 印刷の再起動時あるいは NPRO 動作の開始時に、ヒートロール直下にバーコードがある場合、バーコードの印刷品質が低下（文字太り）しますので、帳票設計時ご留意下さい。文字太りと帳票長さの関係につきましては付録 J を参照下さい。 ● GS1-128 バーコードを印刷する際は、ドット補正が必要です。詳細につきましては付録 J を参照下さい。
印刷品質	<ul style="list-style-type: none"> ● 1 ドットの罫線・文字は、線幅が 0.1mm 未満となりますので細く薄くなります。 ● 印刷の再起動時、あるいは NPRO 動作の開始時に、ヒートロール直下の印刷が太く、濃くなります。印刷濃度を薄く設定すると若干緩和されます。

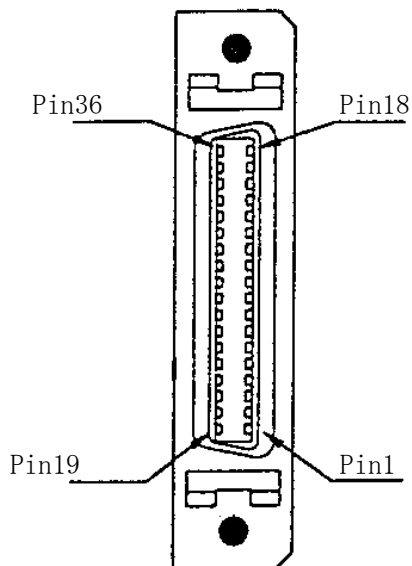
OG	B	04	
----	---	----	--

A.2 I/O インターフェース

I/O インターフェースの仕様は以下の通り。

インターフェースの仕様	コネクタの種類
IEEE 1284C パラレル・ポート	1284-C
10BASE-T/100BASE-TX/1000BASE-T Ethernet	RJ-45

パラレルポートのピン位置と信号名は以下のようになっています。



ピン番号	信号名	方向
1	PtrBusy / Busy	Output
2	Xflag / Select	Output
3	PtrClk / nAck	Output
4	nDataAvail / nFault	Output
5	AckDataReq / Perror	Output
6	Data 1	I/O
7	Data 2	I/O
8	Data 3	I/O
9	Data 4	I/O
10	Data 5	I/O
11	Data 6	I/O
12	Data 7	I/O
13	Data 8	I/O
14	NInit	Input
15	HostClk / nStrobe	Input
16	1284Active / nSelectIn	Input
17	HostBusy / nAutoFd	Input
18	Host Logic High	Input
19	Signal Ground (Busy)	
20	Signal Ground (Select)	
21	Signal Ground (nAck)	
22	Signal Ground (nFault)	
23	Signal Ground (PError)	
24	Signal Ground (Data 1)	
25	Signal Ground (Data 2)	
26	Signal Ground (Data 3)	
27	Signal Ground (Data 4)	
28	Signal Ground (Data 5)	
29	Signal Ground (Data 6)	
30	Signal Ground (Data 7)	
31	Signal Ground (Data 8)	
32	Signal Ground (nInit)	
33	Signal Ground (nStrobe)	
34	Signal Ground (nSelectIn)	
35	Signal Ground (nAutoFd)	
36	Peripheral Logic High	Output

留意事項:

パラレルポートを使用時、プリンタ起動後、OCPに「オンライン」が表示される以前に受信したデータは、正しく印刷できません。

パラレルポートを使用時の印刷速度は、使用しているPCの性能に依存します。

A.3 消耗品

消耗品の予想される寿命を下表に示します。

消耗品	予想寿命
トナー(1,000 g ボトル) *1	37,000 ページ (印刷密度 3.6%)
現像剤(1,850 g ボトル) *2	436,000 カウント (390,000ページ相当)
廃トナーボトル*6	トナー供給ごとに交換
OPCドラム*3	654,000 カウント (590,000ページ相当)
ドラムクリーナ*3,*4	654,000 カウント (590,000ページ相当)
HRユニット*5	2,000,000 ページ
HRクリーナ	300,000 ページ

*1：トナーの寿命は、印刷密度 3.6%、用紙連量 55kg (用紙質量 64g/m²)、15 インチ幅 11 インチ長用紙を前提とした値です。

*2：予想寿命は、現像機の総回転数の 90%が実際に印刷に使用されたことを想定して計算されています。現像機回転数に対して実印刷使用率が 90%未満の場合は、消耗品の寿命が上表に示した値よりも短くなります。

*3：予想寿命は、OPC ドラムの総回転数の 90%が実際に印刷に使用されたことを想定して計算されています。 OPC ドラムの回転数に対し実印刷率が 90%未満の場合は、消耗品の寿命が上表に示した値よりも短くなります。

*4：ドラムクリーナはブラシが常時 OPC ドラムに接触しているため、毛倒れ、トナー固着等 経時劣化による清掃性の低下を招きます。従って、予想寿命は上記に示した値よりも極端に短くなる場合がありますので、始業時、及び実業務での印刷品質確認の徹底とともに、6 カ月を目安に予防交換されることをお勧めします。

*5：HR ユニットは、お客様の使用状況 (同一用紙幅のみの使用、特殊用紙の使用、パワーオン時間、省電力モード設定、印刷時間等) によってヒートロール、及びヒータランプの磨耗、劣化を加速させます。従って、予想寿命は上表に示した値よりも極端に短くなる場合がありますので、始業時、及び実業務での印刷品質確認の徹底とともに、HT-4558-120A は 12 カ月 (HT-4558-150A は 9 カ月) を目安に予防交換されることをお勧めします。

※省電力モードは、HR ユニットの磨耗、劣化を軽減させますので、「有効」にしてご使用されることをお勧めします。

OG	B	02	
----	---	----	--

- *6：低密度印刷/間欠印刷（印刷起動/停止の繰り返し）の割合が多い場合には、
廃トナーの量が増加し、E006（トナーガリアセン ホキュウシテクダサイ）発生前に、E005
（トナーバックフル コウカンシテクダサイ）が発生することがあります。この場合には廃
トナーボトルを交換して下さい。
更に、その後にE006（トナーガリアセン ホキュウシテクダサイ）となった後にも、E005
（トナーバックフル コウカンシテクダサイ）を表示します。この場合にも廃トナーボトル内
の廃トナー量に関わらず、必ず廃トナーボトルを交換して下さい。

留意事項：

- 実際の消耗品交換必要時期は、印刷内容によって変動します。
 - 使用済みの消耗品は、適用する全ての法律や条例等に従って処理されなければなりません。これらの法令は地方により異なるため、処理処分の手順については管轄地域の役所の廃棄物担当部門にお問い合わせください。
-
-

OG	B	01	
----	---	----	--

付録 B 用紙の仕様

B.1 用紙について

本プリンタを円滑に運用いただくために、この付録Bでは、印刷用紙を購入する際
の用紙の条件を紹介しします。印刷用紙の製造業者との事前打ち合せに御活用
ください。なお、詳しく御知りになりたい場合にはお買い上げの販売店までお
問い合わせください。

B.1.1 用紙についての一般的な推奨条件

印刷には、高品質の上質紙の原紙をご使用ください。原紙は組織は均一かつ不透明で、
特に伸縮が少なく印刷に適するものであること。グリースや熱可塑性樹脂を含浸して
いたり付着しているものは印刷に不適合です。やれ(切り残し、やぶれ等)、よごれ、
紙片の付着、ほこり、しわ、穴開き、丸まり、角の折れ等のない上質紙をご使用
ください。

OG	B	01	
----	---	----	--

B. 1.2 用紙の仕様

本仕様は両側に送り穴と横ミシン目及び縦ミシン目(ない場合もある)を有し、縦方向に連続して1枚の用紙を1本又は数本の横ミシン目毎に折りたたんだ連続伝票用紙に関するものです。書式フォーマットがあらかじめ事前印刷されている連続伝票にも適用されます。

(1) 紙質

原紙は上質紙とする。原紙の組織は均一かつ不透明で、特に伸縮が少なく印刷に適するものであること。グリースや熱可塑性樹脂を含浸していたり付着しているものは印刷に不適合です。

(2) 部数

一部紙

以下の用紙は、用紙ジャムや印刷品質に関する問題を起こしますので、使用しないでください。

- 極端に厚いまたは薄い用紙
- 電子写真方式のプリンタまたは複写機で印刷した用紙(プレプリント紙は除く)
- しわのある用紙、やぶれのある用紙、曲っている用紙
- 濡れたり、湿ったりしている用紙
- 丸まった用紙
- 静電気を帯びた用紙
- のりの付いている用紙
- 特殊な塗装(コーティング)のしてある用紙
- 表面処理のなされている色紙
- 200 °Cの温度または約 300 kPa の圧力に耐えられない用紙
- 感熱紙
- カーボン入用紙や感圧紙(ノーカーボン用紙等)等の複写紙
- ペーパー・ファスナー、ひも、帯等の付いている用紙
- 厚い生地用の用紙
- ラベルをはがして裏の紙が出ているラベル用紙

なお、B. 1. 16 にも用紙に関する留意事項を記載していますので御確認ください。

OG	B	02	
----	---	----	--

B.1.3 用紙の重量

1 平方メートル当りの重量で示す
(788×1091mm(四六判)1,000 枚の重量で示す。)
64～157 g/m² (55～135Kg)

B.1.4 用紙のサイズ

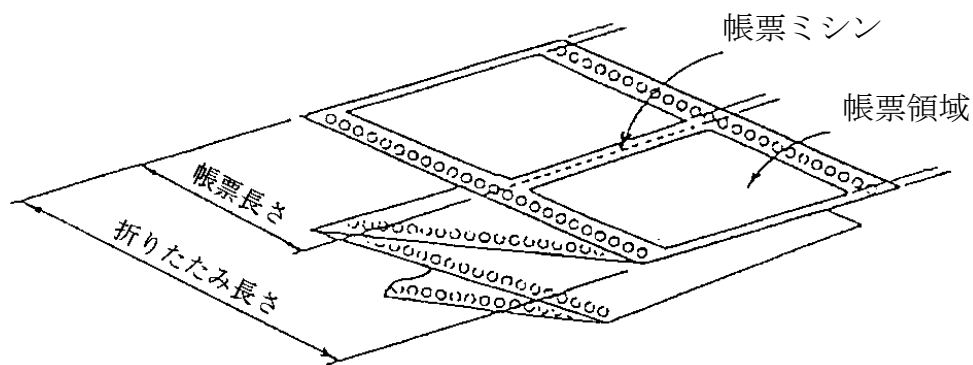
■ 用紙幅:

165.1～457.2 mm (6.5～18 インチ)

■ 用紙長(折りたたみ長さ): 177.8～355.6 mm (7～14 インチ)

但し、12.7mm(0.5 インチ)、8.5mm(1/3 インチ)の整数倍で公差は±1mm とします。

用紙長(折りたたみ長さ)および帳票長さは図B-1の如く定義し、寸法は表B-1による。



○ : 使用できる寸法
× : 使用できない寸法

図 B-1 長さの定義

OG	B	02	
----	---	----	--

表 B-1 用紙の長さ

寸法	mm (インチ)	76.2 (3)	88.9 (3.5)	101.6 (4)	114.3 (4.5)	127 (5)	139.7 (5.5)	152.4 (6)	165.1 (6.5)	177.8 (7)
折りたたみ長さ		×	×	×	×	×	×	×	×	○
帳票長さ		○	○	○	○	○	○	○	○	○

寸法	mm (インチ)	190.5 (7.5)	203.2 (8)	215.9 (8.5)	228.6 (9)	241.3 (9.5)	254 (10)	266.7 (10.5)	279.4 (11)	292.1 (11.5)
折りたたみ長さ		○	○	○	○	○	○	○	○	○
帳票長さ		○	○	○	○	○	○	○	○	○

寸法	mm (インチ)	304.8 (12)	317.5 (12.5)	330.2 (13)	342.9 (13.5)	355.6 (14)
折りたたみ長さ		○	○	○	○	○
帳票長さ		○	○	○	○	○

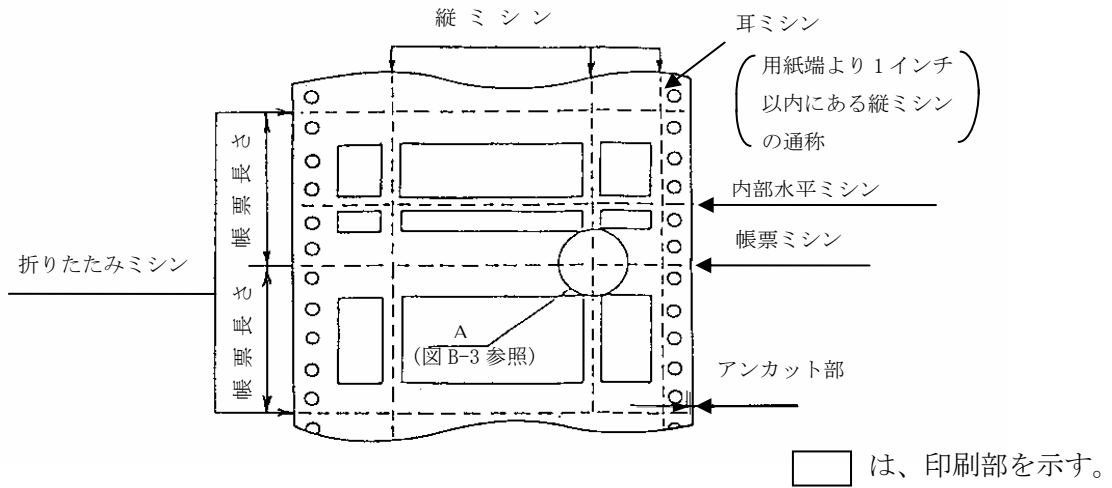
用紙長 177.8mm(7 インチ)から 355.6mm(14 インチ)においては、表 B-1 に示すほかに、8.5mm(1/3 インチ)単位の用紙も使用できます。

例えば、177.8mm , 186.3mm , 190.5mm , 194.7mm , 203.2mm , ……。

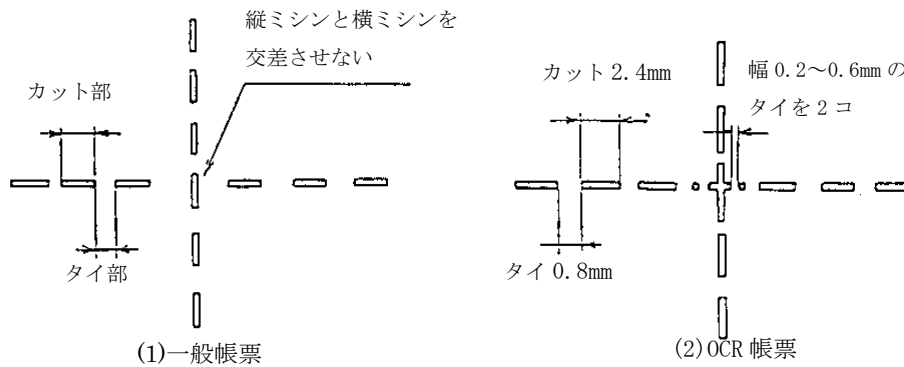
[7 , $7\frac{1}{3}$, $7\frac{1}{2}$, $7\frac{2}{3}$, 8 インチ]

B.1.5 用紙のミシン仕様

縦ミシン(耳ミシンを含む)、横ミシン(折りたたみミシン、帳票ミシン、内部水平ミシン)の定義は、図B-2による。ミシン目カット部及びタイ部の定義は、図B-3を参照して下さい。ミシン目のアンカット部は、図B-2を参照して下さい。



図B-2 ミシンの定義



図B-3 縦横ミシン目の交差部(図B-2・A部参照)

(1) 用紙連量とミシン本数の関係

表B-2 用紙連量とミシン本数の制限

用紙連量	ミシン 帳票ミシン目 内部水平ミシン } を合わせて	縦ミシン (耳ミシンを含む)
55~70Kg	1本のみ	最高3本まで
71~110Kg 未満	最高2本まで	最高3本まで
110~135Kg	最高2本まで	最高4本まで

注2)表B-2を超えてミシン本数を設けると、折りたたみ不良が発生し易くなります。

- (2) ミシン目のカット部及びタイ部の寸法
- (a) ミシンのカット部寸法は、3mm 以下とする。
 - (b) ミシンのタイ部の寸法は、0.8mm 以上とする。
 - (c) ミシンのカット部とタイ部の比は、1 以上かつ 3 以下とする。

(3) ミシンの強度

各種ミシンは、表 B-3 の標準寸法を基本として下さい。

表 B-3 各種ミシンと標準寸法

寸法	ミシンの種類	折りたたみミシン	縦ミシン、帳票ミシン 及び内部水平ミシン
標準寸法		タイ部；カット部 (1) 1 mm； 2.5mm	タイ部；カット部 1 mm； 1.5mm
		(2) 1 mm； 3.0mm	1 mm； 2.0mm
		(3) 0.8mm； 2.0mm	0.8mm； 1.2mm
		(4) 0.8mm； 2.4mm	0.8mm； 1.6mm
OCR 帳票		タイ部 0.8mm, カット部 2.4mm	

(4) ミシンに関する留意事項

- (a) ミシンは一直線に加工されていること。
- (b) 内部水平ミシンは、折りたたみミシンより 50.8mm (2 インチ) 以上離すこと。
- (c) 帳票ミシンと内部水平ミシンは、両端に 3~5mm のアンカット部(図 B-2 参照)を残すこと。また折りぐせのないこと。
- (d) 折りたたみミシンの両端に 1~3mm のアンカット部(図 B-2 参照)を残すこと。
- (e) 折りたたみミシンと帳票ミシンが重なった場合は、折りたたみミシンを優先する。
- (f) 縦ミシンは、用紙両端より 25.4mm(1 インチ) 以上離すことが望ましい。
(55kg~110kg 未満)
(薄手用紙に耳ミシンを設けると用紙ジャムが発生し易くなります。)
- (g) 110kg~135kg 用紙は、用紙両端より 12.7~25.4mm の範囲に
縦ミシン(耳ミシン)を設けること。

B.1.6 送り穴

用紙の送り穴の位置と寸法は次の通りとする。(JIS X 6195 による)

ここでいうセンターラインとは送り方向に 25.4mm 離れた任意の送り穴の中心を結ぶ線分をいう。

(1) 送り穴の位置

送り穴は用紙の左右両端の余白にあける。送り穴のセンターラインと対応する端辺との距離 A は次の通りである。

$$A=6\pm 0.7\text{mm}$$

(2) 送り穴の直径

送り穴の直径 D は次のとおりである。

$$D=4.0\pm 0.1\text{mm}$$

但し、穴の縁が歯状になっている送り穴は最小直径が上記の D と同じとし、最大直径が 4.5mm を越えてはならない。

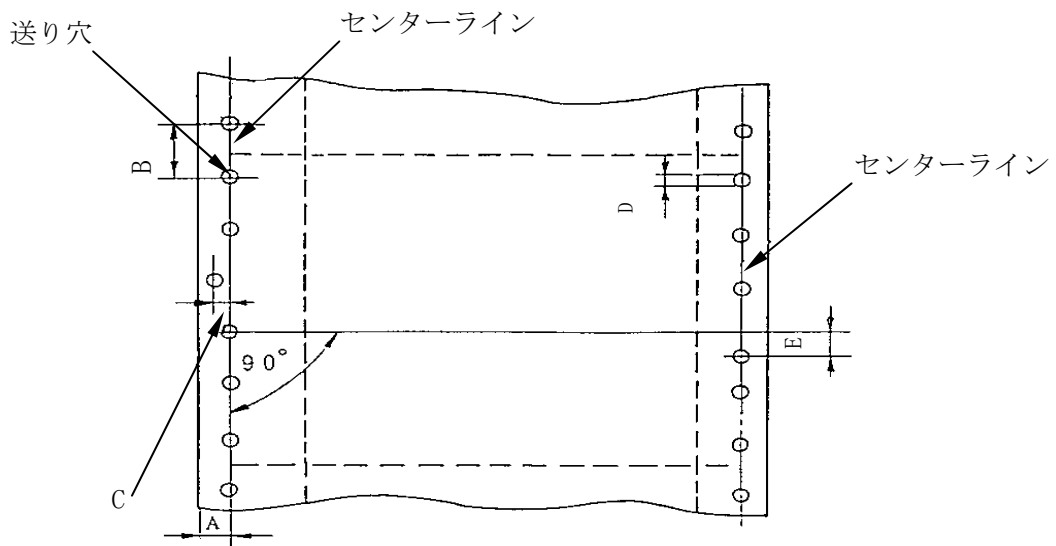


図 B-4 送り穴

(3) 送り穴の中心距離

隣接する二つの送り穴の中心間の距離 B は次のとおりとする。

$$B=12.70\pm 0.05\text{mm}$$

(4) 送り穴の中心距離の累積誤差

送り穴の中心間距離の累積誤差は送り穴中心距離 254mm を越えない任意の二つの送り穴の間で $\pm 0.3\text{mm}$ を超えないこと。

(5) 送り穴の中心のずれ

送り穴の中心のセンターラインに対する左右のずれの最大許容量値 C は 0.1mm とする。

(6) 左右の対応する送り穴の中心のずれ

左側の任意の送り穴の中心をとおりセンターラインに垂直な直線とそれに対応する右側の送り穴の中心のずれの最大許容量値 E は 0.15mm とする。

(7) 左右のセンターラインの傾き

左右のセンターラインを平行に移動して一方の端点と重ねたとき、他方の端点間の距

OG	B	02	
----	---	----	--

離は 0.15mm 以内 とする。

B.1.7 送り穴以外の穴

印刷前の帳票にバインダ穴、コーナカットを設けることは、穴近傍での定着不良や転写機構部での印刷汚れによる印刷品質の低下につながるため、極力使用しないのが望ましい。

バインダ穴や、コーナカットを設ける場合は、下記の制限事項を守って事前に印刷品質の確認を行ってから御使用下さい。また、その他の穴についても事前にテストをおこなってから御使用ください。

(1) バインダ穴、コーナカットについて

バインダ穴の大きさは、 $\phi 5$ または $\square 5$ 以下とする。

コーナカットは、 $5\text{mm} \times 5\text{mm} \times 45^\circ$ 以下とする。

コーナカットと横ミシンの関係は、図 B-5 による。

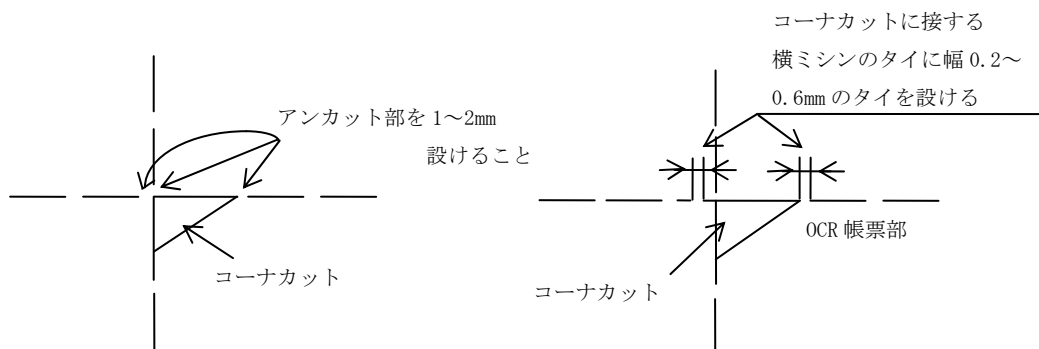


図 B-5 コーナカットと横ミシンの関係

(2) 穴あけ禁止領域

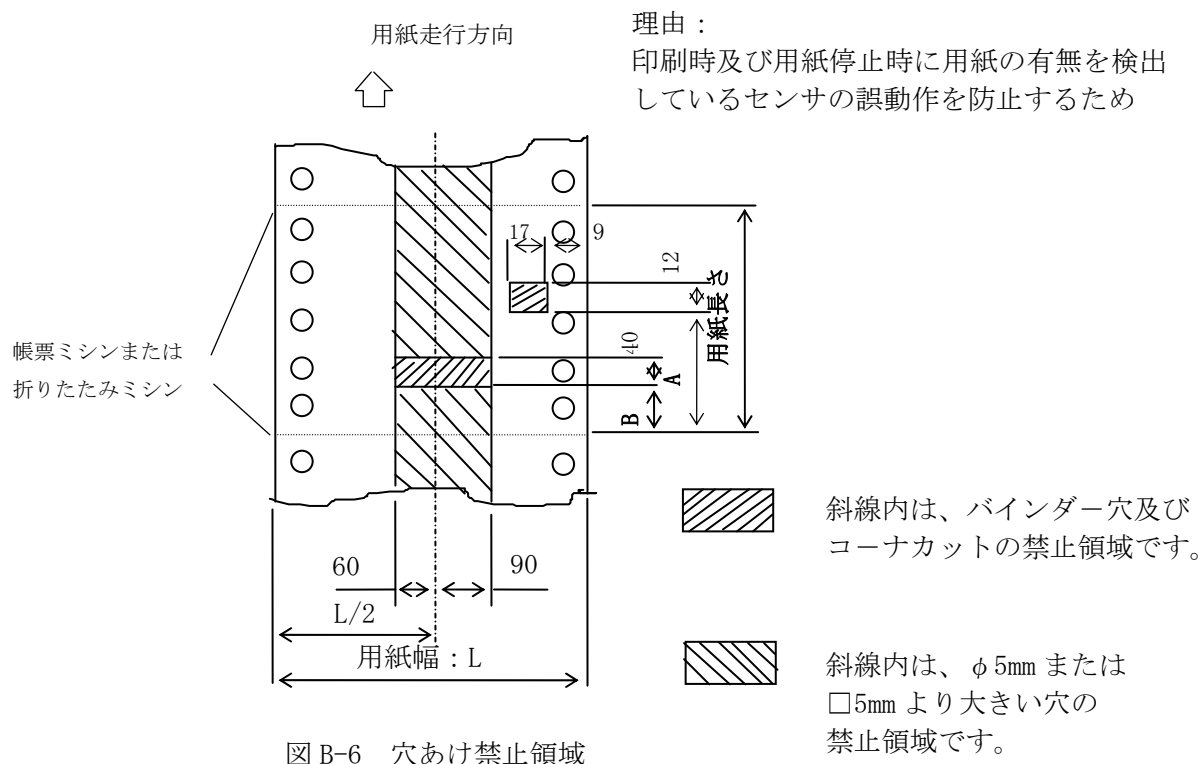


図 B-6 穴あけ禁止領域

A 寸法；帳票長さ 177.8mm(7 インチ)以下の場合 181mm-帳票長さ
帳票長さ 186.3mm(7¹/₃ インチ)以上の場合 181mm

B 寸法；
mm(インチ)

用紙長さ	B 寸法	用紙長さ	B 寸法	用紙長さ	B 寸法	用紙長さ	B 寸法
177.8(7)	8	186.3(7 ¹ / ₃)	168	190.5(7 ¹ / ₂)	160	194.7(7 ² / ₃)	151
203.2(8)	135	211.7(8 ¹ / ₃)	118	215.9(8 ¹ / ₂)	109	220.1(8 ² / ₃)	101
228.6(9)	84	237.1(9 ¹ / ₃)	67	241.3(9 ¹ / ₂)	58	245.5(9 ² / ₃)	50
254.0(10)	33	262.5(10 ¹ / ₃)	16	266.7(10 ¹ / ₂)	8	270.9(10 ² / ₃)	270
279.4(11)	262	287.9(11 ¹ / ₃)	253	292.1(11 ¹ / ₂)	249	296.3(11 ² / ₃)	245
304.8(12)	236	313.3(12 ¹ / ₃)	228	317.5(12 ¹ / ₂)	223	321.7(12 ² / ₃)	219
330.2(13)	211	338.7(13 ¹ / ₃)	202	342.9(13 ¹ / ₂)	198	347.1(13 ² / ₃)	194
355.6(14)	185						

B.1.8 用紙の色

白色が望ましい。

色付の用紙を用いる場合は、明るい色(黄色、黄緑色、空色、ピンク色等)で色濃度をできる限り薄くして御使用下さい。

注) 色付の用紙は、用紙からの反射光量を検知している用紙ジャムセンサの動作マージンを損なうため、用紙に光を当てたときの反射率が75%以上確保できる範囲内で御使用下さい。

色付用紙を大量に注文するときは、使用しても問題がないか先に試験してみることをお勧めします。

B.1.9 印刷の色

黒色。

本プリンタは黒色トナー専用です。指定されたトナーを使用してください。

(1) トナーおよび現像剤について

トナーおよび現像剤は必ずラベルの表示を確認してから使用してください。

もし誤って他のものを使用した場合には印刷品質が著しく低下したり、プリンタの障害の原因となります。

尚、トナー及び現像剤は長時間保存すると印刷品質の低下等を招く可能性があるため、先に購入したものから使用してください。

長時間保存する場合には、なるべく低い温度(推奨 30℃以下)で保存し、保存期間は、1年以内を目安としてください。

OG	B	02	
----	---	----	--

B.1.10 印刷可能範囲

- (1) 最大印刷幅は、
431.8 mm (17 インチ)
- (2) 最大印刷長は、〔帳票長さ－印刷禁止長さ×2〕です。
 - ・印刷禁止長さ A : 8.5mm (1/3 インチ)
 - ・最大印刷長 B : $L - 16.9\text{mm}$ (2/3 インチ)
- (3) 印刷可能範囲は図 B-7 の斜線部です。

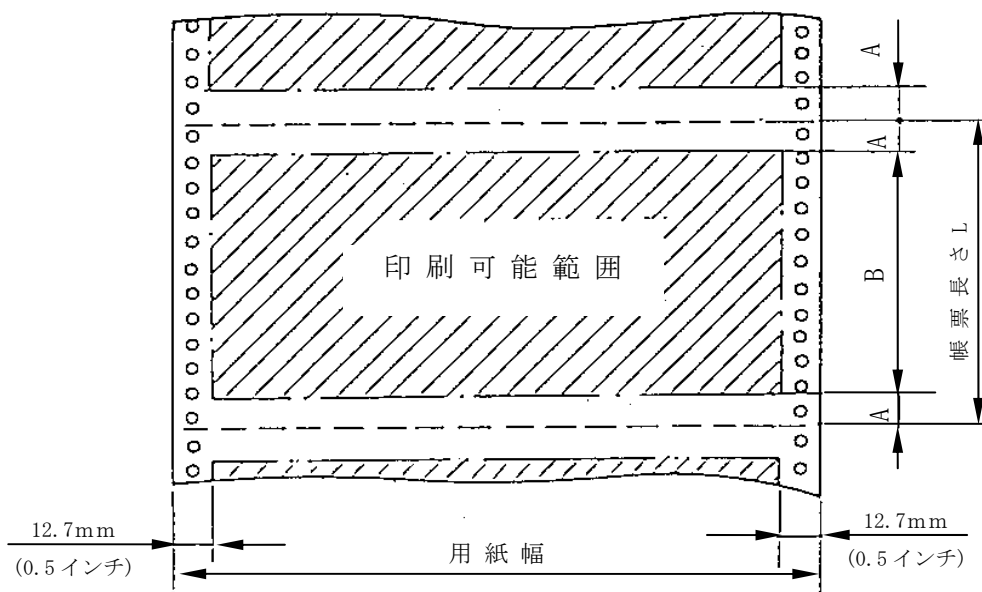


図 B-7 印刷可能範囲

B.1.11 印刷禁止領域

図 B-8 の斜線部以外の部分が印刷禁止領域です。

- ・ 折りたたみミシン、帳票ミシンから 8.5mm (1/3 インチ) の領域。
- ・ 用紙の左右両端から、12.7mm (0.5 インチ) の領域。
- ・ 内部水平ミシンから 2.5mm (0.1 インチ)
- ・ 縦ミシンから 2.5mm (0.1 インチ)
- ・ バインダー穴の周囲 2.5mm (0.1 インチ)

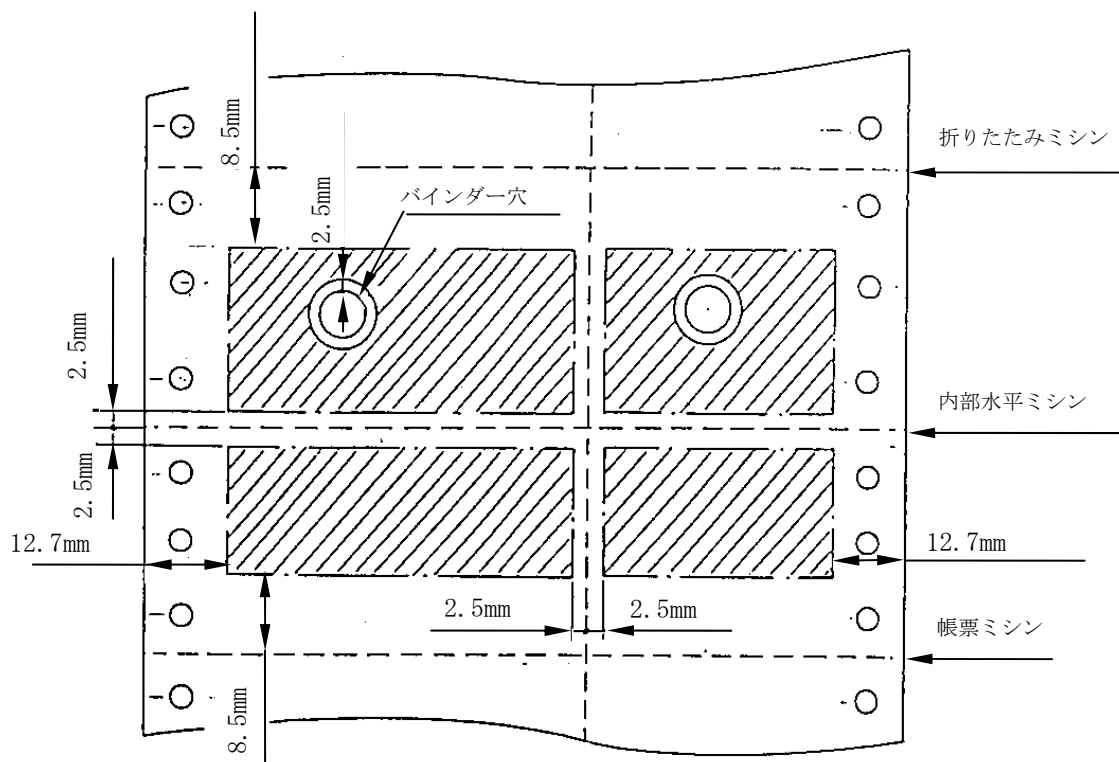


図 B-8 印刷禁止領域

B. 1. 12 プレプリント紙

(1) インク

- (a) 事前印刷に使用するインクは非揮発油性であり 200℃で 340kPa の圧力が数秒加えられても転写が起きないことが必要です。
帳票の裏面に事前印刷する場合にも、事前印刷に適したインクを使用してください。
- (b) 印刷はオフセット印刷で行ない、インクは出来るだけ薄くしてください。
- (c) 事前印刷に適したインクを以下に示す。
- ・酸化重合乾燥形インク
 - ・熱硬化形インク(ブリキインク)
 - ・紫外線硬化形インク
- (d) 事前印刷に不適当なインクを以下に示す。
- ・クイックセットインク
 - ・蒸発乾燥形インク
 - ・コールドセットインク
 - ・沈澱乾燥形または折 出乾燥形インク
 - ・しみこみ乾燥形インク
- (e) 事前印刷した帳票は、ポリエチレンシートで包装する前にインクが完全に乾燥していることが必要です。
インクの種類・乾燥条件により乾燥期間が異なるので、事前に用紙メーカーと打ち合わせて決定してください。
紫外線硬化形インクで完全にキュアーしたインクは、乾燥条件を整えば1日の放置で使用できます。酸化重合乾燥形インクは、乾燥に約7日の放置が必要です。
- 注) インクが乾燥していることを簡単にチェックする方法として、事前印刷の部分をティッシュペーパーで強くこすったとき、ティッシュペーパーに色が着かないことで見分ける方法があります。
- (f) 事前印刷時の雰囲気湿度は 45～60%RH とさせていただきます。
- (g) 事前印刷後、用紙が伸び縮みする乾燥方法はさけるように御要求ください。

OG	B	02	
----	---	----	--

(2) 事前印刷禁止領域

プリンタは、図 B-9 の用紙蛇行検出ゾーンで用紙の送行安定度を検出しています。誤検出を防ぐためにこの部分には事前印刷をしないで下さい。

用紙製造のための色合わせ等のマーク(トンボ)も印刷しないよう、用紙製造メーカーに御注意下さい。

但し、淡い黄色、淡い緑、淡い青、淡い灰色、淡いピンク色で罫線を印刷することが可能ですが、必ず事前にテストして装置が誤動作しないことを確認して下さい。

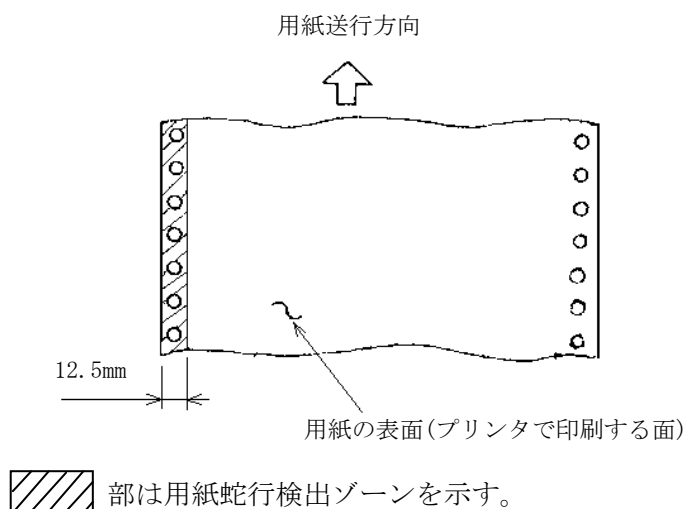


図 B-9 用紙蛇行検出ゾーン

OG	B	01	
----	---	----	--

B.1.13 帳票

印字データ文字を事前印刷にあまり接近して配列すると、帳票の湿度変化、事前印刷の精度等により、事前印刷の上にデータ文字が印刷され、帳票の美観を損なうことがあります。

事前印刷時の湿度雰囲気とプリンタで印刷中の湿度雰囲気の差による用紙の伸縮、(相対湿度 10%RH の変化で約 0.2% の伸び)、事前印刷の精度(±0.2mm)、用紙送りの精度誤差等によりデータ文字が事前印刷の所定の位置に正しく配置されないことがあるためです。

(1) 帳票設計上の留意事項

(a) 特に幅広い用紙で、左から右まで 1 行を一杯の長さで御使用になる場合は、データ文字を事前印刷の縦罫線より 1mm 以上離して配置する。

注) すでに設計している帳票において、事前印刷の縦罫線 2 本の間印刷すべきデータ文字が多く、縦罫線より 1mm 以上離せない場合は、縮小文字を用い縦罫線との間に余裕をとるようにして下さい。

(b) 事前印刷による横罫線間に印字データ文字を印刷する場合は、データ文字を横罫線より 0.6mm 以上離して配置する。(1.0mm 以上離すことが望ましい)

注) 書式オーバーレイを用いて帳票を印刷する場合は、事前印刷の精度の影響がないので、罫線とデータ文字の関係は、0.4mm 以上でよい。

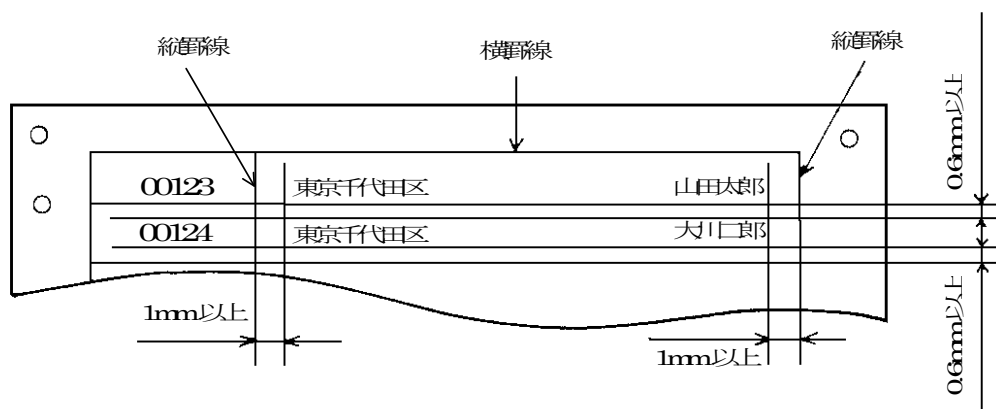


図 B-10 事前印刷における罫線と印字データ文字との間隔の関係

B.1.14 保管条件

温度 10～30℃ (JIS X 6195 に準拠する。)

湿度 30～70%RH

但し、ポリエチレンシートで印刷用紙自体を梱包した場合は、下記とする。

温度 4～43℃

湿度 8～90%RH

保管場所と使用場所との間に環境条件の差がある場合は、使用する2～3日前に使用場所に移動して同一環境になじませる。湿度の高い場所に印刷用紙を保管していてすぐに計算機室内で使用する場合には、用紙に急激な湿度変化が加わり用紙ジャムの原因となり、又、折りたたみミシン目の近傍で転写不良の原因となります。

帳票設計上可能な場合は、折りたたみミシン目からの領域を広くしておくことにより、上記リスクが軽減されます。

B.1.15 梱包

一箱当りの折りたたみ枚数は、用紙を積み重ねたときの高さが290mmを越えないこと。

外箱形状はフタ付とし、下箱の高さは300mm以下とする。また、下箱の縦寸法(用紙長さ方向)は390mm以下、横寸法(用紙幅方向)は470mm以下とする。下箱の内部には用紙が印刷装置内にフィードされるのを妨げる有害な突起物がないこと。

一箱中の用紙は用紙そのものが切れ目なくつながっていること、また、スタック容量は55Kg紙で最大2000シートです。一箱中のシート数はそれを考慮し決定してください。

B.1.16 用紙に関する留意事項

(1) 穴の抜きかす

送り穴、ファイル用バイнда穴、コーナーカット三角穴等は完全に抜かれていなければなりません。抜きかすが残ってはいけません。これらの抜きかすがプリンタの感光ドラムと用紙の間に落ちるとデータの脱落になる恐れがあります。また、感光ドラムを傷つける恐れがあります。

送り穴等を抜くためのパンチカス等の金属物が、絶対に混入したり付着していません。

(2) 異物の付着がないこと。

糊のかたまり等の付着がないこと。

OG	B	02	
----	---	----	--

(3) しわ及び折れ目

用紙にしわや折りたたみ部以外の折れ目があると、その近辺の文字が用紙に転写されない場合がある。従って用紙にはしわや折れ目があってははいけません。

(4) 用紙の破れ

途中に用紙破れがあると用紙ジャムが発生し、用紙装填のやりなおしを必要とします。またデータの脱落・脱字を起す原因となる。更に最終頁に用紙の破れがあると用紙切れ(EOF)のチェックが不完全となり、印刷不良となります。従って用紙の破れがあってははいけません。

(5) 用紙の反り

用紙に反りがあると、折りたたみ不良や用紙ジャムが発生することがあります。また、印刷後、バースタ等を使用する場合用紙ジャムを起こすことがあります。従って、用紙に著しい反りがないことが必要です。

(6) カーボン入用紙や感圧紙（ノーカーボン用紙等）等の複写紙は使用できません。

(7) 電子写真方式を用いたプリンタで印刷した用紙は、表面及び裏面も使用することはできません。本プリンタで印刷した用紙も他の電子写真方式を用いたプリンタで印刷することはできません。（参考：電子写真方式を用いたプリンタで印刷した用紙は、インパクトプリンタでも使用できません。もし使用すると、インパクトプリンタの機構部を損傷する恐れがあります。）

(8) インパクトプリンタで印刷した用紙の表面および裏面は使用することができません。

(9) 湿式および液乾式電子写真プリンタ用の用紙は使用できません。

（湿式または液乾式の用紙であることの簡単なチェック方法として、硬貨で強くこすったときその部分の用紙の色が変わることで見分ける方法がある。）

(10) 用紙の含水率

用紙の含水率が高いと用紙ジャム、しわ、印刷品質低下の原因となります。一方低いと静電気が高くなる傾向があるので、転写部の障害、用紙ジャムの原因となります。含水率は5～6%としてください。用紙の保管条件を守ってください。

OG	B	02	
----	---	----	--

(11) 用紙の透気度

用紙透気度が高いと走行障害、印刷品質低下の原因となります。

用紙透気度は、100 秒以下を推奨します。

*透気度：一定の条件下で一定量の空気が用紙を通過するのに要する時間。

単位は秒で表す。(測定方法は JIS P8117 による。)

(12) 用紙をスプライスして使用することはできません。

(13) 用紙の成分

100%化学木材パルプの紙を使用してください。碎木パルプや綿を含有する紙は、 CaCO_3 (炭酸カルシウム)等の自然不純物を含んでおり、感光ドラムやHRユニットの寿命を短縮します。 CaCO_3 (炭酸カルシウム)の含有率は5%以下とするようにして下さい。

また、高い温度を加えた時に、溶解したり、蒸発したり、裏移りしたり、脱色したり、有害物質を発生させるような材料を含むコート紙を使用しないでください。

(14) 用紙の表面抵抗値、体積抵抗値

用紙の表面抵抗値や体積抵抗値が高い場合は、印刷品質を低下や走行障害の原因となる恐れがありますので、以下の範囲として下さい。

(測定方法は、JIS K6911 による。)

- ・表面抵抗値： $1 \times 10^9 \sim 1 \times 10^{13} \Omega$
(推奨値： $1 \times 10^9 \sim 1 \times 10^{12}$)
- ・体積抵抗値は $1 \times 10^9 \sim 1 \times 10^{13} \Omega \cdot \text{cm}$
(推奨値： $1 \times 10^9 \sim 1 \times 10^{12}$)

OG	B	03	
----	---	----	--

この付録 C では、レポート印刷の印刷サンプルを示します。

C.1 ステータス一覧印刷

ステータス一覧には、プリンタの現在の設定内容が印刷されます。

Status Page	
[9/29/2008 13:36:17]	
PRINTER GENERAL INFORMATION	
Controller Serial Number	06280059
Controller Software Revision	A006 5.2 XpclpsJ KT
Controller Hardware Revision	0
Controller OS Revision	2.0/6
Engine Serial Number	0
Engine Firmware Revision	f0
Total Memory	255 MBytes
Free Memory	15 MBytes
Total Disk Space	16351.94 MBytes
Free Disk Space	11753.51 MBytes
IP Address	192.0.0.192
MAC Address	00:06:FB:00:3B:06
OCP Firmware Revision	203
OCP Hardware Revision	0
EA Device Id	1
EA Revision Id	cc
License Identifier	31389657930
Country Code	81
Energy Save Mode	Enable
Energy Save Time	15 Minutes
Backup	Flash ROM
PRINTER USAGE INFORMATION	
Total Sheets	21483
CONTROLLER INFORMATION	
Paper Size	Width:8.50, Length:11.00 inch
Adjustment	x:0.00, y:0.00 inch
Jam Recovery	Enable
Wait Timeout	300 seconds
LPD Queuing	Disable
PostScript Error Print	Enable
PostScript Best Fit	Disable
PostScript Job Timeout	0 seconds
PostScript PS Wait Timeout	295 seconds
PostScript 180 Degrees Rotation	Disable
PostScript Square Imaging	Portrait
PostScript Halftone Density	Disable
PCL Fixed Orientation	None
PCL 2-up	Disable
PCL 2nd Page Offset	0.0 inch
OCP Contrast	10
OCP Buzzer Volume	3
Parallel I/F Ack Pulse Width	1000 ns
Parallel I/F Mode	Bi-Directional
Emulation	Auto Select
PostScript I/O Mode	TBCP
Public Read/Write	Disable
Removing Job from Ipq	when Job is exhausted
Show " Printing "	Disable
Stop on PS Error	Disable
Show Paper Info	Disable
Auto Backup Time	1:00
PS Font Cache	60 %

C.2 PCL ディスク・ディレクトリー一覧印刷

PCL ディスク・ディレクトリー一覧には、PCL 用ディスク・ディレクトリの内容が印刷されます。

```
PCL Disk Directory Page

      Size  Filename
      124,061,316  ControllerSoftware.XpclpsJ
Total bytes used: 124,061,316
Total files:      1
```

C.3 PostScript ディスク・ディレクトリー一覧印刷

PostScript ディスク・ディレクトリー一覧には、PostScript 用ディスク・ディレクトリの内容が印刷されます。

PostScript Disk Directory Page		
PostScript Disk Capacity:	1,228,800 Kbytes	Page: 1
PostScript Disk Free Space:	1,222,487 Kbytes	
Size	Filename	
7	PSDisk	
153,600	Sys/AllocMap	
6,292,480	Sys/Directory	
1,024	Sys/Root0	
1,024	Sys/Root1	
8,422	dcs70halftrne.ps	
Total bytes Used:	6,456,557	
Total files:	6	

OG	B	01	
----	---	----	--

C.4 PCL フォント一覧印刷

PCL フォント一覧には、PCL 用のフォントが印刷されます。

PCL Font List, page 1

Font #/ID	Font Name/Enc. Seq.	Style	Height	Print Sample
Resident Fonts — Scalable				
#0 1	CG Times <Esc>(BU<Esc>(s1p<size>v0s0b4101T	0	0	'abcDEfghijKLmnoPQrS@#&0123' ÀĀĒĒĒŸŸ°ÇçÑñî;çÜßÁÐÒ
#1 2	CG Times It <Esc>(BU<Esc>(s1p<size>v1s0b4101T	1	0	'abcDEfghijKLmnoPQrS@#&0123' ĀĀĒĒĒŸŸ°ÇçÑñî;çÜßÁÐÒ
#2 3	CG Times Bd <Esc>(BU<Esc>(s1p<size>v0s3b4101T	0	3	'abcDEfghijKLmnoPQrS@#&0123' ÀĀĒĒĒŸŸ°ÇçÑñî;çÜßÁÐÒ
#3 4	CG Times BdIt <Esc>(BU<Esc>(s1p<size>v1s3b4101T	1	3	'abcDEfghijKLmnoPQrS@#&0123' ĀĀĒĒĒŸŸ°ÇçÑñî;çÜßÁÐÒ
#4 5	Univers Md <Esc>(BU<Esc>(s1p<size>v0s0b4148T	0	0	'abcDEfghijKLmnoPQrS@#&0123' ÀĀĒĒĒŸŸ°ÇçÑñî;çÜßÁÐÒ
#5 6	Univers MdIt <Esc>(BU<Esc>(s1p<size>v1s0b4148T	1	0	'abcDEfghijKLmnoPQrS@#&0123' ĀĀĒĒĒŸŸ°ÇçÑñî;çÜßÁÐÒ
#6 7	Univers Bd <Esc>(BU<Esc>(s1p<size>v0s3b4148T	0	3	'abcDEfghijKLmnoPQrS@#&0123' ÀĀĒĒĒŸŸ°ÇçÑñî;çÜßÁÐÒ
#7 8	Univers BdIt <Esc>(BU<Esc>(s1p<size>v1s3b4148T	1	3	'abcDEfghijKLmnoPQrS@#&0123' ĀĀĒĒĒŸŸ°ÇçÑñî;çÜßÁÐÒ
#8 9	Univers Cdm <Esc>(BU<Esc>(s1p<size>v4s0b4148T	4	0	'abcDEfghijKLmnoPQrS@#&0123' ÀĀĒĒĒŸŸ°ÇçÑñî;çÜßÁÐÒ
#9 10	Univers CdmIt <Esc>(BU<Esc>(s1p<size>v5s0b4148T	5	0	'abcDEfghijKLmnoPQrS@#&0123' ĀĀĒĒĒŸŸ°ÇçÑñî;çÜßÁÐÒ
#10 11	Univers Cdbd <Esc>(BU<Esc>(s1p<size>v4s3b4148T	4	3	'abcDEfghijKLmnoPQrS@#&0123' ÀĀĒĒĒŸŸ°ÇçÑñî;çÜßÁÐÒ
#11 12	Univers CdbdIt <Esc>(BU<Esc>(s1p<size>v5s3b4148T	5	3	'abcDEfghijKLmnoPQrS@#&0123' ĀĀĒĒĒŸŸ°ÇçÑñî;çÜßÁÐÒ
#12 13	AntiqOlive <Esc>(BU<Esc>(s1p<size>v0s0b4168T	0	0	'abcDEfghijKLmnoPQrS@#&0123' ÀĀĒĒĒŸŸ°ÇçÑñî;çÜßÁÐÒ
#13 14	AntiqOlive It <Esc>(BU<Esc>(s1p<size>v1s0b4168T	1	0	'abcDEfghijKLmnoPQrS@#&0123' ĀĀĒĒĒŸŸ°ÇçÑñî;çÜßÁÐÒ
#14 15	AntiqOlive Bd <Esc>(BU<Esc>(s1p<size>v0s3b4168T	0	3	'abcDEfghijKLmnoPQrS@#&0123' ÀĀĒĒĒŸŸ°ÇçÑñî;çÜßÁÐÒ
#15 16	CG Omega <Esc>(BU<Esc>(s1p<size>v0s0b4113T	0	0	'abcDEfghijKLmnoPQrS@#&0123' ÀĀĒĒĒŸŸ°ÇçÑñî;çÜßÁÐÒ
#16 17	CG Omega It <Esc>(BU<Esc>(s1p<size>v1s0b4113T	1	0	'abcDEfghijKLmnoPQrS@#&0123' ĀĀĒĒĒŸŸ°ÇçÑñî;çÜßÁÐÒ
#17 18	CG Omega Bd <Esc>(BU<Esc>(s1p<size>v0s3b4113T	0	3	'abcDEfghijKLmnoPQrS@#&0123' ÀĀĒĒĒŸŸ°ÇçÑñî;çÜßÁÐÒ
#18 19	CG Omega BdIt <Esc>(BU<Esc>(s1p<size>v1s3b4113T	1	3	'abcDEfghijKLmnoPQrS@#&0123' ĀĀĒĒĒŸŸ°ÇçÑñî;çÜßÁÐÒ
#19 20	Garamond Antiqua <Esc>(BU<Esc>(s1p<size>v0s0b4197T	0	0	'abcDEfghijKLmnoPQrS@#&0123' ÀĀĒĒĒŸŸ°ÇçÑñî;çÜßÁÐÒ
#20 21	Garamond Krsv <Esc>(BU<Esc>(s1p<size>v1s0b4197T	1	0	'abcDEfghijKLmnoPQrS@#&0123' ĀĀĒĒĒŸŸ°ÇçÑñî;çÜßÁÐÒ
#21 22	Garamond Hlb <Esc>(BU<Esc>(s1p<size>v0s3b4197T	0	3	'abcDEfghijKLmnoPQrS@#&0123' ÀĀĒĒĒŸŸ°ÇçÑñî;çÜßÁÐÒ

C.5 PostScript フォント一覧印刷

PostScript フォント一覧には、PostScript 用のフォントが印刷されます。

Resident PostScript Roman Fonts	
AlbertusMT AlbertusMT Italic AlbertusMT Light	ABCDEFabcdef1234!#%& ABCDEFabcdef1234!#%& ABCDEFabcdef1234!#%&
AntiqueOlive Bold AntiqueOlive Compact AntiqueOlive Italic AntiqueOlive Roman	ABCDEFabcdef1234!#%& ABCDEFabcdef1234!#%& ABCDEFabcdef1234!#%& ABCDEFabcdef1234!#%&
Apple Chancery	ABCDEFabcdef1234!#%&
Arial BoldItalicMT Arial BoldMT Arial ItalicMT ArialMT	ABCDEFabcdef1234!#%& ABCDEFabcdef1234!#%& ABCDEFabcdef1234!#%& ABCDEFabcdef1234!#%&
ITC Avant Garde® Book ITC Avant Garde Demi ITC Avant Garde Book Oblique ITC Avant Garde Demi Oblique	ABCDEFabcdef1234!#%& ABCDEFabcdef1234!#%& ABCDEFabcdef1234!#%& ABCDEFabcdef1234!#%&
Bodoni Bodoni Bold Bodoni BoldItalic Bodoni Italic Bodoni Poster Bodoni PosterCompressed	ABCDEFabcdef1234!#%& ABCDEFabcdef1234!#%& ABCDEFabcdef1234!#%& ABCDEFabcdef1234!#%& ABCDEFabcdef1234!#%& ABCDEFabcdef1234!#%&
ITC Bookman® Light ITC Bookman Demi ITC Bookman Light Italic ITC Bookman Demi Italic	ABCDEFabcdef1234!#%& ABCDEFabcdef1234!#%& ABCDEFabcdef1234!#%& ABCDEFabcdef1234!#%&
Carta	ABCDEFabcdef1234!#%&
Chicago	ABCDEFabcdef1234!#%&
Clarendon Clarendon Bold Clarendon Light	ABCDEFabcdef1234!#%& ABCDEFabcdef1234!#%& ABCDEFabcdef1234!#%&

Times, Helvetica, and Palatino are trademarks of Linotype AG and/or its subsidiaries.
ITC Avant Garde, ITC Bookman, ITC Zap Chancery, and ITC Zap Dingbats are registered trademarks of International Typeface Corporation.

C.6 プリセット一覧印刷

プリセット一覧には、用紙サイズ・印刷位置の登録値が印刷されます。

Preset Page

[10/07/2008 19:31:04]

SELECT NUMBER INFORMATION		
	Selected Preset Number	
	12	
PAPER PRESET INFORMATION(1 - 99)		
Preset No 1 - Paper Size		Width:8.50, Length:11.00 inch
Adjustment		x:0.00, y:0.00 inch
Name		form01
Description		
Host Setup ID		-1
Preset No 2 - Paper Size		Width:8.50, Length:11.00 inch
Adjustment		x:0.00, y:0.00 inch
Name		form02
Description		
Host Setup ID		-1
Preset No 3 - 4		None
Preset No 5 - Paper Size		Width: 215.9, Length: 279.4 mm
Adjustment		x:0.00, y:0.00 inch
Name		form05
Description		
Host Setup ID		-1
Preset No 6 - 7		None
Preset No 8 - Paper Size		Width: 215.9, Length: 279.4 mm
Adjustment		x:0.00, y:0.00 inch
Name		form08
Description		
Host Setup ID		-1
Preset No 9 - 10		None
Preset No 11 - Paper Size		Width:18.00, Length:11.00 inch
Adjustment		x:0.00, y:0.00 inch
Name		form11
Description		
Host Setup ID		-1
Preset No 12 - Paper Size		Width:8.50, Length:11.00 inch
Adjustment		x:0.00, y:0.00 inch
Name		form12
Description		
Host Setup ID		-1
Preset No 13 - Paper Size		Width:18.00, Length:11.00 inch
Adjustment		x:0.00, y:0.00 inch
Name		form13
Description		
Host Setup ID		-1
Preset No 14 - Paper Size		Width:8.50, Length:11.00 inch
Adjustment		x:0.00, y:0.00 inch
Name		form14
Description		
Host Setup ID		-1
Preset No 15 - 29		None
Preset No 30 - Paper Size		Width:15.00, Length:11.00 inch
Adjustment		x:0.00, y:0.00 inch
Name		form30
Description		
Host Setup ID		-1
Preset No 31 - 98		None
Preset No 99 - Paper Size		Width:15.00, Length:11.00 inch
Adjustment		x:0.00, y:0.00 inch
Name		form99

OG	B	02	
----	---	----	--

BLANK

0G	B	01	
----	---	----	--

付録 D テスト印刷

この付録 D では、テスト印刷の印刷サンプルと機能を示します。

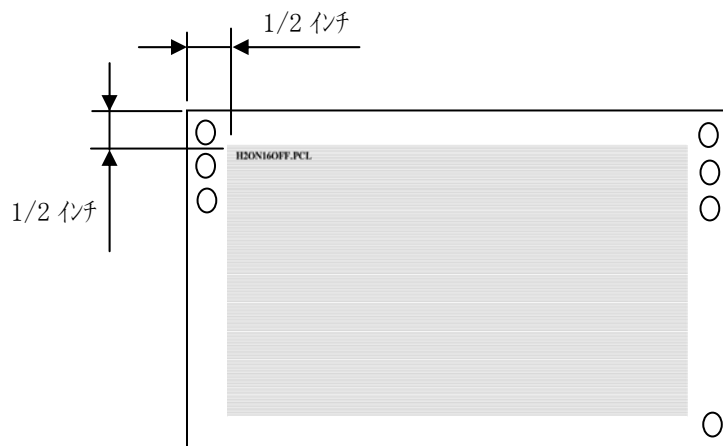
テスト印刷は次のように印刷されます。

- ① 下記テストパターンが約 66 インチ用紙長分印刷されます。
- ② 次に白紙パターンが約 66 インチ用紙長分印刷されます。
- ③ そして最後に①と同じテストパターンが 1 ページだけ印刷されます。

尚、①②で印刷されるページ数はセットされている用紙長により異なります。



印刷位置調整を 0 で設定した場合、印刷開始位置が下記のように用紙端、ミシン目から共に 1/2 インチになります。



OG	B	01	
----	---	----	--

BLANK

0G	B	01	
----	---	----	--

ベストフィット機能について

本プリンタにはベストフィット機能が搭載されています。

留意事項:

本機能をユウコウに設定すると、ユーザが指定したメディア(用紙サイズ)で印刷されない場合があります。

PostScript で用紙を選択する際、当該プリンタモデルではメディアに関する下記項目をユーザが明示的に指示する必要があります。

- ・用紙サイズ

ベストフィット機能をユウコウに設定している場合、ユーザが指定したメディアがプリンタの用紙給紙部にセットされていない場合には、セットされている用紙サイズに合わせて印刷を行います。

留意事項:

- ベストフィット機能をムコウに設定している場合、ユーザが指定したメディアがプリンタの用紙給紙部にセットされていない場合には、ユーザが指定したメディアを用紙給紙部にセットするよう OCP パネル上にメッセージを表示し、実際にメディアがセットされるまで印刷動作を停止します。
 - 特定のアプリケーションとベストフィット「ユウコウ」の組み合わせにおいて、描画方向を 90 度回転して印刷する場合、「ムコウ (OCP ユウセン)」に設定することで 90 度回転せずに印刷可能なことがあります。この様な場合以外はベストフィットを「ムコウ (OCP ユウセン)」に設定しないでください。
-

BLANK

0G	B	01	
----	---	----	--

増設フォントのダウンロード

フォントをダウンロードする際、PC との接続はクロスケーブルを使用し、1 対 1 で行ってください。本プリンタ内蔵のハードディスクドライブに増設フォント(オプション)をダウンロードすることができます。本ダウンロードは PostScript がインストールされているモデルのみ可能です。

F.1 フォントダウンロードの準備

以下の項目と設定を準備してください。

- プリンタの「プリンタ設定」メニューでウェイトタイムアウトの値を 40 秒以上に設定してください。極端に小さな値ではフォントをダウンロードできないことがあります。

F.2 フォントのダウンロード

留意事項:

- 内蔵ハードディスクドライブは、ダウンロードフォントの処理ができるように予め初期化されています。絶対に初期化、フォーマットおよびイニシャライズは行わないでください。フォントデータおよびその他必要なデータが消去されてプリンタが壊れます。
 - フォントのダウンロードはプリンタ側は何も実行中でないことを確認してから行ってください。正常にフォントがダウンロードされないことがあります。
-

以下の手順に従ってください。

1. 増設フォント(オプション)のマニュアルに従って、フォントのダウンロードを行います。
2. ダウンロード終了後、フォントを認識できるようにするため、必ずプリンタの電源をいったん切った後再びプリンタの電源を入れてください。
3. OCP から以下の順に選択して印刷されるフォントリストを確認します。
「レポート印刷メニュー」－「フォント」－「ポストスクリプト」

留意事項:

- 印刷中はハードディスクドライブへアクセスするため、プリンタの電源を OFF にしないでください。フォントデータ等が壊れることがあります。
-

OG	B	02	
----	---	----	--

留意事項:

ただし、本プリンタのオプションとして購入頂いた下記表に示すフォントにつきましては、有償にてフォントのダウンロードサービスを実施しております。(料金につきましては、保守員に確認ください)

フォント形名	フォント名	備考
HT-F4558-F101	増設フォント 1	ANK
HT-F4558-F102	増設フォント 2	OCR-B
HT-F4558-F103	増設フォント 3	ANK および OCR-B
HT-F4558-F201	増設フォント JIS2004J	明朝
HT-F4558-F202	増設フォント JIS2004J	ゴシック
HT-F4558-F203	増設フォント JIS2004W	明朝
HT-F4558-F204	増設フォント JIS2004W	ゴシック
HT-F4558-F205	増設フォント 日立書体	明朝
HT-F4558-F206	増設フォント 日立書体	ゴシック
HT-F4558-F207	増設フォント 日立書体セット 2	明朝
HT-F4558-F208	増設フォント 日立書体セット 2	ゴシック

0G	B	02	
----	---	----	--

オートロード制御について

本プリンタにはオートロード制御機能が搭載されています。付録 G では、この機能の概要と「ヨウシサクゲン」を選択されてご使用いただく場合の制約事項について説明します。

G.1 オートロード制御の概要

本機能では、「ヒョウジュン」と「ヨウシサクゲン」を選択することが可能です。工場出荷時は「ヒョウジュン」に設定されています。「ヨウシサクゲン」を選択すると「ヒョウジュン」よりもオートロード時(用紙の自動装填時)の用紙装填枚数を 1 から 2 枚程度(用紙長により異なります)削減できます。

G.2 「ヨウシサクゲン」設定時の制約事項

用紙の無駄を削減するために、「ヨウシサクゲン」を選択しますとオートロード時の操作手順が増えます。

本機能を選択される場合には、以下に説明します操作上の手順が増えることをご理解の上、ご使用ください。

OG	B	01	
----	---	----	--

G. 2.1 「ヨウシサクゲン」設定時の操作手順

操作手順を以下に記載しますので手順に従ってください。

手順	操作方法	備考
1	オペレータパネル(OCP)より「オートロード制御」を「ヨウシサクゲン」モードに設定する。	2.4.2節参照
2	用紙をセットし、PFパネルの「AUTO LOAD」スイッチを押下する。	
3	印刷を実行する。	
4	印刷起動後、数頁が印刷され「スタッカガ テイシチュウデス / スタッカノヨウシヲ カクニンシテクダサイ E02C」がOCPに表示されプリンタが停止する。	
5	スタッカ部まで排出された用紙を折りたたみ（用紙の始端処理）、スタッカ内にセットします。 次にOCPから「スタッカガ テイシチュウデス / スタッカノヨウシヲ カクニンシテクダサイ E02C」の表示をリセットしてください。 リセットされると次に「スウィングフィン ミセッテイ / ヨウシミンメヲ カクニンシテクダサイ E012」が表示されます。	スタッカ内の用紙の始端処理が上手くいかないと用紙ジャムが発生しますので注意してください。
6	PFパネルの「FORM SET」スイッチでミシン目の「山」「谷」を合わせてください。	
7	OCPから「スウィングフィン ミセッテイ / ヨウシミンメヲ カクニンシテクダサイ E012」の表示をリセットし、プリンタをオンラインにしてください。 OCP表示が「オンライン」になり印刷が再開されます。	

留意事項：「ヨウシサクゲン」を選択すると印刷時の操作手順が増えます。

付録 H

カード紙制御について

本プリンタにはカード紙制御機能が搭載されています。付録 H では、この機能の概要とご使用いただく場合のお願い事項について説明します。




H.1 カード紙制御の概要

本機能は、カードの剥れやスタッカ部での用紙ジャムを低減する機能です。工場出荷時には「ムコウ」に設定されています。「ユウコウ」を選択すると本機能が適用となります。

H.2 カード紙制御で印刷する際のお願い事項

1. カード紙を印刷する場合には、極力連続印刷でご使用頂けますようお願い致します。
印刷起動/停止を繰り返した場合にはスタッカジャムが発生する場合があります。
2. カード紙制御モードでは、印刷停止時にスタッカテーブルの上昇、下降動作を行うため、スタッカテーブル上の用紙枚数が少ない場合には、印刷停止後のスタッカテーブル下降動作時に用紙が飛び出し気味となり、続くスタッカテーブルの上昇動作時に飛び出した用紙が、安全装置を動作させ、スタッカセーフティ (E015) を検出する場合があります。
この現象は、オートロード直後に5セット (4 インチ長×5セット) 未満の印刷を行った時に発生するため、オートロード直後に少量印刷を行う場合 (印刷位置確認等) には5セット以上の印刷をお勧めします。

尚、印刷停止時に“E 0 1 5”が発生した場合には、下記手順にて印刷を再開して下さい。

(1) 用紙を後ろ側に突き当てる。	(2) スタッカテーブルUPスイッチを押下する。	(3) READYスイッチを押下し印刷を再開する。
		

3. カード紙印刷終了時には、速やかに用紙を排出して下さい。
用紙をプリンタにセットしたままの状態では、定着部 (ヒートロール) の熱によって用紙 (カード) が変形し、折りたたみ不良が発生させる場合があります。

留意事項：



- ・本機能が「ユウコウ」になっている場合、一旦印刷が停止してから再度印刷を開始するまでの時間が多少長くなります。

BLANK

0G	B	00	
----	---	----	--

本プリンタには、特殊用紙（圧着紙等）を使用する際に、用紙の重送が発生した場合の対応として、重送防止ユニットをオプションとして設定しています。付録 I では、取り付け方法、操作手順、用紙分離バーの取り付け位置変更手順について説明します。

I.1 重送防止ユニットの取り付け手順

手順	図
1 重送防止ユニットに取り付けられている GND ケーブル①のコネクタから抜く。	
2 本体用紙ホッパ分の GND ケーブル②を取り付けネジを外して、手順 1. で取り外した GND ケーブル①と一緒に本体に取り付ける。〔図示方向に固定〕	
3 重送防止ユニットを本体ホッパ部に入れ、GND ケーブル①のコネクタを接続する。	
4 重送防止ユニットを本体ホッパ部のほぼ中央位置にセットし、取り付けネジ③にて、重送防止ユニットを本体に固定する。	

OG	B	00	
----	---	----	--

I.2 重送防止ユニットの操作手順

1. 重送防止ユニットを使用する場合

(図1参照) 用紙を分離バー1の上に通し、分離バー2の下をくぐらせた状態でトラクタへセットしてください。

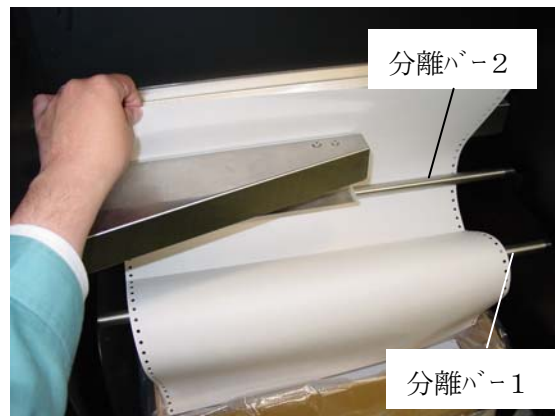


図1 重送防止ユニットへの用紙取り付け

2. 重送防止ユニットを使用しない場合

(1) 重送防止ユニットを本体から取外さない場合
(図2参照)、用紙を分離バー1、2の間に通し、トラクタへセットして下さい。



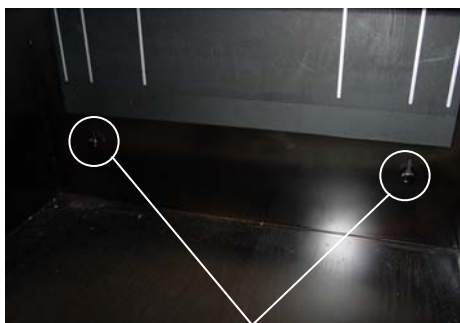
図2 重送防止ユニットを取外さない場合

(2) 重送防止ユニットを本体から取外す場合 (図3参照)

つまみネジ2箇所を取り外してください。

重送防止ユニットを本体ホッパから引き出し、グラウンドケーブルの接続部を矢印方向に引き抜いて切り離してください。その後、重送防止ユニットを取外してください。

重送防止ユニット グラウンドケーブル接続部



つまみネジ(2箇所)



図3 重送防止ユニットの取外し

OG	B	00	
----	---	----	--

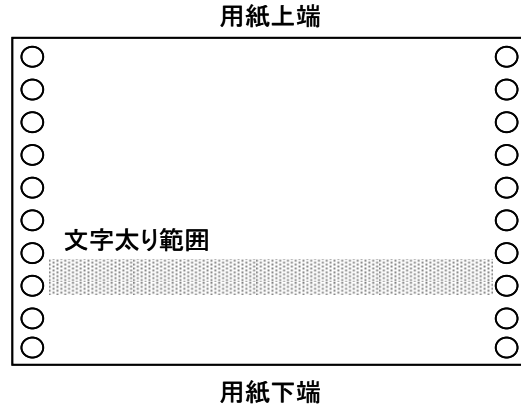
付録 J

バーコード印刷

バーコード印刷を行う際の留意点について説明します。

J.1 文字太り位置について

印刷の再起動時あるいは NPRO 動作の開始時に、ヒートロール直下にバーコードがある場合、バーコードの印刷品質が低下（文字太り）します。以下に文字太りと帳票長さの関係を示します。



帳票長さ (FCB 長)		文字太り範囲 (mm)		備考
インチ	mm	用紙上端からの位置 [()内は下端からの位置を示す]		
14.0	356	255~279	(77~101)	
13.5	343	230~254	(89~113)	
13.0	330	204~228	(102~126)	
12.5	318	179~203	(115~139)	
12.0	305	153~177	(127~151)	
11.5	292	128~152	(140~164)	
11.0	279	103~127	(153~177)	
10.5	267	77~101	(166~190)	
10.0	254	52~ 76	(178~202)	
9.5	241	26~ 50	(191~215)	
9.0	229	1~ 25	(204~228)	
8.5	216	191~215	(0~ 24)	
8.0	203	153~177	(26~ 50)	
7.5	191	115~139	(51~ 75)	
7.0	178	77~101	(77~101)	
6.5	165	39~ 63	(102~126)	
6.0	152	1~ 25	(127~151)	はがきサイズの例
5.5	140	103~127	(13~ 37)	
5.0	127	52~ 76	(51~ 75)	
4.5	114	1~ 25	(89~113)	振込票の例
4.0	102	52~ 76	(26~ 50)	
3.5	89	0~ 12	(77~ 89)	
3.0	76	1~ 25	(51~ 75)	

OG	B	00	
----	---	----	--

J.2 GS1-128 バーコードの印刷について

HT-4558-120A/150A の解像度は 600dpi です。ANSI 規格の B~C グレードレベルにするためには、黒バー幅を 1 ドット狭くかつ白スペース幅を 1 ドット太くしたドット補正を行い、さらにバーの印字方向は用紙走行方向に対して平行（用紙長に平行）に帳票をデザインしたり、印刷する用紙との相性などを考慮する必要があります。

上記のドット補正を行わない場合、またはバーの印字方向が用紙走行方向に対して垂直の場合はグレードが下がります。また印刷する用紙にも影響される場合があります。

留意事項：

- GS1-128 バーコード印刷に関して、ANSI 規格による印刷品質のグレード評価と、リーダーの読取性との間に必ずしも相関が取れているわけではありません。従いまして、最終的にはリーダーによる読取テストでの判断が必要となります。
 - HT-4558-120A/150A の解像度は 600dpi です。それ以外の解像度のバーコードイメージを印刷すると読取精度が低下する場合があります。バーコードイメージは必ずイメージ解像度を 600dpi に設定して下さい。なお、イメージ解像度 600dpi における印刷においても、読取精度を上げるために、黒バーを 1 ドット狭く（ $4n-1$ ドット）かつ白スペース幅を 1 ドット太く（ $4n+1$ ドット）したドット補正を行なうことを推奨致します。ドット補正を行わない場合は、ドラム/現像剤などが寿命近くなった場合に読取性が落ちる場合があります。また、ANSI 規格でのグレードが下がる場合があります。ドット補正を行なった場合での ANSI 印刷品質グレードは B~C レベルです。
-
-

OG	B	00	
----	---	----	--